



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Network Node Manager i Software

ソフトウェアバージョン: 10.30

Windows®およびLinux®のオペレーティングシステム用

オンラインヘルプ: コンソールの使用

ドキュメントリリース日: 2017年6月
ソフトウェアリリース日: 2017年6月

ご注意

保証

ヒューレット・パカード・エンタープライズ製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここに記載された情報は追加の保証をなすものではありません。HPEでは、ここに記載されている技術的、または編集上の不正確さや脱漏については責任を負いません。

ここに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPEが提供する有効なライセンスが必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されません。

Oracleテクノロジー – 制限付き権利に関する通知

国防省連邦調達規則補足 (DOD FAR Supplement) に従って提供されるプログラムは、「商用コンピューターソフトウェア」であり、ドキュメントを含む同プログラムの使用、複製および開示は、該当するOracleのライセンス契約に規定された制約を受けるものとします。それ以外の場合、連邦調達規則に従って提供されるプログラムは「制限付きコンピューターソフトウェア」であり、ドキュメントを含む同プログラムの使用、複製および開示は、FAR 52.227-19「商業コンピューターソフトウェア-制限付き権利」(1987年6月)に規定された制約を受けるものとします。Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

Oracleのライセンス全文については、NNMi製品DVDのライセンス契約ディレクトリを参照してください。

著作権について

© Copyright 2008-2017 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

Appleは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

AMDは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Googleは、Google Inc.の登録商標です。

Intel®, Intel® Itanium®, Intel® Xeon®, Itanium®は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

Linux®は、米国およびその他の国におけるLinus Torvalds氏の登録商標です。

Internet Explorer、Lync、Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

OracleおよびJavaは、Oracleおよびその関連会社の登録商標です。

Red Hat® Enterprise Linux Certifiedは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。

sFlowは、InMon Corp.の登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

承認

この製品にはApache Software Foundationが開発したソフトウェアが含まれています。
(<http://www.apache.org>)

この製品にはVisigoth Software Societyが開発したソフトウェアが含まれています (<http://www.visigoths.org/>)。

ドキュメントの更新

このドキュメントのタイトルページには、次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアバージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日。ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日。ソフトウェアのこのバージョンのリリース日を示します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport/search-result?keyword=>をご利用ください。

このサイトを利用するには、HP Passportアカウントが必要です。アカウントを持っていない場合は、HP Passportのサインインページで **[アカウントの作成]** ボタンをクリックします。

サポート

次のHPEソフトウェアサポートのWebサイトを参照してください。 <https://softwaresupport.hpe.com>

このWebサイトには、連絡先情報、およびHPEソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細が記載されています。

HPEソフトウェアサポートでは、お客様にセルフソルブ機能を提供しています。すばやく効率的な方法で、お客様のビジネス管理に必要な対話型テクニカルサポートツールにアクセスできます。サポートの大切なお客様として、サポートWebサイトで次の操作が可能です。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポート事例と改善要求の送信と追跡
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPEサポート連絡先の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- ソフトウェアを利用している他のユーザーとの情報交換
- ソフトウェアトレーニング情報の検索および参加登録

一部を除き、サポートのご利用には、HPパスポートユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。またサポートのご利用には、多くの場合、サポート契約が必要です。HP Passport IDに登録するには、<https://softwaresupport.hpe.com> にアクセスし、**[登録]** をクリックします。

アクセスレベルの詳細については、次のURLにアクセスしてください。

<https://softwaresupport.hpe.com/web/softwaresupport/access-levels>

HPEソフトウェア統合、ソリューション、およびベストプラクティス

HPEソフトウェアカタログの製品がどのように連携して、情報を交換し、ビジネスニーズを解決するかを調べるには、『統合およびソリューションカタログ』(<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport/search-result/-/facetsearch/document/KM01702710>) にアクセスしてください。

さまざまなベストプラクティスドキュメントおよび資料にアクセスするには、『クロスポートフォリオベストプラクティスライブラリ』(<https://hpln.hpe.com/group/best-practices-hpsw>) にアクセスしてください。

このオンラインヘルプPDF版について

このドキュメントは、オンラインヘルプのPDF版です。このPDFファイルは、ヘルプ情報の複数のトピックを簡単に印刷、あるいはオンラインヘルプをPDF形式で表示するために提供されています。このコンテンツは本来、Webブラウザでオンラインヘルプとして表示するように作成されたものであるため、一部のトピックは適切にフォーマットされていない可能性があります。一部の対話形式のトピックは、このPDF版では表示されない場合があります。このようなトピックは、オンラインヘルプから正常に印刷できます。

目次

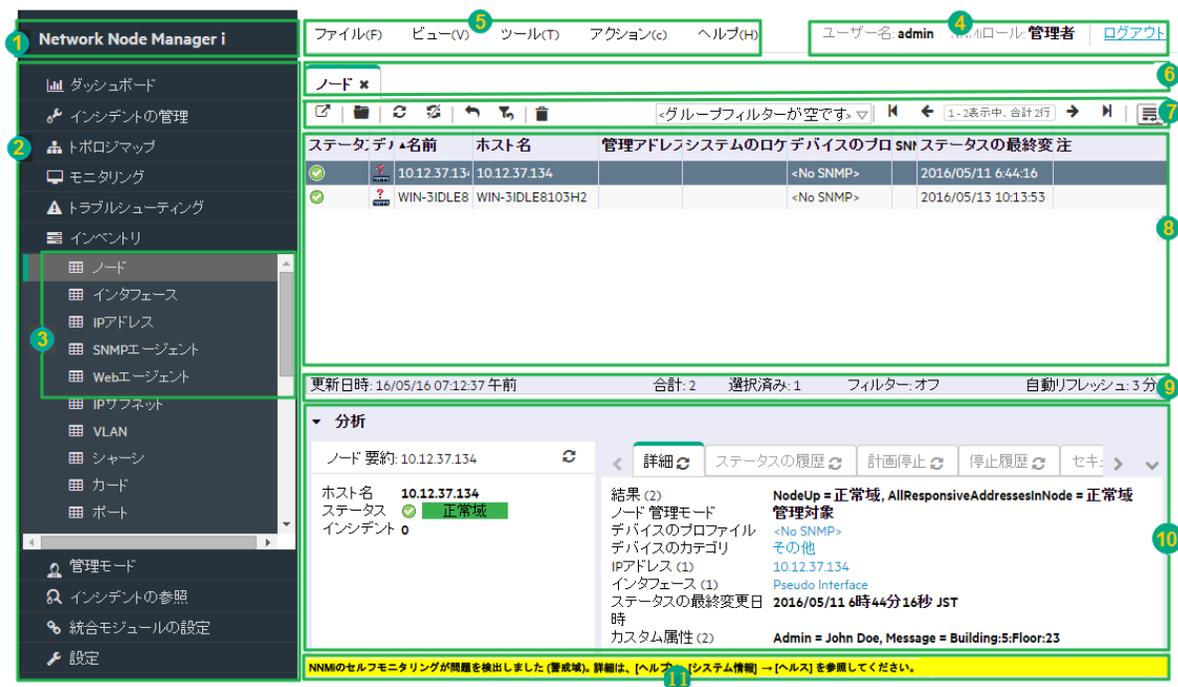
第1章: NNMiコンソールについて	1
NNMi要求に対するMozilla Firefoxの応答方法を設定する	4
Mozilla Firefoxのタイムアウト間隔を設定する	5
NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定する	5
Microsoft Internet Explorerタイトルバーを設定する	6
第2章: Smart Plug-in (iSPI) について	7
第3章: コンソールのナビゲーション	9
ビューを表示する	9
オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび [分析] ペイン)	11
アクションを起動する	11
[ツール] メニューを使用する	12
ヘルプにアクセスする	14
ヘルプトピックを検索する	16
お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける	17
第4章: ワークスペースについて	18
第5章: NNMiで使用できるビュー	24
[ダッシュボード] ワークスペースで利用可能なビュー	25
[インシデントの管理] のビュー	30
[トポロジマップ] のビュー	31
[ネットワークデバイスのモニタリング] のビュー	37
[トラブルシューティング] のビュー	39
インベントリリストに含むビュー	40
[管理モード] のビュー	43
[インシデントの参照] のビュー	44
[パフォーマンス分析] のビュー	46
[Acme IPテレフォニー] のビュー	46
[Cisco IPテレフォニー] のビュー	47
[Nortel IPテレフォニー] のビュー	48
[Avaya IPテレフォニー] のビュー	49
[Microsoft IPテレフォニー] のビュー	50
[MPLS] のビュー	51
[IPマルチキャスト] のビュー	52
[Quality Assurance] のビュー	53
[トラフィック分析] のビュー	54
第6章: ビューを使用してデータを表示する	56
複数オブジェクトを選択する	57
ビューをリフレッシュする	58
ダッシュボードビューを使用する	58
ダッシュボードワークスペースから [ダッシュボード] ビューを起動する	58
オブジェクトに基づくダッシュボードビュー	59
オブジェクトベースのダッシュボードビューを起動する	59
ダッシュボードビューをカスタマイズする	59
グラフをカスタマイズする	60

ダッシュボード パネルを最小化または復元する	62
テーブルビューを使用する	63
列のサイズを変更する	63
列を非表示にする	64
非表示の列を表示する	64
テーブルのすべての行を選択する	64
列データをソートする	65
ビューの定期的なリフレッシュを停止する	66
テーブルビューをフィルタリングする	67
ノード/インターフェイスグループでテーブルをフィルタリングする	69
ノードグループおよびインターフェイスグループについて	70
期間でフィルタリングする (インシデントビューのみ)	70
属性値でフィルタリングする	71
フィルター値を選択する	71
値を指定するためのフィルターを作成する	72
NULL値のフィルターを使用する	76
テーブルビューフィルターを変更する	76
フィルターを削除する	80
デフォルトフィルターの復元	80
現在のフィルター設定を表示する	80
テーブルデフォルトを復元する	81
テーブル情報をエクスポートする	82
ビュー設定を制限する	83
マップビューを使用する	84
マップについて	85
ステータス色について	85
オブジェクトのステータス色	86
アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 (NNMi Advanced)	87
ネットワーク接続のステータスの色	88
マップシンボルについて	92
ノードグループマップオブジェクト	98
レイヤー2マップオブジェクト	100
レイヤー3マップオブジェクト	103
パスビューマップオブジェクト	104
マップを操作する	105
マップレイアウトを変更する	106
マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える	108
ズームの倍率を調整する	109
マップをパン表示する	110
[概要] ペインの位置を設定する	111
VLANメンバーの強調表示オプションの選択	111
レイヤー2マップでのVLANメンバーの強調表示	112
マップ内でノードを検索する	112
マップのノードステータスをリフレッシュする	113
マップのツールのヒント情報を制御する	113
NNMiが提供するマップにアクセスする	114
第7章: ハイパーバイザーのダイアグラムとダイアログの使用	117
Wheelダイアログの使用	118

Loomダイアログの使用	138
第8章: [分析] ペインについて	157
第9章: ビューツールバーの使用	160
第10章: フォームツールバーの使用	170
第11章: オブジェクトの使用	172
関連オブジェクトに関する利用可能な情報のサブセットにアクセスする	173
関連オブジェクトに関するすべての情報にアクセスする	173
オブジェクト属性値の変更	174
第12章: アクションを使用したタスクの実行	176
NNM iSPI Performance for Metricsのアクション	179
第13章: NNMiに関する情報の表示	181
システム情報: [製品] タブ	181
システム情報: [ヘルス] タブ	182
システム情報: [サーバー] タブ	183
システム情報: [グローバルネットワーク管理] タブ	185
システム情報: [データベース] タブ	185
システム情報: [ステートポラー] タブ	186
システム情報: [カスタムポラー] タブ	186
システム情報: [コアザルエンジン] タブ	187
システム情報: [拡張] タブ	188
システム情報: [統合] タブ	188
システム情報: [デバイス] タブ	189
システム情報: [コンポーネントバージョン] タブ	189
第14章: NNMiのバージョンおよびライセンス情報の表示	191
用語集	192
ドキュメントに関するご意見のお願い	198

第1章: NNMiコンソールについて

HPE Network Node Manager (NNMi) コンソールは、NNMiアプリケーション用のグラフィカルユーザーインターフェイスです。コンソールの主要な機能を示したのが以下の図、および表です。



NNMiコンソールを使用するには、以下のことに注意してください。

- ブラウザーにMicrosoft Internet Explorerを使用している場合は、各ブラウザーセッションに異なるユーザー名を使用すれば、NNMiサーバー上で複数のNNMiセッションにサインインできます。
- ブラウザーにMozilla Firefoxを使用している場合は、各NNMiサーバー (たとえば、グローバルNNMiサーバーと各リージョナルNNMiサーバー) 上で単一のNNMiセッションのみにサインインできます。
- NNMiコンソールのURLをブックマークできます。
- デフォルトで、NNMiでは、追加ライセンスの必要なメニュー、ビュー、およびワークスペースが表示されます。NNMiサーバーに必要なライセンスがない場合には、メニュー項目名またはビュータイトルの末尾に未ライセンスまたは評価 (インスタントオンまたは一時的ライセンスタイプの場合) という単語が追加されます。

注: NNMi管理者は、未ライセンスや評価の機能を非表示にするようにユーザーインターフェイスを設定できます。

Network Node Managerコンソールの機能

機能	説明
1タイトルバー	実行中のアプリケーションを識別するのに使用されます。右上の隅には、コンソールウィンドウを閉じたりサイズ変更したりするための標準ブラウザーボタンがあります。

Network Node Managerコンソールの機能 (続き)

機能	説明
2ワークスペースのナビゲーションパネル	ワークスペースおよびビューの間をナビゲートできるようにします。詳細については、「 ビューを表示する 」(9ページ)および「 ワークスペースについて 」(18ページ)を参照してください。
3ビュー	<p>現在の関心の対象および仕事の範囲を表すコンテキストです。ワークスペースは、関連する目的またはタスクフローをグループ化する方法を提供します。ワークスペースごとに複数のビューが使用可能です。詳細については、「NNMiで使用できるビュー」(24ページ)を参照してください。</p> <p>注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。 • 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。 • NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。
4ユーザー、ロール、およびサインアウトボタン	現在のユーザー名とロール割り当てです。ロール割り当てによって、NNMiコンソール内に表示される項目と、コンソール内で実行できる操作が決まります。
5メインメニューバー	<p>メニュー構造からのコンソール内で利用できるコマンドを次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイル • ビュー (「ビューをリフレッシュする」(58ページ)および「テーブルデフォルトを復元する」(81ページ)を参照) • ツール (「[ツール]メニューを使用する」(12ページ)を参照) • アクション (「アクションを起動する」(11ページ)および「アクションを使用したタスクの実行」(176ページ)を参照) • ヘルプ (「ヘルプにアクセスする」(14ページ)および「ヘルプトピックを検索する」(16ページ)を参照) <p>ヒント: NNMiメニューを展開するには、マウスでクリックするか、Ctrl - Shift と括弧内の文字のキーを押します。NNMiは Ctrl - Shift (Alt ではなく) のキー操作を使用して、ブラウザーのメインメニューの動作を防止します。たとえば、NNMiでは[ヘルプ (H)] > [NNMiドキュメントライブラリ (N)]と移動する場合に、Ctrl - Shift + [H] キーを押して [N] キーを押すという操作が可能です。NNMiメニューが思ったとおりに展開しない場合は、Ctrl - Shift + [<ASCII character>] の組み合わせのキーボード操作について、ご使用のブラウザーの設定がNNMiの設定より優先されています。</p>
6タブ	現在表示されている各ビューとフォームのタイトル。各ビューからオブジェクトグループへアクセスできます。オブジェクトをダブルクリックしてそのオブジェクトのフォームを表示することで、

Network Node Managerコンソールの機能 (続き)

機能	説明
	<p>各オブジェクトの詳細が利用できます。「ビューを使用してデータを表示する」(56ページ)、「オブジェクト情報にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン)」(11ページ)、および「オブジェクトの使用」(172ページ)を参照してください。タブを使用すると、複数のビューとフォームの間を簡単に移動できます。</p>
7ビューツールバー	<p>現在のビューまたはフォームで利用可能なツールです。これらのツールを使用すると、以前に適用したデータフィルターの削除、非表示にした列の復元、およびビュー内でオブジェクトの操作を行うことができます。詳細については、「ビューツールバーの使用」(160ページ)を参照してください。</p> <p>ドロップダウンのセレクターを使用すると、表示されたデータに適用される、工場で設定されたフィルターの値を変更できます。詳細については、「テーブルビューをフィルタリングする」(67ページ)を参照してください。</p>
8コンテンツペイン	<p>現在選択されているビューまたはフォームが表示されます。</p>
9ステータスバー	<p>テーブルビューでは、ステータスバーに以下の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 合計。このテーブルの基準に一致するデータベース内の現在のオブジェクト数(各行に1つのオブジェクトに関するデータが表示されます)。 <div data-bbox="464 936 1406 1157" style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p>注: 制限値を表示することもできます。これは、HPE Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)ソフトウェアが現在のビューに制限値を設定していることを示します。この数値は、現在のテーブルの基準に一致するオブジェクト数が許可された行数を超える場合に表示されます。NNM iSPIソフトウェアの詳細については、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> </div> <div data-bbox="464 1182 1406 1297" style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p>ヒント: 表示するオブジェクトの数を減らし、関心のあるオブジェクトのみを表示するには、フィルターを使用してください。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 選択済み。テーブル内で選択されている行の数を示します。 フィルター。現在表示されているデータが利用可能なオブジェクトのフィルタリングされたサブセットであることを示します。詳細については、「テーブルビューをフィルタリングする」(67ページ)を参照してください。 自動リフレッシュ。現在のリフレッシュ間隔を示します。詳細については、「ビューをリフレッシュする」(58ページ)を参照してください。 <p>マップビューでは、ステータスバーに以下の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> マップに表示できるノードの数 自動ステータス更新。更新ステータスオプションの自動更新レートです。詳細については、「マップのノードステータスをリフレッシュする」(113ページ)を参照してください。マップデータのその他の状態をリフレッシュする(ノードの配置、追加されたノード、および削除されたノードを変更する)には、「ビューをリフレッシュする」(58ページ)を参照してください。

Network Node Managerコンソールの機能 (続き)

機能	説明
	<p>注: 検出の初期進行状態マップは、ステータスとトポロジの両方を更新する、自動完全最新表示のリフレッシュレートを示します。</p> <p>テーブルビューとマップビューの両方で、ステータスバーにはビューが最後に更新された時刻を示す最終更新時刻が示されます。</p>
10 [分析] ペイン	<p>コンテンツペインで選択したオブジェクトの詳細情報が表示されます。詳細情報の例には、インシデントのソースノードおよびソースオブジェクトに関する詳細や、ノードのインターフェイスおよびIPアドレスに関する情報などがあります。</p> <p>注: このペインは、オブジェクトを選択するまで空白のままになります。</p>
11 コンソールメッセージバー	NNMi自体で発生している問題に対する警告です。

NNMi要求に対するMozilla Firefoxの応答方法を設定する

デフォルトでは、NNMiはオンラインヘルプを新しいブラウザウィンドウで開きます。

メインコンソールウィンドウでをクリックすると、現在のビューまたはフォームの複製が新しいブラウザウィンドウで開きます。

生成されるウィンドウ数を抑制するため、NNMiが現在のFirefoxウィンドウの新しいタブで要求に応答するようにMozilla Firefoxを設定できます。

NNMiリンクに対するMozilla Firefoxの応答方法を設定するには、以下の手順を実行します。

1. Mozilla Firefoxブラウザウィンドウを開きます。
2. URLフィールドにabout:configと入力し、**ENTER**を押します。
3. 表示されているフォームの上部にある**[フィルター]**フィールドでnewwindowと入力します。関連する属性のリストが表示されます。
4. **browser.link.open_newwindow**をダブルクリックします。
5. **[整数値を入力してください]**ダイアログボックスで、以下のいずれかの選択を入力します。
 - 1 =現在のFirefoxウィンドウタブを置き換えます。
 - 2 =新しいFirefoxウィンドウを開きます。
 - 3 =現在のFirefoxウィンドウ内で新しいタブを開きます。
6. **[OK]**をクリックして、変更内容を保存してダイアログボックスを閉じます。
7. **browser.link.open_newwindow.restriction**をダブルクリックします。
8. **[整数値を入力してください]**ダイアログボックスで、以下のいずれかの選択を入力します。
 - 0 = **browser.link.open_newwindow**の設定を使用します。
 - 1 = **browser.link.open_newwindow**の設定を無視します。

2 = URLに他のウィンドウの指示がない限り、**browser.link.open_newwindow**の設定を使用します。

9. [OK] をクリックして、変更内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

関連トピック

[「NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定する」\(5ページ\)](#)

Mozilla Firefoxのタイムアウト間隔を設定する

Mozilla Firefoxブラウザを使用しており、タイムアウトの問題 (たとえば、マップが表示される前に[続行]をクリックするように求められる) が起きる場合は、次のようにMozilla Firefoxのタイムアウト値をリセットします。

1. Mozilla Firefoxのアドレスバーに、次のように入力します:about:config。
2. スクロールダウンリストから、**dom.max_script_run_time**エントリを選択します。
3. 表示された値を増やします。たとえば、0 (ゼロ) を入力すると、タイムアウトの値が無限に設定されます。

NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定する

デフォルトでは、NNMiはオンラインヘルプを新しいブラウザウィンドウで開きます。

メインコンソールウィンドウでをクリックすると、現在のフォームまたはビューの複製が新しいブラウザウィンドウで開きます。

生成されるウィンドウ数を抑制するため、NNMiが現在のExplorerウィンドウの新しいタブで要求に応答するようにMicrosoft Internet Explorerを設定できます。

NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定するには、以下の手順を実行します。

1. Microsoft Internet Explorerブラウザから、[ツール] > [インターネットオプション] を選択します。
2. [全般] タブを選択します。
3. [タブ] セクションで、[設定] をクリックします。
4. [タブブラウズの設定] ダイアログで、[ポップアップの発生時] という名前のラジオボックスのグループに移動します。
5. 以下から選択を行います。
 - ポップアップを開く方法をInternet Explorerで自動的に判定する
 - 常に新しいウィンドウでポップアップを開く
 - 常に新しいタブでポップアップを開く
6. [OK] をクリックして、設定を保存してダイアログボックスを閉じます。
7. [OK] をクリックして、[インターネットオプション] ダイアログボックスを閉じて、ブラウザウィンドウに戻ります。

関連トピック

[「NNMi要求に対するMozilla Firefoxの応答方法を設定する」\(4ページ\)](#)

Microsoft Internet Explorerタイトルバーを設定する

Internet Explorerを使用するときは、ブラウザーの設定により、NNMiビューやフォームの名前がタイトルバーに表示されるかどうかが決まります。

ビューやフォームのタイトルを表示するようにMicrosoft Internet Explorerを設定するには、次を行います。

1. Internet Explorerブラウザーを開いて [ツール] メニューをクリックします。
2. [インターネットオプション] を選択します。
3. [セキュリティ] タブから [信頼済みサイト]、[レベルのカスタマイズ] に移動し、[その他] セクションを見つけます。
4. [Webサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する] 属性を無効にします。

第2章: Smart Plug-in (iSPI) について

HPE Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs) for Performance and Advanced Network Servicesでは、NNMiのデバイスとプロトコルのサポートが拡張され、幅広いネットワークのデバイス、サービス、および設備のモニタリングと管理が可能です。これらのSmart Plug-inは技術を固有に認識するため、より幅広く詳細な情報を提供することにより、すばやく障害を特定し、ネットワーク運用チームの効率を高めます。

- 適応的ベースラインおよび動的しきい値により、正常使用パターンの識別、実装作業の加速、コスト削減機会の識別、すばやしいパフォーマンス異常の検出が可能です。
- MPLS環境、IPマルチキャスト環境、およびIPテレフォニー環境の完全に統合された検出、モニタリング、およびレポートは詳細なコンテキストを提供し、そのコンテキストの中でこれらのサービスを管理できます。
- Quality Assuranceプローブは代理トランザクションを提供し、ネットワークファブリック全体のレイテンシと可変性を測定およびレポートします。
- トラフィックフローの収集と統合により、ネットワークファブリック全体のアプリケーショントラフィックパターンを識別できます。

これらのSmart Plug-inはテクノロジーを固有に認識するため、問題をすばやく識別して平均修復時間 (MTTR) を短縮します。以下の各iSPIをインストールおよび設定できます。

- **HPE Network Node Manager iSPI for IP Multicast Software:**

NNM iSPI for IP Multicastを使用すると、以下を行うことができます。

- あらゆるマルチキャスト環境をリアルタイムで検出および分析する。
- ベースラインスナップショットを実行し、それらをアクティブフローと比較する。
- 「[\[IPマルチキャスト\] のビュー](#)」(52ページ)および「[\[トラブルシューティング\] のビュー](#)」(39ページ)を活用して、近隣接続ビュー、転送パス、逆方向パスなどの要素を表示する。

詳細については、NNMiヘルプで「IPマルチキャスト」を検索してください。

- **HPE Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software:**

NNM iSPI for IP Telephonyを使用すると、以下を行うことができます。

- 複数ベンダー環境 (Acme、Avaya、Cisco、Microsoft Lync、およびNortel) でVoice Over IP (VoIP) の障害と可用性を管理する。
- ネットワークパフォーマンスのVoIP環境への影響を分析する。
- このiSPIが提供するさまざまなツールを使用してトラブルシューティングを行う。

詳細については、NNMiヘルプで「IPテレフォニー」を検索してください。

- **HPE Network Node Manager iSPI for MPLS Software:**

NNM iSPI for MPLSは、サービスプロバイダーのチームが確実に顧客義務を果たすのに役立ちます。

- ネットワークアクセスを提供するプロバイダー機器 (PE) およびカスタマーエッジ (CE) のマルチプロトコルレベルスイッチング (MPLS) デバイスをアクティブにモニタリングする。「[\[MPLS\] のビュー](#)」(51ページ)
- インターフェイス可用性の影響およびサイトの影響をモニタリングする。詳細については、「[\[MPLS\] のビュー](#)」(51ページ)を参照してください。

- コアMPLS仮想プライベートネットワーク (VPN) の可用性を分析する。
- 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) の近隣接続 (リモートプロバイダー機器 (PEルーター) も含む) の検出を自動化する。
- ラベルスイッチパス (LSP) のパフォーマンスレポート およびトラフィックエンジニアグトンネルの問題の根本原因分析 (RCA for TE Tunnel) を生成する。

詳細については、NNMiヘルプで「iSPI for MPLS」を検索してください。

- **HPE Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset Software:**

NNM iSPI NETは、自動化された診断フローおよびネットワークの難問のトラブルシューティングのためのツールを提供します。NNM iSPI NETを使用すると、オペレーターはネットワークの問題を診断したりラップストームを分析する時間と作業を大幅に削減できます。結果は、[\[ノード\] フォーム:\[診断\] タブ](#)および[\[インシデント\] フォーム:\[診断\] タブ](#)で提供されます。

詳細については、NNMiヘルプで「iSPI NET」を検索してください。

- **HPE Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software:**

NNM iSPI Performance for Metricsは、ノードセンサーおよび物理センサーのしきい値を使用して収集された幅広い種類のネットワークパフォーマンスメトリックスの収集、アラーム、レポートのための完全な環境を提供します。レポートには、複数ベンダーの機器の傾向と運用分析統計情報が含まれています。

詳細については、NNMiヘルプで「Performance for Metrics」を検索してください。

- **HPE Network Node Manager iSPI Performance for Quality Assurance Software:**

NNM iSPI Performance for QAを使用すると、以下を行うことができます。

- ネットワーク内のサービスレベルの品質をモニタリングする。詳細については、[「\[Quality Assurance\] のビュー」\(53ページ\)](#)を参照してください。
- 事前設定されたサービスレベルアグリーメント (SLA) プローブを検出し、プローブのパフォーマンスメトリックスを収集する。
- 自動生成されたNNMiインシデントを通じてSLAの例外および違反を特定する。

詳細については、NNMiヘルプで「Quality Assurance」を検索してください。

- **HPE Network Node Manager iSPI Performance for Traffic Software:**

NNM iSPI Performance for Trafficは、ミッションクリティカルなアプリケーションが十分な帯域幅を使用できるかどうかを検証する包括的なレポートソリューションです。詳細については、[「\[トラフィック分析\] のビュー」\(54ページ\)](#)を参照してください。NNM iSPI Performance for Trafficは次の処理を行います。

- すべての共通診断フロータイプをサポートする。
- 集中分析を実行する。
- 幅広いレポートを提供する。

詳細については、NNMiヘルプで「Performance for Traffic」を検索してください。

詳細情報:

第3章: コンソールのナビゲーション

コンソールのメインウィンドウは、ナビゲーションの開始地点となります。

ビューは、テーブルまたはマップで表現される関連オブジェクトの集まりです。フォームは、選択したオブジェクトに関する既知の詳細すべてを提供します。

メインウィンドウからは、次のタスクを実行できます。

- 「ビューを表示する」(9ページ)
- 「オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび [分析] ペイン)」(11ページ)
- 「アクションを起動する」(11ページ)
- 「[ツール] メニューを使用する」(12ページ)
- 「ヘルプにアクセスする」(14ページ)
- 「ヘルプトピックを検索する」(16ページ)
- 「お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける」(17ページ)

ビューを表示する

ビューには、ネットワーク内のオブジェクトに関する情報が含まれます。ビューは、テーブル(オブジェクトのリスト)またはアイコンが備わったマップです。たとえば、インシデントの管理を支援するため、NNMiには、[重要な未解決インシデント]と[自分の未解決インシデント]のテーブルビューが用意されています。

ビューを表示するには、次の操作を行います。

1. ワークスペースのナビゲーションパネルでワークスペース名をクリックし、ビューのグループを表示します。NNMiで提供されるワークスペースを以下に示します。



2. 必要なビューを選択します。「[ビューを使用してデータを表示する](#)」(56ページ)を参照してください。

ワークスペースのナビゲーションパネルで別のビューを選択すると、選択したビューによって現在のビューが置換されます。

ビューのツールバーで  [新しいウィンドウでビューを表示] アイコンをクリックすると、そのビューを新しいウィンドウで開くことができます。詳細については、「[ビューツールバーの使用](#)」(160ページ)を参照してください。

ビューに複数の情報ページがある場合は、スクロールバーまたはページコントロールを使用してビューの各ページをナビゲートします。ページコントロールの使用方法の詳細については、「[ビューツールバーの使用](#)」(160ページ)を参照してください。

コンソールの[アクション]メニューからアクセスできるビューの詳細については、「[アクションを使用したタスクの実行](#)」(176ページ)を参照してください。

ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション]メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび [分析] ペイン)

どのオブジェクトの詳細にもアクセスできます。たとえば、現在のビューで、問題があると報告されたノードまたはインターフェイスの詳細を知ることができます。ノードフォームまたはインターフェイスフォームから、関連するインシデントにアクセスできます。

すべてのオブジェクト属性および関連オブジェクトにアクセスするには、フォームを表示します。

ヒント: フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク (*) が表示される場合は、属性に値が必要なことを意味します。

- [ツール] > [ノードの検索] を使用してフォームを開くには
詳細については、「[\[ツール\] メニューを使用する](#)」(12ページ)を参照してください。
- テーブルビューでフォームを開くには
オブジェクトを表す行をダブルクリックします。
オブジェクトの詳細を含むフォームが表示されます。詳細については、「[オブジェクトの使用](#)」(172ページ)を参照してください。
- マップビューでフォームを開くには
以下のいずれかを行います。
 - マップオブジェクトを選択します。次に、ツールバーの  [開く] アイコンをクリックします。
 - マップオブジェクトをダブルクリックします。

注: マップオブジェクトが子ノードグループである場合、子ノードグループのオブジェクトをダブルクリックすると、現在のマップが子ノードグループの各ノードを含むマップで置換されます。子ノードグループフォームにアクセスするには、ツールバーの  [開く] アイコンを使用します。
- オブジェクトの詳細を含むフォームが表示されます。詳細については、「[オブジェクトの使用](#)」(172ページ)を参照してください。

[分析] ペインを使用してオブジェクトに関する詳細にアクセスする: [「\[分析\] ペインについて」](#)(157ページ)

アクションを起動する

使用できるアクションは、NNMiユーザーロールと選択したオブジェクトによって決まります。特定のオブジェクト向けに利用可能なアクションがない場合は、アクションメニューは空です。

アクションを実行するには、オブジェクトを選択してから [アクション] メニューのアクションを選択します。[アクション] メニューは、NNMiコンソールのメインメニューツールバー、および新規のウィンドウに開かれた任意のビューまたはフォームのメニューツールバーからアクセスできます。

ヒント: NNMiメニューを展開するには、マウスでクリックするか、Ctrl - Shift と括弧内の文字のキーを押しま

す。NNMiは Ctrl - Shift (Alt ではなく) のキー操作を使用して、ブラウザーのメインメニューの動作を防止します。たとえば、NNMiでは[ヘルプ (H)] > [NNMiドキュメントライブラリ (N)]と移動する場合に、Ctrl - Shift + [H] キーを押して [N] キーを押すという操作が可能です。NNMiメニューが思ったとおりに展開しない場合は、Ctrl - Shift + [<ASCII character>] の組み合わせのキーボード操作について、ご使用のブラウザーの設定がNNMiの設定より優先されています。

- テーブルビューまたはマップビューからアクションを起動するには、以下の手順を実行します。
 - a. ビューを表示させていない場合は、ワークスペースのナビゲーションパネルでビューを選択します。
 - b. 以下のいずれかを行います。
 - テーブルビューで、行を1回クリックします。
 - マップビューでは、目的のオブジェクトを1回クリックします。

ヒント: 複数選択する場合は、Ctrl キーを押しながらクリックします。

- c. メニューツールバーの[アクション]メニューを選択します。

ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション]メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

- d. 利用可能なアクションのリストから実行するアクションを選択します。
- フォームからアクションを起動するには、以下の手順を実行します。
 - a. フォームをオープンしていない場合は、ワークスペースのナビゲーションパネルでアクセスするテーブルビューを選択します。
 - b. テーブルビューから、更新するオブジェクトインスタンス(たとえば、ノード)が示されている行をダブルクリックします。
 - c. メニューツールバーから[アクション]を選択して、目的のアクションを選択します。たとえば、[アクション] > [ライフサイクルの変更] > [進行中]を選択して、選択したインシデントのライフサイクル状態を[進行中]に変更します。

アクションを起動するには、以下のことに注意してください。

- フォーム上で属性を変更するアクションを実行する場合は、そのアクションは即時に効果を及ぼします。 [保存]を選択する必要はありません。
- アクションの中には、新しいウィンドウを開くものがあります。
- 管理者は、[アクション]メニューでメニューの選択肢を追加できます。これらのアクション項目は、NNMiヘルプには記載されていません。

関連トピック

[「アクションを使用したタスクの実行」\(176ページ\)](#)

[ツール]メニューを使用する

いくつかのツールは、[ツール]メニューの下に用意されています。利用可能なツールは、ユーザーの割り当てられたロールに応じて変化します。以下の表にリストされているツールは、レベル2のオペレーターが利用可能です。

ヒント: NNMiメニューを展開するには、マウスでクリックするか、Ctrl - Shift と括弧内の文字のキーを押します。NNMiは Ctrl - Shift (Alt ではなく) のキー操作を使用して、ブラウザーのメインメニューの動作を防止します。たとえば、NNMiでは[ヘルプ (H)] > [NNMiドキュメントライブラリ (N)]と移動する場合に、Ctrl - Shift + [H] キーを押して [N] キーを押すという操作が可能です。NNMiメニューが思ったとおりに展開しない場合は、Ctrl - Shift + [<ASCII character>] の組み合わせのキーボード操作について、ご使用のブラウザーの設定がNNMiの設定より優先されています。

NNMiツールメニューオプション

ツール	説明
ノードの検索...	<p>ユーザーが指定した文字列 (大文字と小文字を区別する) でNNMiデータベースを検索します。NNMiは関連付けられたノードを検出します。検索にマッチするノードが複数あった場合、NNMiでは最初にマッチしたノードのフォームが表示されます。NNMiは、照合のために以下の属性をチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 名前 ホスト名 (完全修飾) IPアドレス MIB-II sysName
接続されているスイッチポートの検索...	<p>選択したノードの接続先のスイッチポートを識別します。</p>
MIBブラウザー	<p>ネットワーク環境内の特定のノードに対して発行された、NNMiのSNMP要求に対する応答を、インターネットMIB (管理情報ベース) 構造内のMIB OID (オブジェクト識別子) から順番に表示します。</p>
NNMiステータス	<p>NNMiの各プロセスおよびサービスの状態を表すリストを表示します。NNMiが適切に機能している場合は、各プロセスおよびサービスが実行中である必要があります。実行していないものがある場合は、NNMi管理者に連絡してください。</p>
ステータス分布グラフ	<p>ノード、インターフェイス、IPアドレスのステータス分布情報を時間の経過と共に表示する積み上げ面グラフを設定することにより、ネットワーク全体のヘルスを表示します。</p>
NNMiセルフモニタリングのグラフ	<p>NNMiコンポーネントおよびその使用に関する情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> SNMPトラップパイプラインレート SNMPトラップ転送レート 検出の進行状況 SNMP要求
トラップ分析	<p>HPE Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset Software (NNMiSPI NET) が必要です。詳細については、ここをクリックしてください。</p> <p>NNMiは、受信SNMPトラップ率を測定します。NNMi管理者は、ネットワーク内のトラップ容量のしきい値を設定します。トラップ分析レポートにアクセスするには、このメニューを使用します。</p>

NNMiツールメニューオプション (続き)

ツール	説明
Visioエクスポート	<p>HPE Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset Software (NNM iSPI NET) が必要です。詳細については、ここをクリックしてください。</p> <p>後で使用するために、NNMiに表示されているトポロジマップをVisioドキュメントにエクスポートします。</p>
サインイン済みユーザー	現在 NNMi にサインインしている NNMi ユーザーのリストを表示します。
インシデントアクションログ	最近のインシデントアクションのログ (特定のインシデントが NNMi で受信 / 生成されたときに発生するように NNMi 管理者が設定) を表示します。
セキュリティレポート	(NNMi 管理者のみ) 可能なセキュリティ設定の問題のレポートを生成します。

ヘルプにアクセスする

ゲストユーザーロールを持っている場合は、[ヘルプ] > [コンソールの使用] にあるトピックから開始します。各ビューに関する詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] からアクセスできます。フォームに関する詳細を参照する必要がある場合は、フォーム内の [ヘルプ] > [<name>フォームの使用法] を使用してください。

オペレーターの場合、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] にタスク情報が提供されています。管理者の場合、[下の表](#) で説明しているすべてのリソースが利用可能です。

ヒント: NNMi メニューを展開するには、マウスでクリックするか、Ctrl - Shift と括弧内の文字のキーを押します。NNMi は Ctrl - Shift (Alt ではなく) のキー操作を使用して、ブラウザーのメインメニューの動作を防止します。たとえば、NNMi では [ヘルプ (H)] > [NNMi ドキュメントライブラリ (N)] と移動する場合に、Ctrl - Shift + [H] キーを押して [N] キーを押すという操作が可能です。NNMi メニューが思ったとおりに展開しない場合は、Ctrl - Shift + [<ASCII character>] の組み合わせのキーボード操作について、ご使用のブラウザーの設定が NNMi の設定より優先されています。

ヘルプにアクセスするには、次の操作を行います。

1. NNMi コンソールのメインメニューから [ヘルプ] を選択します。

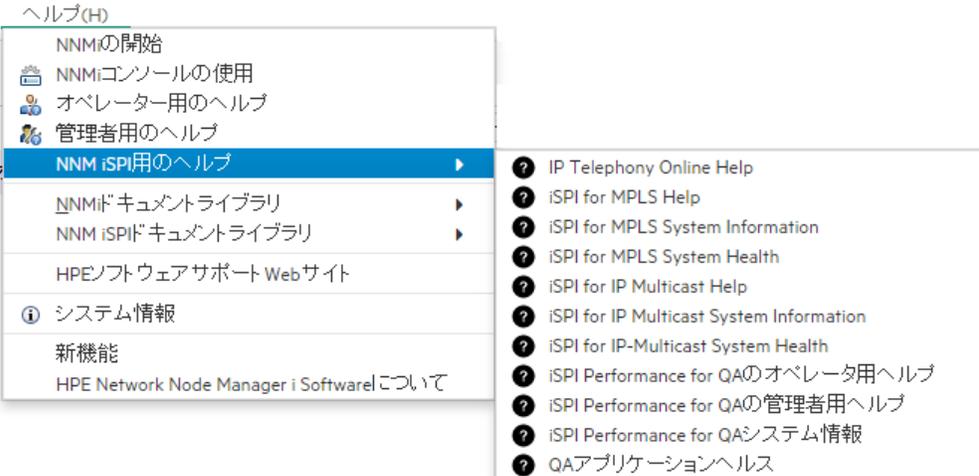
注: NNMi ユーザーインターフェイスでは、F1 キーを押すことではコンテキストヘルプにアクセスしません。

2. ヘルプから、以下の表で説明しているすべての情報にアクセスできます。

[ヘルプ] > [リンク]

ヘルプリンク	説明
<name>フォームの使用法	現在のフォームのコンテキストヘルプです。

[ヘルプ] > [リンク] (続き)

ヘルプリンク	説明
NNMi入門ツアー	一部のNNMiケーパビリティを説明する効果的なツアーへのリンクです。
NNMiコンソールの使用	NNMiコンソールの使い方について説明します。コンソール内部での移動法、NNMiに備わっているフォームとビューのアクセス法および使い方などです。
オペレーター用のヘルプ	ネットワークのモニタリングとトラブルシューティングに役立つ、ビュー、フォーム、追加のNNMi機能の使い方について説明します。
管理者用のヘルプ	NNMiの仕組み、およびニーズに合うようにNNMiを設定する方法について説明します。NNMi向けのさまざまなオブジェクトと設定を調整できる、[設定] ワークスペースの使い方について説明します。
NNMi iSPI用のヘルプ	<p>NNMiサーバーに現在インストールされているHPE NNM iSPIソフトウェアに関する詳細にアクセスします。NNMi管理者は、ヘルプエントリが表示される前に、これらのプログラムをインストールしておく必要があります。</p> 
NNMiドキュメントライブラリ	リファレンスページ (コマンドラインツールの情報) やリリースノートなどへのアクセスを提供します。
HPEソフトウェアサポートWebサイト	HPEソフトウェアサポートのWebサイトにアクセスします。
システム情報	NNMiに関するヘルス情報です。詳細については、「 NNMiに関する情報の表示 」(181ページ)を参照してください。
新機能	最新のリリースで提供されるNNMi機能について説明します。
HPE Network Node Manager i Softwareについて	現在のNNMiライセンス情報です (合計ライセンス容量の制限値と現在管理対象のノード数の対比)。詳細については、「 NNMiのバージョンおよびライセンス情報の表示 」(191ページ)を参照してください。

関連トピック

[「ヘルプトピックを検索する」\(16ページ\)](#)

[「お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける」\(17ページ\)](#)

ヘルプトピックを検索する

すべてのヘルプトピックの中から特定の情報を検索するには、次の操作を行います。

1. [ヘルプ] ウィンドウの右上隅にある [検索] ボックスをクリックします。
2. 検索文字列を入力します (表を参照)。
3.  ボタンをクリックします。トピックの結果リストの順序は、ランキングの順序に基づいており、最も高いランキングのトピックがリストの最上位に表示されます。
4. 対象トピックをクリックします。検索結果に戻って他の選択を行うには、キーボードの [Back Space] キーをクリックします。

検索用変数

説明	変数	例
1つ以上の単語を検索します。検索フィールドに複数の単語を入力した場合、OR演算子が仮定されます。		ノード インターフェイス
フレーズを検索します。	" " (テキスト文字列を引用符で囲む)	"ナビゲーションペイン"
特定の文字列の「いずれか」を検索します。	OR (大文字と小文字の区別なし) (パイプ記号)	ノード or インターフェイス or アドレス "ノード名" "インターフェイスステータス"
2つ以上の特定の文字列を検索します。	AND (大文字と小文字の区別なし) + (プラス記号) & (アンパサンド)	ノード And インターフェイス And アドレス "ノード名" + アドレス "ノード名" & "インターフェイス"
指定した内容を含まないすべてのトピックを検索します。	NOT (大文字と小文字の区別なし) !(感嘆符)	not ノード ! ノード
ある文字列を含み、別の文字列を含まないすべてのトピックを検索します。	^ (caret 記号)	ノード ^ インターフェイス
上記の組み合わせです。	() 丸括弧	ノード and (名前 or ステータス) ノード or vlan (!アドレス)

注: 返される結果では、大文字と小文字が区別されません。ただし、結果ランキングでは大文字と小文字が区別され、大文字または小文字が一致したほうに、より高いスコアが割り当てられます。そのため、「templates」の検索とそれに続く「Templates」の検索は、同じ数のヘルプトピックを返しますが、トピックがリストされる順序は異なります。

お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける

ヘルプシステムの中の[お気に入り]タブを開き、よく使用するヘルプトピックのお気に入りを設定します。

この機能を使用するには、以下のことに注意してください。

- この機能は、ご使用のWebブラウザのお気に入りのオプションとは関係ありません。
- Webブラウザのcookieを削除すると、ヘルプトピックのお気に入りリストは削除されます。

第4章: ワークスペースについて

ワークスペースとは、関心の対象および仕事の範囲を表すビューの集まりのことです。ワークスペースは、関連する目的またはタスクフローをグループ化します。

ワークスペース名をクリックすると、ワークスペースに関連するビューがワークスペースのナビゲーションパネルの中のワークスペースの下に表示されます。ビューを選択すると、ビュー表示パネルに要求したデータが表示されます。ワークスペースのナビゲーションパネルおよびビュー表示パネルの詳細については、「[NNMiコンソールについて](#)」(1ページ)および「[ビューを表示する](#)」(9ページ)を参照してください。

ワークスペース内のビューでは、表示されたオブジェクトタイプごとに関連する情報に簡単にアクセスできます。ビューに指定されたフィルターの基準に合う任意のタイプのオブジェクトをすべて表示します。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

NNMiには以下のワークスペースがあります。

NNMiのワークスペース

ワークスペース名	説明:
 ダッシュボード	<p> [ダッシュボード] ワークスペースを使用すると、ネットワークの情報を一目で理解できる形で確認できます。ダッシュボードビューを使用すると、ネットワークの管理に必要な情報を容易に比較し、素早く特定できます。詳細については、「ダッシュボードビューを使用する」(58ページ)を参照してください。</p> <p>HPE Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance Server (NPS) をインストールします。詳細については、ここをクリックしてください。</p>

NNMiのワークスペース (続き)

ワークスペース名	説明:
 インシデントの管理	<p> [インシデントの管理] ワークスペースを使用すると、ネットワークオペレーターにとって最も重要であり、より迅速なアクションが必要とされることが多々あるインシデント (ライフサイクル状態が  [登録済み]、 [進行中]、または  [完了] のインシデント) にアクセスします。</p> <p>詳細については、「[インシデントの管理]のビュー」(30ページ)を参照してください。</p>
 トポロジマップ	<p> [トポロジマップ] ワークスペースには、複数のマップビューがあります。</p> <p>詳細については、「[トポロジマップ]のビュー」(31ページ)を参照してください。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ヒント: 以下に示す変更内容は、[トポロジマップ] ワークスペースフォルダーで自動的に表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1つ以上のノードグループの追加 • 1つ以上のノードグループの削除 • ノードグループ階層の変更 <p>これらの変更内容を表示するには、ワークスペースの右上隅にある[リフレッシュ]  をクリックします。[リフレッシュ]  をクリックすると、ノードグループマップフォルダーが折りたたまれます。目的の各フォルダーを展開すると、更新されたノードグループマップリストが表示されます。</p> </div>
 モニタリング	<p> [モニタリング] ワークスペースには、ステータスが危険域、あるいは正常域以外のノードセンサー、物理センサー、シャーシ、カード、インターフェイス、ノード、SNMPエージェント、IPアドレス、カード冗長グループ、ルーター冗長グループ、およびノードグループをチェックするためのビューが含まれます。このワークスペースには、カスタムポーリング収集の稼働状態、およびカスタムポーリングインスタンスをチェックするためのビューも用意されています。</p> <p>詳細については、「[ネットワークデバイスのモ</p>

NNMiのワークスペース (続き)

ワークスペース名	説明:
	<p>ニタリングのビュー(37ページ)を参照してください。</p>
<p> トラブルシューティング</p>	<p> [トラブルシューティング] ワークスペース内では、さまざまなマップビューにアクセスできます。</p> <p>[レイヤー2の近隣接続ビュー] マップには、レイヤー2ネットワーク接続が表示されます。[レイヤー3の近隣接続ビュー] マップには、レイヤー3ネットワーク接続が表示されます。[パスビュー] マップは、ソースノードと destinations ノード間のパス内のアクティブなIPv4アドレスを表示します。[パスビュー] マップは、データフロー問題のトラブルシューティングに役立ちます。[ノードグループマップ] ビューは、指定したグループ内のすべてのノードを表示します。</p> <p>詳細については、「[トラブルシューティング]のビュー」(39ページ)を参照してください。</p>
<p> インベントリ</p>	<p> [インベントリ] ワークスペースの各ビューには、一覧表示されているオブジェクトに関連する情報が含まれます。たとえば、[ノード] ビューには、ノードオブジェクトに関する情報が含まれています。[インターフェイス] ビューには、インターフェイスオブジェクトに関する情報が含まれています。[IPサブネット] ビューには、IPサブネットオブジェクトに関する情報が含まれています。</p> <p>詳細については、「インベントリリストを含むビュー」(40ページ)を参照してください。</p>
<p> 管理モード</p>	<p> [管理モード] ワークスペースには、NNMi()によって現在管理されていない検出済みネットワーク要素のビューが含まれます。</p> <p>詳細については、「[管理モード]のビュー」(43ページ)を参照してください。</p>
<p> インシデントの参照</p>	<p> [インシデントの参照] ワークスペースには、インシデントのライフサイクルでフィルタリングされた重要なインシデント¹のビューが含ま</p>

¹次の両方を満たすインシデント:(1) 重要度が正常域以外。(2) 相関特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの相関処理、レポートストリームの相関処理、情報または「なし」。

NNMiのワークスペース (続き)

ワークスペース名	説明:
	<p>まれます。たとえば、[重要な未解決インシデント]ビューには、ライフサイクル状態の値が  [解決済み] 以外の値になっている重要なインシデントがすべて表示されます。[解決済みの重要なインシデント]ビューには、ライフサイクル状態の値が解決済みとなっているインシデントがすべて表示されます。</p> <p>このワークスペースには、関連特性に基づいたインシデントのビューも含まれます。たとえば、[未解決の根本原因インシデント] や [サービスインパクトインシデント] です。</p> <p>このワークスペースを使用すれば、すべてのインシデントを表示することもできます。</p> <p>NNMiには、インシデントで利用可能なすべての属性を含む、[カスタムインシデント]ビューと[カスタム未解決インシデント]ビューが用意されています。これらのビューは、インシデントビューをカスタマイズして、関心のあるインシデント属性のみを含めることができるようにすることが目的です。</p> <p>このワークスペースには、NNMi SyslogメッセージおよびSNMPトラップから生成されたインシデントのビューも含まれます。</p> <p>詳細については、「[インシデントの参照]のビュー」(44ページ)を参照してください。</p>
<div data-bbox="207 1262 553 1314" style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">  パフォーマンス分析 </div>	<div data-bbox="922 1262 1409 1654" style="background-color: #eee; padding: 10px;"> <p>HPE Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance Server (NPS) をインストールします。詳細については、ここをクリックしてください。</p> </div> <p>「[パフォーマンス分析]のビュー」(46ページ)も参照してください。</p>

NNMiのワークスペース (続き)

ワークスペース名	説明:
<ul style="list-style-type: none"> Microsoft IPテレフォニー Cisco IPテレフォニー Acme IPテレフォニー Nortel IPテレフォニー Avaya IPテレフォニー 	<p>HPE Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。詳細については、ここをクリックしてください。</p> <p>「[Acme IPテレフォニー] のビュー」(46ページ)も参照してください。</p> <p>「[Cisco IPテレフォニー] のビュー」(47ページ)も参照してください。</p> <p>「[Nortel IPテレフォニー] のビュー」(48ページ)も参照してください。</p> <p>「[Avaya IPテレフォニー] のビュー」(49ページ)も参照してください。</p> <p>「[Microsoft IPテレフォニー] のビュー」(50ページ)も参照してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> MPLS 	<p>HPE Network Node Manager iSPI for MPLS Software (NNM iSPI for MPLS) が必要です。詳細については、ここをクリックしてください。</p> <p>「[MPLS] のビュー」(51ページ)も参照してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> IPマルチキャスト 	<p>HPE Network Node Manager iSPI for IP Multicast Software (NNM iSPI for IP Multicast) が必要です。詳細については、ここをクリックしてください。</p> <p>「[IPマルチキャスト] のビュー」(52ページ)も参照してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> Quality Assurance 	<p>HPE Network Node Manager iSPI Performance for Quality Assurance Software (NNM iSPI Performance for QA) が必要です。詳細については、ここをクリックしてください。</p> <p>「[Quality Assurance] のビュー」(53ページ)も参照してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> トラフィック分析 	<p>HPE Network Node Manager iSPI Performance for Traffic Software</p>

NNMiのワークスペース (続き)

ワークスペース名	説明:
	<p>(NNM iSPI Performance for Traffic) が必要です。詳細については、ここをクリックしてください。</p> <p>「[トラフィック分析]のビュー」(54ページ)も参照してください。</p>
	<p>(NNMi管理者のみ) [統合モジュールの設定]のビューは、他のソフトウェア製品と通信するようNNMiを設定するために使用されます。詳細については、[ヘルプ] > [管理者用のヘルプ]を参照してください。</p>
	<p>(NNMi管理者のみ) [設定]のビューは、NNMiおよびiSPI用の設定内容を指定するために使用されます。詳細については、[ヘルプ] > [管理者用のヘルプ]を参照してください。</p>

関連トピック

[「NNMiで使用できるビュー」\(24ページ\)](#)

第5章: NNMiで使用できるビュー

NNMiには、ネットワークのデバイスについて豊富な情報を提供する、すぐに使用できるビューがいくつか用意されています。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

ワークスペースに関する以下のトピックで、各ビューについて説明します。

NNMiのワークスペース

 ダッシュボード	「[ダッシュボード] ワークスペースで利用可能なビュー」(25ページ)
 インシデントの管理	「[インシデントの管理] のビュー」(30ページ)
 トポロジマップ	「[トポロジマップ] のビュー」(31ページ)
 モニタリング	「[ネットワークデバイスのモニタリング] のビュー」(37ページ)
 トラブルシューティング	「[トラブルシューティング] のビュー」(39ページ)
 インベントリ	「インベントリリストに含むビュー」(40ページ)
 管理モード	「[管理モード] のビュー」(43ページ)
 インシデントの参照	「[インシデントの参照] のビュー」(44ページ)
 パフォーマンス分析	「[パフォーマンス分析] のビュー」(46ページ)

NNMiのワークスペース (続き)

 Microsoft IPテレフォニー  Cisco IPテレフォニー  Acme IPテレフォニー  Nortel IPテレフォニー  Avaya IPテレフォニー	<p>「[Acme IPテレフォニー] のビュー」(46ページ) 「[Cisco IPテレフォニー] のビュー」(47ページ) 「[Nortel IPテレフォニー] のビュー」(48ページ) 「[Avaya IPテレフォニー] のビュー」(49ページ) 「[Microsoft IPテレフォニー] のビュー」(50ページ)</p>
 MPLS	<p>[MPLS] のビュー</p>
 IPマルチキャスト	<p>[IPマルチキャスト] のビュー</p>
 Quality Assurance	<p>[Quality Assurance] のビュー</p>
 トラフィック分析	<p>「[トラフィック分析] のビュー」(54ページ)</p>
 統合モジュールの設定	<p>(NNMi管理者のみ)  [統合モジュールの設定] のビューは、他のソフトウェア製品と通信するようNNMiを設定するために使用されます。</p>
 設定	<p>(NNMi管理者のみ) NNMiおよびiSPIの  [設定] のビューの設定内容。</p>

注: 一部のビューはフォルダーの下に表示されます。フォルダーで利用可能なビューのリストにアクセスするには、フォルダー名の前にある+ (プラス記号) をクリックします。

関連トピック

[「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#)

[「テーブル情報をエクスポートする」\(82ページ\)](#)

[ダッシュボード] ワークスペースで利用可能なビュー

[ダッシュボード] ワークスペース ([「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#)) では以下のビューを使用できます。

ダッシュボードワークスペースで利用可能なビューには、NNMiにより管理され、ログインユーザーが属するセキュリティグループにより制限されるオブジェクトのセット全体に関する情報が表示されます。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

NNMiでは以下のダッシュボードビューが提供されます。NNMi管理者がさらに追加することもできます。

ネットワークの概要

パネルのタイトル	説明												
重要な未解決インシデント	<p>ネットワークオペレーターにとって最も重要であり、緊急の対処を必要することが多いインシデント (すべての重要なインシデント¹)を一覧表示します。重要な未解決インシデントのビューには、相関特性が以下のいずれかであるインシデントが含まれます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相関特性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 情報</td> <td>この相関特性は参考情報です。</td> </tr> <tr> <td> なし</td> <td>このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。</td> </tr> <tr> <td> レートストリームの相関処理</td> <td>指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。</td> </tr> <tr> <td> 根本原因</td> <td>NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。</td> </tr> <tr> <td> ユーザーの根本原因</td> <td>NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの相関特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注: 以下の相関を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none">  重複削除ストリームの相関処理  二次的な根本原因  症状 	相関特性	説明	 情報	この相関特性は参考情報です。	 なし	このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。	 レートストリームの相関処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。	 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。	 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの相関特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。
相関特性	説明												
 情報	この相関特性は参考情報です。												
 なし	このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。												
 レートストリームの相関処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。												
 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。												
 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの相関特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。												
停止のスケジュール	[管理モード] ワークスペースの[スケジュール済みのノードの停止]ビューには、過去、現在、将来すべてのスケジュール済みのノードの停止についてのレコードが表示されます。												

¹次の両方を満たすインシデント:(1) 重要度が正常域以外。(2) 相関特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの相関処理、レートストリームの相関処理、情報または「なし」。

ネットワークの概要 (続き)

パネルのタイトル	説明
[インフラストラクチャ] ノードグループのノード	[トポロジマップ] ワークスペースの [ネットワークインフラストラクチャデバイス] マップには、ネットワークのスイッチとルーターの代表的なノードグループが示されます。
[ルーター] ノードグループのノード	[トポロジマップ] ワークスペースの [ルーター] マップは、ネットワーク内のレイヤー3の接続性のグラフィック表現を示します。レイヤー3マップの接続デバイスは、ルーター、スイッチルーター、ゲートウェイです(詳細については、「 マップの記号について 」を参照してください)。
上位CPU使用率 (平均)	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p>CPU 5秒使用率</p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の5秒間にわたる平均のCPU使用率です。</p> <p>CPU 1分使用率</p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の1分間にわたる平均のCPU使用率です。</p> <p>CPU 5分使用率</p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の5分間にわたる平均のCPU使用率です。</p>
上位CPU使用率 (平均)%	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p>CPU 5秒使用率</p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の5秒間にわたる平均のCPU使用率です。</p> <p>CPU 1分使用率</p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の1分間にわたる平均のCPU使用率です。</p> <p>CPU 5分使用率</p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の5分間にわたる平均のCPU使用率です。</p>
上位メモリ使用率 (平均)	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p>メモリ使用率</p> <p>使用可能なメモリの合計量と比較したノードのメモリ使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。</p>
上位メモリ使用率 (平均)%	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p>

ネットワークの概要 (続き)

パネルのタイトル	説明
	<p>メモリ使用率</p> <p>使用可能なメモリの合計量と比較したノードのメモリ使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。</p>
<p>上位 ICMP 応答時間 (ミリ秒)</p>	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p>管理アドレスICMP応答時間</p> <p>ICMPエコー要求に対するノードの応答を受信するまでの経過時間 (ミリ秒単位) ベースのしきい値です。照会されたアドレスはノードの管理アドレスの属性値です。現在設定されているアドレスについては、該当ノードの[ノード] フォーム、[基本属性] セクションを参照してください。</p>
<p>容量上位のインターフェイス</p>	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p>
<p>使用率上位のインターフェイス</p>	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p>入力使用率</p> <p>(デバイスのifSpeedのクエリに使用されるMIBと、システムがインターフェイスで高速カウンターをサポートしているかどうかによって決まる) 可能なオクテットの最大数と比較した、インターフェイスの受信オクテットの総数のパーセンテージに基づくしきい値です。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ヒント: デバイスのSNMPエージェントが返すifSpeed値が正確でなかったり、しきい値で問題を生じることがあります。NNMiロールで許可される場合は、次の手順でSNMPエージェントによって報告されたifSpeedを上書きすることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題のインターフェイスの[インターフェイス] フォームを開きます。 2. [全般タブ] を選択します。 3. [入力速度]/[出力速度] セクションに移動します。 4. [入力速度] または [出力速度] の設定を変更します。 </div> <p>出力の使用率</p> <p>(デバイスのifSpeedのクエリに使用されるMIBと、システムがインターフェイスで高速カウンターをサポートしているかどうかによって決まる) 可能なオクテットの最大数と比較した、インターフェイスの送信オクテットの総数のパーセンテージに基づくしきい値です。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ヒント: デバイスのSNMPエージェントが返すifSpeed値が正確でなかったり、しきい値で問題を生じることがあります。NNMiロールで許可される場合は、次の手順でSNMPエージェントによって報告されたifSpeedを上書きすることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題のインターフェイスの[インターフェイス] フォームを開きます。 </div>

ネットワークの概要 (続き)

パネルのタイトル	説明
	<ol style="list-style-type: none"> 2. [全般タブ] を選択します。 3. [入力速度]/[出力速度] セクションに移動します。 4. [入力速度] または [出力速度] の設定を変更します。
廃棄レート (平均) 上位のインターフェイス	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p>出力の廃棄レート</p> <p>送信されるパケットの合計数と比較した、インターフェイスの破棄された出力パケット数のパーセンテージに基づくしきい値です。パケットは、転送バッファオーバーフロー、輻輳、システム固有の問題などさまざまな原因で廃棄される場合があります。</p>
エラーレート (平均) 上位のインターフェイス	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p>入力エラーレート</p> <p>受信パケットの合計数と比較した、インターフェイスにおける入力パケットのエラー数のパーセンテージに基づくしきい値です。エラーの原因はシステムによって異なりますが、パケットチェックサム誤り、不正なヘッダー情報、およびパケットが小さすぎるなどの問題である可能性があります。</p> <p>FCS LANエラーレート</p> <p>ローカルエリアネットワークインターフェイスのみ。受信フレームの合計数と比較した、不正なチェックサム (CRC¹値) がある受信フレームのパーセンテージに基づくしきい値です。考えられる原因には、半二重でのコリジョン、全二重の不一致、ハードウェアの障害 (NIC²、ケーブル、またはポート)、接続されたデバイスで不適切なフレームチェックシーケンスによりフレームが生成されている場合などがあります。</p> <p>FCS WLANエラーレート</p> <p>ワイヤレスローカルエリアネットワークインターフェイスのみ。受信フレームの合計数と比較した、不正なチェックサム (CRC³値) がある受信フレームのパーセンテージに基づくしきい値です。原因として、ワイヤレス通信の干渉、ハードウェアの障害 (NIC⁴、ケーブル、またはポート)、または接続されたデバイスでの不適切なフレームチェックシーケンスによるフレーム生成といったことが考えられます。</p>

iSPIがインストールされている場合、より多くのダッシュボードビューが使用できます。例:

- NNM iSPI Performance for Metricsがインストールされている場合の [インターフェイスのパフォーマンス] ダッシュボードと [コンポーネントのパフォーマンス] ダッシュボード

¹巡回冗長検査

²ネットワークインターフェイスコントローラー

³巡回冗長検査

⁴ネットワークインターフェイスコントローラー

HPE Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance Server (NPS) をインストールします。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

- NNM iSPI Performance for QAがインストールされている場合の [QAのパフォーマンス] ダッシュボード

HPE Network Node Manager iSPI Performance for Quality Assurance Software (NNM iSPI Performance for QA) が必要です。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:

[インシデントの管理] のビュー

[インシデントの管理] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#))。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[インシデントの管理] のビュー

ビューのタイトル	説明								
重要な未解決インシデント	<p>ネットワークオペレーターにとって最も重要であり、緊急の対応を必要することが多いインシデント (すべての重要なインシデント¹) を一覧表示します。重要な未解決インシデントのビューには、関連特性が以下のいずれかであるインシデントが含まれます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連特性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 情報</td> <td>この関連特性は参考情報です。</td> </tr> <tr> <td> なし</td> <td>このインシデントへのインシデント関連処理がないことを意味します。</td> </tr> <tr> <td> レートストリームの関連処理</td> <td>指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート関連処理」インシデントを発行</td> </tr> </tbody> </table>	関連特性	説明	 情報	この関連特性は参考情報です。	 なし	このインシデントへのインシデント関連処理がないことを意味します。	 レートストリームの関連処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート関連処理」インシデントを発行
関連特性	説明								
 情報	この関連特性は参考情報です。								
 なし	このインシデントへのインシデント関連処理がないことを意味します。								
 レートストリームの関連処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート関連処理」インシデントを発行								

¹次の両方を満たすインシデント:(1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

[インシデントの管理] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連特性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>し、そのレート内に発生した数で関連処理の注を更新し続けます。</td> </tr> <tr> <td> 根本原因</td> <td>NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。</td> </tr> <tr> <td> ユーザーの根本原因</td> <td>NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの関連特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注: 以下の関連を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none">  重複削除ストリームの関連処理  二次的な根本原因  症状 	関連特性	説明		し、そのレート内に発生した数で関連処理の注を更新し続けます。	 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。	 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの関連特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。
関連特性	説明								
	し、そのレート内に発生した数で関連処理の注を更新し続けます。								
 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。								
 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの関連特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。								
未割り当ての重要な未解決インシデント	まだ割り当てられていない未解決の 重要なインシデント ¹ が一覧表示されます。このビューは、割り当てされる最新のキーインシデントを識別するのに便利です。								
自分の未解決インシデント	現在のユーザーに関連付けられている名前に割り当てられているインシデントを一覧表示します。								

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[トポロジマップ] のビュー

[トポロジマップ] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#))。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMi **セキュリティグループのマッピング**。
- 現在インストールされている **HPЕ Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア**。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目については質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

¹次の両方を満たすインシデント:(1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

(ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。)

[トポロジマップ] のビュー

ビューのタイトル	説明
ノードグループの概要	<p>すべてのトップレベルのノードグループを含むマップを表示します。子グループは親マップのリンクをダブルクリックしない限り表示されません。</p>  <p>(ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。)</p>
ネットワークの概要 (レイヤー3)	<p>デフォルトでは、このマップはレイヤー3ネットワークで最も高度に接続されているノードを最大で250個表示します。</p> <p>NNMi管理者がこのマップに関する設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示されるノードの最大数。NNMi管理者は、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiコンソール」の章で詳細を参照してください。これは、次の場所で入手可能です: http://softwaresupport.hpe.com。 リフレッシュレート。デフォルトでは5分です。 NNMiコンソールの初期ビューはデフォルトでこの[ネットワークの概要]になります。NNMiユーザーがNNMiを開くたびに異なるノードグループマップが表示されるようにする場合は、NNMi管理者として [設定] > [ユーザーインターフェイス] > [ユーザーインターフェイスの設定: 初期ビュー] 設定を使用します。
<p>ノードグループマップ (ある時点で保存されたマップ。)</p> <p>NNMi管理者がある時点で保存したノードグループマップの一覧を表示します。</p> <p>ノードグループマップフォルダーを使用する場合は、以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> マップはアルファベット順に表示されます。 各  (ツリー) は、他のノードグループを含んだノードグループを示すノードグループ階層を表します。含まれるノードグループを表示するには、 をクリックしてフォルダーを展開します。 [ノードグループ] ツリーから、「ノードグループマップのアクション」に説明されているアクションを実行できます。 	

[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明								
ノードグループマップのアクション									
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="211 363 427 415">作業</th> <th data-bbox="435 363 1412 415">アクション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="211 426 427 510">ノードグループマップの表示</td> <td data-bbox="435 426 1412 510">ノード名をクリックします</td> </tr> <tr> <td data-bbox="211 520 427 783">選択したノードグループのノードグループマップの設定フォームの表示</td> <td data-bbox="435 520 1412 783">ノード名を右クリックして、[ノードグループマップの設定を開く]を選択します このアクションは、アクセス権のあるノードのノードグループマップに対する編集権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager i Software管理者である場合、このアクションにアクセスできるようにする方法については、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="211 793 427 940">選択したノードグループのノードグループフォームの表示</td> <td data-bbox="435 793 1412 940">ノード名を右クリックして、[ノードグループを開く]を選択します</td> </tr> </tbody> </table>	作業	アクション	ノードグループマップの表示	ノード名をクリックします	選択したノードグループのノードグループマップの設定フォームの表示	ノード名を右クリックして、 [ノードグループマップの設定を開く] を選択します このアクションは、アクセス権のあるノードのノードグループマップに対する編集権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager i Software管理者である場合、このアクションにアクセスできるようにする方法については、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。	選択したノードグループのノードグループフォームの表示	ノード名を右クリックして、 [ノードグループを開く] を選択します	
作業	アクション								
ノードグループマップの表示	ノード名をクリックします								
選択したノードグループのノードグループマップの設定フォームの表示	ノード名を右クリックして、 [ノードグループマップの設定を開く] を選択します このアクションは、アクセス権のあるノードのノードグループマップに対する編集権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager i Software管理者である場合、このアクションにアクセスできるようにする方法については、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。								
選択したノードグループのノードグループフォームの表示	ノード名を右クリックして、 [ノードグループを開く] を選択します								
<p>注: これらのノードグループマップには、NNMiによって提供されるノードグループマップの他、[ノードグループマップの設定] オプションで作成されたカスタムノードグループマップも含まれます。Network Node Manager i Software管理者である場合、ノードグループマップの設定の詳細については、「ノードグループマップの設定を定義する」を参照してください。</p>									
ノードグループマップ (デフォルトのリスト)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="211 1245 495 1297">ビューのタイトル</th> <th data-bbox="503 1245 1412 1297">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="211 1308 495 1371">ネットワーキングインフラストラクチャーデバイス</td> <td data-bbox="503 1308 1412 1518"> ネットワーク内のスイッチとルーターの代表ノードグループを表示します。以下のデバイスタイプはそれぞれ、該当する場合、マップにも含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • シャーシ • ファイアウォール • ボイスゲートウェイ </td> </tr> </tbody> </table>	ビューのタイトル	説明	ネットワーキングインフラストラクチャーデバイス	ネットワーク内のスイッチとルーターの代表ノードグループを表示します。以下のデバイスタイプはそれぞれ、該当する場合、マップにも含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • シャーシ • ファイアウォール • ボイスゲートウェイ 					
ビューのタイトル	説明								
ネットワーキングインフラストラクチャーデバイス	ネットワーク内のスイッチとルーターの代表ノードグループを表示します。以下のデバイスタイプはそれぞれ、該当する場合、マップにも含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • シャーシ • ファイアウォール • ボイスゲートウェイ 								
<p>注: NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できま</p>									

[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
ノードグループマップ (デフォルトのリスト) (続き)	
ビューのタイトル	説明
	す。 ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
追加のビュー。。。。	NNMi管理者がある時点で設定し保存した追加のノードグループマップ。

クイックアクセスマップ (割り当てられた順序番号を持つマップ。)

NNMi管理者がトポロジマップの順序番号をノードグループのマップに割り当てる場合 ([設定] > [ユーザーインターフェイス] > [ノードグループマップの設定]):

- ノードグループのマップへのリンクが、割り当てられた順序で [トポロジマップ] > [クイックアクセスマップ] フォルダーの下に自動的に表示されます。

[クイックアクセスマップ] フォルダーはすべてのNNMiユーザーに表示されます。

クイックアクセスマップ (デフォルトのリスト)

ビューのタイトル	説明
ネットワーキングインフラストラクチャーデバイス	このマップは、[ノードグループマップ] および [クイックアクセスマップ] フォルダー下に表示されます。 ネットワーク内のスイッチとルーターの代表ノードグループを表示します。以下のデバイスタイプはそれぞれ、該当する場合、マップにも含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • シャーシ • ファイアウォール • ボイスゲートウェイ <p>注: NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できます。</p> ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
ルーター	このマップは、[ノードグループマップ] および [クイックアクセスマップ] フォルダー下に表示

[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
クイックアクセスマップ (デフォルトのリスト) (続き)	
ビューのタイトル	説明
	<p>されます。</p> <p>ネットワーク内のルーターとレイヤー3接続のノードグループマップを表示します。</p> <p>ヒント: ノードグループの詳細については、「ノードグループおよびインターフェイスグループについて」(70ページ)を参照してください。</p> <p>注: ネットワーク内のノードグループの数が、マップに表示されるよう設定されたマップオブジェクトの最大数より多い場合、NNMiはマップをフィルタリングし、ネットワークで最大数のサブネット内にアドレスがあるインターフェイスを持つルーターを表示します。</p> <p>NNMi管理者は1つのマップに表示されるノードの最大数を設定できます。詳細については、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> <p>注: NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できます。</p>
スイッチ	<p>このマップは、[ノードグループマップ] および [クイックアクセスマップ] フォルダー下に表示されます。</p> <p>ネットワーク内のスイッチとレイヤー2接続のノードグループマップを表示します。</p> <p>注: ネットワーク内のノード数が、マップに表示されるよう設定されたノードの最大数より多い場合、NNMiはマップをフィルタリングし、最も高度に接続されるスイッチを表示します。</p> <p>NNMi管理者は1つのマップに表示されるノードの最大数を設定できます。詳細については、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> <p>注: NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できます。</p>
追加のビュー。。。。	NNMi管理者がある時点で設定して保存し、順序番号を割り当てた追加のノードグループマップ。
<p>すべてのノードグループ (すべての定義済みノードグループにリンクします。NNMi管理者に対してのみ表示されます。)</p> <p>NNMi管理者がノードグループを作成する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ノードグループのマップへのリンクが、アルファベット順で [すべてのノードグループ] フォルダーの [トポロジマップ] ワークスペースの下に自動的に表示されます。 	

[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
----------	----

- ノードグループマップのアイコンは最初は灰色 (■) です。
- マップがある時点で保存されると、アイコンは多色 (■) で表示され、そのマップへのリンクが[ノードグループマップ] フォルダーに追加され、他のNNMiユーザーが見ることができる状態になります。
- 順序番号がノードグループマップに割り当てられると、そのマップが[クイックアクセスマップ] フォルダーに追加され、他のNNMiユーザーが見ることができる状態になります。

[すべてのノードグループ] フォルダーを使用する場合は、以下の点に注意してください。

- Network Node Manager i Software管理者である場合、ノードグループマップの設定の詳細については、「[ノードグループマップの設定を定義する](#)」を参照してください。
- このフォルダーは、アクセス権限のあるノードのノードグループに対する作成および削除権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager i Software管理者である場合、このフォルダーにアクセスできるようにする方法については、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章の章を参照してください。
- 各 + (ツリー) は、他のノードグループを含んだノードグループを示すノードグループ階層を表します。含まれるノードグループを表示するには、▶ をクリックしてフォルダーを展開します。
- [ノードグループ] ツリーから、「[ノードグループマップのアクション](#)」に説明されているアクションを実行できます。

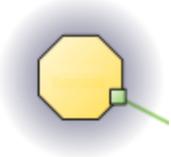
ノードグループマップのアクション

作業	アクション
ノードグループマップの表示	ノード名をクリックします
選択したノードグループのノードグループマップの設定フォームの表示	ノード名を右クリックして、[ノードグループマップの設定を開く]を選択します このアクションは、アクセス権限のあるノードのノードグループマップに対する編集権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager i Software管理者である場合、このアクションにアクセスできるようにする方法については、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。
選択したノードグループのノードグループフォームの表示	ノード名を右クリックして、[ノードグループを開く]を選択します

すべてのノードグループマップ (デフォルトのリスト)

ビューのタイトル	説明
重要なノード	このグループのすべてのデバイスは特別な扱いを受けます。このグループの現在のメンバーが応答を停止すると、Causal Engineは「ノード停止」インシデントを生成し、デバイスステータスを「危険」に設定します。

[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
すべてのノードグループマップ (デフォルトのリスト) (続き)	
ビューのタイトル	説明
Microsoft Windowsシステム	このノードグループには、Microsoftによって製造されたデバイスが自動的に含まれます。
隣接接続フィルター	<p>担当のNNMi管理者は、ノードグループのメンバーに接続されている (1ホップの隣接接続) デバイスを表示するようノードグループマップを設定できます。ただし、それらのデバイス自体はメンバーではありません。</p> <p>マップアイコンを囲むグレーの輪は、1ホップの隣接接続を示します。</p>  <p>すべての1ホップの隣接接続が表示されるわけではありません。担当のNNMi管理者は特定のノードグループを隣接接続フィルターとして選びます。指定したノードグループ内の1ホップのデバイスのみが表示されます。</p>
ネットワークインフラストラクチャーデバイス	このノードグループには、管理ドメイン内のルーターまたはスイッチが含まれます。これらは、障害メトリックスに特に注意してモニタリングされます。
非SNMPデバイス	このノードグループにはSNMPに回答しないデバイスが含まれます。
仮想マシン	(NNMi Advanced) このノードグループには、 ハイパーバイザー¹ でホストされている 仮想マシン² が含まれます。
VMware ESXホスト	(NNMi Advanced) このノードグループには、仮想マシンをホストしているVMware ESXiサーバーが含まれます。
追加のビュー。。。。	NNMi管理者が定義した追加のノードグループ。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[ネットワークデバイスのモニタリング] のビュー

[モニタリング] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#))。

¹仮想デバイスになるリソースのプールのさまざまな局面における委任処理を行う仮想マシンマネージャー。委任は、製造元の実装に応じて、静的であることも動的であることもあります。生成される仮想マシンのタイプは、製造元の実装によって異なります。

²複数の物理デバイスのコンポーネントを利用するデバイス。製造元の実装に応じて、仮想マシンは静的であることも動的であることもあります。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

(ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。)

ネットワークデバイスのモニタリングを支援するビュー

ビューのタイトル	説明
正常域にないノードセンサー	(NNM iSPI Performance for Metrics) ノードのバッファ、CPU、ディスク、メモリなどに関する問題のためにオペレーターの注意を必要とするノードを一覧表示します。
正常域にない物理センサー	バックプレーン、ファン、電源、温度、電圧などシャーシに関する問題のためにオペレーターの注意を必要とするシャーシまたはカードを一覧表示します。
正常域にないシャーシ	シャーシ内のオブジェクトの状態に関する問題のためにオペレーターの注意を必要とするシャーシを一覧表示します。
正常域にないカード	オペレーターの注意を必要とするカードを一覧表示します。
正常域にないインターフェイス	オペレーターの注意を必要とするインターフェイスを一覧表示します。
正常域にないノード	オペレーターの注意を必要とするノードを一覧表示します。
正常域にないSNMPエージェント	正常域以外の状態であるSNMPエージェントを一覧表示します。
応答のないアドレス	応答なしの状態であるアドレスを一覧表示します。応答なし状態は、そのアドレスがICMP pingに反応しないことを示します。
インターフェイスのパフォーマンス	(NNM iSPI Performance for Metrics) 管理対象ネットワーク内のノードで使用率が高すぎたり低すぎたりするインターフェイスを識別できるよう支援します。
シャーシ冗長グループ	NNMiで検出されたシャーシ冗長グループを一覧表示します。 シャーシ冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
カード冗長グループ	NNMiで検出されたカード冗長グループを一覧表示します。 カード冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
ルーター冗長グループ	NNMi管理者が作成した使用可能なルーター冗長グループを一覧表示します。各ルー

ネットワークデバイスのモニタリングを支援するビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
ループ	<p>ター冗長グループは、情報パケットが目的の宛先に確実に到達するように、1つまたは複数の仮想IPアドレスを使用する2つ以上のルーターのセットです。</p> <p>ルーター冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。</p>
ノードグループ	<p>NNMi管理者が作成したノードグループを一覧表示します。NNMi管理者は、ノードグループを使用し、ホスト名や位置などのいくつかの基準に基づいてノードのグループを定義します。</p> <p>ノードグループの詳細については、「ノードグループおよびインターフェイスグループについて」(70ページ)を参照してください。</p>
カスタムノード収集	<p>NNMiのカスタムポーラーを使用して作成されたカスタムノード収集を一覧表示します。カスタムノード収集は、少なくとも1つの関連付けられたカスタムポーラーポリシーがあるトポロジノードを識別します。</p> <p>カスタムノード収集の詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。</p>
カスタムポーリングインスタンス	<p>NNMiのカスタムポーラーを使用して作成されたカスタムポーリングインスタンスを一覧表示します。NNMiは検出情報を使用してMIB式を初めて検証したときに、カスタムポーリングインスタンスを作成します。</p> <p>カスタムポーリングインスタンスの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。</p>

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[トラブルシューティング] のビュー

[トラブルシューティング] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」](#)(18ページ))。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMi[セキュリティグループ](#)のマッピング。
- 現在インストールされている[HPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア](#)。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目については質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

(ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。)

トラブルシューティングを支援するビュー

ビューのタイトル	説明
レイヤー2の近隣接続ビュー	<p>選択したデバイスおよびそのデバイスから指定したホップ数内にある接続デバイスのマップビューを一覧表示します。このビューは、デバイス間のスイッチの接続性を理解するのに役立ちます。</p> <p>ネットワークマップ内のノードの背景色は、ノードまたはインターフェイスのステータスを表わします。たとえば、緑はノードが動作中であることを表わします。赤は、そのノードまたはインターフェイスが停止していることを示します。</p>
レイヤー3の近隣接続ビュー	<p>選択したデバイスおよびそのデバイスから指定したホップ数内にある接続デバイスのマップビューを一覧表示します。このビューは、デバイス間のルーターの接続性を理解するのに役立ちます。</p> <p>ネットワークマップ内のノードの背景色は、ノードまたはインターフェイスのステータスを表わします。たとえば、緑はノードが動作中であることを表わします。赤は、そのノードまたはインターフェイスが停止していることを示します。</p>
パスビュー	<p>ソースおよびデスティネーションの終点間のアクティブネットワークパスを一覧表示します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>注意: パスビューマップでは、ソースノードまたはデスティネーションノードとしてスイッチを指定しないでください。スイッチ間の接続性を表示するには、レイヤー2の近隣接続ビューを使用します。</p> </div> <p>このビューは、たとえば、あるノードが別のノードと通信できない場合や、Microsoft Exchangeサーバーと通信できないクライアントPCなどの特定のノードにアクセスできない場合など、接続性の問題の診断に役立ちます。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>注: (NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。</p> </div>
ノードグループマップ	<p>ステータスと接続属性のみならず、定義済み背景イメージのコンテキストでノードグループの定義済みメンバーを表示します(たとえば、北米のマップ)。</p> <p>ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ]を参照してください。</p>

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

インベントリリストに含むビュー

[インベントリ] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#))。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

インベントリリストに含むビュー

ビューのタイトル	説明
ノード	NNMiが検出したすべてのノードのステータスを一覧表示します。 このビューをステータスでソートすると、停止しているか、何らかの原因で無効になっているすべてのノードを表示できます。
インターフェイス	NNMiが検出したすべてのネットワークインターフェイスに関する情報を一覧表示します。 このビューを関連ノードの名前の値 (ホスト元ノード) でソートすると、ノードごとのすべてのネットワークインターフェイスを表示できます。 ビューを管理状態または運用状態でソートすると、停止しているか何らかの原因で無効になっているノードまたはインターフェイスを判断するのに役立ちます。
IPアドレス	NNMiが検出したすべてのIPアドレスのホスト元ノードについてステータスを一覧表示します([ノード] フォーム: [IPアドレス] タブには、このビューからの関連アドレスも表示されます)。
SNMPエージェント	有効化された各SNMPエージェントのステータスを一覧表示します。
IPサブネット	すべてのIPサブネットのステータスを一覧表示します。 このビューをステータスでソートすると、現在あるいは潜在的に問題があることをステータスが示しているすべてのIPアドレスを素早く表示できます。
VLAN	ネットワーク環境内で検出されたスイッチポートVLANを一覧表示します。1つのデバイスは、複数のVLANに参加できます。さらに、1つのポートは、複数のVLANに割り当てられます。
シャーシ	NNMiによってネットワーク環境内に検出されたシャーシを一覧表示します。
カード	NNMiによってネットワーク環境内に検出されたカードを一覧表示します。
ポート	NNMiによってネットワーク環境内に検出されたポートを一覧表示します。
ノードセンサー	(NNM iSPI Performance for Metrics) バッファ、CPU、ディスク、メモリなどのノードの状態に関する情報を一覧表示します。
物理センサー	バックプレーン、ファン、電源、温度、電圧などのシャーシの状態に関する情報を一覧表示します。
レイヤー2の接続	ネットワーク環境で検出または追加された、レイヤー2接続を一覧表示します。

インベントリリストに含むビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
ノード (すべての属性)	ほとんどのノード属性の[ノード]ビューを提供します。ニーズに合うようにこのビューをソートし、フィルターします。
インターフェイス (すべての属性)	ほとんどのインターフェイス属性の[インターフェイス]ビューを提供します。ニーズに合うようにこのビューをソートし、フィルターします。
IPアドレス(すべての属性)	ほとんどのIPアドレス属性のIPアドレスビューを提供します。ニーズに合うようにこのビューをソートし、フィルターします。 現在 マップされているアドレスが1列に表示されます。ネットワークの一部に静的ネットワークアドレス変換 (NAT) が使用されている場合、NNMi管理者は、選択した外部IPアドレスに割り当てられた (マップされた) NAT内部IPアドレスを表示するようにNNMiを設定できます。
MIB変数	NNMiデータベースにロードされているMIBから利用可能なMIB変数を一覧表示します。
シャース冗長グループ	NNMiで検出されたシャース冗長グループを一覧表示します。 シャース冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
カード冗長グループ	NNMiで検出されたカード冗長グループを一覧表示します。 カード冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
ルーター冗長グループ	(NNMi Advanced) NNMi管理者が作成した使用可能なルーター冗長グループを一覧表示します。各ルーター冗長グループは、情報パケットが目的の宛先に確実に到達するように、1つまたは複数の保護された (仮想) IPアドレスを使用する2つ以上のルーターのセットです。ルーター冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
ルーター冗長メンバー	(NNMi Advanced) NNMi管理者が作成したルーター冗長グループのメンバーを一覧表示します。
ノードグループ	NNMiが用意し、NNMi管理者が作成したノードグループを一覧表示します。 ノードグループの詳細については、「 ノードグループおよびインターフェイスグループについて 」(70ページ)を参照してください。
インターフェイスグループ	NNMiが用意し、NNMi管理者が作成したインターフェイスグループを一覧表示します。 インターフェイスグループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
MPLS WANクラウド (RAMS)	(NNMi Advanced、およびHPE Route Analytics Management System (RAMS) for MPLS WAN) NNMiによって検出されるすべてのMPLS WANの情報が表示されます。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[管理モード] のビュー

[管理モード] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#))。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

管理モードのビュー

ビューのタイトル	説明
管理対象外ノード	管理モードに  [非管理対象] または  [サービス停止中] が設定されたすべてのノードを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったノードです。
管理対象外のインターフェイス	管理モードに  [非管理対象] または  [サービス停止中] が設定されたすべてのインターフェイスを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったインターフェイスです。
管理対象外のIPアドレス	管理モードに  [非管理対象] または  [サービス停止中] が設定されたすべてのアドレスを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったアドレスです。
管理対象外のシャーシ	管理モードに  [非管理対象] または  [サービス停止中] が設定されたすべてのシャーシを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったシャーシです。
管理対象外のカード	管理モードに  [非管理対象] または  [サービス停止中] が設定されたすべてのカードを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったカードです。
管理対象外のノードセンサー	(NNM iSPI Performance for Metrics) 管理モードに  [非管理対象] または  [サービス停止中] が設定されたすべてのノードセンサーを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったノードセンサーです。
管理対象外の物理センサー	管理モードに  [非管理対象] または  [サービス停止中] が設定されたすべての物理センサーを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなった物理センサーです。
スケジュール済みのノードの停止	過去、現在、将来におけるスケジュール済みのノードの停止をすべて一覧表示します。スケジュール済みの停止期間中、NNMiはそのノードに関するすべての検出およびモニタリングを停止し、以下の変更を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • ノードステータス =  ステータスなし • ノード管理モード =  サービス停止中

管理モードのビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
	指定された期間が終了すると、NNMiは最新情報を収集して、ノードデータをアップデートします。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[インシデントの参照] のビュー

[インシデントの参照] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#))。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[インシデントの参照] のビュー

ビューのタイトル	説明										
重要な未解決インシデント	ネットワークオペレーターにとってきわめて重要で、即座のアクションが必要なインシデント (すべての 重要なインシデント ¹) を示します。重要な未解決インシデントのビューには、関連特性が以下のいずれかであるインシデントが含まれます。 <table border="1" data-bbox="430 1234 1421 1732"> <thead> <tr> <th>関連特性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 情報</td> <td>この関連特性は参考情報です。</td> </tr> <tr> <td> なし</td> <td>このインシデントへのインシデント関連処理がないことを意味します。</td> </tr> <tr> <td> レートストリームの関連処理</td> <td>指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート関連処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で関連処理の注を更新し続けます。</td> </tr> <tr> <td> 根本原因</td> <td>NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したイン</td> </tr> </tbody> </table>	関連特性	説明	 情報	この関連特性は参考情報です。	 なし	このインシデントへのインシデント関連処理がないことを意味します。	 レートストリームの関連処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート関連処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で関連処理の注を更新し続けます。	 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したイン
関連特性	説明										
 情報	この関連特性は参考情報です。										
 なし	このインシデントへのインシデント関連処理がないことを意味します。										
 レートストリームの関連処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート関連処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で関連処理の注を更新し続けます。										
 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したイン										

¹ 次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。 (2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

[インシデントの参照] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="435 321 646 384">関連特性</th> <th data-bbox="662 321 1404 384">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="435 390 646 443"></td> <td data-bbox="662 390 1404 443">シデントを示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 449 646 543">  ユーザーの根本原因 </td> <td data-bbox="662 449 1404 543">NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの関連特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。</td> </tr> </tbody> </table>	関連特性	説明		シデントを示します。	 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの関連特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。	<p>注: 以下の関連を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none">  重複削除ストリームの関連処理  二次的な根本原因  症状
関連特性	説明							
	シデントを示します。							
 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの関連特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。							
解決済みの重要なインシデント	解決されたキーインシデントが表示されます。このビューは、解決された根本原因インシデントを特定するのに役立ちます。このビューは、指定された期間内に解決されたインシデントの個数を報告するのに特に役立ちます。							
未解決の根本原因インシデント	まだ解決されていない根本原因インシデントが表示されます。このビューは、解決する必要のある根本原因インシデントを特定するのに役立ちます。							
サービスインパクトインシデント	<p>ネットワークサービスが影響を受けるその他のインシデントと関係があるインシデントを示します。たとえば、「インターフェイス停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>関連特性を使用できるのは、HPE Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。</p> <p>NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] > [管理者用のヘルプ] を参照してください。</p>							
すべてのインシデント	すべてのインシデントを示す。このビューは、特定の期間に生成されたすべてのインシデントを決定するのに便利です。							
カスタムの未解決インシデント	これを使用すると、すべての未解決のインシデントの中から、ニーズに合わせて、インシデント情報の列を選択できます。たとえば、特定のデバイスセットに関連したインシデントだけをこのビューに表示するようにフィルタリングしたい場合などがあります。自分に割り当てられたインシデントのみをこのビューに表示するようにフィルタリングすることもできます。							
カスタムインシデント	インシデント情報向けにカスタマイズされたビューを作成できます。たとえば、自分に割り当てられたインシデントのみをこのビューに含めるようにフィルタリングできます。							
Syslogメッセージ	(HPE ArcSight) HPE NNMiとArcSightの統合では、syslogメッセージ情報がNNMiに追加されるため、これらのsyslogメッセージを参照して潜在的な問題を調査できます。							
SNMPトラップ	ネットワーク環境内のデバイスから受信したすべてのトラップを一覧表示します。NNMi管理者は、[NNMiインシデント] ビューを表示する前に、特定のトラップを設定する必要があります。							

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[パフォーマンス分析] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance Server (NPS) をインストールします。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

[パフォーマンス分析] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[パフォーマンス分析] のビュー

ビューのタイトル	説明
ノードパフォーマンスメトリックス	パフォーマンスモニタリングが設定されているノードのステータスを一覧表示します。
インターフェイスのパフォーマンスメトリックス	パフォーマンスモニタリングが設定されているインターフェイスのステータスを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[Acme IPテレフォニー] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

次のビューは、[Acme IPテレフォニー] ワークスペースで使用可能です。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony] が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ] をクリックしてください。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[Acme IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
セッションディレクター	環境で検出およびモニタリングされる、Acmeセッションディレクターを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[Cisco IPテレフォニー] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。
[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

次のビューは、[Cisco IPテレフォニー] ワークスペースで使用可能です。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony] が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ] をクリックしてください。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[Cisco IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
UCMクラスター	ネットワークで検出されたCisco Unified Communications Managerクラスターを一覧表示します。
UCME	ネットワークで使用可能なUnified Call Manager Expresses (UCME)を一覧表示します。
IPフォン	ネットワークで検出されたCiscoのIPフォンを一覧表示します。
ゲートキーパー	ネットワークで検出されたCiscoゲートキーパーデバイスを一覧表示します。
ユーティリティデバイス	ネットワークで検出されたCiscoユーティリティデバイスを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

Nortel IPテレフォニー] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。
[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

[Nortel IPテレフォニー] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony] が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ] をクリックしてください。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[Nortel IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
通話サーバー	ネットワーク上に検出されたNortelの通話サーバーを一覧表示します。

[Nortel IPテレフォニー] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
シグナリングサーバー	ネットワーク上に検出されたNortelのシグナリングサーバーを一覧表示します。
IPフォン	ネットワーク上に検出されたNortelのIPフォンを一覧表示します。
メディアゲートウェイ	ネットワーク上に検出されたNortelのメディアゲートウェイを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[Avaya IPテレフォニー] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。
[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

次のビューは、[Avaya IPテレフォニー] ワークスペースで使用可能です。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony] が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ] をクリックしてください。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMi [セキュリティグループのマッピング](#)。
- 現在インストールされている [HPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア](#)。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明のない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[Avaya IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
コールコントローラー	ネットワークで検出されたAvayaコールコントローラーを一覧表示します。
IPフォン	ネットワークで検出されたAvayaのIPフォンを一覧表示します。
メディアゲートウェイ	ネットワークで検出されたAvayaメディアゲートウェイを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[Microsoft IPテレフォニー] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。
[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

[Microsoft IPテレフォニー] のワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony] が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ] をクリックしてください。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[Microsoft IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
Lyncサイト	ネットワーク上に検出されたLyncサイトを一覧表示します。
サーバー	ネットワーク上のLyncサーバーに関連付けられているすべてのサーバープールから検出されたサーバーを一覧表示します。
ゲートウェイ	ネットワーク上に検出されたゲートウェイを一覧表示します。
Lyncエンドユーザー	Lyncサーバーのネットワーク上に検出されたエンドユーザーを一覧表示します。
エンドユーザーグループ	Lyncサーバーのネットワーク上に検出されたエンドユーザーグループを一覧表示します。
サイト	iSPI管理者によって定義されたサイトを一覧表示します。
SIPTランク設定	ネットワーク上に検出されたSIPTランクを一覧表示します。
ダイヤルプラン	ネットワーク上に検出されたダイヤルプランを一覧表示します。
音声ルート	ネットワーク上に検出された音声ルートを一覧表示します。
音声ポリシー	ネットワーク上に検出された音声ポリシーを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[MPLS] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI for MPLS Software (NNM iSPI for MPLS) が必要です。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

NNM iSPI for MPLSは、サービスプロバイダーのチームが確実に顧客義務を果たすのに役立ちます。[MPLS] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI for MPLSをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for MPLSがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HPE NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションにiSPI for MPLSが表示されている場合は、NNM iSPI for MPLSがインストールされています。

NNM iSPI for MPLSによって追加されたこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [iSPI for MPLSのヘルプ] をクリックしてください。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[MPLS] のビュー

ビューのタイトル	説明
LSRインベントリ	NNM iSPI for MPLSによって管理されているすべてのMPLS対応ルーターを一覧表示します。
L3 VPNインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべてのレベル3 (L3) 仮想プライベートネットワーク (VPN) を一覧表示します。
MVPNインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべてのマルチキャスト仮想プライベートネットワーク (MVPN) を一覧表示します。
VPLS VPNインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべての仮想プライベートLANサービス (VPLS) 仮想プライベートネットワーク (VPN) を一覧表示します。
VPWS VPNインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべての仮想プライベートワイヤーサービス (VPWS) 仮想プライベートネットワーク (VPN) を一覧表示します。
Pseudowire VCインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべてのPseudowire仮想回路 (VC) を一覧表示します。
TEトンネルインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべてのトラフィックエンジニアリング (TE) トンネルを一覧表示します。

[MPLS] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
モニタリング対象 LSPインベントリ	ネットワーク上のすべてのモニタリング対象 MPLSラベルスイッチパス (LSP) を一覧表示します。
SDPインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべての通信サービスデリバリープラットフォーム (SDP) を一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[IPマルチキャスト] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI for IP Multicast Software (NNM iSPI for IP Multicast) が必要です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

[IPマルチキャスト] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI for IP Multicastをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Multicastがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HPE NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションにIP Multicast SPIが表示されていれば、NNM iSPI for IP Multicastがインストールされています。

NNM iSPI for IP Multicastによって追加されたこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [iSPI for IP Multicastのヘルプ] をクリックしてください。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目については質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[IPマルチキャスト] のビュー

ビューのタイトル	説明
IPマルチキャストノード	ネットワーク上のマルチキャスト対応ノードを一覧表示します。
IPマルチキャストインターフェイス	ネットワーク上のPIMインターフェイスを一覧表示します。
IPマルチキャストフロー	ネットワーク上のマルチキャストトラフィックフローを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[Quality Assurance] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI Performance for Quality Assurance Software (NNM iSPI Performance for QA) が必要です。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

[Quality Assurance] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。このワークスペースは、NNM iSPI Performance for QAをインストール後のみ表示できます。

NNM iSPI Performance for QAがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HPE NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションにNNM iSPI Performance for Quality Assuranceが表示されていれば、NNM iSPI Performance for QAがインストールされています。

NNM iSPI Performance for QAによって追加されたこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [iSPI Performance for QAのオペレーター用のヘルプ] をクリックしてください。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明のない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[Quality Assurance] のビュー

ビューのタイトル	説明
プローブ	ネットワーク上に検出されたすべてのQuality Assuranceプローブを一覧表示します。
危険域プローブ	危険状態にあるすべてのQuality Assuranceプローブを一覧表示します。
しきい値例外プローブ	しきい値違反が発生したすべてのQuality Assuranceプローブを一覧表示します。
ベースライン例外プローブ	ベースライン例外が発生したすべてのQuality Assuranceプローブを一覧表示します。
QoSインターフェイス	QoSポリシーが設定されているすべての検出されたインターフェイスを一覧表示します。
QoSポリシー	インターフェイス上で設定されているすべてのQoSポリシーを一覧表示します。
QoSアクション	特定のトラフィックフローおよびポリシーに基づいてインターフェイスに適用されているQoSアクションの詳細を一覧表示します。
QoSインターフェイスしきい値例外	アクションがしきい値を超えたQoSインターフェイスを一覧表示します。
QoSアクションしきい値	しきい値を超えたQoSアクションを一覧表示します。

[Quality Assurance] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
例外	
Ping遅延ペア	iSPI管理者によって設定されたping遅延ペアを一覧表示します。
QAグループ	iSPI管理者によって設定されたQAグループを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

[トラフィック分析] のビュー

HPE Network Node Manager iSPI Performance for Traffic Software (NNM iSPI Performance for Traffic) が必要です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

[トラフィック分析] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI Performance for Trafficをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI Performance for Trafficがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HPE NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションにNNM iSPI Performance for Trafficが表示されている場合は、NNM iSPI Performance for Trafficがインストールされています。

NNM iSPI Performance for Trafficによって追加されたこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [NNM iSPI Performance for Traffic] をクリックしてください。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されません。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHPE Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明のない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

[トラフィック分析] のビュー

ビューのタイトル	説明
トラフィックレポートノード	トラフィックデータをエクスポートできるフローコレクターインターフェイスをホストしているノードを一覧表示します。
しきい値例外レポートノード	しきい値例外が発生したトラフィックデータレポートノードを一覧表示します。
トラフィックレポートインターフェイス	トラフィックデータをエクスポートできるフローコレクターインターフェイスを一覧表示します。

[トラフィック分析] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
しきい値例外レポートインターフェイス	しきい値例外が発生したトラフィックデータレポートインターフェイスを一覧表示します。
トラフィックサイト	iSPI管理者がNNM iSPI Performance for Traffic設定コンソールを使用して定義したサイトを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

第6章: ビューを使用してデータを表示する

ビューは、データを表示するための基本的な仕組みです。コンソールの中では、ネットワークを視覚化するのに役立つさまざまなビューを使用できます。

NNMiコンソールにおけるビューのタイプ

ビューのタイプ	長所
テーブルビュー	オブジェクトのリストに対して、ソートされた順序でサマリー情報を表示します。たとえば、ステータスでソートされ、ライフサイクル状態でフィルタリングされたインシデントのリストを表示することができます。
マップビュー	オブジェクト間の関係を図示します。
ダッシュボードビュー	パネル形式で一目で理解できるデータを表示します。

ビューにアクセスするには、[ワークスペース](#)を選択し、表示するビューをクリックします。ビューによってはコンソールの[\[アクション\]](#)メニューからもアクセスできるものもあります。詳細については、「[アクションを使用したタスクの実行](#)」(176ページ)を参照してください。

テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[\[アクション\]](#)メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

注: 一部のNNMiユーザーは(割り当てられたNNMiロールに応じて)、ノードその他のオブジェクトをNNMiデータベースから削除することができます。 [\[リフレッシュ\]](#) アイコンを使用してマップがリフレッシュされるまで、削除されたノードはすべてのNNMiユーザーに対して透明なアイコンで表示されます。リフレッシュすると、削除されたノードはマップから除去されます。NNMiは、[\[検出の初期進行状態\]](#)と[\[ネットワークの概要\]](#) マップを除き、マップビューで接続性またはノード集合を自動的にリフレッシュしません。

ビューからは、以下のことを実行できます。

- [「複数オブジェクトを選択する」](#)(57ページ)
- [「ビューをリフレッシュする」](#)(58ページ) ()
- [「マップのノードステータスをリフレッシュする」](#)(113ページ) ()
- [「ビューの定期的なリフレッシュを停止する」](#)(66ページ) ()
- [「ビューツールバーの使用」](#)(160ページ)によって、新しいウィンドウでビューを表示する ()
- [「アクションを起動する」](#)(11ページ)

割り当てられたNNMiロールによって、ビューから一部のオブジェクトのインスタンスの作成や削除を行うことができるかどうかが決まります。詳細については、[\[ヘルプ\]](#) > [\[管理者用のヘルプ\]](#)を参照してください。

関連トピック

[「ダッシュボードビューを使用する」](#)(58ページ)

[「テーブルビューを使用する」](#)(63ページ)

[「マップビューを使用する」](#)(84ページ)

複数オブジェクトを選択する

テーブルビューまたはマップビューを使用して、複数のオブジェクトの選択および選択解除を行うことができます。この機能は、詳細にアクセスしたり、ノード、IPアドレス、またはインターフェイスなどの複数のオブジェクトにアクションを起動する場合に便利です。

テーブルビュー内の複数オブジェクト

ヒント: 各テーブルビューのステータスバーを調べ、現在選択されているオブジェクトの数およびビューの中のオブジェクトの合計数を確認します。

テーブルビューで複数のオブジェクトを選択するには

選択する各オブジェクトの行を Ctrl キーを押しながらクリックして選択します。

テーブルビューの中でオブジェクトを選択解除するには

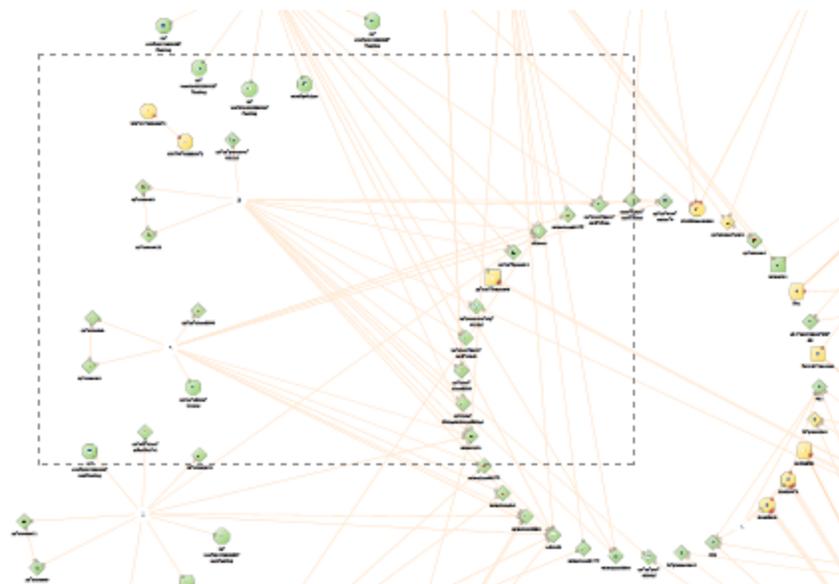
選択解除する各オブジェクトの行をもう一度選択します。

マップビュー内の複数オブジェクト

マップビューで複数のオブジェクトを選択するには

以下のいずれかを行います。

- マップ上で、[Ctrl] キーを押しながら目的の各オブジェクトをクリックして選択します。
- マウスを左クリックして、選択するマップのエリア上にカーソルをドラッグします。この方法を使用すると、NNMiは以下の例に示すように、点線（またはゴムバンド）で選択エリアを示します。



選択した各オブジェクトが変化して、選択されたことを示します。

マップビューの中でオブジェクトを選択解除するには

マップ上で、目的のオブジェクトをもう一度選択します。

選択解除した各オブジェクトは、マップ上で通常に戻ります。

関連トピック

[「テーブルのすべての行を選択する」\(64ページ\)](#)

ビューをリフレッシュする

ビューは、いつでも手動でリフレッシュして最新の情報セットを表示できます。各ビューについてNNMiが設定した自動リフレッシュレートを変更することはできません。

ビューのリフレッシュを実行するには、以下のいずれかの操作を行います。

- 任意のビューを表示してから、**[ビュー] > [リフレッシュ]** メニュー項目を選択します。
- テーブルビューをリフレッシュするには、テーブルビューの  **[更新]** アイコンをクリックします。
テーブルビューステータスバーには、リフレッシュレートおよびリフレッシュレートが有効か無効かが表示されます(無効な場合、 **[リフレッシュ]** アイコンをクリックすると、定期的なリフレッシュが有効になります)。
- マップビューをリフレッシュするには、マップビューのツールバーで  **[リフレッシュ]** アイコンをクリックして、ノードの配置、追加ノード、削除ノードにおける変更内容を更新します。
マップ上のノードのステータスをリフレッシュするには、[「マップのノードステータスをリフレッシュする」\(113ページ\)](#)を参照してください。

関連トピック

[「ビューの定期的なリフレッシュを停止する」\(66ページ\)](#)

ダッシュボードビューを使用する

NNMiは、ダッシュボードタイプに応じてネットワーク全体、特定のオブジェクト(ノード、インターフェイスなど)、またはオブジェクトのグループ(ノードグループ、インターフェイスグループなど)に関するデータを複数パネルで表示するダッシュボードビューを備えています。

ダッシュボードビューの情報は一目で理解できる状態になっているため、必要な情報を容易に比較し、素早く特定できます。ダッシュボードパネルには表やグラフがあり、一部はカスタマイズできます。詳細については、[「ダッシュボードビューをカスタマイズする」\(59ページ\)](#)を参照してください。

ダッシュボードビューには、次に示す2つのタイプがあります。

- [「\[ダッシュボード\] ワークスペースで利用可能なビュー」\(25ページ\)](#):
これらのビューには、このNNMi管理サーバーにより管理され、ログインユーザーが属するセキュリティグループにより制限されるオブジェクトのセット全体を範囲とする情報が表示されます。
- [「オブジェクトに基づくダッシュボードビュー」\(59ページ\)](#):
これらのビューには、選択したオブジェクトを範囲とする情報が表示されます。これらは、ログインユーザーが属するセキュリティグループによって、さらに範囲設定されます。

ダッシュボードの詳細については、[次を参照してください](#)：

ダッシュボードワークスペースから [ダッシュボード] ビューを起動する

[ダッシュボード] ワークスペースからダッシュボードビューを起動するには、以下の手順を実行します。

1. ワークスペースのナビゲーションパネルで **[ダッシュボード]** ワークスペースをクリックします。
2. 目的のダッシュボードビューを選択します。詳細については、[「\[ダッシュボード\] ワークスペースで利用可能なビュー」\(25ページ\)](#)を参照してください。

ダッシュボードの詳細については、[次を参照してください](#)：

オブジェクトに基づくダッシュボードビュー

オブジェクトに基づくダッシュボードビューには、選択したオブジェクトに関する豊富な情報が含まれています。ダッシュボードビューを使用すると情報が一目でわかるため、ネットワークの問題の調査と特定に必要な情報を容易に比較してすばやく識別できるようになります。

- ダッシュボードパネルには、グラフ、ゲージ、マップ、テーブルを含むものもあります。
- Smart Plug-in (iSPI) により、たとえばパフォーマンスデータなどのより多くのデータがダッシュボードに追加されます。詳細については、「[Smart Plug-in \(iSPI\) について](#)」(7ページ)を参照してください。

「[オブジェクトベースのダッシュボードビューを起動する](#)」(59ページ)には複数の方法があります。

- **ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:**

オブジェクトベースのダッシュボードビューを起動する

オブジェクト固有のダッシュボードビューにアクセスするには複数の方法があります。

- テーブルビュー: テーブル内の任意の行を右クリックして、**[ダッシュボードを開く]**を選択します。
- マップビュー: 任意のマップオブジェクトを右クリックして、**[ダッシュボードを開く]**を選択します。
- フォームの分析パネル: グラフの凡例内の下線が付いた項目のいずれかをクリックして、その選択したオブジェクト固有のカスタマイズされたダッシュボードビューを起動します。
- ダッシュボードパネル: グラフの凡例内の下線が付いた項目のいずれかをクリックして、その選択したオブジェクト固有のカスタマイズされたダッシュボードビューを起動します。

Smart Plug-in (iSPI) により、より多くの情報 (ノードおよびインターフェイス用のパフォーマンスデータなど) がダッシュボードに追加されます。詳細については、「[Smart Plug-in \(iSPI\) について](#)」(7ページ)を参照してください。

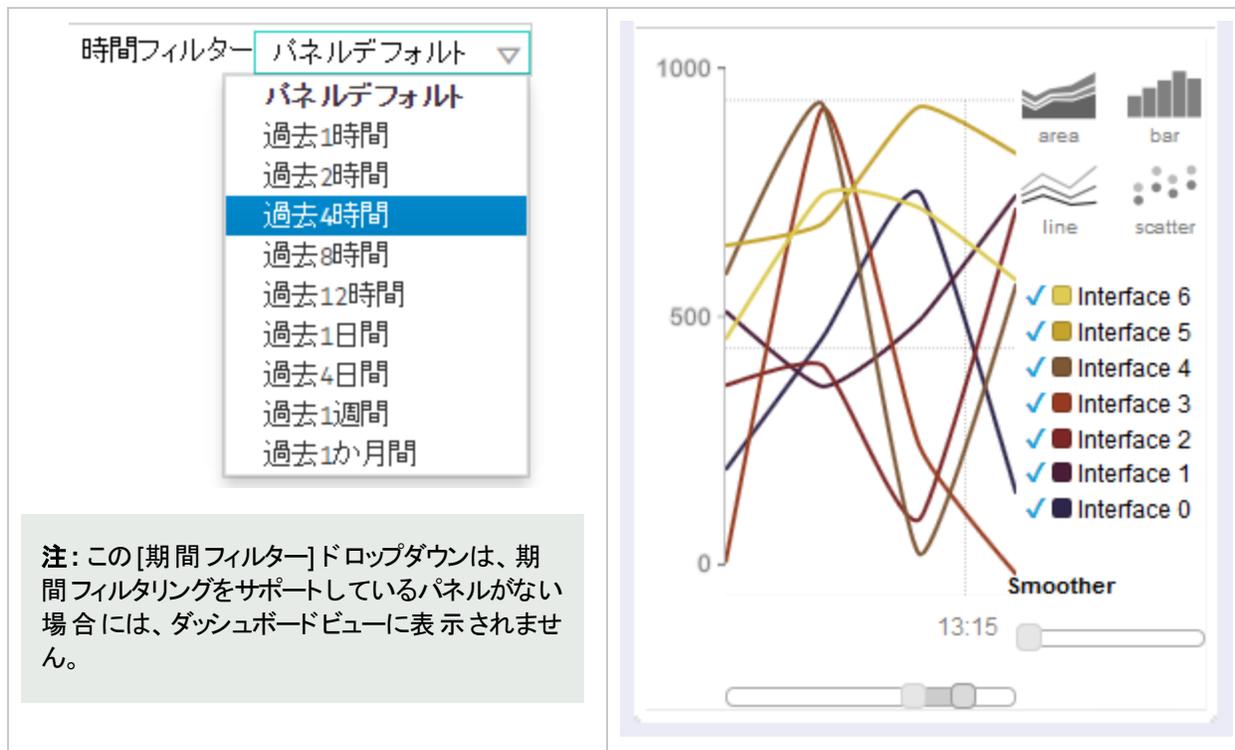
ヒント: ダッシュボードの表示後は、タイトルバーの階層リンクから前画面に戻ることができます。

ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:

ダッシュボードビューをカスタマイズする

ダッシュボードビューの一部のパネルは、**[時間フィルター]**を使用して特定の期間に対してフィルタリングできます。

ダッシュボードビューの右上隅にあるドロップダウン:	微調整バー:
---------------------------	--------



期間フィルター設定を認識するすべてのパネルには、ダッシュボードビュー上部の[期間フィルター]ドロップダウンで現在選択されている期間に応じてデータが表示され、パネルのツールバーの右上隅に🕒アイコンが表示されます。

▼ インフラストラクチャノードグループのノード



デフォルトでは、これらのパネルに過去4時間のデータが表示されます。

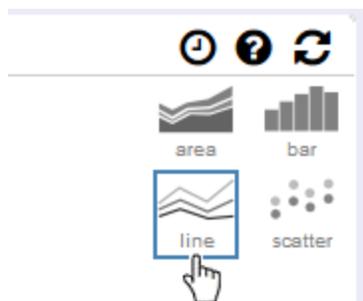
ダッシュボードビューは、以下の方法でカスタマイズできます。

- 「[グラフをカスタマイズする](#)」(60ページ)
- 「[ダッシュボードパネルを最小化または復元する](#)」(62ページ)

ダッシュボードの詳細については、[次を参照してください](#)。

グラフをカスタマイズする

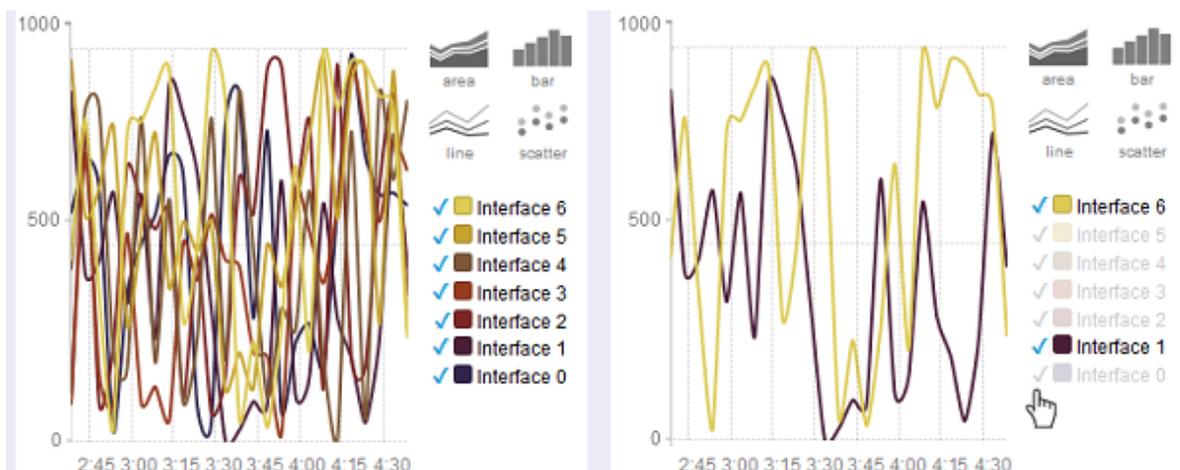
一部のダッシュボードパネルには、カスタマイズ可能な面グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ、または散布図が表示されます。パネルの右上部分にある次に示すいずれかのコントロールをクリックして、グラフのタイプを変更します(面グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ、散布図から選択します)。



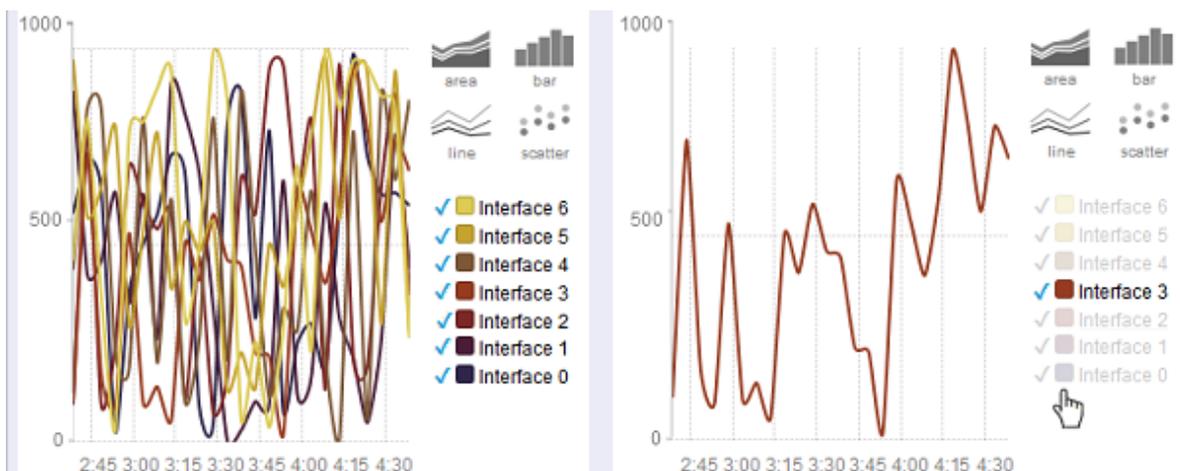
グラフをカスタマイズするには、以下の手順を実行します。

ヒント: グラフの凡例内の下線が付いた項目をクリックすると、そのオブジェクト固有の新しいダッシュボードが起動します。

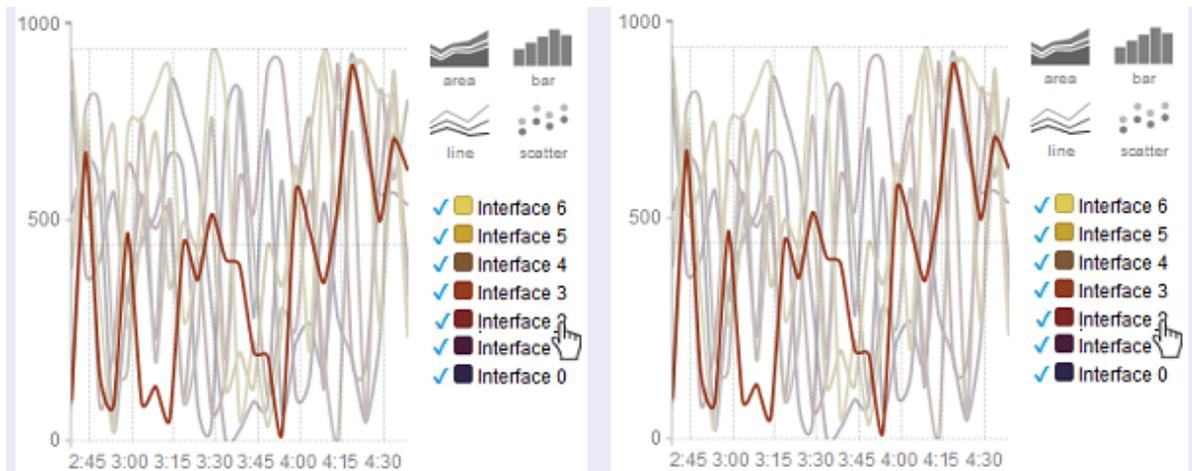
- グラフの凡例内のチェックマークをクリックすると、オブジェクトのサブセットが 表示または 非表示になります。



- グラフの凡例内の色タイルをクリックすると、即座に特定の1つのオブジェクトのみの表示になります。



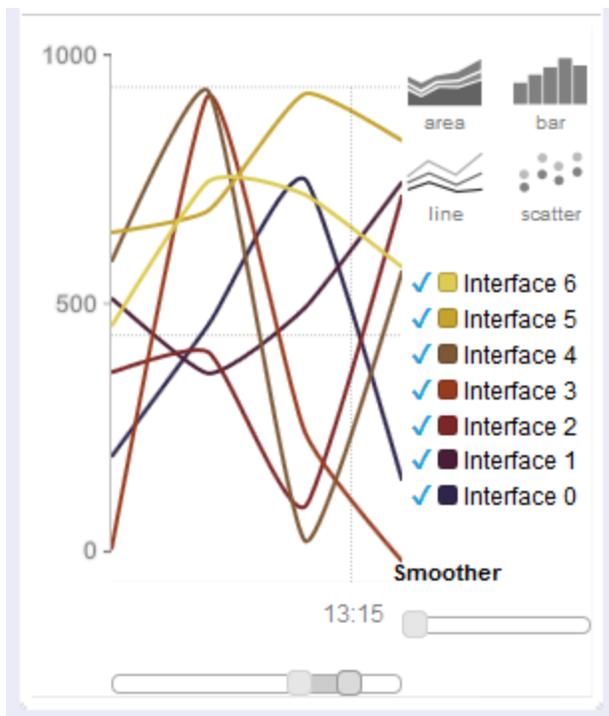
- カーソルを合わせることもカスタマイズできます。
 - コンポーネントリストにカーソルを合わせると、即座に特定の1つのコンポーネントのデータが表示されます。
 - グラフにカーソルを合わせると、特定の時間における特定の値が表示されます。



- スムーザーコントロール内のボタンをクリックしてドラッグすることにより、グラフの見た目を滑らかにします。よりスムーズ



- グラフの下にある時間見出し下のスライダー上のボタンをクリックおよびドラッグすると、特定の期間のみが表示されます。



ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:

ダッシュボードパネルを最小化または復元する

パネルのタイトルバーの左上隅にある  ボタンをクリックすると、ダッシュボードパネルを最小化できます。

▼ インフラストラクチャノードグループのノード



パネルのタイトルバーの左上隅にある  ボタンをクリックすると、ダッシュボードパネルを復元できます。

 RTT別の上位10のプロープ(ミリ秒)(平均)    

ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:

テーブルビューを使用する

テーブルビューではデータが表形式で表示されます。各行には、1つのオブジェクトに関するデータが表示されます。行が1つの画面に収まらない場合は、スクロールバーを使用してテーブルビューをスクロールできます。

テーブルがテーブルに設定された上限を超える行数を持つ場合は、テーブルビューをフィルタリングして行数を減らします。テーブルの行数が設定された上限を超えたことをNNMiによって示す方法の詳細については、「[ビューツールバーの使用](#)」(160ページ)を参照してください。テーブルビューをフィルタリングする方法は、「[テーブルビューをフィルタリングする](#)」(67ページ)を参照してください。

テーブルビューからは、ビュー表示パネルのツールバーでアクセスする機能に加えて、以下のタスクを実行できます。

- 「[列のサイズを変更する](#)」(63ページ)
- 「[列を非表示にする](#)」(64ページ)
- 「[列データをソートする](#)」(65ページ)
- 「[テーブルビューをフィルタリングする](#)」(67ページ)
- 「[テーブルデフォルトを復元する](#)」(81ページ)
- 「[テーブル情報をエクスポートする](#)」(82ページ)
- 「[アクションを起動する](#)」(11ページ)
- 「[オブジェクト情報にアクセスする\(フォームおよび\[分析\]ペイン\)](#)」(11ページ)

以下のカスタマイズは、ブラウザーの複数セッションにわたって保存されます。

- 列の幅
- 非表示の列
- ソートされた列およびソート順序
- 列のフィルター
- クイックフィルターの値
- ノードまたはインターフェイスグループのフィルター
- 期間フィルター(インシデント用)

保存可能なカスタマイズを含むテーブルの数についての詳細については、「[ビュー設定を制限する](#)」(83ページ)を参照してください。

列のサイズを変更する

マウスを使用して列のサイズを変更できます。

テーブル内の列のサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. サイズ変更アイコン(↔)が表示されるまで、列の端にマウスを重ねた状態にします。
2. 列の端を目的の幅にドラッグします。

関連トピック

[「列を非表示にする」\(64ページ\)](#)

[「列データをソートする」\(65ページ\)](#)

列を非表示にする

特定の列の情報をビューに表示する必要がなくなった場合には、指定した列を非表示にすることができます。

テーブル列を非表示にするには、次の操作を行います。

1. 目的の列を右クリックします。
2. [表示]を選択します。
列名のリストが表示されます。
3. 非表示にする列の名前の前にあるチェックボックス をクリックしてオフにします。

関連トピック

[「非表示の列を表示する」\(64ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(63ページ\)](#)

[「列データをソートする」\(65ページ\)](#)

非表示の列を表示する

非表示の列を表示するには、以下の手順を実行します。

非表示のテーブル列を表示するには、以下の手順を実行します。

1. 目的の列を右クリックします。
2. [表示]を選択します。
列名のリストが表示されます。
3. 表示する列の名前の前にあるチェックボックス をクリックしてオンにします。

関連トピック

[「列を非表示にする」\(64ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(63ページ\)](#)

[「列データをソートする」\(65ページ\)](#)

テーブルのすべての行を選択する

テーブル内の行をすべて選択する場合:

テーブル内の行をすべて選択するには、次の操作を実行します。

1. テーブル内の任意の行を選択します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - CTRL キーを押しながらかAを押します。
 - テーブルビューの任意の行を右クリックして、[すべて選択]を選択します。
3. テーブルビューデータが強調表示されます。

関連トピック

[「テーブルビューをフィルタリングする」\(67ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(64ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(63ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(81ページ\)](#)

列データをソートする

列をソートすることで、テーブルの最上位に最も重要な情報を表示できます。たとえば、危険域にあるすべてのノードを表示したい場合などがあります。また、ノードの連絡情報を検索する必要がある場合もあります。

列でソートするには、次の操作を行います。

1. ソートの対象となる列のヘッダーまたはデータセルを右クリックします。
2. 列を昇順にソートするには、[ソート:] → [昇順] を選択します。
3. 列を降順にソートするには、[ソート:] → [降順] を選択します。

列データをソートする場合は、以下のことに注意してください。

- 列のヘッダーをクリックすると、その列の値についてソートを開始できます。列のヘッダーを再度クリックすると、ソートの方向が逆になります。
- HPE Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)は、1つ以上の列でソートが無効になったテーブルビューを表示できます。
- 大量のデータを含むテーブル(たとえば、すべてのインターフェイスまたはインシデントが表示されているテーブル)をソートしようとすると、応答に時間がかかる場合があります。この場合は、ソートを実行する前に、まずテーブルの情報をフィルタリングし、対象となる値のみが含まれるようにすることをお勧めします。

ソートの詳細

テーブルの列をソートする場合は、以下のことに注意してください。

- 1度にソートできるのは、1列ヘッダーについてのみです。
- 大文字は、小文字とは別にソートされます。

注: インシデントビューの[割り当て先]列は、NNMi管理サーバーに設定されている言語ロケールに従ってアルファベット順にソートされます。アルファベット順を判断する際に、NNMiは実際のログイン名ではなくユーザーの表示名を使用します。大文字を小文字から切り離してソートすることはありません。NNMi管理者は、server.propertiesファイルを使用して、ソート順の言語ロケールを設定できます。詳細は、<http://softwaresupport.hpe.com> で入手可能な『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。デフォルトのソートロケール値は英語(en_US)です。

- NNMiでは、辞書式順序を使用してテーブル列をソートする場合があります。このソートによって、数字を含むオブジェクトIDなどの文字列は馴染みのない順番にソートされる場合があります。たとえば、sysObjectIDデータタイプをソートする場合は、以下のような順序でソートされると予測されるかもしれませんが、
 - 1.3.6.1.4.1.1
 - 1.3.6.1.4.1.3
 - 1.3.6.1.4.1.20

辞書式順序を使用すると、これらのシステムオブジェクトIDの値は、以下のようにソートされます。

- 1.3.6.1.4.1.1
- 1.3.6.1.4.1.20
- 1.3.6.1.4.1.3
- ステータスおよびifTypeなど、テーブルの列の中にはアルファベット順とは異なる自然なソート順を持つデータタイプがあります。これらの列をソートする場合、アルファベット順ではなく自然な順序または事前決定された順序に従って値がソートされます。たとえば、ステータス列をソートした場合、以下の順序 (昇順) あるいは逆の順序 (降順) で表示されます: **危険域、重要警戒域、警戒域、注意域、認識不能、無効、正常域**、およびステータスなし。
- ソートの選択は、ユーザーセッションにわたって保存されます。

関連トピック

[「テーブルビューをフィルタリングする」\(67ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(64ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(63ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(81ページ\)](#)

[「テーブルのすべての行を選択する」\(64ページ\)](#)

ビューの定期的なリフレッシュを停止する

テーブルビューに表示される項目のグループに対する定期的なリフレッシュは、いつでも手動で停止できます。

注: このグループのオブジェクトのステータスは、常に定期的には更新されます。そのため、更新が停止されるのは、NNMiデータベースに対して追加または削除されるネットワークオブジェクトのみです。

NNMiのステータスバーには、リフレッシュレートおよびリフレッシュレートが無効にされたかどうかが表示されます。

テーブルビューの定期的なリフレッシュを停止するには、次の操作を行います。

1. ビューツールバーで、 [X周期のリフレッシュを停止] アイコンをクリックします。表の右下隅にある**ステータスバー**に、次のメッセージが表示されます。

自動リフレッシュ: オフ

2. リフレッシュレートを再起動するには、ビューツールバーにある  [リフレッシュ] アイコンをクリックします。表の右下隅にあるステータスバーに、次のメッセージが表示されます。

自動リフレッシュ: 3分

注: リフレッシュレートは変更できません。NNMiは、各ビューに対してデフォルトのレートを設定します。

関連トピック

[「ビューをリフレッシュする」\(58ページ\)](#)

テーブルビューをフィルタリングする

テーブルビューを使用するときは、オブジェクトの属性値の1つを使ってビューをフィルタリングすることで、表示される情報の量を減らせます。たとえば、アクセス対象を、ステータスが**危険域**にあるインシデントだけにしたたり、説明が**インターフェイス停止中**であるインシデントだけにしたたりすることができます。

テーブルビューのフィルタリングは、テーブルがテーブルに設定された上限を超える行数を持つときに、行数を減らす場合にも役立ちます。テーブルの行数が設定された上限を超えたことをNNMiによって示す方法の詳細については、「[ビューツールバーの使用](#)」(160ページ)を参照してください。

初めにビューが表示されると、NNMiが提供するビュー定義に基づいてフィルタリングされた列のセットが表示されます。

注: ビューステータスバーには、そのビューで1つ以上のフィルターが設定されているかどうかが表示されます。[フィルター: オン] は、1つ以上のフィルターが設定されていることを意味します。これらのフィルターは変更できません。ビューの中には、NNMiが工場で設定され変更できないフィルターを提供するものもあります。たとえば、[自分の未解決インシデント] ビューは、[割り当て先] 属性でフィルタリングされますが、これは変更できません。[フィルター: オフ] は変更可能なフィルターがビューに設定されていないことを意味します。これらのビューには、工場で設定されたフィルターがある場合があります。

フィルターを指定する際には、以下のような操作を行うことができます。

ドロップダウンリスト選択フィルター

- 「[ノード/インターフェイスグループでテーブルをフィルタリングする](#)」(69ページ)
- 「[期間でフィルタリングする \(インシデントビューのみ\)](#)」(70ページ)

列選択フィルター

- 「[属性値でフィルタリングする](#)」(71ページ)
- 「[テーブルビューフィルターを変更する](#)」(76ページ)
- 「[フィルターを削除する](#)」(80ページ)
- 「[デフォルトフィルターの復元](#)」(80ページ)
- 「[現在のフィルター設定を表示する](#)」(80ページ)

フィルターを使用する際には、以下のことに注意してください。

- フィルタリングは、テーブル中の複数の列に対して行うことができます。このようなフィルターは、各列に対するフィルターの論理積として扱われます。
- HPE Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)は、1つ以上の列でフィルタリングが無効になったテーブルビューを表示できます。
- 時間の値を表す列をフィルタリングするとき、NNMiはミリ秒に合わせます (たとえば、**最後の発生**)。つまり、ミリ秒に一致する時刻のみがビューに含まれます。包含する時間値の範囲を広げる場合は、フィルターオプション [以下] または [以上] の使用を試みてください。
- NNMiでは、フィルターの操作やオプションに、データタイプごとに制限があります。属性のデータタイプに当てはまるフィルターオプションのみが表示されます。次表では、データタイプおよび有効なフィルターオプションを説明します。
- 表示されるフィルターオプションの部分集合は、データセル、列ヘッダー、空白行のいずれをクリックするかによって変化します。データセルのフィルターメニューには、選択したデータセルの値を使用するフィルターだけが表示されます。

利用可能なフィルターオプション

データタイプ	有効なフィルターオプション
すべてのデータタイプ	この値に等しい この値と等しくない 詳細については、「 属性値でフィルタリングする 」(71ページ)を参照してください。
テキスト (文字列) 数値 列挙リスト IPアドレス 日付と時刻	フィルターの作成...
論理データ型	trueである falseである
数値 (整数、IPアドレス、および日付)	この値以上 この値以下 詳細については、「 属性値でフィルタリングする 」(71ページ)を参照してください。

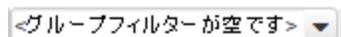
利用可能な追加フィルターオプション

データタイプ	有効なフィルターオプション
グループフィルター	ビュー表示パネルのツールバーの中に表示される、利用可能なノードおよびインターフェイスのドロップダウンメニューです。 グループフィルターの詳細については、「ノード/インターフェイスグループでテーブルをフィルタリングする」 (69ページ)を参照してください。
クイックフィルター	ビュー表示パネルのツールバーの中に表示される、特定の属性として可能なあらゆる値のドロップダウンメニューを提供します。これらのドロップダウンメニューは、ビューの名前に「～別」が含まれるテーブルビューに対して表示されます。
期間フィルター	インシデントビュー内のビュー表示パネルのツールバーの中にドロップダウンメニューを提供します。このフィルターには、インシデントビューをフィルタリングすることができるさまざまな期間のリストが一覧表示されます。使用できる値は以下のとおりです: 過去5分間 、 過去1時間 、 過去8時間 、 過去1日間 、 過去3日間 、 過去1週間 、 過去1か月間 、およびすべて。 詳細については、「 期間でフィルタリングする (インシデントビューのみ) 」(70ページ)を参照してください。

ノード/インターフェイスグループでテーブルをフィルタリングする

NNMiでは、ノードグループまたはインターフェイスグループでテーブルビューをフィルタリングできます。たとえば、重要なCiscoルーターすべてを表示したり、ネットワーク内のすべてのVoice-Over-IPインターフェイスを表示できます。

NNMi管理者がこれらのグループを作成します。これらのグループは、以下に示すように、ビューツールバーの「グループセレクター」ドロップダウンメニューリストにリストされています。



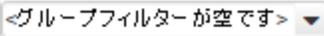
ノードグループのフィルターは、次のビューで使用できます。

- [ノード] ビュー
- [インターフェイス] ビュー
- [IPアドレス] ビュー
- [インシデント] ビュー
- [ノードセンサー] ビュー
- [物理センサー] ビュー

インターフェイスグループのフィルターは、以下のビューで使用できます。

- [インターフェイス] ビュー
- [IPアドレス] ビュー
- [カード] ビュー

ノードまたはインターフェイスグループでビューをフィルタリングするには、次の操作を行います。

1. 目的のビューに移動します。
 - a. [ワークスペース] ナビゲーションパネルで、[インベントリ] などのような、使用するビューを含むワークスペースを選択します。
 - b. たとえば [インターフェイス] のように、目的のビューを選択します。
2.  グループセレクタードロップダウンリストから、フィルターとして使用するノードグループまたはインターフェイスグループを選択します。

ノードグループまたはインターフェイスグループを使用する場合は、以下のことに注意してください。

- デフォルトでは、テーブルビューはノードグループまたはインターフェイスグループではフィルタリングされません。
- ビューがノードグループとインターフェイスグループの両方でフィルターできる場合、選択ボックスのリストには、まずノードグループ、次にインターフェイスグループが表示されます。各リストはアルファベット順で表示されます。
- フィルターが適用されると、ビューは自動的に更新され、適切なオブジェクトのセットが表示されます。
- ノードグループまたはインターフェイスグループフィルターを設定する場合、NNMiでは、グループフィルターと他のフィルターとをANDブール演算子で結合します。
- グループフィルターをクリアするには、選択値を「<Set node group filter>」または「<Set node or interface group filter>」に戻します。

関連トピック

[「属性値でフィルタリングする」\(71ページ\)](#)

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(76ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(80ページ\)](#)

[「デフォルトフィルターの復元」\(80ページ\)](#)

[「現在のフィルター設定を表示する」\(80ページ\)](#)

ノードグループおよびインターフェイスグループについて

ネットワークをモニタリングする際には、特定のノードまたはインターフェイスのセットに関する情報だけを表示することができます。ネットワーク管理者は、ノードまたはインターフェイスのセットをグループ化して、ノードグループまたはインターフェイスグループにすることができます。ノードグループには、たとえば重要なCiscoルーターすべて、あるいは特定のビル内にある全ルーターのグループなどがあります。また、Voice-Over-IPに使用するインターフェイスをすべて、ネットワーク内でグループ化するということがあります。

管理者は、以下のいずれかに基づいてノードグループを設定します。

- ベンダーまたはモデルSNMPオブジェクトID。
- 名前またはIPアドレスで識別される特定のデバイス。
- ノードグループを定義するためのワイルドカード文字で識別されるデバイス。組織で決められた命名方法に基づいてグループ化を行うこともできます。

注: ノードグループでは、NNMiがネットワークデバイスをモニタリングする方法を制御することもできます。たとえば管理者は、各グループに対して、固有の稼働状態のモニタリング間隔を設定することができます。

グループの定義を表示できます。

• ノードグループの定義

- a. ワークスペースのナビゲーションパネルで **[インベントリ]** ワークスペースを選択します。
- b. **[ノードグループ]** ビューを選択します。
- c. ノードグループを表す行をダブルクリックします。
- d. **[ノードグループ]** フォームが表示されます。
- e. 終了した後、**✕** **[閉じる]** アイコンをクリックします。

• インターフェイスグループの定義

- a. ワークスペースのナビゲーションパネルで **[インベントリ]** ワークスペースを選択します。
- b. **[インターフェイスグループ]** ビューを選択します。
- c. インターフェイスグループを表す行をダブルクリックします。
- d. **[インターフェイスグループ]** フォームが表示されます。

インターフェイスグループの定義は、チームが重要なネットワークデバイスを識別する方法と一致しています。各インターフェイスグループには1つ以上のインターフェイスタイプを指定することができます(業界標準のIANA ifType-MIB変数に基づく)。

- e. 終了した後、**✕** **[閉じる]** アイコンをクリックします。

ノードグループビューとインターフェイスグループには、特殊なアクションが用意されています。[「アクションを使用したタスクの実行」](#)を参照してください。

期間でフィルタリングする (インシデントビューのみ)

インシデントビューでは、期間によってビューをフィルタリングできます。期間によるフィルターを使用してフィルタリングを行うと、興味のある最新のインシデントに集中することができます。使用できる期間は次のとおりです。

- 過去5分間
- 過去1時間
- 過去8時間
- 過去1日間
- 過去3日間
- 過去1週間
- 過去1か月間
- すべて

注: ひと月は31日として定義されています。

属性値でフィルタリングする

属性 (列) の値に基づいてフィルターを指定する場合、オブジェクトインスタンス内の値を選択して値を指定することが必要なフィルターオプションや、[フィルターを作成...] ダイアログを開いて値を指定することが必要なフィルターオプションを使用します。属性に値が含まれるか否かに基づいてフィルターを指定することもできます。

- [「フィルター値を選択する」\(71ページ\)](#)
- [「値を指定するためのフィルターを作成する」\(72ページ\)](#)
- [「NULL値のフィルターを使用する」\(76ページ\)](#)

フィルター値を選択する

以下のフィルターオプションは、フィルタリングの対象として属性値を必要とします。

注: 以下にリストしたフィルターオプションを使用する場合は、最初に、フィルタリングするテーブル内の値を右クリックします。

フィルター設定

フィルターオプション	説明
この値に等しい	NNMiは、指定した属性値を含むインスタンスのみを表示します。
この値と等しくない	NNMiは、属性値に、指定した値を含まないインスタンスのみを表示します。 このフィルターには複数の値を指定できますが、一回のオプション選択で入力できる値は1つだけです。 注: 特定の属性では、このオプションによって「空白」またはnullの値をフィルタリングすることもできます。
この値以上	NNMiは、指定した値以上の属性値を含むインスタンスのみを表示します。
この値以下	NNMiは、指定した値以下の属性値を含むインスタンスのみを表示します。
trueである	NNMiは、属性値に値 true を含むインスタンスのみを表示します。
falseである	NNMiは、属性値に値 false を含むインスタンスのみを表示します。

フィルターはいつでも変更できます。NNMiは、ユーザーごとにフィルター設定を保存するため、指定したフィルター設定は後続のユーザーセッション中も保持されます。Webブラウザごとに、カスタマイズした設定を保存できるテーブルの数についての詳細については、「[ビュー設定を制限する](#)」(83ページ)を参照してください。テーブルビューのカスタマイズした設定を削除する方法は、「[テーブルデフォルトを復元する](#)」(81ページ)を参照してください。

テーブル内の属性値を選択してビューをフィルタリングするには、次の操作を行います。

1. フィルタリングの対象となる属性値を右クリックします。
2. 以下のフィルターオプションの中から1つ選択します。
 - この値に等しい
 - この値と等しくない
 - この値以上
 - この値以下
 - trueである
 - falseである

NNMiは、指定または選択したフィルターオプションおよび属性値に基づいて選択された、全インスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルタリングが行われた各列は、 [フィルター] アイコンによって示されます。

関連トピック

[「NULL値のフィルターを使用する」](#)(76ページ)

値を指定するためのフィルターを作成する

NNMiを使用すると、フィルタリングの対象となる属性値を設定できます。属性値は、以下のタイプの値のフィルターを作成することによって設定します。

- テキスト (文字列)
- 数値
- 列挙リスト
- IPアドレス
- 日付と時刻

1つ以上の値を指定して情報をフィルタリングするには、次の操作を行います。

1. フィルタリングの対象となる列または属性の列を右クリックします。
2. **[フィルターの作成...]**を選択します。

NNMiは、選択した列のデータ型に対応する**[フィルター]**ダイアログを表示します。
3. 表示される**[フィルターの作成...]**ダイアログで、以下の手順を実行します。
 - a. フィルターオプションを選択します ([「フィルターオプション」](#)表を参照)。
 - b. 有効な値を1つ以上指定します ([「有効なフィルターの値」](#)を参照)。

NNMi管理者で、ユーザー名の情報の格納にLightweight Directory Access Protocol (LDAP)を使用している場合、NNMiでは設定済みの表示名がインシデントの**[割り当て先]**列に表示されますが、

ユーザーアカウントを識別するユーザー名は内部に保持されます。インシデントの[割り当て先]列にフィルターを指定するには、以下のいずれかの操作を行います。

- ユーザー名をフィルター値として指定します。
- フィルターを設定する[割り当て先]を右クリックします。この操作の後、[フィルター] > [この値に等しい]または[フィルター] > [この値と等しくない]を選択します。NNMiによって、保持されたユーザー名の値を使用してフィルターが作成されます。

NNMi管理者の場合、インシデントの[割り当て先]表示名を設定する際の詳細については、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。

4. [適用]をクリックします。

NNMiは、指定または選択したフィルターオプションおよび属性値に基づいて選択された、全インスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルタリングが行われた各列は、 [フィルター] アイコンによって示されます。

テキスト (文字列) フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
文字列で始まる	NNMiは、属性値が指定したテキスト文字列値で始まるインスタンスのみを表示します。 このオプションは、特定の文字列の値で始まるエントリの検索に使用します。たとえば、Cisco製のデバイスすべてがテキスト文字列「Cisco」で始まる場合に、すべてのCisco製のデバイスを検索するには、値の文字列「Cisco」を使用できます。
文字列を含む	NNMiは、属性値に、入力したテキスト文字列値を含むインスタンスのみを表示します。 文字列の値には、1つ以上の文字にマッチする、ワイルドカード文字 (*) を使用することができます。たとえば、 c*m は以下の値にマッチします。 3com9000 callmgr1
文字列に一致する	NNMiは、属性値が入力したテキスト文字列値と一致するインスタンスのみを表示します。 疑問符 (?) は、1つの文字に一致させるために使用します。 アスタリスク (*) は、0個以上の文字にマッチする、ワイルドカード文字として使用します。
以下	NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも前にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。
以上	NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。

数値フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定した数値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、指定した数値を含まないインスタンスのみを表示します。 注: 特定の属性では、このオプションによって「空白」またはnullの値をフィルタリングすることもできます。
以上	NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。
以下	NNMiは、入力した数値以下のすべての値を表示します。

列挙リストフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、選択した値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、選択した値を含まないインスタンスのみを表示します。 注: 特定の属性では、このオプションによって「空白」またはnullの値をフィルタリングすることもできます。

IPアドレスフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定したIPアドレス値を含むインスタンスのみを表示します。
範囲	NNMiは、指定したIPアドレス範囲内のインスタンスのみを表示します。
空である	NNMiは、この属性に対する値を含まないインスタンスのみを表示します。
空でない	NNMiは、この属性に対する値を含むインスタンスのみを表示します。

日付と時刻のフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
次の日時以降	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以降のインスタンスのみを表示

日付と時刻のフィルターのオプション (続き)

フィルターオプション	説明
	します。
次の日時以前	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以前のインスタンスのみを表示します。
次の日時の間	NNMiは、日付と時刻の値が、最初に指定した日付と時刻より後で、2番目に指定した日付と時刻より前のインスタンスのみを表示します。 between演算子を使用するのは、指定した時間内または日数内のインスタンスをフィルタリングする場合です。

有効なフィルターの値

データタイプ	説明
ワイルドカード	%または*の指定は、その位置に複数の文字が現れる可能性があることを意味します。 ?または_の指定は、その位置に文字が1つだけ現れることを意味します。
テキスト (文字列)	NNMiで検索する値を入力します。テキスト (文字列) フィルターは大文字と小文字を区別します。
数値	NNMiで検索する数値を入力します。複数の数値を入力する場合は、カンマで区切ったリストを入力します。
列挙リスト	列挙リストから1つ以上の値を選択します。
IPアドレス	2つのIPアドレスを「-」で区切るか、CIDR (Classless Inter-Domain Routing) 記法を使用して、IPアドレスまたはアドレス範囲を入力します。 IPv4の例: 10.168.0.1 - 10.168.13.1 10.2.120.0/21 IPv6の例 (NNMi Advanced): 2001:d88:a00::- 2001:d88:aff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff 2001:d88:0:a00::/56
日付と時刻	日付のみ、時刻のみ、あるいは日付と時刻で入力します。日付のみを入力する場合は、日が必要です。時刻のみを入力する場合は、分が必要です。 注: NNMiは、真夜中 (すなわち、0000時) から始まる24時間時計を使用します。たとえば、午前1時は0100時、午前2時は0200時、午後11時は2300時です。

関連トピック

[「フィルター値を選択する」\(71ページ\)](#)

[「NULL値のフィルターを使用する」\(76ページ\)](#)

NULL値のフィルターを使用する

NNMiでは以下のフィルターオプションが備わっており、属性が値を含むか否かに基づいてビューをフィルタリングできます。以下のフィルターオプションは、値を必要としないデータ型に対して表示されます。

- 空でない
- 空である

NULL値に基づいてビューをフィルタリングするには、次の操作を行います。

1. フィルタリングの対象となる列または属性の値を右クリックします。
2. [下の表](#)で説明するフィルターオプションの中から選択します。
3. NNMiは、フィルターオプションおよび指定または選択した任意の属性値に基づいて選択された、すべてのインスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルタリングが行われた各列は、 [フィルター] アイコンによって示されます。

フィルターはいつでも変更できます。NNMiは、ユーザーごとにフィルター設定を保存するため、指定したフィルター設定は後続のユーザーセッション中も保持されます。

フィルターの選択肢

フィルターオプション	説明
空でない	NNMiは、この属性に対する値を含むインスタンスのみを表示します。
空である	NNMiは、この属性に対する値を含まないインスタンスのみを表示します。

関連トピック

[「フィルター値を選択する」\(71ページ\)](#)

テーブルビューフィルターを変更する

テーブルビューのフィルターはいつでも変更できます。NNMiは、ユーザーごとにフィルター設定を保存するため、指定したフィルター設定は後続のユーザーセッション中も保持されます。

フィルターを変更するには、次の操作を行います。

1. フィルタリングの対象となる列または属性の列を右クリックします。
2. [\[フィルターの変更...\]](#)を選択します。
以下のことに注意してください。
 - 選択したテーブル列に対してフィルターを定義していない場合、[\[フィルターの変更...\]](#) オプションは表示されません。
 - [\[この値と等しくない\]](#) フィルターを使用した既存の属性値がある場合、追加属性値として [\[この値とも等しくない\]](#) を選択できます。
 - NNMiは、選択した列のデータ型に対応する [\[フィルター\]](#) ダイアログを表示します。テキスト (文字列) ま

またはIPアドレスデータタイプの [この値と等しくない] オプションを使用してフィルターが作成された場合、NNMiは現在のフィルターの値を含めません。

3. 表示された [フィルターの変更...] ダイアログで、以下の手順を実行します。
 - a. フィルターオプションを選択します (「[フィルターオプション](#)」表を参照)。
 - b. 有効な値を1つ以上指定します (「[有効なフィルターの値](#)」を参照)。

4. [適用] をクリックします。

NNMiは以前のフィルターを新しいフィルター値で置き換えます。NNMiは、指定または選択したフィルターオプションおよび属性値に基づいて選択された、全インスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルタリングが行われた各列は、 [フィルター] アイコンによって示されます。

テキスト (文字列) フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
文字列で始まる	<p>NNMiは、属性値が指定したテキスト文字列値で始まるインスタンスのみを表示します。</p> <p>このオプションは、特定の文字列の値で始まるエントリの検索に使用します。たとえば、Cisco製のデバイスすべてがテキスト文字列「Cisco」で始まる場合に、すべてのCisco製のデバイスを検索するには、値の文字列「Cisco」を使用できます。</p>
文字列を含む	<p>NNMiは、属性値が入力したテキスト文字列値と一致するインスタンスのみを表示します。</p> <p>文字列の値には、ワイルドカード (*) を使用することもできます。</p> <p>ワイルドカードを指定しないと、フィルターオプションは入力した値の文字列に完全に一致する値を検索します。たとえば、以下の値のリストからCisco1デバイスのみを検索する場合は、値の文字列として「Cisco1」を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco1 • Cisco12 • Cisco123 <p>この例では、NNMiはCisco12およびCisco123は含みません。</p>
文字列に一致する	<p>NNMiは、属性値が入力したテキスト文字列値と一致するインスタンスのみを表示します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注: NNMiに* (アスタリスク) を照合させる場合以外は、文字列値内でアスタリスク (*) を使用しないでください。</p> </div>
以下	<p>NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも前にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注: テキスト (文字列) 列の値の中にはこのオプションが含まれないものがあります。</p> </div>
以上	<p>NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後</p>

テキスト (文字列) フィルターのオプション (続き)

フィルターオプション	説明
	<p>にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。</p> <p>注: テキスト (文字列) 列の値の中にはこのオプションが含まれないものがあります。</p>

数値フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定した数値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、指定した数値を含まないインスタンスのみを表示します。
以上	NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。
以下	NNMiは、入力した数値以下のすべての値を表示します。

列挙リストフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、選択した値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、選択した値を含まないインスタンスのみを表示します。

IPアドレスフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定したIPアドレス値を含むインスタンスのみを表示します。
範囲	NNMiは、指定したIPアドレス範囲内のインスタンスのみを表示します。

日付と時刻のフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
次の日時以降	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以降のインスタンスのみを表示します。
次の日時以前	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以前のインスタンスのみを表示します。
次の日時の間	NNMiは、日付と時刻の値が、最初に指定した日付と時刻より後で、2番目に指定した日付と時刻より前のインスタンスのみを表示します。 between演算子を使用するのは、指定した時間内または日数内のインスタンスをフィルタリングする場合です。

有効なフィルターの値

データタイプ	説明
テキスト (文字列)	NNMiで検索する値を入力します。テキスト (文字列) フィルターは大文字と小文字を区別します。
数値	NNMiで検索する数値を入力します。複数の数値を入力する場合は、カンマで区切ったリストを入力します。
列挙リスト	列挙リストから1つ以上の値を選択します。
IPアドレス	2つのIPアドレスを「-」で区切るか、CIDR (Classless Inter-Domain Routing) 記法を使用して、IPアドレスまたはアドレス範囲を入力します。 IPv4の例: 10.168.0.1 - 10.168.13.1 10.2.120.0/21 IPv6の例 (NNMi Advanced): 2001:d88:a00::- 2001:d88:aff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff 2001:d88:0:a00::/56
日付と時刻	日付のみ、時刻のみ、あるいは日付と時刻で入力します。日付のみを入力する場合は、日が必要です。時刻のみを入力する場合は、分が必要です。 注: NNMiは、真夜中 (すなわち、0000時) から始まる24時間時計を使用します。たとえば、午前1時は0100時、午前2時は0200時、午後11時は2300時です。

関連トピック

[「ノード/インターフェイスグループでテーブルをフィルタリングする」\(69ページ\)](#)

[「属性値でフィルタリングする」\(71ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(80ページ\)](#)

[「デフォルトフィルターの復元」\(80ページ\)](#)

[「現在のフィルター設定を表示する」\(80ページ\)](#)

フィルターを削除する

NNMiでは、選択した列に対するフィルターはいつでも削除できます。

フィルターを削除するには、次の操作を行います。

1. フィルターを削除する列を右クリックします。
2. ドロップダウンメニューから **[フィルターの削除]** を選択します。

NNMiは、その列に設定されていた既存のフィルターをすべて削除します。

関連トピック

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(76ページ\)](#)

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(76ページ\)](#)

[「デフォルトフィルターの復元」\(80ページ\)](#)

デフォルトフィルターの復元

ビューのデフォルトフィルターは復元できます。このオプションは、現在のビューに定義したフィルターをすべて削除します。

デフォルトのフィルター設定を復元するには、次の操作を行います。

テーブルのツールバーで、 **[デフォルトフィルターの復元]** アイコンをクリックします。

注: フォーム内でテーブルを表示している場合は、 **[新しいウィンドウでビューを表示]** アイコンを使用してそのテーブルを新しいウィンドウで開き、 **[デフォルトフィルターの復元]** アイコンをクリックします。

すべてのフィルターがデフォルト値にリセットされ、現在のビューに対して作成したフィルターはすべて削除されます。

注: ビュー内で選択している内容はすべて失われます。

関連トピック

[「現在のフィルター設定を表示する」\(80ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(80ページ\)](#)

現在のフィルター設定を表示する

作成したフィルターを把握するには、列に設定されたフィルターを列ベースで表示できます。

列のフィルターを表示するには、次の操作を行います。

目的の列にマウスを重ねます。

以下の例は、フィルターオプションおよびそのフィルターに入力された文字列を表わしています。

以下の表では、各フィルターオプションに使用される記号を説明しています。

フィルターの定義

記号	フィルターオプション
<=	この値 以下
>=	この値 以上
=	この値に等しい
NOT IN	この値と等しくない
IS NULL	空である
IS NOT NULL	空でない
LIKE	文字列を含む... 文字列で始まる... 文字列に一致する...

注: パーセント記号 (%) は、ワイルドカード文字を表します。

関連トピック

[「デフォルトフィルターの復元」\(80ページ\)](#)

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(76ページ\)](#)

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(76ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(80ページ\)](#)

テーブルデフォルトを復元する

以下の表に記載されたような種類のテーブルビューのカスタマイズを削除することができます。カスタマイズが不要になった場合、または保存可能なカスタマイズの最大数に達した場合には、カスタマイズを削除してください。保存可能なカスタマイズを含むテーブルの数についての詳細については、「[ビュー設定を制限する](#)」(83ページ)を参照してください。

テーブルビュー設定の限界に達する恐れがある場合は、重要でないテーブルのビュー設定を削除します。

注:  [デフォルトフィルターの復元] アイコンは、フォーム内のテーブルビューには表示されません。フォームに表示されているテーブルビューから設定を削除する場合は、 [新しいウィンドウでビューを表示] アイコンを使用して新しいウィンドウでテーブルビューを開き、これらの操作を行います。

デフォルトのテーブルビュー設定を復元

削除できるもの	方法	説明
テーブルビューフィ	ビュー表示パネルの	テーブルビューのフィルターへのすべてのカスタマイズを削除し、

デフォルトのテーブルビュー設定を復元 (続き)

削除できるもの	方法	説明
ルターのみ	ツールバーから、  [デフォルトフィルターの復元]を選択します。	ビューをそのデフォルトフィルター設定でリフレッシュします。
すべてのテーブルビューに対するすべてのカスタマイズ	[ビュー] > [デフォルトのビュー設定をすべて復元]を選択します。	すべてのテーブルビューのカスタマイズに関するすべてのカスタマイズ(およびcookie)を削除します。NNMiがcookieを使用してテーブルビューのカスタマイズを保存する方法の詳細については、「 ビュー設定を制限する 」(83ページ)を参照してください。

関連トピック

[「テーブルビューをフィルタリングする」](#)(67ページ)

[「列を非表示にする」](#)(64ページ)

[「列のサイズを変更する」](#)(63ページ)

[「テーブルデフォルトを復元する」](#)(81ページ)

[「テーブルのすべての行を選択する」](#)(64ページ)

テーブル情報をエクスポートする

テーブルビューの内容をエクスポートして他のアプリケーションで使用できます。選択した行のみをエクスポートするか、テーブル内のすべての行をエクスポートするかを選択できます。

注: テーブル情報をエクスポートするには、最低でもオペレーターレベル1のロールが必要です。

テーブル情報を印刷する場合は、以下のことに注意してください。

- テーブル情報の最初の列は、エクスポートされるバージョンには表示されません。この列の内容は、選択を目的としたものです。
- ホスト名のリストを得るなど、追加の編集や処理のために、テーブルデータをMicrosoft Excelなどの他のアプリケーションにコピー&ペーストすることができます。

選択したテーブルの行をエクスポートするには、以下の手順を実行します。

1. エクスポートする行を選択します(複数行選択可)。
2. 選択した行を右クリックします。
3. **[CSVにエクスポート]**を選択します。
[CSVにエクスポート] ダイアログが表示されます。
4. エクスポートデータにテーブル列見出しを含めるには、 **[列ヘッダーを含める]** チェックボックスをクリックしてオンにします。
5. NNMiは、日付と列挙値をローカライズ形式 (Jul 12, 2010 10:07 AM) と処理前の形式 (1278950859739) の両方で格納します。デフォルトでは、NNMiは日付と列挙値についてローカライズされた(人間が判読できる)形式のみをエクスポートします。

日付と列挙値の両方についてローカライズされた(人間が判読できる)形式のみを含めるには、**[ローカライズされた(人間が読める)データを使用]** オプションを選択します。

日付と列挙値の両方について処理前の(コンピューターが判読できる)形式のみを含めるには、**[処理前の(コンピューターで読み取れる)データを使用]** オプションを選択します。

6. **[<file_name>を開く]** ダイアログで、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - a. ファイルの内容を表示するには、**[プログラムから開く]** を選択します。
 - b. 指定したファイル名でファイルを保存するには、**[ファイルを保存]** を選択します。

テーブルのすべての行をエクスポートするには、以下の手順を実行します。

1. テーブル内の任意の列を右クリックします。
2. **[すべて選択]** をクリックします。
3. 行を右クリックします。
4. **[CSVにエクスポート]** を選択します。
[CSVにエクスポート] ダイアログが表示されます。
5. エクスポートデータにテーブル列見出しを含めるには、 **[列ヘッダーを含める]** チェックボックスをクリックしてオンにします。
6. NNMiは、日付と列挙値をローカライズ形式 (Jul 12, 2010 10:07 AM) と処理前の形式 (1278950859739) の両方で格納します。デフォルトでは、NNMiは日付と列挙値についてローカライズされた(人間が判読できる)形式のみをエクスポートします。
日付と列挙値の両方についてローカライズされた(人間が判読できる)形式のみを含めるには、**[ローカライズされた(人間が読める)データを使用]** オプションを選択します。
日付と列挙値の両方について処理前の(コンピューターが判読できる)形式のみを含めるには、**[処理前の(コンピューターで読み取れる)データを使用]** オプションを選択します。
7. **[<file_name>を開く]** ダイアログで、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - a. ファイルの内容を表示するには、**[プログラムから開く]** を選択します。
 - b. 指定したファイル名でファイルを保存するには、**[ファイルを保存]** を選択します。

関連トピック

[「テーブルビューをフィルタリングする」\(67ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(64ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(63ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(81ページ\)](#)

[「テーブルのすべての行を選択する」\(64ページ\)](#)

ビュー設定を制限する

NNMiは、以下の種類のテーブルビュー設定を自動的に保存します。

- 列の幅
- 非表示の列
- ソートされた列およびソート順序
- フィルター

テーブルビューをカスタマイズするには、以下のことに注意してください。

- 各テーブルのすべての設定は、そのテーブルに対応するcookieの中に保存されます。
- 設定を保存できるテーブルの数、および制限に達した場合の動作は、使用するブラウザに依存します。Internet Explorerでは、最も古いcookieが破棄され、カスタマイズの作成を続行できます。Internet Explorerを使用している場合は、cookieの制限値は48です。
Mozilla Firefoxを使用している場合、cookieの上限数は48です。48の上限に達すると、Mozilla Firefoxは、最新のcookieを作成する前に、最後から2番目のcookieを削除します。
- テーブルビューの設定は、オペレーティングシステムの各ユーザーに特有のものです。そのため、別のオペレーティングシステムにログオンする場合は、ビューの設定が異なることとなります。異なるNNMiユーザーとしてサインインしても、オペレーティングシステムが同じであれば、ビューの設定は同じです。

注: NNMiでは、最後のcookieおよび後続のテーブル設定が保存される際に、警告メッセージが表示されます。

[ツール] > [デフォルトのビュー設定をすべて復元] を使用して、すべてのテーブルのカスタマイズを削除できます。詳細については、「[テーブルデフォルトを復元する](#)」(81ページ)を参照してください。

関連トピック

- [「デフォルトフィルターの復元」](#)(80ページ)
- [「列を非表示にする」](#)(64ページ)
- [「列のサイズを変更する」](#)(63ページ)
- [「テーブルのすべての行を選択する」](#)(64ページ)

マップビューを使用する

マップビューは、ネットワークに関する情報を表示する強力なツールです。マップビューでは、ノード、インターフェイス、IPアドレス、およびサブネットがマップ上の記号として表現されます。ノードおよびインターフェイス間のラインは、これらのオブジェクト間の接続または関係を表わします。

各記号の背景の形状は、ルーターやスイッチなどのデバイスの種類を示します。詳細については、「[マップシンボルについて](#)」(92ページ)を参照してください。この背景の形状の色は、デバイスの現在のステータスを示します。マップの色に関する詳細については、「[ステータス色について](#)」(85ページ)を参照してください。

マップでは、正面イメージが背景形状の上に配置されます。前面のイメージは、ネットワークデバイスの製造元およびモデルを識別します。

マップビューには、[トポロジマップ] および [トラブルシューティング] ワークスペースからアクセスします。また、マップビューは、テーブルビューから **[アクション]** メニューを使用して開くこともできます。詳細については、「[NNMiが提供するマップにアクセスする](#)」(114ページ)および「[アクションを使用したタスクの実行](#)」(176ページ)を参照してください。

ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、**[アクション]** メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

表示中のマップのタイプに従って、NNMiは、マップ上の他の種類のオブジェクトを記述するために追加ルールを使用します。

- [「ノードグループマップオブジェクト」](#)(98ページ)
- [「レイヤー2マップオブジェクト」](#)(100ページ)
- [「レイヤー3マップオブジェクト」](#)(103ページ)

「パスビューマップオブジェクト」(104ページ)

注:一部のNNMiユーザーは(割り当てられたNNMiロールに応じて)、ノードその他のオブジェクトをNNMiデータベースから削除することができます。☑ [リフレッシュ] アイコンを使用してマップがリフレッシュされるまで、削除されたノードはすべてのNNMiユーザーに対して透明なアイコンで表示されます。リフレッシュすると、削除されたノードはマップから除去されます。NNMiは、[検出の初期進行状態]と[ネットワークの概要]マップを除き、マップビューで接続性またはノード集合を自動的にリフレッシュしません。

マップビューの中では、次の操作を実行できます。

- 「オブジェクト情報にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン)」(11ページ)
- 「ビューをリフレッシュする」(58ページ)
- 「マップレイアウトを変更する」(106ページ)
- 「ズームの倍率を調整する」(109ページ)
- 「マップをパン表示する」(110ページ)
- 「[概要]ペインの位置を設定する」(111ページ)
- 「VLANメンバーの強調表示オプションの選択」(111ページ)
- 「レイヤー2マップでのVLANメンバーの強調表示」(112ページ)
- 「マップのノードステータスをリフレッシュする」(113ページ)
- 「マップのツールのヒント情報を制御する」(113ページ)

Mozilla Firefoxブラウザの使用中にタイムアウトの問題(たとえば、マップが表示される前に[続行]をクリックするように求められる)が発生する場合は、「Mozilla Firefoxのタイムアウト間隔を設定する」(5ページ)を参照してください。

関連トピック

「テーブルビューを使用する」(63ページ)

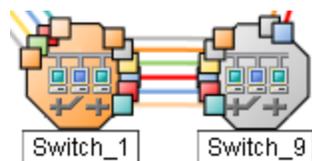
「ワークスペースについて」(18ページ)

マップについて

NNMiが提供するマップのコンテンツの解釈法を理解するには、以下のことを知る必要があります。

ステータス色について

各マップシンボルの背景形状の色は、ノードの最新の稼働状態ステータスを表します。各接続アイコン(線)の色は、2つのノード間における通信の最新の稼働状態を表します(各インターフェイスまたは関連するIPアドレスのステータスの評価により決定されます)。接続線の終端にあるインターフェイスアイコン(小さな四角形)またはIPアドレスアイコン(小さな六角形)の色によって、その最新の稼働状態も示されます。例:



NNMiは、次のように、オブジェクトの該当するステータスを計算します。

- [「オブジェクトのステータス色」\(86ページ\)](#)
- [「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 \(NNMi Advanced\)」\(87ページ\)](#)
- [「ネットワーク接続のステータスの色」\(88ページ\)](#)

ヒント: NNMiのCausal Engineは、各オブジェクトのステータス値を計算するためのデータを収集します。このデータとともに、ステートポラーにより収集された状態の情報を使用して、Causal Engineは各ノード、インターフェイス、およびSNMPエージェントのステータスを計算します。

- 状態 = NNMi State Pollerによって提供され、各オブジェクトに関して常に最新の状態となる値。
- ステータス = [システム情報] ダイアログの[コーザルエンジン] タブにある入力処理の遅延に一覧表示されている時間だけ遅れて実行される値。[「システム情報:\[コーザルエンジン\] タブ」](#)および[「デバイスの現在のステータスを確認する」](#)を参照してください。

オブジェクトのステータス色

NNMiでは、ネットワーク内のノード (デバイス) を表すマップオブジェクトの背景形状内にステータス色が表示されます。

以下の表に、表示されるステータス色の意味を説明します。

背景形状のステータス色

色	意味	説明
	認識不能	オブジェクトに到達できず、ポーリングが不可能であることを示します。
	正常域	関連オブジェクトに関する既知の問題がないことを示します。
	注意域	関連オブジェクトに関する問題が存在する可能性を示します。
	警戒域	NNMiが、関連オブジェクトに関する問題を検出し、さらに調査が必要であることを示します。
	重要警戒域	NNMiが関連オブジェクトに関する問題を検出し、危険域になる前にその問題を解決する必要があることを示します。
	危険域	NNMiが関連オブジェクトに関する問題を検出し、すぐに対処が必要なことを示します。
	無効	オブジェクトが管理上無効になっていることを示します。
	ステータスなし	以下のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • NNMiの現在の設定では、このオブジェクトはモニタリングから除外されています。オブジェクトが[非管理対象]、[サービス停止中]、または[スケジュール済みのノードの停止]に設定されているため、ステータスは計算されません。 • NNMiデータベースにオブジェクトが追加されたばかりで、Causal Engineがオブジェクトの稼働状態ステータスをまだ計算していません。

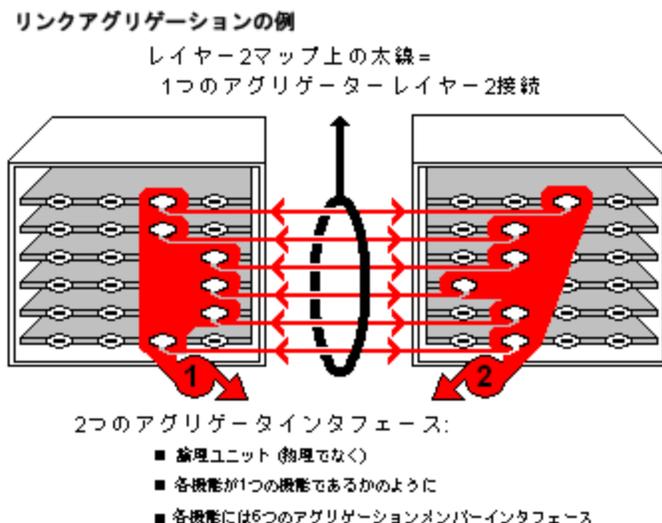
関連トピック

[「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 \(NNMi Advanced\)」\(87ページ\)](#)

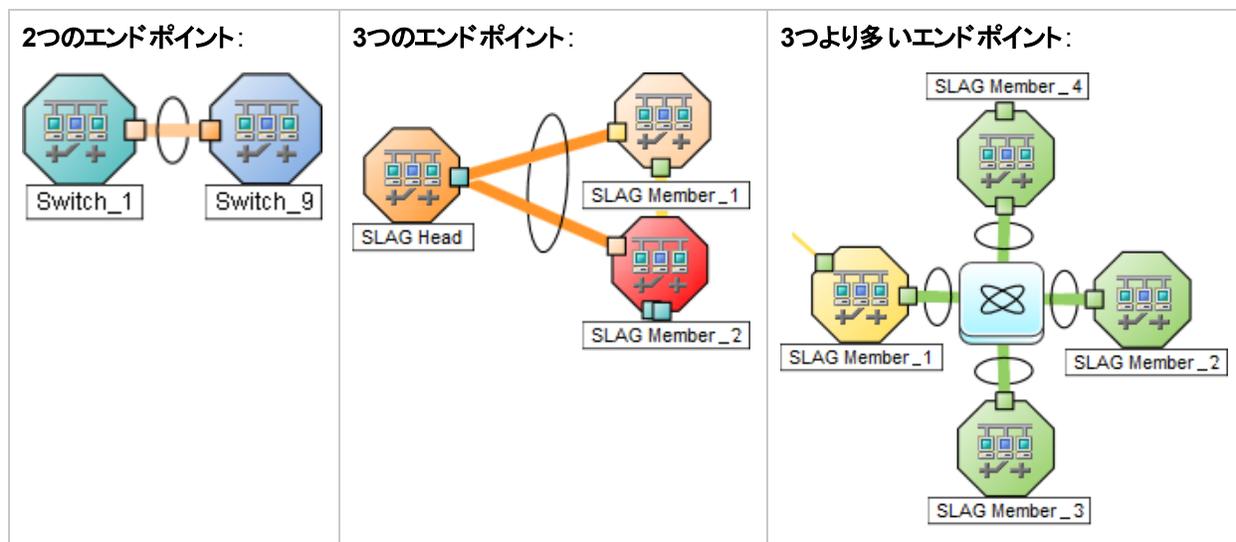
[「ネットワーク接続のステータスの色」\(88ページ\)](#)

アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 (NMMi Advanced)

リンクアグリゲーションプロトコルを使用すると、ネットワーク管理者はスイッチ上にインターフェイスのセットを1つのものとして機能するように設定できます。複数のインターフェイスをまとめるこの手法によって、帯域幅が広がり、データ転送速度が向上し、冗長性がもたらされます。



レイヤー-2マップでは、楕円が重ねられた太い線は**リンクアグリゲーション**¹または**分割リンクアグリゲーション** (1つとして機能する複数のレイヤー-2接続のグループ) を表します。太い線の両端のいずれかにあるインターフェイスを表すアイコンはアグリゲーションインターフェイス (1つとして機能する数多くの物理インターフェイスで構成される論理インターフェイス) です。



詳細については、「[レイヤー-2マップオブジェクト](#)」(100ページ)を参照してください。

¹複数のインターフェイス (アグリゲーションメンバーインターフェイス) が1つのインターフェイス (アグリゲーターインターフェイス) として機能するように設定するためにスイッチで使用されるプロトコル。2つのアグリゲーターインターフェイスで接続を確立する場合、この接続はアグリゲーターレイヤー-2接続になります。アグリゲーターレイヤー-2接続はレイヤー-2の近隣接続ビューマップに太線で表示されます。また、各終端 (アグリゲーターインターフェイス) には [インターフェイス] アイコンが表示されます。

以下の表に、アグリゲーターインターフェイスのステータス色の意味について説明します。

アグリゲーターインターフェイスのステータス色

色	ステータス	意味
	認識不能	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェイスが到達不可能で、ポーリングできないことを示します。
	正常域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェイスのステータスが正常域であることを示します。
	警戒域	所属するアグリゲーションメンバーインターフェイスの少なくとも1つ(ただし、すべてではない)のステータスが危険域であることを示します。
	危険域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェイスのステータスが危険域であることを示します。
	無効	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェイスが管理上無効であることを示します。
	ステータスなし	以下のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • NNMiの現在の設定で、所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェイスがモニタリングから除外されており、ステータスが計算されていないことを示します。たとえば、デバイス全体またはアグリゲーターインターフェイスが[非管理対象]、[サービス停止中]、または[スケジュール済みのノードの停止]に設定されています。 • 所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェイスがNNMiデータベースに追加されたばかりで、Causal Engineによって稼働状態ステータスがまだ計算されていません。

関連トピック

[「オブジェクトのステータス色」\(86ページ\)](#)

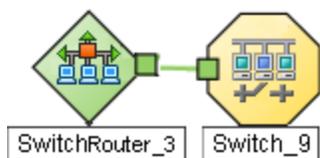
[「ネットワーク接続のステータスの色」\(88ページ\)](#)

ネットワーク接続のステータスの色

マップの線はネットワーク接続を示します。これらの線の色は、現在のステータスを示します。NNMiマップには次に示す3種類の線があり、それぞれネットワーク通信パスを示します。

- インターフェイス間を一对一で結ぶ(ネットワークレイヤー2通信)、またはアドレス間を一对一で結ぶ(ネットワークレイヤー3通信) **単一接続線**。
- **マルチ接続線**は、複雑なNNMiマップでスペースを節約します。NNMi管理者によって、1つの太線に同時にまとめる単一接続線の本数が設定されます。
- **集約接続線**は、1つのものとして機能するマルチ接続のグループを表す楕円が重ねられた太線です。

単一接続



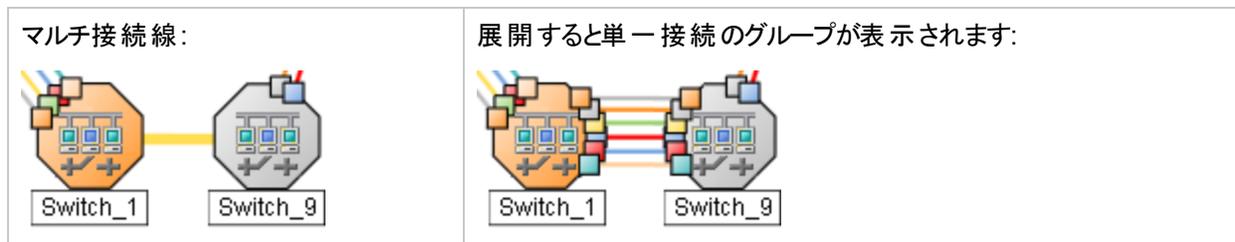
以下の表で、単一ネットワーク接続で表示されるステータス色の意味を説明します。

ヒント: 線にある特別なアイコンは、追加の情報を示します。

ネットワーク接続のステータスの色

色	意味	説明
	認識不能	他のネットワークの問題のために、一方のインターフェイスのステータスがこの時点で調べられないことを示します。
	正常域	接続の両方のインターフェイスが応答していることを示します。
	注意域	いずれかのインターフェイスに問題がある可能性があることを示します。
	警戒域	ある終端のインターフェイスが応答していないことを示します。もう一方の終端のインターフェイスは応答しています。
	危険域	インターフェイスまたはIPアドレスが応答していないことを示します。
	無効	1つのインターフェイスまたは両方のインターフェイスが、管理者によって無効にされていることを示します。
	ステータスなし	以下のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • NNMiの現在の設定では、1つのインターフェイスまたは両方のインターフェイスがモニタリングから除外されています。インターフェイスが[非管理対象/サービス停止中]に設定されているため、ステータスは計算されません。 • NNMiデータベースにインターフェイスが追加されたばかりなので、Causal Engineはインターフェイスの稼働状態ステータスをまだ計算していません。

マルチ接続



マルチ接続¹線では、以下の点に注意してください。

- インターフェイスまたはIPアドレスアイコンは太線のいずれの終端にも表示されません。
- マルチ接続内の個々の接続およびそれに関連付けられたインターフェイスまたはIPアドレスを表示するには、そのマルチ接続をダブルクリックします。
- 展開されたメンバー接続のグループを折りたたむには、 [リフレッシュ] アイコンを使用してマップを更新します。
- マルチ接続に関するサマリー情報をポップアップ表示するには、目的のマルチ接続の上にマウスのカーソルを移動します。

以下の表で、マルチ接続線で表示されるステータス色の意味を説明します。

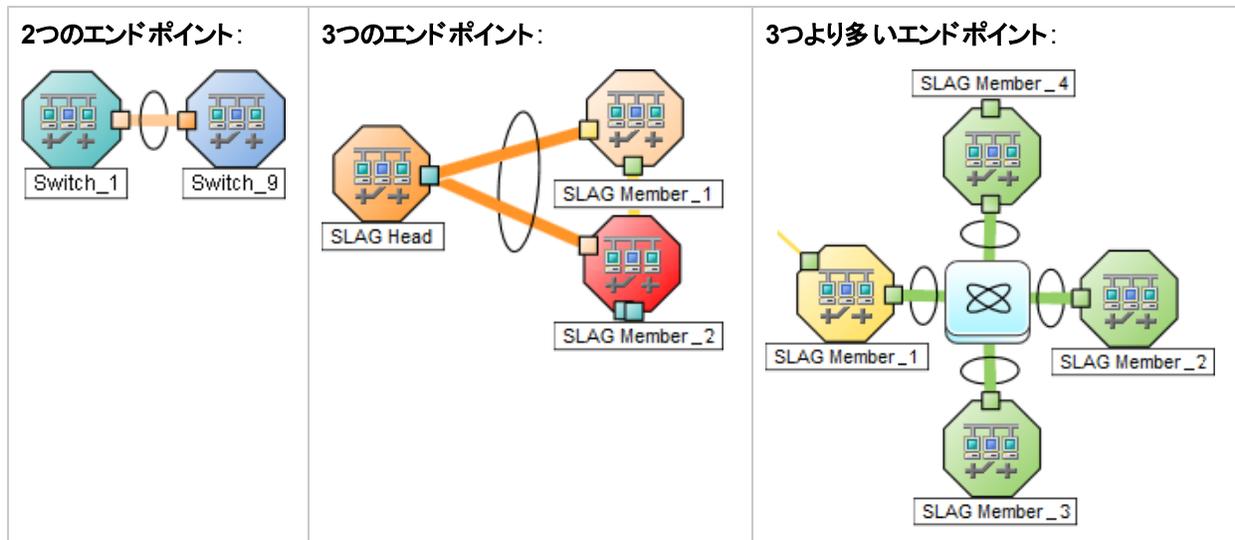
マルチ接続のステータスの色および意味

色	意味	説明
	認識不能	マルチ接続内のすべての接続が認識不能のステータスを持つことを意味します。
	正常域	マルチ接続内のすべての接続が正常域のステータスを持つことを意味します。
	注意域	以下の1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • マルチ接続内のすべての接続が注意域のステータスを持っています。 • マルチ接続内のすべての接続が同じステータスを持っているわけではありません。ただし警戒域あるいは重要警戒域のステータスを持っている接続はありません。
	重要警戒域	マルチ接続内の1つを除くすべての接続が危険域のステータスを持っています。1つの接続は、正常域、注意域、警戒域、重要警戒域のいずれかのステータスを持っています。
	警戒域	マルチ接続内の1つを除くすべての接続が正常域のステータスを持っています。1つの接続のステータスは、警戒域、注意域、危険域のいずれかです。
	危険域	マルチ接続内のすべての接続が危険域のステータスを持つことを意味します。
	無効	マルチ接続内のすべての接続が無効のステータスを持つことを意味します。
	ステータスなし	マルチ接続内のすべての接続が「ステータスなし」のステータスを持つことを意味します。

¹複数接続は、マップビューにある2つの[ノード]アイコン、2つの[ノードグループ]アイコン、または[ノード]アイコンと[ノードグループ]アイコン間の太線です(太線のいずれかの終端に[インターフェイス]アイコンまたは[IPアドレス]アイコンがありません)。この太線は、マップのスペース確保と簡素化のために結合された複数の接続のセットを表します。NNMi管理者は、NNMiが各接続を複数接続の線にまとめる最低単位となる接続数を指定します([ユーザーインターフェイスの設定]の[複数接続しきい値]属性)。太線をダブルクリックすると、元の一連の接続に変換され、[インターフェイス]アイコンまたは[IPアドレス]アイコンが線のいずれかの終端に表示されます。

集約接続 (NNMi Advanced)

楕円が重ねられた太線は、[リンクアグリゲーション](#)¹または[リンクアグリゲーションの分割](#)²プロトコルの使用を表します (1つのものとして機能するマルチ接続のグループ)。太い線の両端のいずれかにあるインターフェイスを表すアイコンはアグリゲーションインターフェイス (1つとして機能する数多くの物理インターフェイスで構成される論理インターフェイス) です。



以下の表で、アグリゲーターレイヤー2接続のステータス色の意味を説明します。詳細については、「[レイヤー2マップオブジェクト](#)」(100ページ)を参照してください。

アグリゲーターレイヤー2接続 (太線) のステータス色

色	意味	説明
	認識不能	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続が到達不可能で、ポーリングできないことを示します。
	正常域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続のステータスが正常域であることを示します。
	警戒域	所属するアグリゲーションメンバーレイヤー2接続の少なくとも1つ (ただし、すべてではない) のステータスが危険域であることを示します。
	重要警戒域	所属するアグリゲーションメンバーレイヤー2接続のステータスが、1つの接続を除いて危険域であることを示します。1つの接続は、正常域、注意域、警戒域、重要警戒域のいずれかのステータスを持っています。

¹複数のインターフェイス (アグリゲーションメンバーインターフェイス) が1つのインターフェイス (アグリゲーターインターフェイス) として機能するように設定するためにスイッチで使用されるプロトコル。2つのアグリゲーターインターフェイスで接続を確立する場合、この接続はアグリゲーターレイヤー2接続になります。アグリゲーターレイヤー2接続はレイヤー2の近隣接続ビューマップに太線で表示されます。また、各終端 (アグリゲーターインターフェイス) には [インターフェイス] アイコンが表示されます。

²3つ以上の終端があるリンクアグリゲーションです。ベンダーによっては、マルチシャーシリンクアグリゲーション (MLAG)、SLAG、MLAG、MC-LAGとも呼ばれます。

アグリゲーターレイヤー2接続 (太線) のステータス色 (続き)

色	意味	説明
	危険域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続のステータスが危険域であることを示します。
	無効	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続が管理上停止中であることを示します。
	ステータスなし	以下のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> NNMiの現在の設定で、所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続がモニタリングから除外されており、ステータスが未計算であることを示します。たとえば、デバイス全体または接続の両端にあるアグリゲーターインターフェイスが[非管理対象/サービス停止中]に設定されています。 所属するすべてのアグリゲーションレイヤー2接続のレイヤー2接続がNNMiデータベースに追加されたばかりで、Causal Engineによって稼働状態ステータスがまだ計算されていません。

関連トピック

[「オブジェクトのステータス色」\(86ページ\)](#)

[「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 \(NNMi Advanced\)」\(87ページ\)](#)

マップシンボルについて

マップシンボルは以下のような情報を示します。

- マップアイコンの背景形状と前面イメージは、描かれているデバイスのタイプを示します。
- デバイス間の線は、ネットワーク接続を示します。線にある特別なアイコンは、追加の情報を示します。

詳細については、以下を参照してください。

背景と前面

マップ記号はノードまたはノードグループを表します。1つのノードを表す各マップシンボルには、背景形状とそれに重ねた前面イメージがあります(デフォルトのイメージを以下の表に示します)。カスタム前面イメージで特定のベンダーとモデルを示すことができます。

注: NNMi管理者は、NNMi前面イメージを各デバイスのプロファイルに合わせてカスタマイズできます。したがって、以下の表で説明していない前面イメージが表示される場合があります。追加された前面形状にご不明な点がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

背景形状の色は、デバイスの最新のヘルスステータスを示します([「オブジェクトのステータス色」\(86ページ\)](#)および[「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 \(NNMi Advanced\)」\(87ページ\)](#)を参照してください)。

特定のデバイスの前面および背景の形状

背景形状	前面イメージ/意味	背景形状	前面イメージ/意味
	<p>ハイパーバイザー (NNMi Advanced)</p> <p>仮想デバイスになるリソースのプールのさまざまな局面における委任処理を行う仮想マシンマネージャー。</p> <p>このハイパーバイザーマップアイコンをダブルクリックすると、提供されている仮想デバイスの一覧を表示した[ホスト対象ノード]タブが、表示中のフォームに現れます。</p> <p>ハイパーバイザーによって提供される仮想デバイスには、どのハイパーバイザーがリソースを提供したかを示す[ホスト元]属性があります。</p>		<p> = コンピューター</p> <p> = サーバー</p> <p> = ワークステーション</p> <p> = その他</p> <p>注:「その他」には、非SNMPノードが含まれます。</p>
	<p> = ATMスイッチ</p> <p> = スイッチ</p> <p>注: (NNMi Advanced) マップオブジェクトが仮想スイッチを表している場合は、ダブルクリックすると[インターフェイス]フォームが開かれます (「仮想スイッチの[インターフェイス]フォーム」を参照)。</p>		<p> = ゲートウェイ</p> <p> = ハブ</p> <p> = ルーター</p> <p> = スイッチルーター</p> <p> = ボイスゲートウェイ</p>
	<p> = シェア</p> <p>(複数シェアデバイスのアイコンを展開すると⁺表示されます)</p>		<p>内部の複数のシェア:</p> <p> = コンピューター</p> <p> = サーバー</p> <p> = ワークステーション</p>
	<p>内部の複数のシェア:</p> <p> = スイッチ</p>		<p>内部の複数のシェア:</p> <p> = スイッチルーター</p>
	<p> = アナライザ</p> <p> = ファイアウォール</p> <p> = ロードバランサー</p> <p> = ネットワーク機器</p> <p> = 電源</p>		<p> = IPフォン</p>

特定のデバイスの前面および背景の形状 (続き)

背景形状	前面イメージ/意味	背景形状	前面イメージ/意味
	 = プリンター  = ワイヤレスアクセスポイント		
	子ノードグループ (前面イメージなし)		

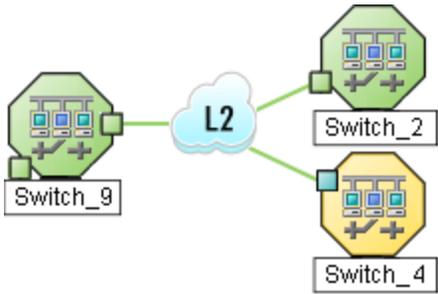
特別な接続

以下の表のアイコンは、ネットワーク内のデバイス間を結ぶ特定の接続線に関する有用な情報を示します。ネットワーク内にはさまざまなタイプの通信チャネルがあります。マップオブジェクト間の線によって、接続のタイプとその接続の現在のヘルス状態の両方に関する有用な情報が示されます。詳細については、「[ネットワーク接続のステータスの色](#)」(88ページ)を参照してください。

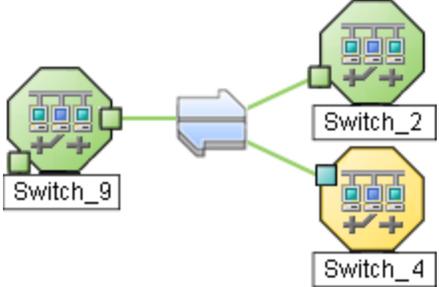
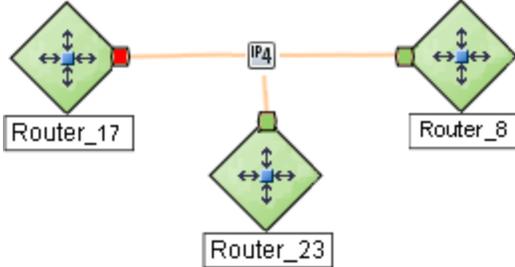
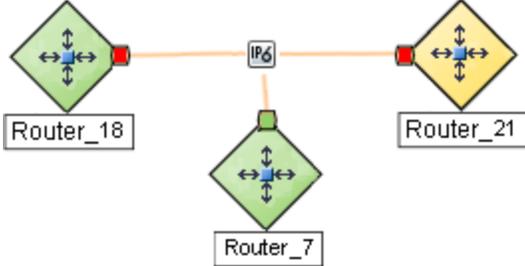
ヒント: 接続線をクリックすると、選択した接続の各端にポート番号が表示されます。

- [p] を押すと、ポート番号のオン/オフが切り替わります。
- [n] を押すと、デバイス名のオン/オフが切り替わります。

特別な接続のアイコン

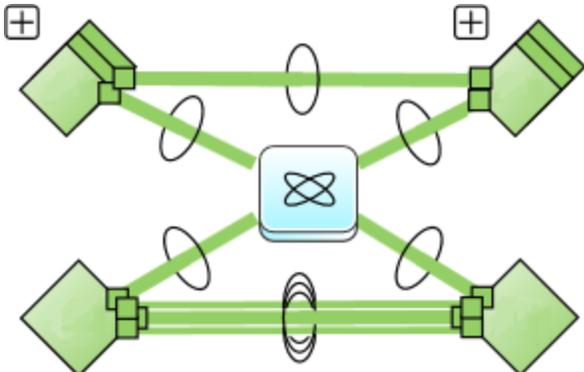
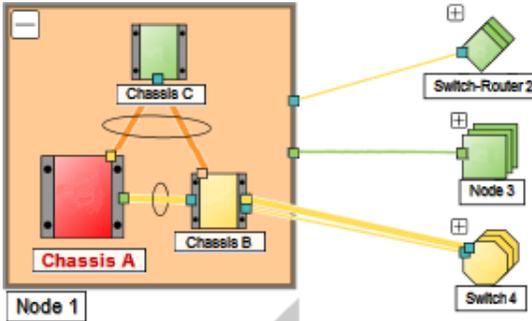
アイコン	意味
	<p>ハブやメッシュのような共有メディアが複数のデバイスを接続していることをNNMiが検出した場合に、マップ内でポイントツーマルチポイント (複数のインターフェイスを持つ接続) を表現するために使用されます。例については、ここをクリックしてください。</p> <p>線または  (以前のNNMiリリースでは  アイコンまたは  アイコン) をダブルクリックすると、[レイヤー2の接続] フォームが表示され、トポロジソースの値がFDBIになります。</p> 
	<p>WAN (広域ネットワーク) にまたがったポイントツーマルチポイント (複数のインターフェイスを持つ接続) レイヤー3エッジ接続をマップ内で表現するために使用されます。</p> <p> アイコン (以前のNNMiリリースでは  アイコン) は、マップ上の2つのノード間の未確認のデバイスセットを表します (多くの場合、サービスプロバイダーのネットワークまたはWAN)。例については、ここをクリックしてください。</p> <p>NNMiでは、28 ~ 31の間の事前に設定された長さで、サブネットの特別なルールに従う</p>

特別な接続のアイコン (続き)

アイコン	意味
	<p>ことによってこのことを実施します。この特別なルールは、「サブネット接続ルール」と呼ばれます。このルールは、NNMi管理者が設定できます。</p> <p>線または  アイコンをダブルクリックすると、[レイヤー2の接続] フォームが表示され、[トポロジソース] の値はSUBNETCONNECTIONIになります。</p> 
	<p>IPv4サブネットを表すためにマップ内で使用されます。例については、ここをクリックしてください。</p> 
	<p>(NNMi Advanced) マップ内でIPv6サブネットを表すために使用されます。例については、ここをクリックしてください。</p> 
	<p>(NNMi Advanced) レイヤー2マップでは、楕円が重ねられた太線はリンクアグリゲーション¹を表します。詳細については、「レイヤー2マップオブジェクト」(100ページ)を参照してください</p>

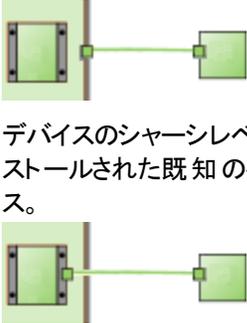
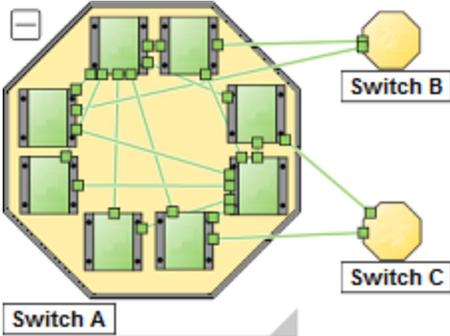
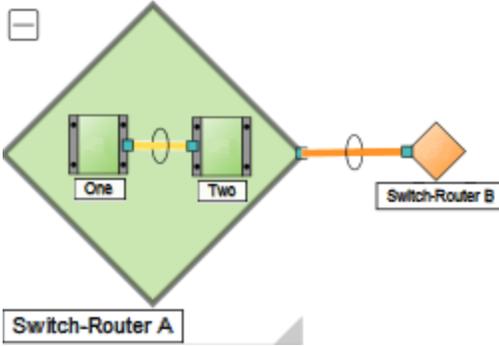
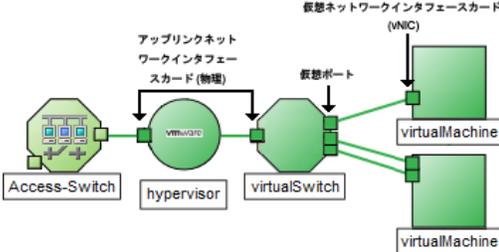
¹複数のインターフェイス (アグリゲーションメンバーインターフェイス) が1つのインターフェイス (アグリゲーターインターフェイス) として機能するように設定するためにスイッチで使用されるプロトコル。2つのアグリゲーターインターフェイスで接続を確立する場合、この接続はアグリゲーターレイヤー2接続になります。アグリゲーターレイヤー2接続はレイヤー2の近隣接続ビューマップに太線で表示されます。また、各終端 (アグリゲーターインターフェイス) には [インターフェイス] アイコンが表示されます。

特別な接続のアイコン (続き)

アイコン	意味
	<p>い。</p> <p>(NNMi Advanced) レイヤー2マップでは、 アイコンとその上に重ねられた楕円は、リンクアグリゲーションの分割¹に関する3つ以上のエンドポイントを示します (SLAGメッシュ接続とも呼ばれます)。詳細については、「レイヤー2マップオブジェクト」(100ページ)を参照してください。</p> 
  	<p>レイヤー2のマップ上では、これらのアイコンは、オブジェクトに2つ以上のシャーシが含まれていることを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  をクリックすると、 シャーシのグループ全体が表示されます。 •  をクリックすると、展開されたスタックが閉じます。 •  をクリックしてドラッグすると、展開されたスタックのサイズを変更できます。 •  [マップを保存] ツールバーボタン。NNMiロールで許可されている場合は、このアイコンをクリックすると、後でそのマップに戻ったときに、このシャーシが見える状態のまま保持されます。 <p>展開されたオブジェクト内の線には、次のように、特別な意味があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイスレベルで直接インストールされた既知のインターフェイス。 <p>ノードには2つ以上のシャーシが含まれます。</p> 

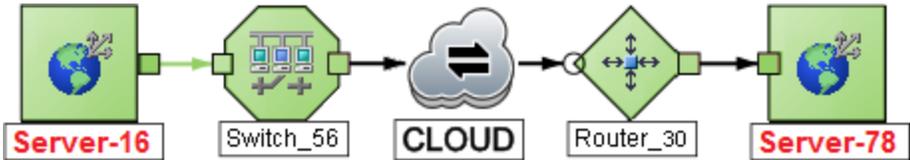
¹3つ以上の終端があるリンクアグリゲーションです。ベンダーによっては、マルチシャーシリンクアグリゲーション (MLAG)、SLAG、MLAG、MC-LAGとも呼ばれます。

特別な接続のアイコン (続き)

アイコン	意味	
	 <ul style="list-style-type: none"> • デバイスのシャーシレベルで直接インストールされた既知のインターフェイス。 	<p>スイッチには2つ以上のシャーシが含まれます。</p>  <p>スイッチルーターには2つ以上のシャーシが含まれます。</p> 
	<p>(NNMi Advanced) レイヤー2マップでは、このアイコンは仮想デバイスになるリソースのプールのさまざまな局面における委任処理を行うハイパーバイザー¹ (仮想マシンマネージャー)に相当します。</p>	<p>次に1例を示します。</p> 
	<p>パスビューで使用されます。NNMiが接続を検出したものの、デバイスのIDを確認できない (SNMPへの応答がない) 場合、そのデバイスはマップ上に雲のシンボル  (以前の</p>	

¹仮想デバイスになるリソースのプールのさまざまな局面における委任処理を行う仮想マシンマネージャー。委任は、製造元の実装に応じて、静的であることも動的であることもあります。生成される仮想マシンのタイプは、製造元の実装によって異なります。

特別な接続のアイコン (続き)

アイコン	意味
	<p>NNMiリリースでは  アイコン) で表示されます。 例については、ここをクリックしてください。</p>  <p>注: パスビューマップで黒の矢印または白抜き黒丸が表示される場合は、接続またはインターフェイスがNNMiデータベースに存在しなかったために、NNMiでステータス値を判定できなかったことを示します。</p> <p>詳細については、「パスビューマップオブジェクト」(104ページ)を参照してください。</p>
	<p>(NNMi Advanced、およびHPE Route Analytics Management System (RAMS) for MPLS WAN) RAMS MPLS WANマップビューで使用されます。NNMiがネットワーク全体にわたってMPLS接続を検出する場合、その接続がクラウド記号でマップ上に示されます。例については、ここをクリックしてください。</p>  <p>NNMi管理者は、「HPE RAMS MPLS WANの設定 (NNMi Advanced)」の詳細な説明も参照してください。</p>

関連トピック

[「オブジェクトの使用」](#)(172ページ)

ノードグループマップオブジェクト

ヒント: ノードグループマップの詳細については、「[オペレーター用のヘルプ](#)」を参照してください。

ノードグループマップにはノードグループのメンバーが表示されます (NNMi管理者が定義したものです)。各ノードグループマップは、レイヤー2情報またはレイヤー3情報のどちらかを示します。

マップには、各メンバー、接続、および子ノードグループのステータスが表示されます。各自の環境のコンテキストを示すために、NNMi管理者は、背景イメージも追加します (たとえば、北米のマップ)。

NNMiでは、**重要なインシデント**¹と関連するノードのマップシンボルを拡大できます。マップビューツールバーの[**重要なインシデントを示す**] ボタンを使用します (「[\[ビューツールバー:ノードグループマップ\] のツールバーアイコンの使用](#)」を参照)。



(オン)=ノードグループマップが開くと、NNMiは**重要なインシデント**²のソースオブジェクトであるオブジェクトノードグループマップ上に拡大して表示します。(たとえば、ノードグループマップを表示したとき、NNMiは、未解決の根本原因インシデントに関連しているノードを拡大して表示します。)



(オフ)=このノードグループマップを開くと、NNMiでは**重要なインシデント**³のソースオブジェクトであるオブジェクトはノードグループマップに表示されません。

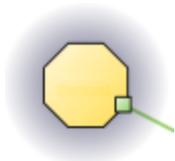
ノードの関連するインシデントを表示するには、ノードシンボルをダブルクリックします。[ノード] フォームで、[インシデント] タブを選択します。

これらのマップは、接続性ではなく、ノードグループを基礎にしているため、マップ上に接続のないノードがあることもあります。

六角形 (下図参照) は、子ノードグループを示します。



マップアイコンを囲むグレーの輪は、表示されているノードグループの1ホップ外側にあるデバイスを示します (ノードグループメンバーに接続していますが、それ自体はメンバーではありません)。すべての1ホップの近隣接続が表示されるわけではありません。NNMi管理者は、1ホップの近隣接続が、フィルターとして使用されている特定のノードグループのメンバーである場合に、これらの近隣接続を表示するよう、ノードグループマップを設定する必要があります。



NNMiが提供するノードグループマップの詳細については、「[NNMiで使用できるビュー](#)」(24ページ)を参照してください。

関連トピック

[「マップシンボルについて」](#)(92ページ)

[「ステータス色について」](#)(85ページ)

[「ワークスペースについて」](#)(18ページ)

¹次の両方を満たすインシデント:(1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

²次の両方を満たすインシデント:(1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

³次の両方を満たすインシデント:(1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

レイヤー2マップオブジェクト

レイヤー2のマップは、選択したデバイス、および選択したデバイスから指定数のホップ内にある接続済みデバイスのマップビューを表示します。これは、デバイス間の**スイッチの接続性**を理解するのに役立ちます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

検出中にNNMiは、ネットワーク内のイーサネットスイッチから転送データベース(FDB)テーブルを読み取り、その情報に基づいてネットワークデバイス間の通信パスを判別します。NNMiは、これらのFDBテーブルで検出対象ノードに関する情報を検索します。NNMi管理サーバーが重複**MACアドレス**¹に対するFDB参照を見つけた場合には、次を行います。

- 検出された複数のノード(同一テナント内のノード、またはデフォルトテナントのノードとそれ以外のテナントのノード)に同じMedia Access Control(MAC)アドレスに関連付けられたインターフェイスが含まれている場合、NNMiは、FDB内でそれらの重複MACアドレスに対して報告された通信パスを無視します。これにより、それらの重複MACアドレスを含むネットワーク域のNNMiマップで接続が欠落する場合があります。

(NNMi Advanced - グローバルネットワーク管理機能) 2つのNNMi管理サーバーが、同じMAC(Media Access Control)アドレスに関連付けられているインターフェイスを持つノードを検知した場合は、リージョナルNNMi管理サーバーのマップで表示される接続がグローバルNNMi管理サーバーのマップで欠落している可能性があります。

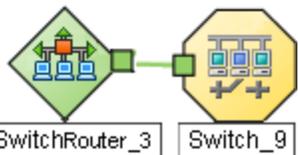
- 単一のノードに、同じMACアドレスを持つ複数のインターフェイスが含まれている場合、NNMiは、それらのインターフェイスに関するすべての通信パス情報を収集し、その情報をNNMiマップに表示します。

データベース(FDB)情報を転送すると、次の場合にNNMiが誤ったレイヤー2接続を確立する可能性があります。

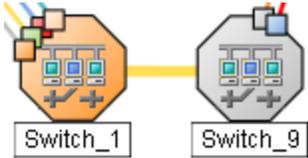
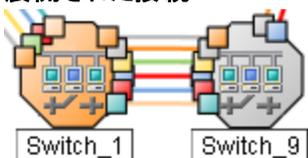
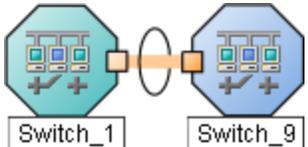
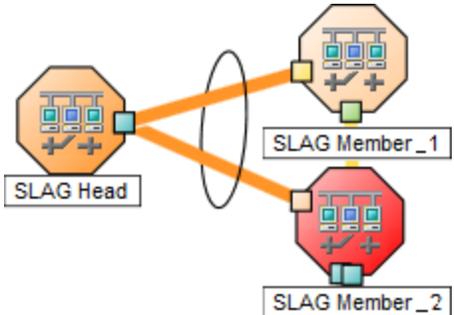
- FDBがキャッシュとして設定されており、使用されていないデータが含まれている。
- それぞれ異なる(場合によっては競合する)FDBデータを生成するさまざまなベンダーのハードウェアがネットワーク環境に含まれている。

オプション:NNMi管理者は、レイヤー2接続の計算時に特定のノードグループのFDBデータを無視するようにスパイラル検出を設定できます(FDBデータは他の計算には含まれます)。

たとえば、レイヤー2の近隣接続ビューマップでは、インターフェイスは、親ノードの背景形状を囲む小さな正方形で示されます。各インターフェイスには、ステータスを表す色もあります。緑は、そのインターフェイスが適切に動作していることを示します。赤は、そのインターフェイスが停止していることを示します。

接続線	接続線の意味
	<p>デバイス間の細い線は、2つのデバイス間の通信チャンネル(接続)を表しています。線は、ステータス色でその接続の現在の稼働状態を示します。詳細については、「オブジェクトのステータス色」(86ページ)を参照してください。</p>

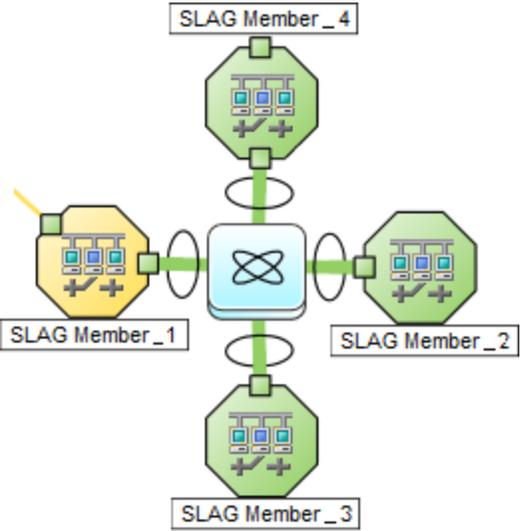
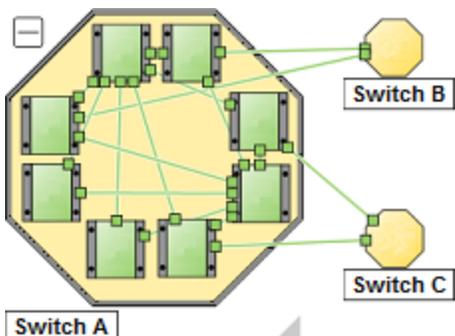
¹工場出荷時にネットワークアダプターまたは内蔵ネットワークケーパビリティを装備したデバイスに焼き付けられるMAC(Media Access Control)アドレス(ハードウェアまたは物理的地址)。MACアドレスには、6組の16進数値があり、それぞれコロンまたはダッシュで区切られています。例02:1F:33:16:BC:55

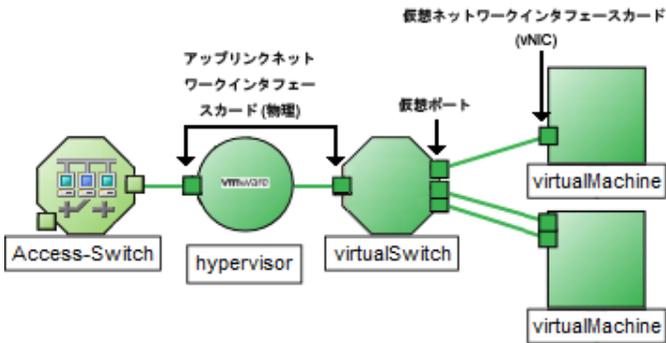
接続線	接続線の意味
<p>接続線</p>  <p>Switch_1 Switch_9</p> <p>展開された接続:</p>  <p>Switch_1 Switch_9</p>	<p>終端のいずれにもインターフェイスアイコンがない太線は、マルチ接続¹です。</p> <p>太線をダブルクリックすると、各リンクをまとめたグループが展開されます。</p>
<p>2つのエンドポイント:</p>  <p>Switch_1 Switch_9</p> <p>3つのエンドポイント:</p>  <p>SLAG Head SLAG Member_1 SLAG Member_2</p> <p>3つより多いエンドポイント:</p>	<p>(NNMi Advanced) 楕円で囲まれた太線 (接続) は、リンクアグリゲーション²プロトコルが使用中であることを示します。このプロトコルを使用すると、ネットワーク管理者はスイッチ上にインターフェイスのセットを1つのアグリゲーターインターフェイスとして設定できます。他デバイスとの間に複数のインターフェイスを並列して使うアグリゲーターレベル2接続を作成し、帯域幅を広げることによってデータの転送速度を向上し、冗長性を拡張します。</p> <p>太線 (アグリゲーターレイヤー2接続) をダブルクリックすると、[レイヤー2の接続] フォームが開き、詳細を確認できます。</p> <p>NNMiは、アグリゲーションメンバーレイヤー2接続のグループ全体のステータスに基づき、太い線 (アグリゲーターレイヤー2接続) のステータスを計算します。詳細については、「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 (NNMi Advanced)」(87ページ)を参照してください。</p> <p>リンクアグリゲーションに3つ以上の終端がある場合、NNMiはそのリンクをリンクのリンクアグリゲーションの分割³ (SLAG) として描きます。</p>

¹複数接続は、マップビューにある2つの[ノード]アイコン、2つの[ノードグループ]アイコン、または[ノード]アイコンと[ノードグループ]アイコン間の太線です (太線のいずれかの終端に[インターフェイス]アイコンまたは[IPアドレス]アイコンがありません)。この太線は、マップのスペース確保と簡素化のために結合された複数の接続のセットを表します。NNMi管理者は、NNMiが各接続を複数接続の線にまとめる最低単位となる接続数を指定します ([ユーザーインターフェイスの設定] の [複数接続しきい値] 属性)。太線をダブルクリックすると、元の一連の接続に変換され、[インターフェイス]アイコンまたは[IPアドレス]アイコンが線のいずれかの終端に表示されます。

²複数のインターフェイス (アグリゲーションメンバーインターフェイス) が1つのインターフェイス (アグリゲーターインターフェイス) として機能するように設定するためにスイッチで使用されるプロトコル。2つのアグリゲーターインターフェイスで接続を確立する場合、この接続はアグリゲーターレイヤー2接続になります。アグリゲーターレイヤー2接続はレイヤー2の近隣接続ビューマップに太線で表示されます。また、各終端 (アグリゲーターインターフェイス) には [インターフェイス]アイコンが表示されます。

³3つ以上の終端があるリンクアグリゲーションです。ベンダーによっては、マルチシャーシリンクアグリゲーション (MLAG)、SLAG、MLAG、MC-LAGとも呼ばれます。

接続線	接続線の意味
	
<p>ノード:</p>  <p>スイッチ:</p>  <p>スイッチルーター:</p> 	<p>これらのアイコンは、デバイスに2つ以上の  シャーシが含まれていることを示します。</p> <ul style="list-style-type: none">  をクリックすると、シャーシのグループ全体が表示されます。例:   をクリックすると、展開されたスタックが閉じます。  をクリックしてドラッグすると、展開されたスタックのサイズを変更できます。 NNMiロールで許可されている場合は、 [マップを保存] ツールバーボタンをクリックすると、後でそのマップに戻ったときに、このシャーシが見える状態のまま保持されています。
<p>ハイパーバイザー (NNMi Advanced):</p> 	<p>レイヤー2マップでは、このアイコンは仮想デバイスになるリソースのプール of のさまざまな局面における委任処理を行う仮想マシンマネージャーに相当します。</p>

接続線	接続線の意味
	<p>次に、ハイパーバイザー¹の1例を示します。</p>  <p>The diagram illustrates a network architecture. On the left, an 'Access-Switch' is connected to a 'hypervisor' via an 'アップリンクネットワーク インターフェイス スカード (物理)' (Physical uplink network interface card). The 'hypervisor' is connected to a 'virtualSwitch' via a '仮想ネットワーク インターフェイス スカード (NIC)' (Virtual network interface card). The 'virtualSwitch' has '仮想ポート' (Virtual ports) that connect to two 'virtualMachine' instances. Labels include: Access-Switch, hypervisor, virtualSwitch, virtualMachine, virtualMachine, アップリンクネットワーク インターフェイス スカード (物理), 仮想ネットワーク インターフェイス スカード (NIC), and 仮想ポート.</p>

レイヤー2マップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

関連トピック

[「マップシンボルについて」\(92ページ\)](#)

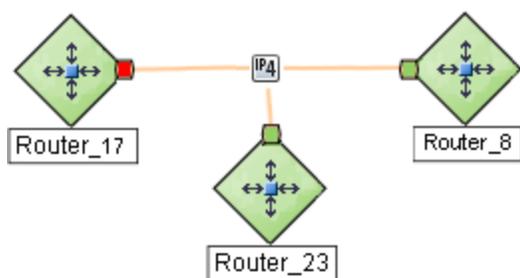
[「ステータス色について」\(85ページ\)](#)

[「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#)

レイヤー3マップオブジェクト

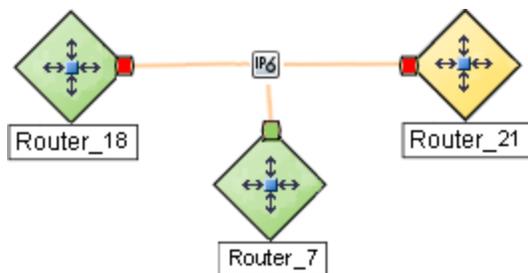
レイヤー3マップは、選択したデバイス、および選択したデバイスから指定数のホップ内にある接続済みデバイスを示します。このビューは、デバイス間の**ルーターの接続性**を理解するのに役立ちます。

たとえば、レイヤー3の近隣接続ビューマップでは、同一のサブネット内の近隣に接続されたアドレスは、親ノードの背景形状を囲む六角形で示されます。各アドレスには、ステータスを表す色があります。緑は、そのアドレスが適切に動作していることを示します。赤は、そのアドレスが応答しないことを示します。デバイス間の線はサブネットを表します。サブネットにはステータスがありません。



(NNMi Advanced) IPv6サブネットは、次のシンボルで示されます。

¹仮想デバイスになるリソースのプールのさまざまな局面における委任処理を行う仮想マシンマネージャー。委任は、製造元の実装に応じて、静的であることも動的であることもあります。生成される仮想マシンのタイプは、製造元の実装によって異なります。



レイヤー3近隣接続ビューマップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

関連トピック

[「マップシンボルについて」\(92ページ\)](#)

[「ステータス色について」\(85ページ\)](#)

[「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#)

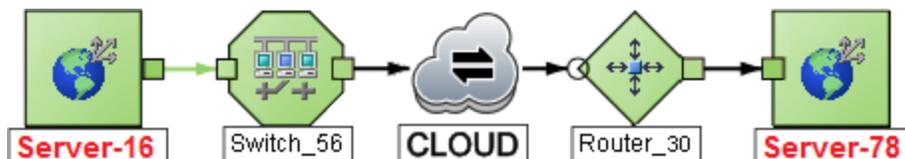
パスビューマップオブジェクト

パスビューマップは、ソースおよび宛先の端点の間のアクティブネットワークパスを表示します。

パスビューマップで表示されるパスの主要なオブジェクトは、ルーターとスイッチです。

注意: パスビューマップでは、ソースノードまたはデスティネーションノードとしてスイッチを指定しないでください。スイッチ間の接続性を表示するには、レイヤー2の近隣接続ビューを使用します。

NNMiでは、パスの部分内のノードを決定できない場合、次の例のように、曇オブジェクトが使用されます。



パスビューマップで接続の終端に黒の矢印 \rightarrow または白抜き黒丸 \rightarrow が表示される場合は、接続またはインターフェイスがNNMiデータベースに存在しなかったために、NNMiでステータス値を判定できなかったことを示します。詳細は[ここをクリック](#)してください。

接続またはインターフェイスがNNMiデータベースに保存されていない理由は以下のとおりです。

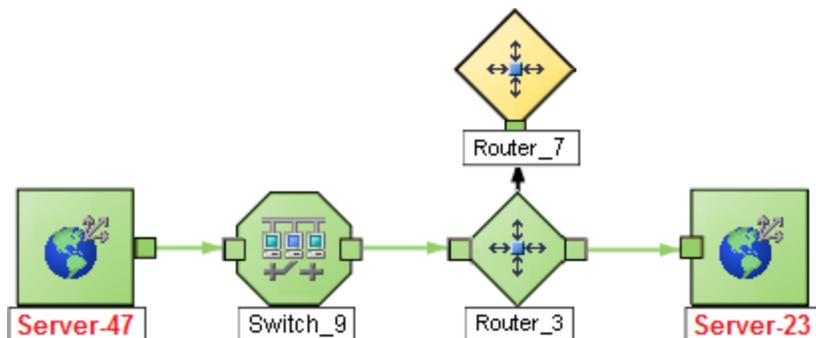
- パスのノードが非SNMPノードであるため、NNMiでその情報を収集できない。
- パスのノードがNNMiで管理されていない。
- ノードの検出情報が最新の状態ではない(インターフェイス情報がないなど)。

パスビューマップには、レイヤー2近隣接続ビューマップとレイヤー3の近隣接続ビューマップに含まれるオブジェクトも表示されます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

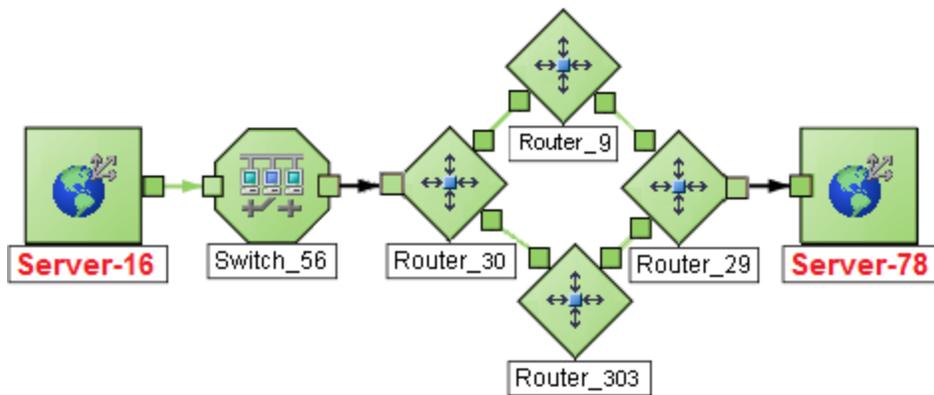
(NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。

(NNMi Advanced) ネットワーク管理者が、複数のアクティブルーターを持つルーター冗長グループからデータを収集するようにNNMiを設定している場合、NNMiでは、パスに対して1つのアクティブルーターを選択します。NNMi

は、複数の可能なパスがあることを示すため、次の例に示すように追加ルーターすべてをアクティブルーターに接続します。



(NNMi AdvancedおよびHPE Route Analytics Management System (RAMS) for MPLS WAN) ネットワーク管理者が、ルート分析管理システム (RAMS) からデータを収集するようにNNMiを設定している場合、パスビューでは、以下の例に示すように、1つのレイヤー3クラウドを通過する複数のOSPF¹等価コストパスを表示できます。



NNMi管理者は、RAMSの設定について「[HPE RAMS MPLS WAN設定 \(NNMi Advanced\)](#)」を参照してください。

関連トピック:

[「マップシンボルについて」\(92ページ\)](#)

[「ステータス色について」\(85ページ\)](#)

[「ワークスペースについて」\(18ページ\)](#)

マップを操作する

NNMiではマップビュー内で以下のような操作ができます。

[「マップレイアウトを変更する」\(106ページ\)](#)

マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える

[「ズームの倍率を調整する」\(109ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(110ページ\)](#)

¹Open Shortest Path Firstプロトコル

[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(111ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(112ページ\)](#)

マップレイアウトを変更する

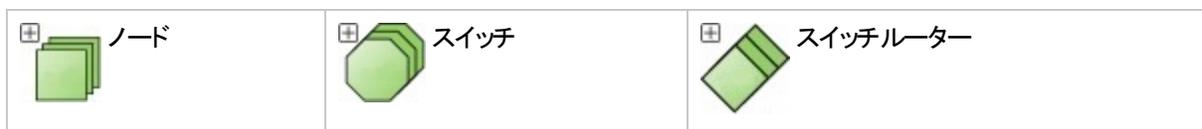
マップ上のシンボルを異なるレイアウトで表示する場合、その配置を変更できます ([「マップシンボルについて」\(92ページ\)](#)を参照)。

- 速やかに変更するには、次の操作を行います。

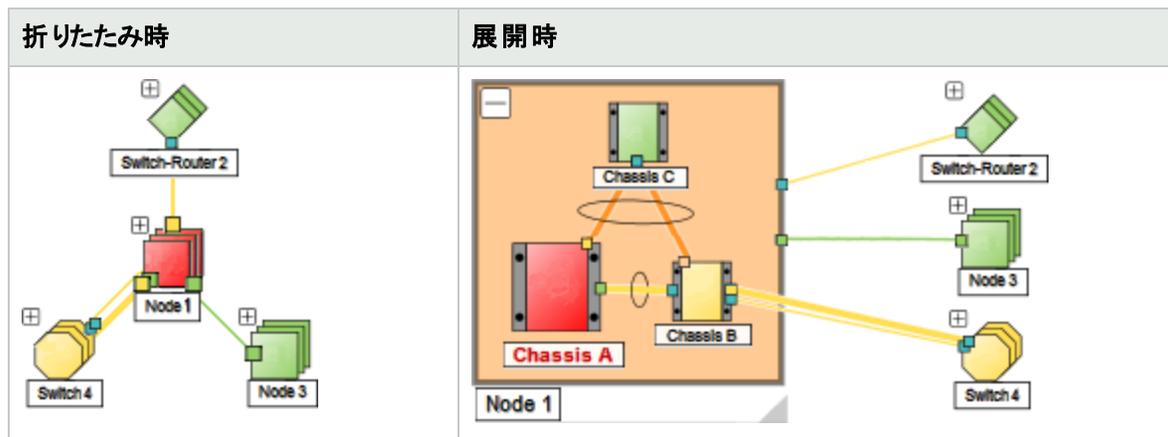
n : ノードラベルの表示/非表示を切り替える

p : ポートラベルの表示/非表示を切り替える

-  デバイスに関連付けられたシャーシのアイコンを表示するには、以下の手順を実行します。
2つ以上のシャーシを持つデバイスは、次のアイコンで示されます。



-  をクリックすると、デバイス内のシャーシグループ全体が表示されます。NNMiによってマップ全体のレイアウトが調整され、展開されたマップアイコンの場所が確保されます。例:



-  アイコンをクリックしてドラッグすると、展開されたデバイスのアイコンのサイズを変更できます。
-  アイコンをクリックすると、展開されたデバイスのアイコンが折りたたまれます。

ヒント: マップを前のレイアウトに戻すには、そのマップの [\[ワークスペース:ビュー\]](#) リンクをクリックします。
NNMiユーザーが最後に  保存したレイアウトが表示されます (すべてのNNMiユーザーは、同じバージョンのマップを共有します)。

- 1つのオブジェクトを移動するには、次の操作を行います。

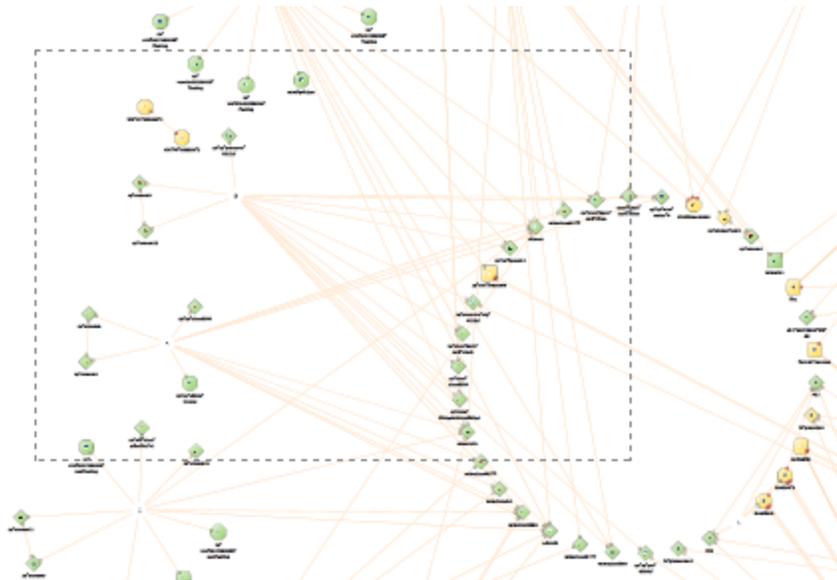
マップシンボルを左クリックし、マップ上の目的の位置にドラッグします。

オブジェクトの選択を解除するには、マップの背景をクリックするか、または Ctrl キーを押しながら左クリックします。

- **複数のオブジェクトを移動するには、次の操作を行います。**

次のいずれかを実行します。

- ノード間の空白のスペースで Shift キーを押しながらマウスを左クリックし、選択するマップのエリア上にカーソルをドラッグします。この方法を使用すると、NNMiは以下の例に示すように、点線 (またはゴムバンド) で選択エリアを示します。



- マップ上で、[Ctrl] キーを押しながら左クリックすると、マップ上の関心のある各オブジェクトを選択または選択解除できます。
 選択した各オブジェクトが変化して、選択されたことを示します。選択したノードのいずれかをドラッグすると、オブジェクトのグループがマップ上の目的の位置に移動します。

ヒント: ノード間の空白を使用してドラッグすると、すべてのオブジェクトが選択解除されます。

この配置は、マップを更新するか、リロードするまで保持されます。

ノードグループマップのみ: ロールで許可されていれば、 [マップを保存] ツールバーをクリックすることで、新しいレイアウトをマップ上に表示したまま保持することができます。マップを保存すると、新しく発見されたデバイスがマップの左下隅に表示されます。

注:  [マップを保存] を選択するたびに、NNMiはマップの以前のノード位置情報を削除します。チームメンバー全員に変更内容が反映されます。

- **仮想デバイス(NNMI Advanced):**

L2マップ

アップリンクネットワーク インターフェースカード (物理)

仮想ネットワーク インターフェースカード (vNIC)

仮想ポート

Access-Switch

hypervisor

virtualSwitch

virtualMachine

virtualMachine

1つのハイパーバイザーのリソースに関する情報を表示するには、ハイパーバイザー、仮想マシン、またはハイパーバイザーのコンポーネント (インターフェイスなど) を示す任意のオブジェクトを右クリックし、以下の選択を行います。

[ハイパーバイザー] > [ハイパーバイザーWheel] (「Wheelダイアログの使用」(118ページ))

[ハイパーバイザー] > [ハイパーバイザーLoom] (「Loomダイアログの使用」(138ページ))

Wheelダイアログ

fcmovm5

Network adapter 1 vSwitch0 vmnic0

Network adapter 1 vSwitch1 vmnic1

Network adapter 1 vSwitch2 vmnic2

Network adapter 1 vSwitch3 vmnic3

Network adapter 1 vmnic0

Network adapter 2 vmnic1

Network adapter 1 vmnic2

Network adapter 2 vmnic3

15/11/19 10:41に最終リフレッシュ

fcmovm5

vmnic3

vmnic2

vmnic1

vmnic0

UpLink

VSR

VSR1000

amazon-webproxy

VM

dynamips206.4

endnode2 multicast se

nmccloud/vm394

vSwitch3

vSwitch2

vSwitches

vSwitch1

vSwitch0

tc-n2840-8

15/11/19 10:41に最終リフレッシュ

関連トピック

- 「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」(108ページ)
- 「ズームの倍率を調整する」(109ページ)
- 「マップをパン表示する」(110ページ)
- 「[概要] ペインの位置を設定する」(111ページ)
- 「マップ内でノードを検索する」(112ページ)

マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える

[n] を押すと、マップ上のオブジェクト名の表示/非表示が切り替わります。

[p] を押すと、接続線の端のポート名の表示/非表示が切り替わります。

関連トピック

- 「マップレイアウトを変更する」(106ページ)
- 「ズームの倍率を調整する」(109ページ)
- 「マップをパン表示する」(110ページ)

[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(111ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(112ページ\)](#)

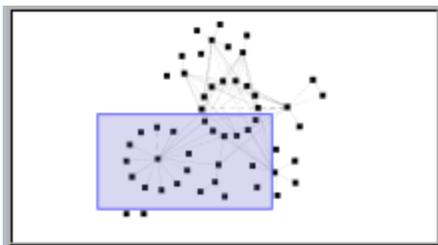
ズームの倍率を調整する

マップにおけるズームの倍率を複数の方法で調整できます。

• マップにズームインするには:

以下のいずれかを行います。

- マウスのホイールボタンを前方に回転させます。
-  をクリックします。
- + (プラス記号) を押します。
- [概要] ペインで、以下の例のように青色の長方形で示されるフォーカスエリアをダブルクリックします。



注: NNMIでフォーカスエリアが示されない場合は、[概要] ペインの任意の場所をダブルクリックします。

[概要] ペインには、選択したマップ全体のビューが表示されます。フォーカスエリアには、NNMIによってより大きなマップビューに表示されるマップの一部が表示されます。

ヒント: 詳細については、[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(111ページ\)](#)を参照してください。

• マップからズームアウトするには:

以下のいずれかを行います。

- マウスのホイールボタンを後方に回転させます。
-  をクリックします。
- - (マイナス記号) を押します。
- [概要] ペインで、青色の長方形で示されるフォーカスエリアの外側をダブルクリックします。

• マップ全体を画面サイズに合わせるには:

以下のいずれかを行います。

-  をクリックします。
- = (等号) を押します。

- **マップを100パーセント (実サイズのデバイス画像) で表示するには:**

以下のいずれかを行います。

-  をクリックします。
- 1を押します。

関連トピック

- 「マップレイアウトを変更する」(106ページ)
- 「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」(108ページ)
- 「マップをパン表示する」(110ページ)
- 「[概要] ペインの位置を設定する」(111ページ)
- 「マップ内でノードを検索する」(112ページ)

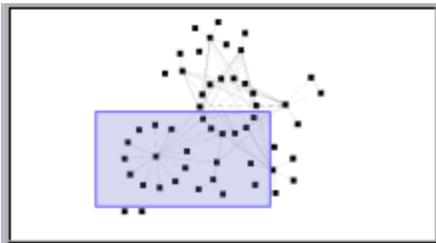
マップをパン表示する

目的のノードがマップ上で見えにくい場合は、マップ上の他のセクションに移動できます。

マップ上の他のセクションへパンするには、次の操作を行います。

以下のいずれかを行います。

- マップ上を移動するには矢印キー(↑上矢印、↓下矢印、→右矢印、←左矢印)を押します。
- 背景を左クリックし、マウスで新しい場所までドラッグします。
- Ctrl キーを押しながら左クリックし、マップをパンします。
- [概要] ペインには、マップ全体のビューが表示されます。
NNMiでは、以下の例に示すように、水色の長方形でフォーカスエリアが示されます。



ヒント: 詳細については、「[概要] ペインの位置を設定する」(111ページ)を参照してください。

- マップ上をパンするには、フォーカスエリアをドラッグします。
- ズームインするには、フォーカスエリア内をダブルクリックします。
- ズームアウトするには、フォーカスエリア外をダブルクリックします。

関連トピック

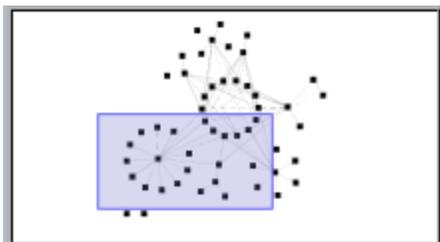
- 「マップレイアウトを変更する」(106ページ)
- 「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」(108ページ)
- 「ズームの倍率を調整する」(109ページ)

[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(111ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(112ページ\)](#)

[概要] ペインの位置を設定する

マップのどの隅に [概要] ペインを表示するかを選択できます。



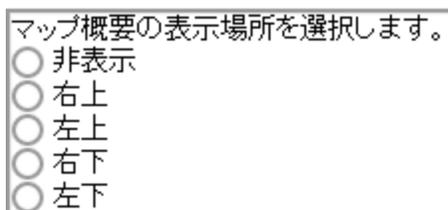
または、[概要] ペインを非表示に設定できます。

[概要] ペインの位置を設定するには、以下の手順を実行します:

1. マップのツールバーで、[概要の表示場所] ボタンをオンに切り替えます:



2. メニューで、いずれかの位置を選択します



3. メニューを閉じるには、[概要の表示場所] ボタンをオフに切り替えます:



関連トピック

[「マップレイアウトを変更する」\(106ページ\)](#)

[「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」\(108ページ\)](#)

[「ズームの倍率を調整する」\(109ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(110ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(112ページ\)](#)

VLANメンバーの強調表示オプションの選択

レイヤー2マップで検出されたVLANのメンバーは選択できます。 **[VLAN強調表示オプション]** ボタンを使用すると、3つのオプションから選択してVLANメンバーを強調表示できます。

強調表示オプションを選択するには、以下の手順を実行します。

1.  **[VLAN強調表示オプション]** ボタンをオンに切り替えます。
2. 次のオプションから目的の強調表示を選択します。

属性	説明
メンバー以外をフェード	<input checked="" type="checkbox"/> このオプションを選択すると、現在のVLANのメンバーとしてポートを持たないノードがマップ上でフェード表示されます。
メンバーノードを強調	<input checked="" type="checkbox"/> このオプションを選択すると、現在のVLANのメンバーとしてポートを持つノードが円で囲まれます。
メンバーの接続を強調	<input checked="" type="checkbox"/> このオプションを選択すると、現在のVLANのメンバーとしてポートを持つノード間のレイヤー2接続が強調表示されます。

レイヤー2マップでのVLANメンバーの強調表示

レイヤー2マップでは、特定のVLANのメンバーを強調表示できます。

VLANのメンバーを強調表示するには、以下の手順を実行します。

1. マップツールバーで、 [VLANメンバーの強調表示] ボタンをオンに切り替えます。
2. テキストボックス で、以下を実行します。
 - a.  ドロップダウンアイコンをクリックして、NNMiがマップ上のすべてのノードについて検出したVLANの一覧を表示します。
 - b. 目的のVLANを選択します。

または、VLANの名前 (大文字と小文字は区別されない) をテキストボックスに入力して **Enter** キーを押すこともできます。

この結果、選択したVLANのすべてのメンバーがマップ上で強調表示されます。

マップ内でノードを検索する

マップ内の特定のノードを簡単に検索できます。

現在のマップ内でノードを検索するには、次の操作を実行します。

1. マップツールバーで、[検索] ボタンをオンに切り替えます。

2. テキストボックス で、以下のいずれかを行います。
 - このマップ内での選択項目すべてを示すリストを表示するには、 ドロップダウンアイコンをクリックします。リストから任意の項目を選択してください。
 - マップ内で検索するノードの[名前] 属性の値 (大文字と小文字を区別しない) を入力します。これは、マップアイコンのラベルとなる、[ノード] フォームの[名前] 属性の値です。
入力を始めると、自動補完機能によって可能性のある一致のリストが表示されます。リストから任意の項目を選択してください。
3. NNMiは、[名前] 属性の値が、選択された値と一致するノードを選択します。必要な場合、NNMiはマップの該当するエリアをパンします。

4. マップ内の別の場所に移動するには、[検索] ボタンをオフに切り替えます。



関連トピック

- [「マップレイアウトを変更する」\(106ページ\)](#)
- [「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」\(108ページ\)](#)
- [「ズームの倍率を調整する」\(109ページ\)](#)
- [「マップをパン表示する」\(110ページ\)](#)
- [「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(111ページ\)](#)

マップのノードステータスをリフレッシュする

マップビューでは、ノードのレイアウトを保持しながら、マップ上のノードステータスを更新できます。マップの1つまたは複数のノードのステータス更新にのみに関心がある場合は、この機能によってビューをすばやくリフレッシュできます。

NNMiは、マップ上のノードステータスを60秒ごとに自動的にリフレッシュします。リフレッシュカウンターは、最後のステータスリフレッシュが完了した後に進行を開始します。

注: マップのリフレッシュに予想外の時間がかかる場合は、マップに表示されるノードの最大数の設定が大きすぎる可能性があります。NNMi管理者がこの値を設定できます。詳細については、「管理者用のヘルプ」を参照してください。

ノードステータスは手動で更新できます。

ノードステータスのみをリフレッシュするには、次の手順を行います。

ツールバーで  [ステータスのリフレッシュ] アイコンをクリックして、マップビュー上のノードステータスを手動で更新します。

最後の更新時刻が変更され、マップ上の各ノードのステータスがリフレッシュされます。ノードの追加、削除、または並べ替え直しは行われません。接続性は再計算されません。

注: 一部のNNMiユーザーは(割り当てられたNNMiロールに応じて)、ノードその他のオブジェクトをNNMiデータベースから削除することができます。  [リフレッシュ] アイコンを使用してマップがリフレッシュされるまで、削除されたノードはすべてのNNMiユーザーに対して透明なアイコンで表示されます。リフレッシュすると、削除されたノードはマップから除去されます。NNMiは、[検出の初期進行状態]と[ネットワークの概要] マップを除き、マップビューで接続性またはノード集合を自動的にリフレッシュしません。

関連トピック

- [「ビューツールバーの使用」\(160ページ\)](#)
- [「ビューをリフレッシュする」\(58ページ\)](#)

マップのツールのヒント情報を制御する

マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置くと、現在のオブジェクトに関するツールのヒント情報が表示されます。ツールのヒント情報は、オブジェクトのフォーム内に含まれる情報のサブセットです。

マップを開くたびに、 [ツールチップ] ボタンが有効になります。

ツールのヒントのポップアップを無効にするには、 [ツールチップ] ボタンをクリックします。NNMiでは、開いている[ヒント]ダイアログボックスをすべて閉じます。

関連トピック

[「ビューツールバーの使用」\(160ページ\)](#)

NNMiが提供するマップにアクセスする

以下の方法でマップにアクセスできます。

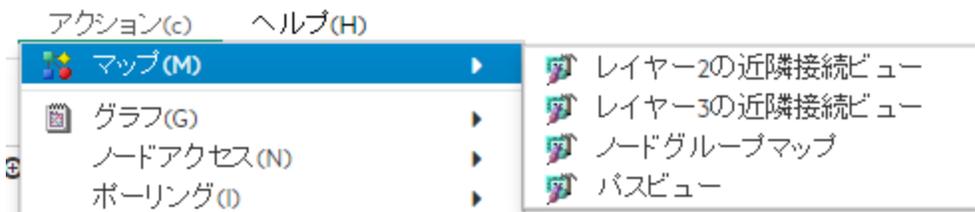
- テーブルビューから[アクション]メニューを使用する
-  [トポロジマップ] ワークスペースおよび  [トラブルシューティング] ワークスペースからアクセスする

テーブルビュー

テーブルビューからマップビューを表示するには

[アクション]メニューを使用する場合の詳細については、「[アクションを使用したタスクの実行](#)」(176ページ)を参照してください。

1. ワークスペースのナビゲーションパネルで、必要なテーブルビューを選択します。(たとえば、[インベントリ] ワークスペース、[ノード]ビューを選択します。)
2. テーブルビューで、目的のオブジェクトがある行をクリックします。
3. メインツールバーの[アクション]メニューを使用して、必要なマップビューを選択します。



VLANの場合は、[アクション]メニューを選択してから[VLANメンバービュー]を選択します。このマップには、選択したVLANのメンバーである、すべてのノードが表示されます。

注: フォームの[アクション]メニューからマップビューにアクセスすることもできます。詳細については、「[NNMiコンソールについて](#)」(1ページ)を参照してください。

ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション]メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

起点ノードのラベルは、マップ上では太字のテキストで表示されます。

4. レイヤー2近接ビューまたはレイヤー3の近接ビューのどちらかを表示している場合は、マップビューが表示された後、**ホップ**¹の数を変更できます。

¹ホップとは、ワークステーション、ゲートウェイ、またはスイッチなど、中間にノードを持たないリンクで接続されたネットワークデバイスを表すノードのことです。

[ホップ数] ドロップダウンリストの中で、表示するホップの数を選択します。デフォルトのホップ数は1です。ホップの最大数は9です。

トポロジマップワークスペース

ノードグループマップを表示するには、次の操作を行います。

1.  [トポロジマップ] ワークスペースを選択します。
2.  をクリックして、目的のフォルダーを展開します。
3. 表示するノードグループマップの名前を選択します。

トラブルシューティングワークスペース

レイヤー2またはレイヤー3の近隣接続ビューマップを表示するには、次の操作を実行します。

- a.  [トラブルシューティング] ワークスペースを選択します。
- b. 生成するマップのタイプを選択します。
- c. レイヤー2近隣接続ビューおよびレイヤー3近隣接続ビューのマップで、ノード名またはIPアドレスのいずれかを使用して開始ノードを指定します。起点ノードのラベルは、マップ上では太字のテキストで表示されます。

注: ノード名またはIPアドレスを入力し始めると、NNMiでは、入力した内容に一致する文字や数字を含んでいる既存の名前またはIPアドレスがリストに表示されます。

- d. マップビューが表示されたら、**ホップ¹**の数を変更できます。

[ホップ数] ドロップダウンリストの中で、表示するホップの数を選択します。デフォルトのホップ数は1です。ホップの最大数は9です。

パスビューを表示するには、次の操作を行います。

- a.  [トラブルシューティング] ワークスペースを選択します。
- b. [パスビュー] を選択します。
- c. [ソース] フィールドおよび [デスティネーション] フィールドに、ノード名またはIPv4アドレスのどちらかを指定して、パスの両端にあるノードを指定します。

注: ノード名またはIPv4アドレスを入力し始めると、NNMiでは、入力した内容に一致する文字や数字を含んでいる既存の名前またはIPv4アドレスがリストに表示されます。

(NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。

ノードグループマップを表示するには、次の操作を行います。

- a.  [トラブルシューティング] ワークスペースを選択します。
- b. [ノードグループマップ] を選択します。
- c. [ノードグループ] フィールドで、表示するノードを含むノードグループの名前を指定します。

¹ホップとは、ワークステーション、ゲートウェイ、またはスイッチなど、中間にノードを持たないリンクで接続されたネットワークデバイスを表すノードのことです。

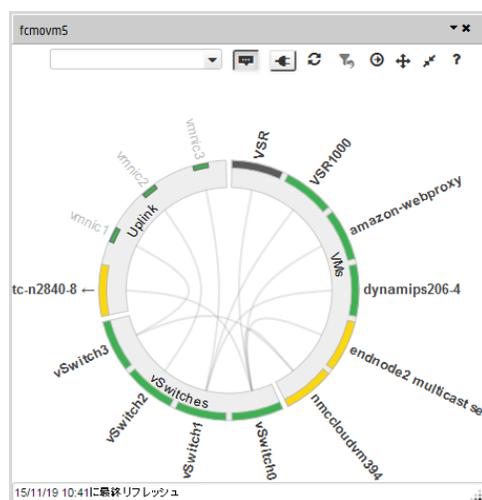
注: ノードグループ名を入力し始めると、入力した内容に一致する文字や数字を含んでいる既存の名前 (大文字と小文字は区別されます) がリストに表示されます。

第7章: ハイパーバイザーのダイアグラムとダイアログの使用

(NNMi Advanced) NNMiには、特定の**ハイパーバイザー**¹で提供される仮想オブジェクトについての詳細情報を示す2種類の対話形式の図があります。これらの図は、ハイパーバイザーまたはその仮想デバイスの1つが選択されているときに、[分析] ペインのタブ上と対話形式のポップアップダイアログ内に表示できます。

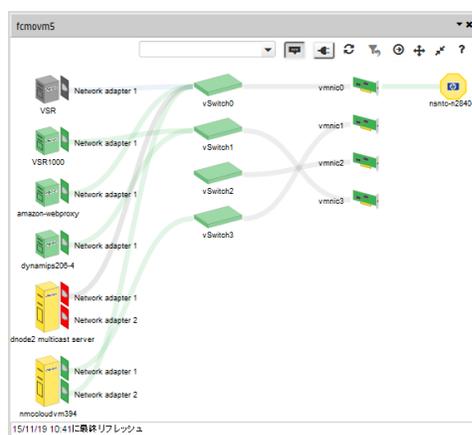
Wheelダイアログ (Wheel図の表示)

詳細については、「[Wheelダイアログの使用](#)」(118ページ)を参照してください。



Loomダイアログ (Loom図の表示)

詳細については、「[Loomダイアログの使用](#)」(138ページ)を参照してください。



ハイパーバイザーダイアログへのアクセス

ハイパーバイザーダイアログにはさまざまな方法でアクセスできます。

アクセスポイント	手順
マップビュー テーブルビュー	<p>ハイパーバイザー、仮想マシン、その他のハイパーバイザーコンポーネント (ノード、インターフェイス、関連するインシデントなど)を表すオブジェクトのいずれについても、ダイアログを表示するには以下のいずれかを実行します。</p> <p>オブジェクトを右クリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ハイパーバイザー] > [ハイパーバイザーのWheel] ダイアログ • [ハイパーバイザー] > [ハイパーバイザーのLoom] ダイアログ <p>オブジェクトを選択し、[アクション] メニューを使用します。</p>

¹仮想デバイスになるリソースのプールのさまざまな局面における委任処理を行う仮想マシンマネージャー。委任は、製造元の実装に応じて、静的であることも動的であることもあります。生成される仮想マシンのタイプは、製造元の実装によって異なります。

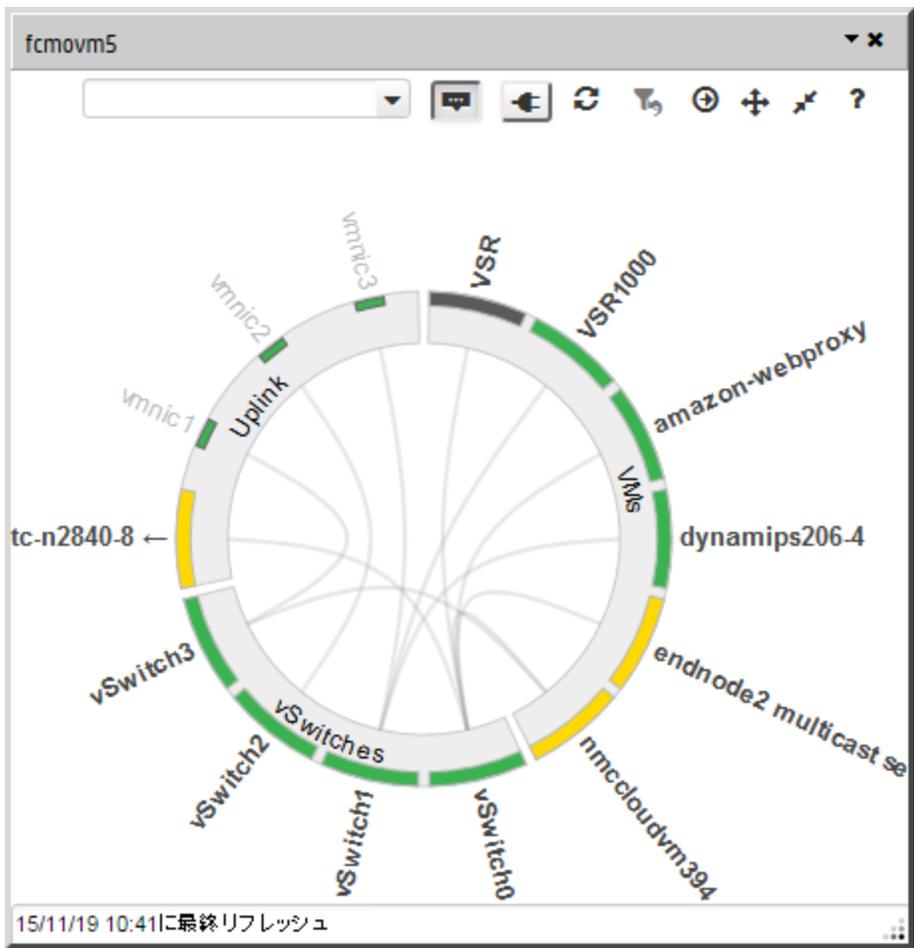
アクセスポイント	手順
	<ul style="list-style-type: none"> • [アクション] > [ハイパーバイザー] > [ハイパーバイザーのWheel] ダイアログ • [アクション] > [ハイパーバイザー] > [ハイパーバイザーのLoom] ダイアログ
<p>以下に関する [分析] ペインと [ダッシュボード] ビュー:</p> <p>Node</p> <p>インターフェイス</p> <p>インシデント</p>	<p>ハイパーバイザー、仮想マシン (VM)、仮想スイッチ (vSwitch)、またはハイパーバイザーによって提供されているその他のコンポーネントを選択し、[分析] ペインまたは [ダッシュボード] ビューに移動します。</p> <p>以下の [分析] ペインのタブまたは [ダッシュボード] パネルのいずれか1つを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Wheel  • Loom  <p>[分析] ペインと [ダッシュボード] パネルで利用できる Wheel ダイアログと Loom ダイアログの機能は、数が限定されています。</p> <p>使用可能なすべての機能にアクセスするには、次の操作を行います。 [分析] ペインで  [新しいウィンドウで図を表示] をクリックします。</p>
<p>ドッキングされたダイアログ:</p>	<p>▼ [ドック] アイコン (ダイアログのタイトルバー内) をクリックすると、ポップアップ表示されていたダイアログが、[分析] ペインのタブ領域の下部に表示される小さな四角形のリンクに変わります。ダイアログを表示するにはこのリンクをクリックします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  ハイパーバイザー名 = Wheelダイアログ </div> <div style="text-align: center;">  ハイパーバイザー名 = Loomダイアログ </div> </div>
<p>ヒント: NNMi 管理者は、特殊な URL を指定して showWheel コマンドと showLoom コマンドを実行することによって NNMi の外部に Wheel と Loom を表示し、特定のハイパーバイザーまたはそのハイパーバイザーによって提供されているリソースの1つに関する詳細情報を表示できます。</p>	

Wheelダイアログの使用

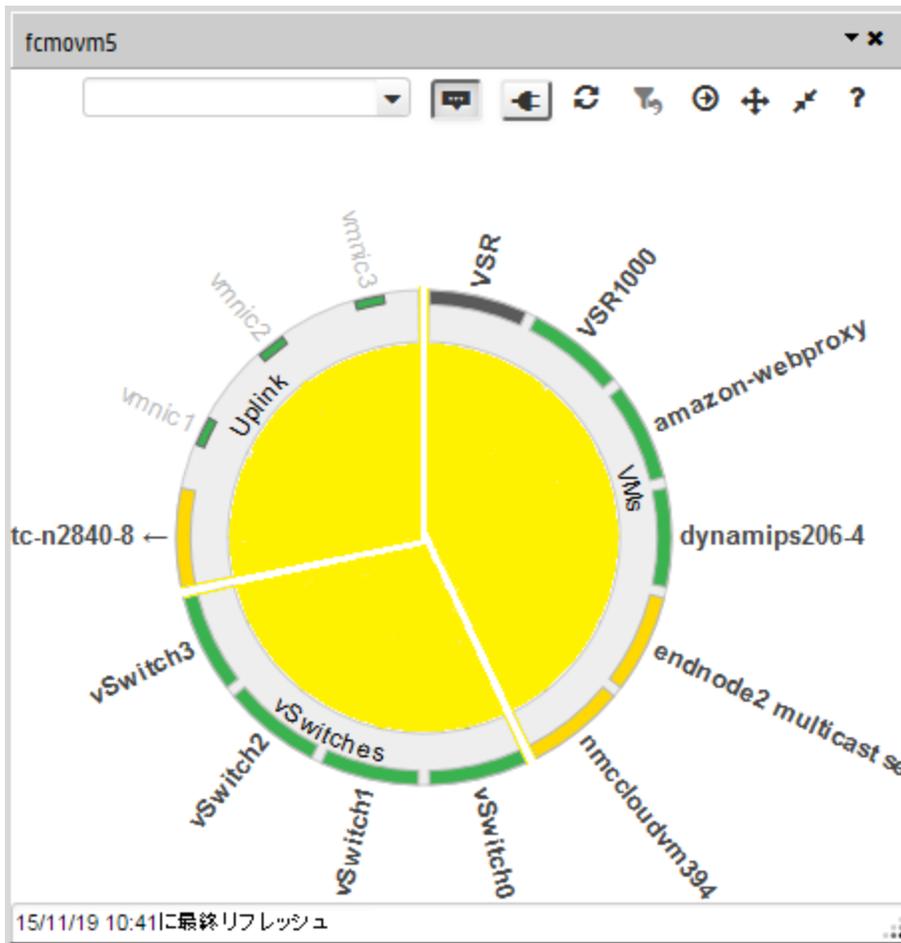
(NNMi Advanced) Wheelダイアログには、仮想リソースの現在のデプロイメントが表示されます。

スライド 1: 最初の画面には、**ハイパーバイザー**¹によって現在デプロイされている仮想ノード全体が表示されます (現在パワーオフの状態にあるリソースは表示されません):

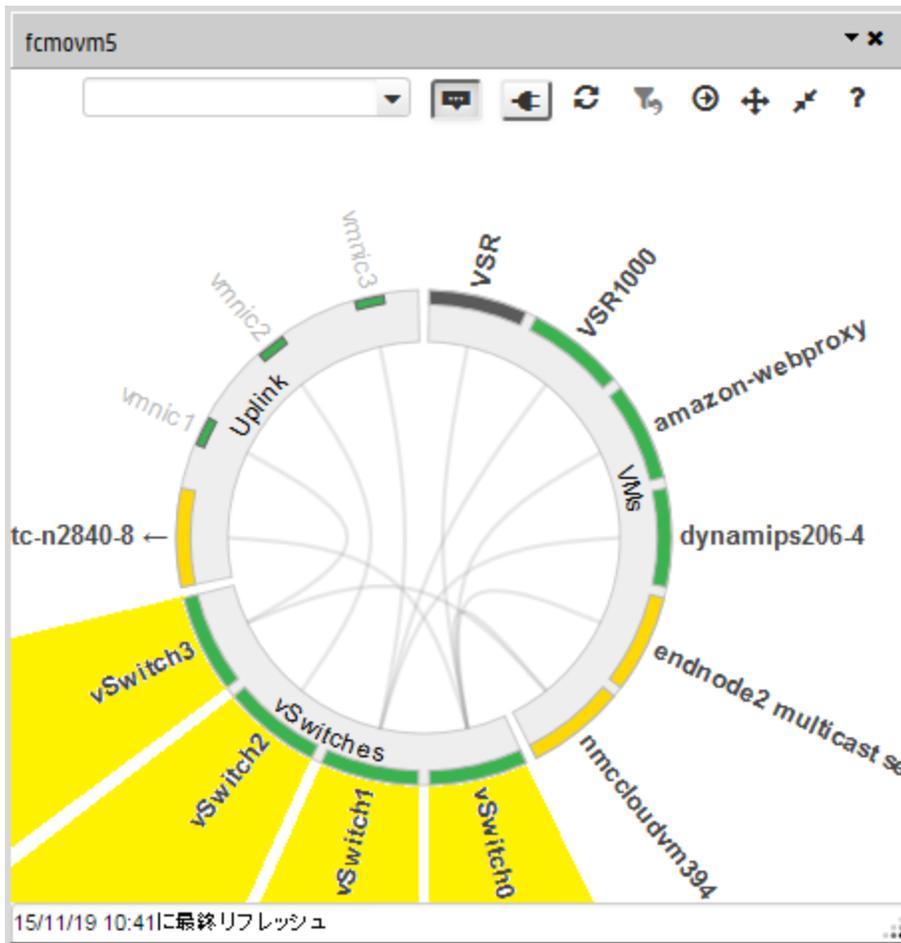
¹仮想デバイスになるリソースのプールのさまざまな局面における委任処理を行う仮想マシンマネージャー。委任は、製造元の実装に応じて、静的であることも動的であることもあります。生成される仮想マシンのタイプは、製造元の実装によって異なります。



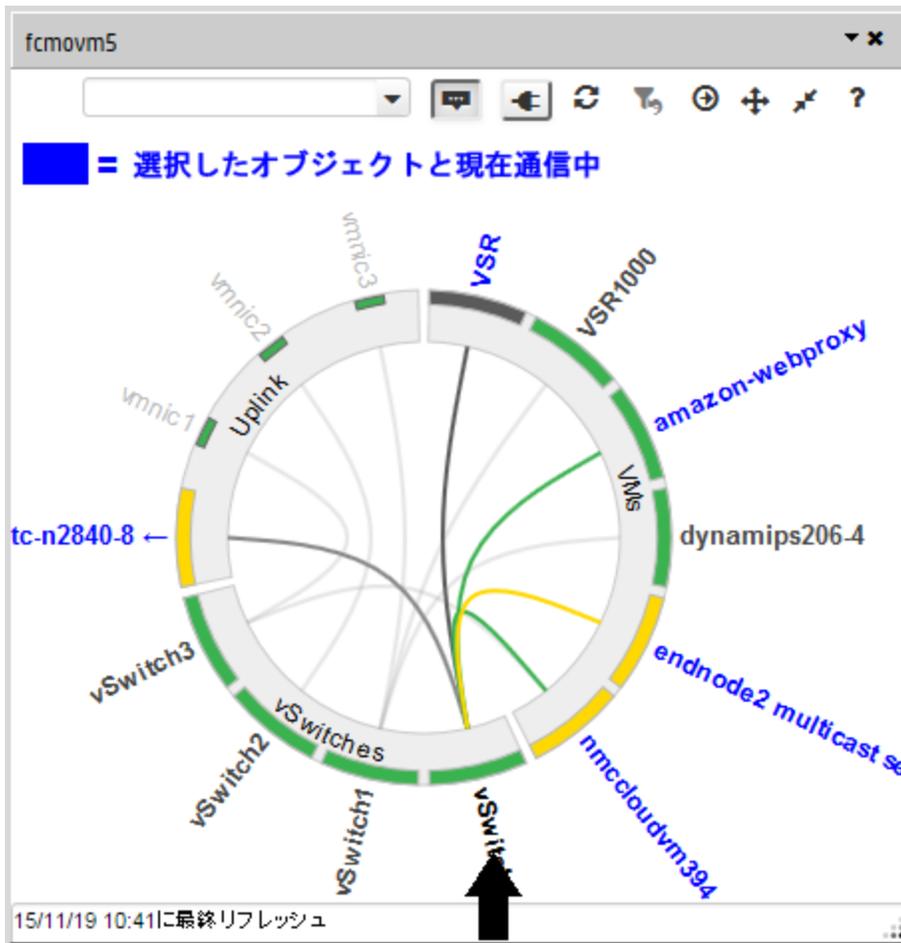
スライド2:内側のリング部分は、ハイパーバイザーによって提供されているデバイスタイプのカテゴリを表します:



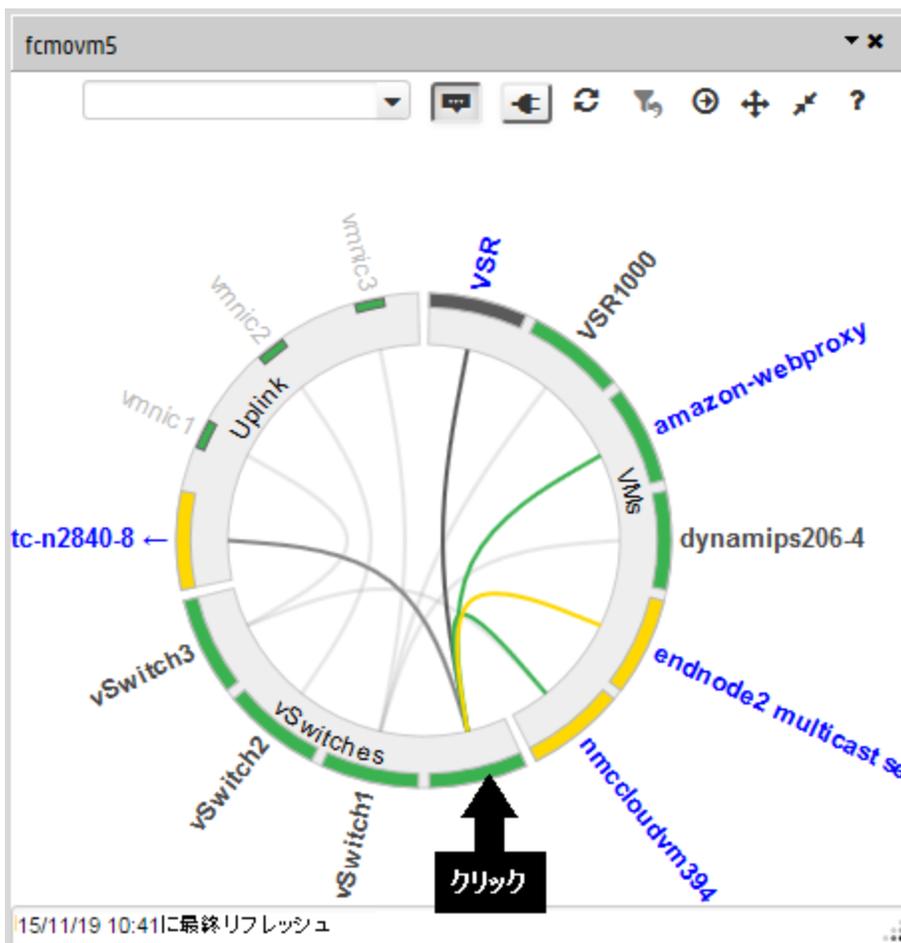
スライド3: 外側のリング部分は、ハイパーバイザーによってデプロイされている仮想デバイスを表します:



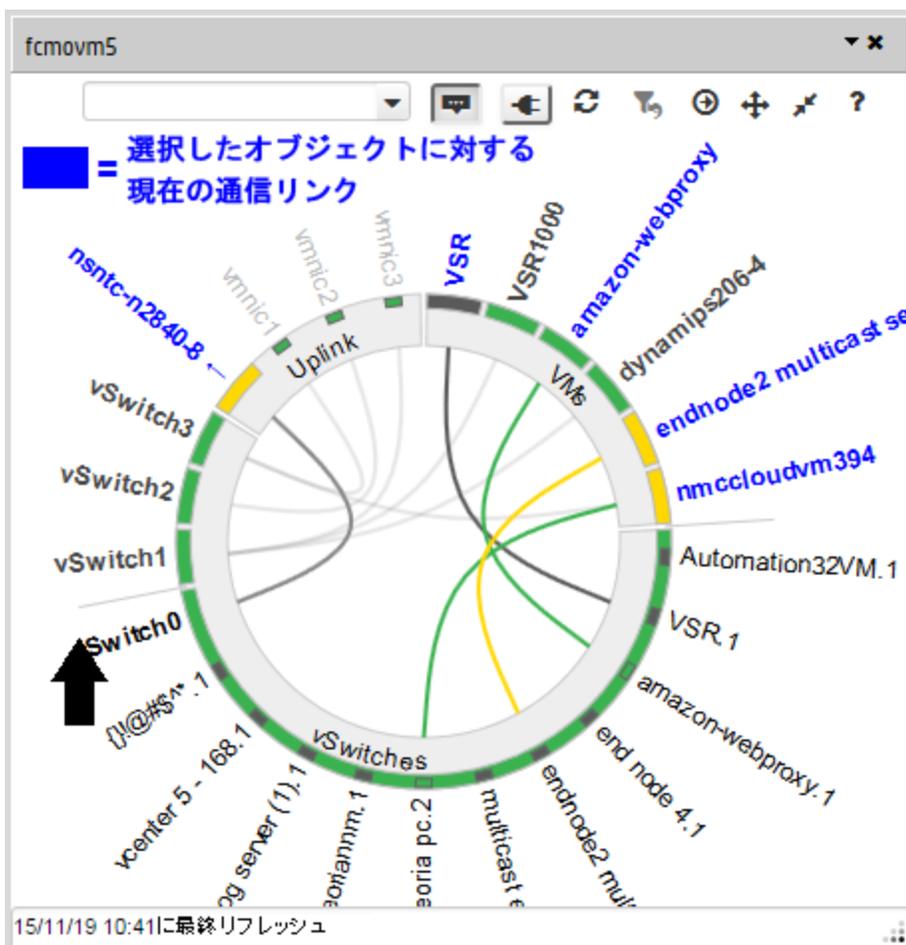
スライド4:そのオブジェクトの現在の通信チャンネルを表示するには、名前にマウスポインターを合わせます:



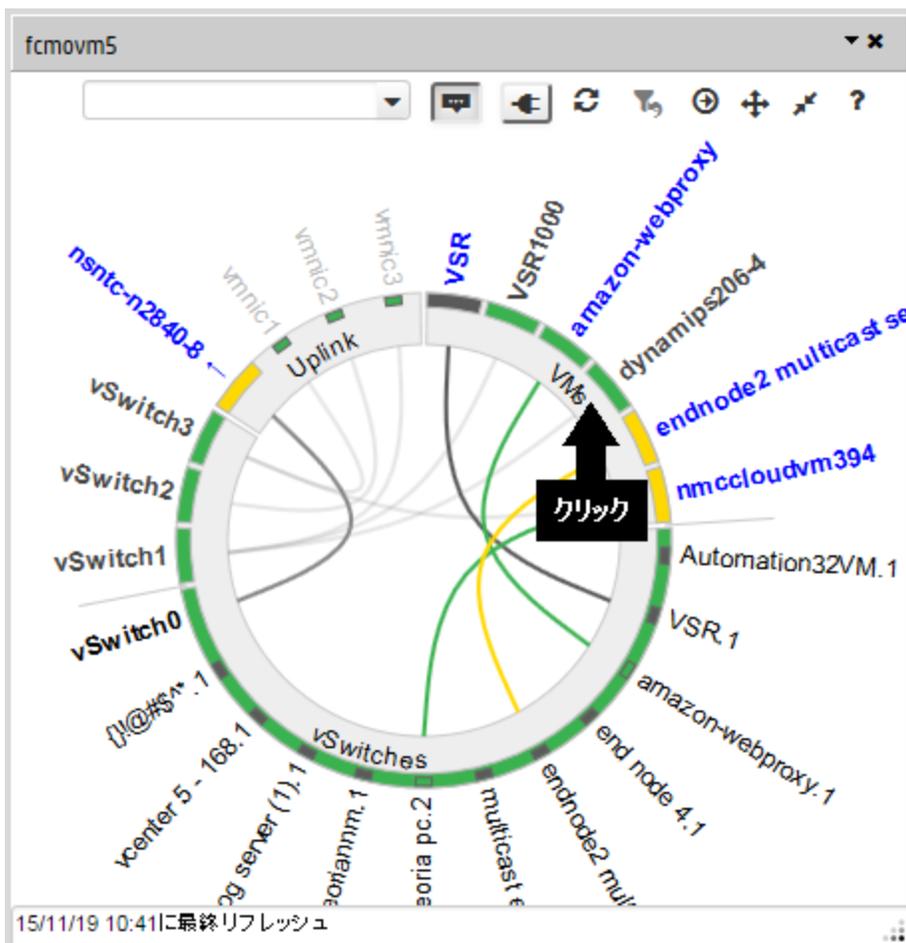
スライド5~6: 1つのデバイスのインターフェイスまたはポートを非表示にしたり表示したりするには、外側の円弧をクリックします:



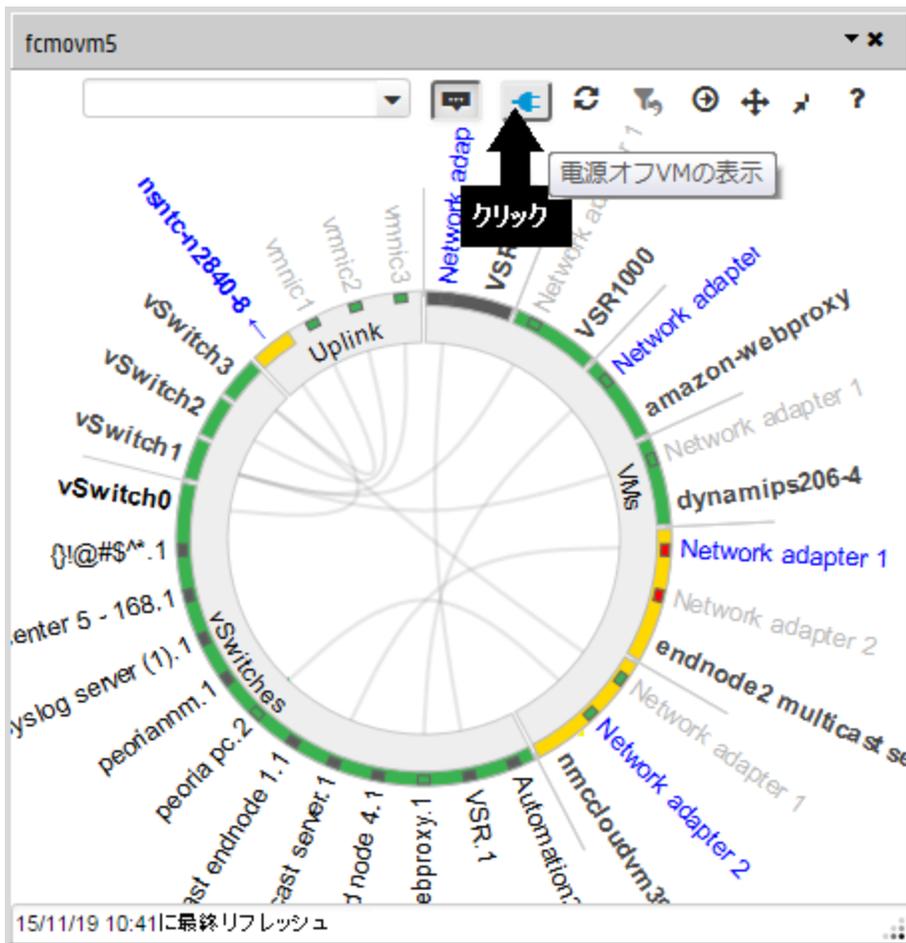
スライド7: デバイス名を強調表示させると、接続の詳細が表示されます:



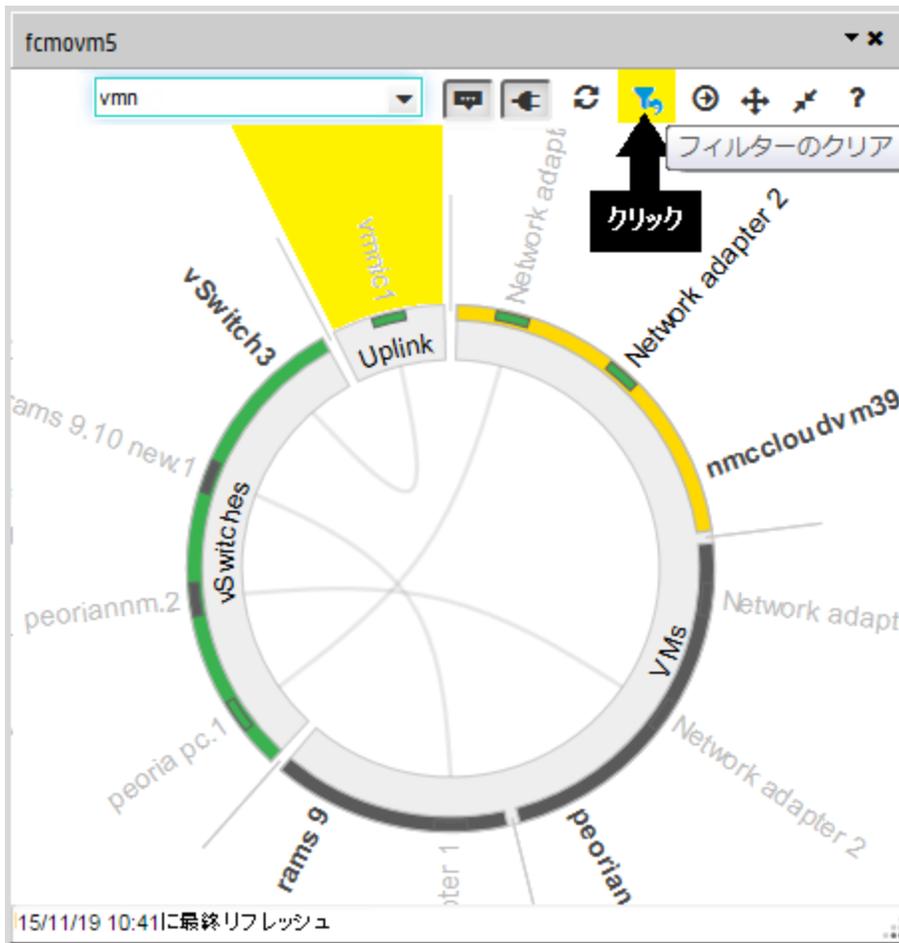
スライド8: 1つのデバイスカテゴリ内のすべてのデバイスインターフェイスまたはポートを非表示にしたり表示したりするには、内側の円弧をクリックします:



スライド 10 ~ 11:  パワーオフの状態にあるリソースを表示したり非表示にしたりすることができます:



前の表示に戻ります。



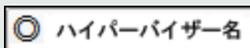
Wheelのサイズと場所の変更

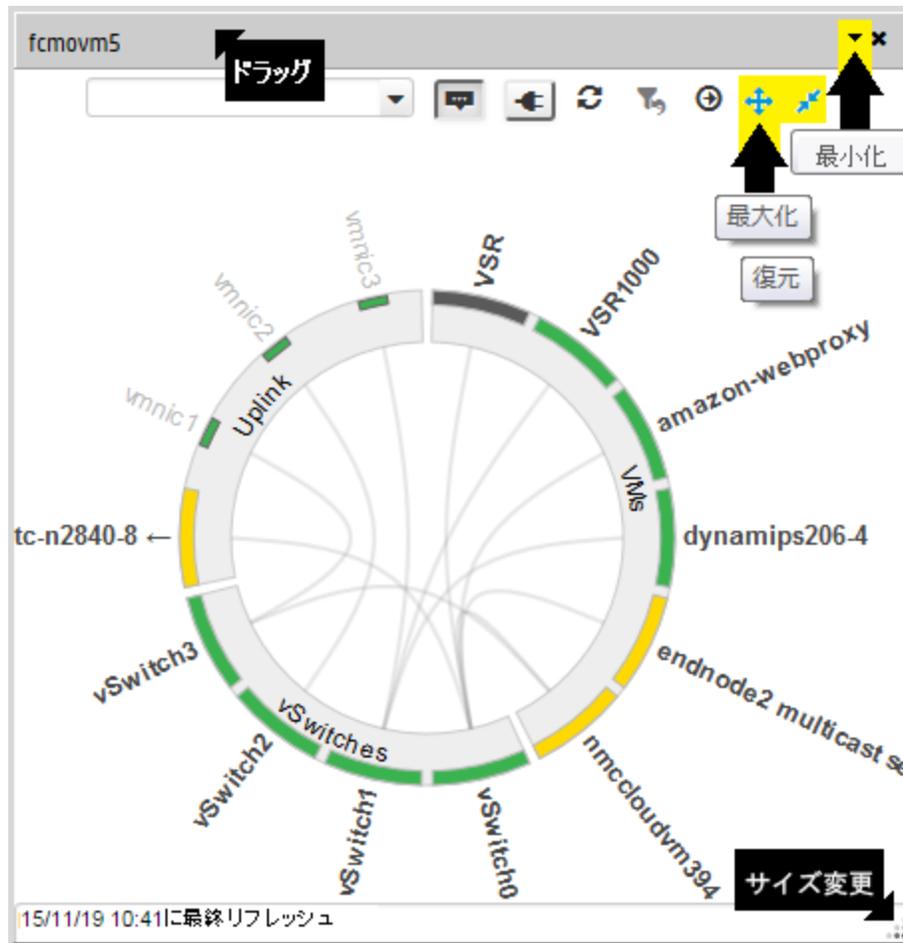
背景を左クリックしてどのポートを新しい中心にするかを決定し、マウスを使用して以下の操作を行います。

- ズームインまたはズームアウトするには、マウスホイールを回転させます。
- 図中の少し離れた新しい場所にパンするには、ドラッグします。
- 強調表示された現在の選択を保持したままパンする (たとえば、強調表示された接続ラインを図中でたどる) には、次の操作を行います。
 - Ctrlキーを押しながらマウスホイールを回転させる
 - Ctrlキーを押しながらドラッグする

ポップアップのサイズと場所も変更できます。セッションが変わってもNNMiはユーザーによる設定を保持します (ブラウザ単位)。

注: 最小化されたWheelは、次に示すように、コンソールウィンドウの下部にハイパーバイザーの名前と一緒に表示されます。

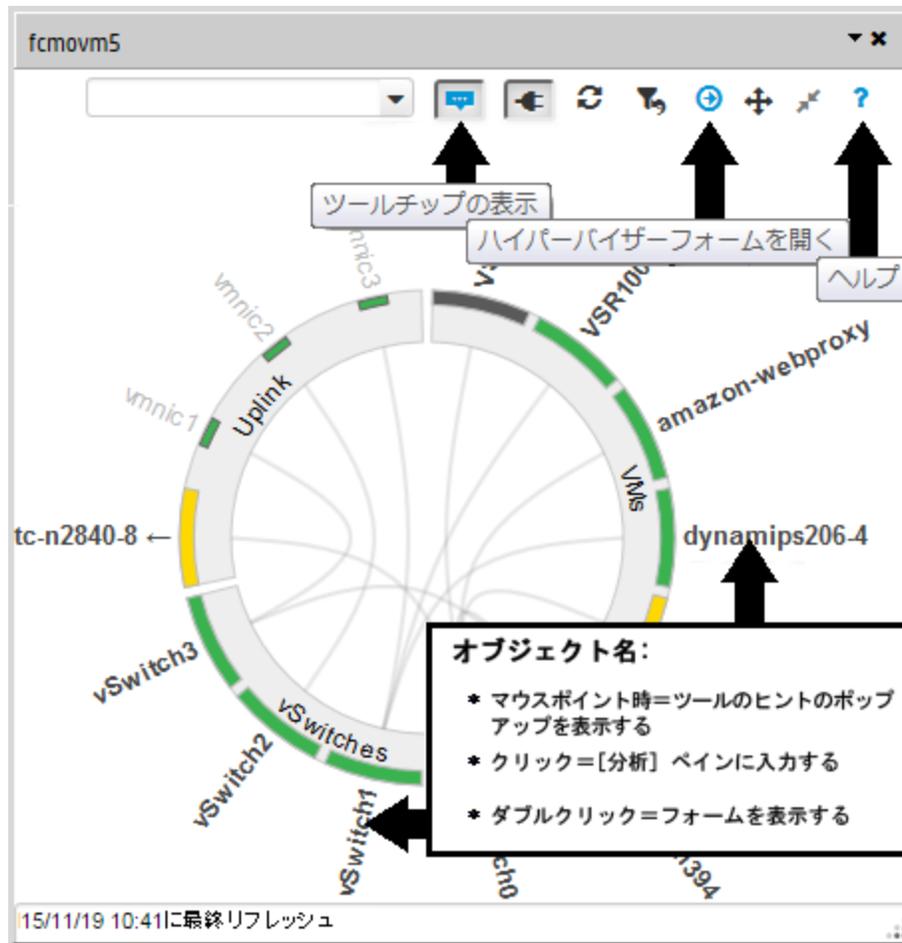




詳細情報の表示

- メインコンソールに[分析] ペインを表示するには、Wheelの外周付近にある任意のテキストをクリックします。
- メインコンソールにノードフォームまたはインターフェイスフォームを表示するには、Wheelの外周付近にある任意のテキストをダブルクリックします。

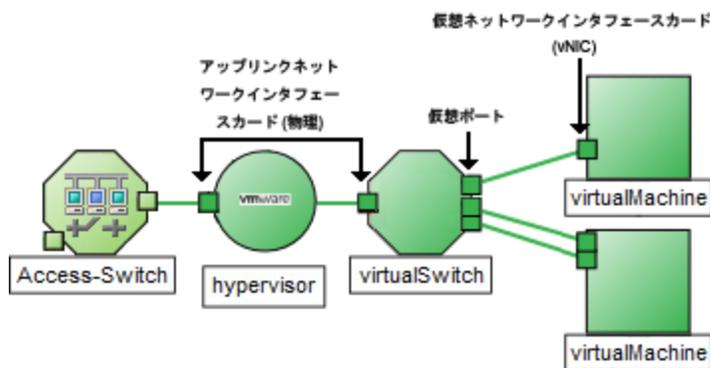
注: マップビューからWheelダイアログを呼び出した場合、Wheel上のオブジェクトをクリックすると、そのオブジェクトがマップ上で自動的に強調表示されます。[「ハイパーバイザーのダイアグラムとダイアログの使用」\(117ページ\)](#)も参照してください。



Wheel域を越えて接続されているデバイスの表示

1. Wheelダイアログツールバーで、 [ハイパーバイザーフォームを開く] をクリックし、メインコンソールに [ノード] フォームを表示します。
2. [アクション] > [マップ] > [レイヤー2の近隣接続ビュー] を使用します。

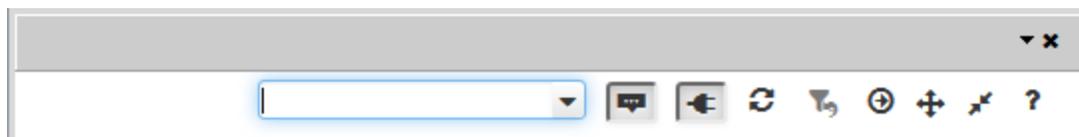
ヒント: 以下の項目 以外に、アクセススイッチに接続されている項目 がすべて示されます。



3. 範囲を広げて接続を確認するには、マップツールバーで [ホップ数] の設定を増やします。

ツールバーアクション

ツールバーアイコンは、Wheelダイアログの最上部にあります。



アイコン	説明
	<p>[ドック]。Wheelダイアログを最小化し、コンソールのワークスペースの右下に表示される小さな四角形のリンクに変えます。</p>
	<p>[閉じる]。Wheelダイアログを閉じます。</p>
検索	<p>仮想マシン名、VSwitch名、インターフェイス名、管理アドレス、またはIPアドレスで項目を選択できる、オートコンプリート機能が付いたプルダウン。</p> <p>選択したオブジェクトを図中で強調表示するには、以下のいずれかの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • リスト項目をクリックする • Enterキーを押す <p>注: 選択した項目が現在表示されていない場合には、NNMiによって以下のような妥当な処理が自動的に実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 親オブジェクトを拡大することによって選択された項目を表示する。 • パワーオフの状態にある項目をすべて表示することによって選択された項目を表示する。
または	<p>[ツールチップの表示]。オブジェクトにマウスポインターを重ねたときに詳細情報を表示するポップアップを有効にするか () または無効にする () 切り替えボタン。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [仮想マシン] ポップアップには、名前、管理アドレス、電源の状態、システムの説明が表示されます。 • [仮想スイッチ] ポップアップと[仮想インターフェイス] ポップアップには、ifName、ifAlias、ifType、およびすべての現行IPアドレスが表示されます。
または	<p>[パワーオフ状態のVM]。現在の パワー状態 がPowered Offであるすべての仮想マシンを表示するか () または非表示にする () 切り替えボタン。「[ノード (すべての属性)] ビュー」を参照してください。</p>
	<p>[リフレッシュ]。各オブジェクトの最新の仮想設定とステータスが表示されるように、現在の図を更新します。</p>
または	<p> このアイコンは、現在のWheelがハイパーバイザーとそのハイパーバイザーによって提供</p>

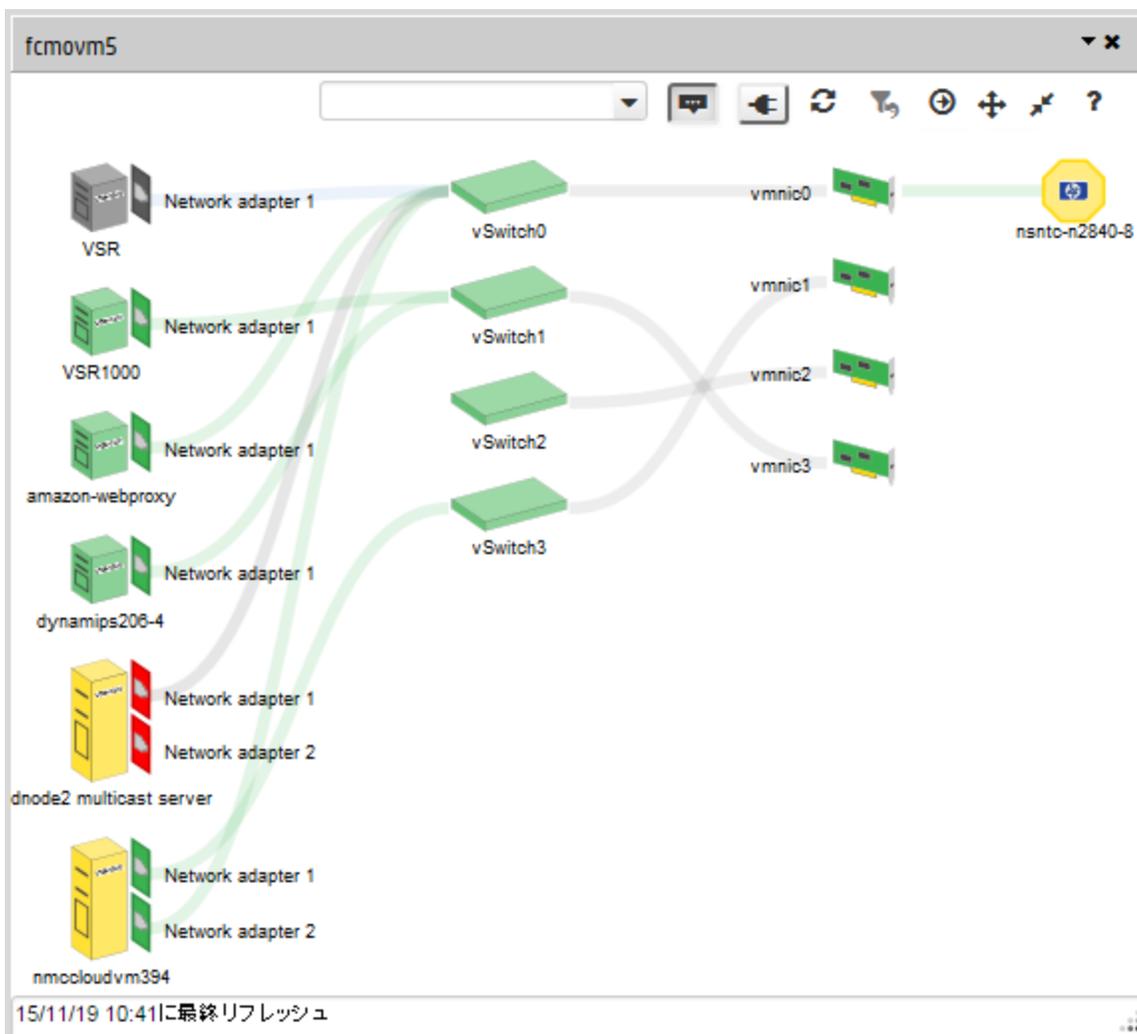
アイコン	説明
	<p>されているすべての仮想オブジェクトを表している場合、灰色です。</p> <p> このアイコンは、現在のLoomがハイパーバイザーのリソースのサブセット (仮想スイッチ、仮想インターフェイス、または物理インターフェイス) を表している場合、黒色です。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">  これのみを表示 </div> <div> 選択したオブジェクトと直接やりとりがない項目をすべて非表示にすることにより、Wheel図を簡略化します。 </div> </div> </div>
	<p>[ハイパーバイザーフォームを開く]。ハイパーバイザーのリソースのどのサブセットが現在Wheelに表示されているかどうかにかかわらず、ハイパーバイザーのフォームを表示します。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ヒント: 任意のノードラベルまたはインターフェイスラベルをダブルクリックしてそのオブジェクトのフォームを表示します。</p> </div>
 または 	<p>[最大化]。</p> <p> このアイコンは、クリックすることによってWheelダイアログが可能な限り最大化され、NNMiコンソールウィンドウで利用できる領域全体を覆うときは黒色です。</p> <p> このアイコンは、Loomがすでに最大化されているときは灰色です。 [復元] (下記) を参照してください。</p>
	<p>[復元]。 [最大化] をクリックする前のサイズと設定にダイアログを戻します。</p>
	<p>[ヘルプ]。Wheelダイアログのヘルプにアクセスする場合にはこのアイコンをクリックします。</p>
	<p>[サイズ変更]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Wheelダイアログのタイトルバーをクリックし、ダイアログをコンソール内の任意の場所に移動します。 2. 右下隅  をドラッグし、ダイアログが適切なサイズになるように変更します。 <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>注: NNMiは、サイズと場所についてのユーザーの設定 (ブラウザー設定に保存された項目) を記憶します。</p> </div>

Loomダイアログの使用

Loomに表示される項目の変更

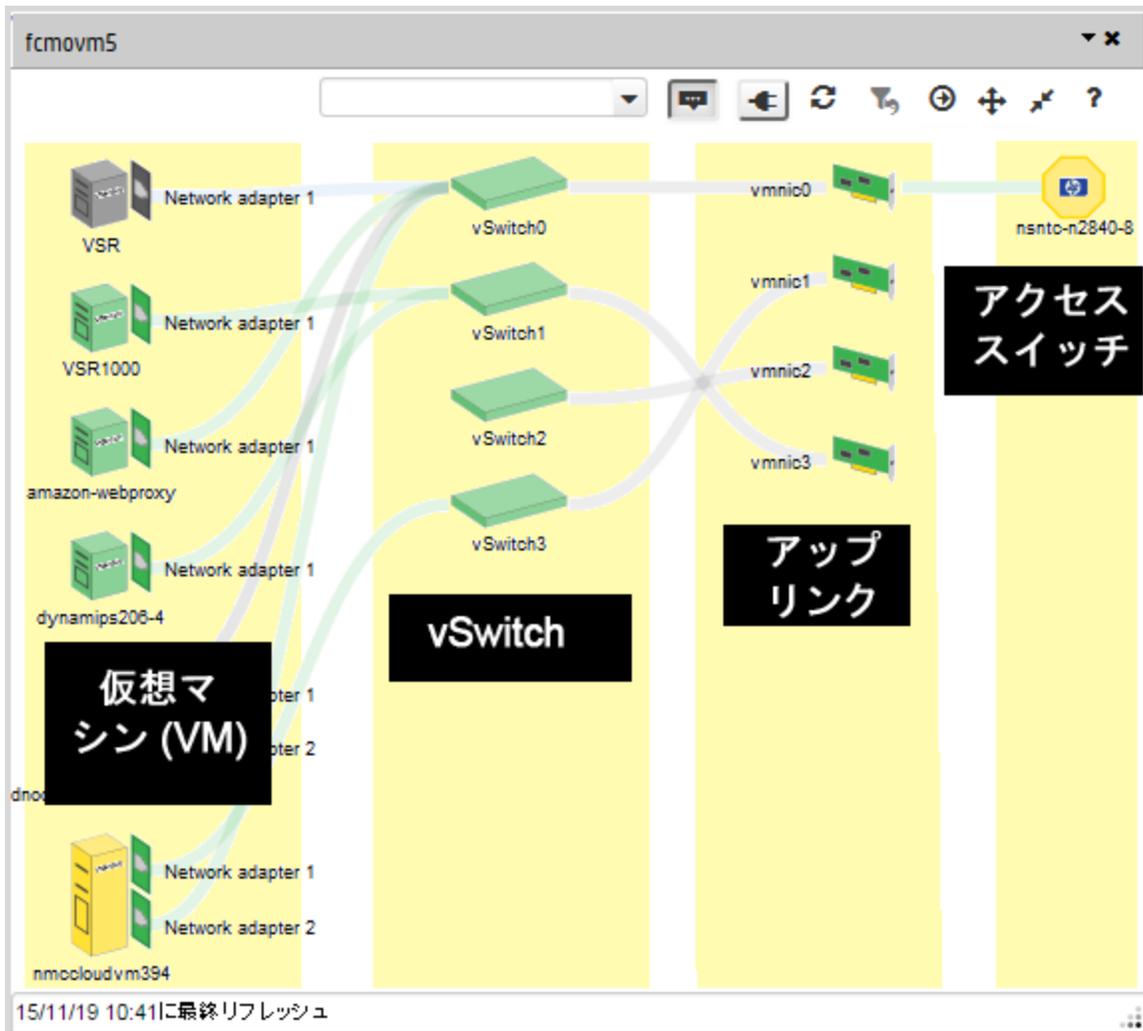
(NNMi Advanced) Loomダイアログには、仮想リソースの現在のデプロイメントが表示されます。

スライド1:最初の画面には、**ハイパーバイザー**¹によって現在デプロイされている仮想ノード全体が表示されます (現在パワーオフの状態にあるリソースは表示されません):

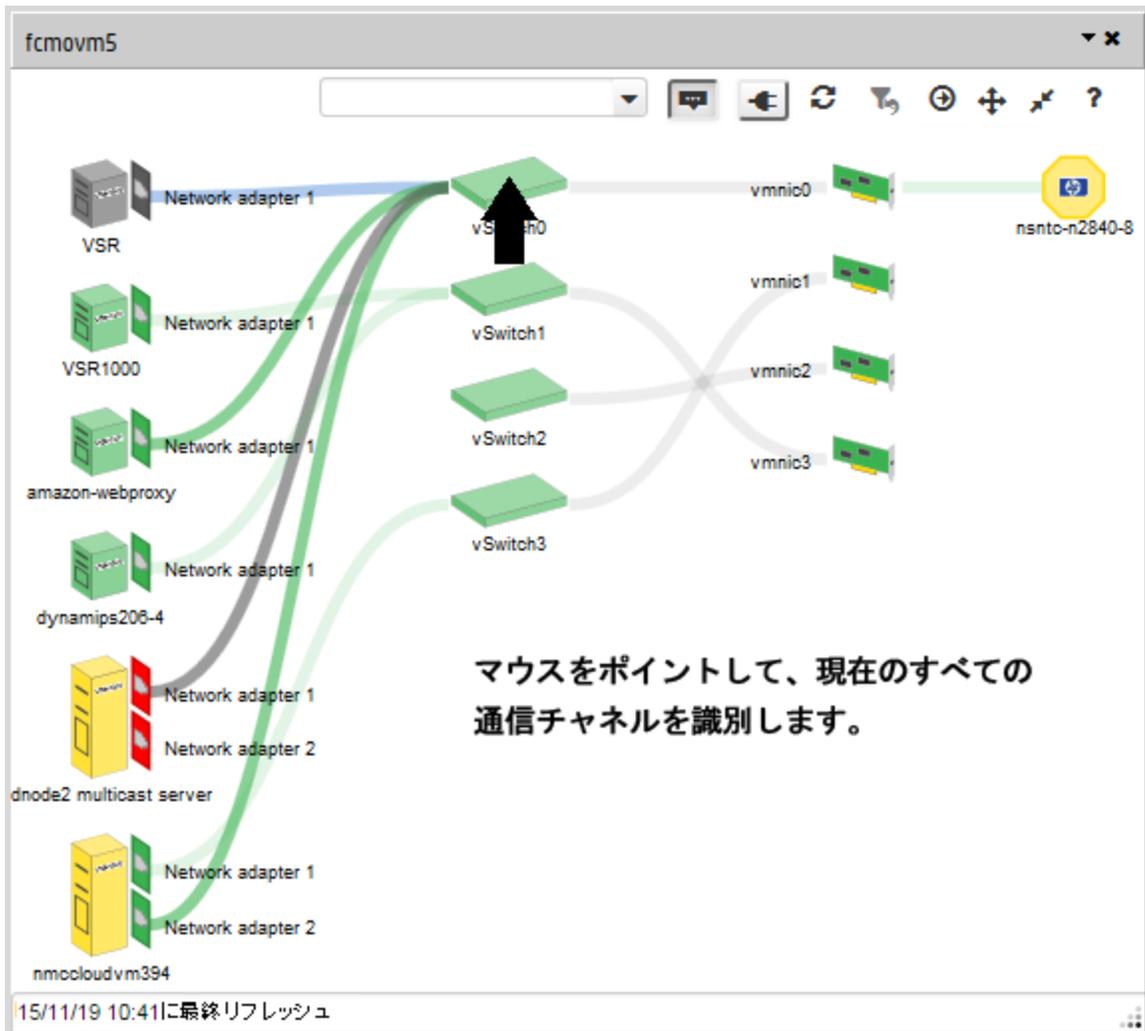


¹仮想デバイスになるリソースのプールのさまざまな局面における委任処理を行う仮想マシンマネージャー。委任は、製造元の実装に応じて、静的であることも動的であることもあります。生成される仮想マシンのタイプは、製造元の実装によって異なります。

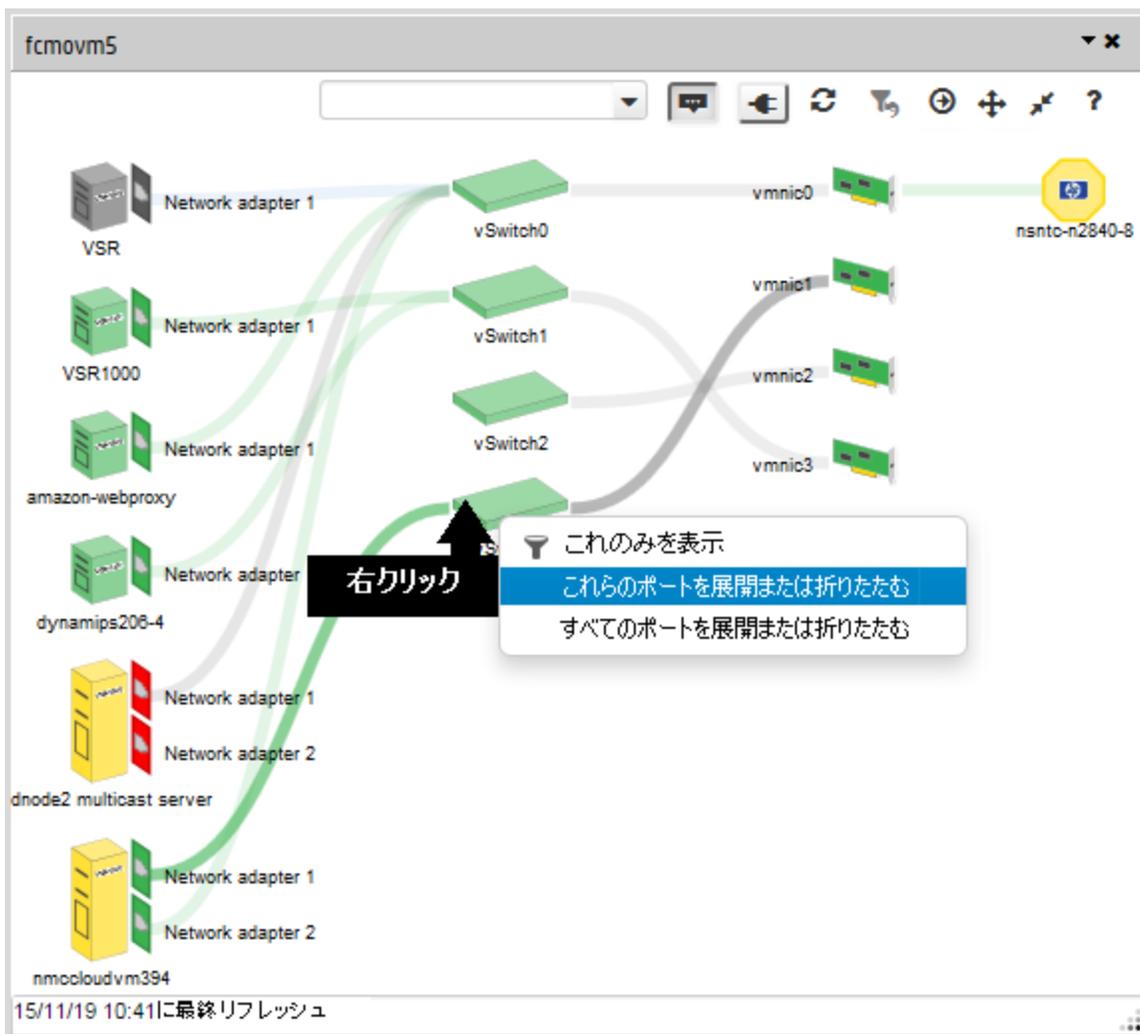
スライド2:列は、ハイパーバイザーによって提供されているデバイスタイプのカテゴリを表します。



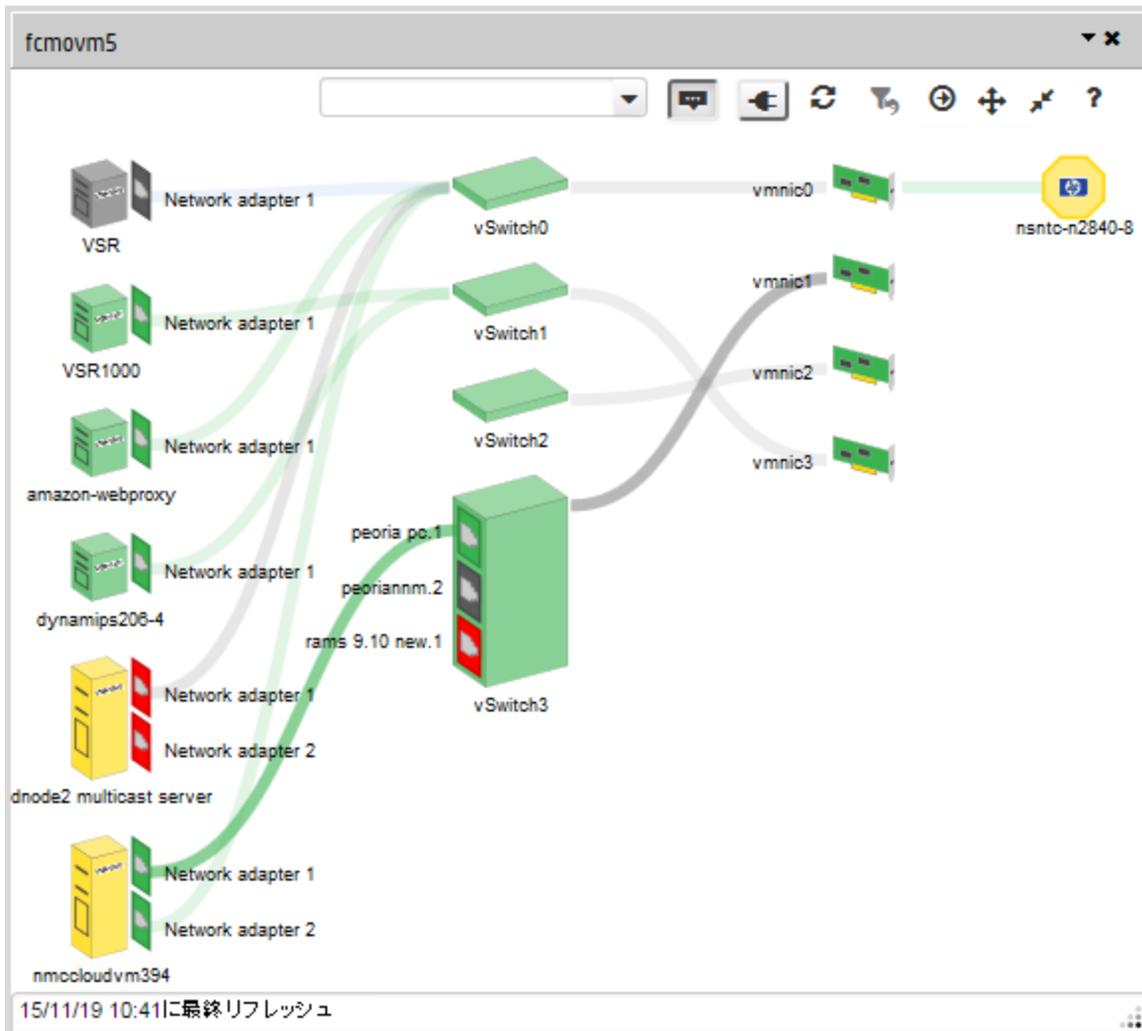
スライド3: そのオブジェクトに割り当てられている接続を表示するには、名前にマウスポインターを合わせます:



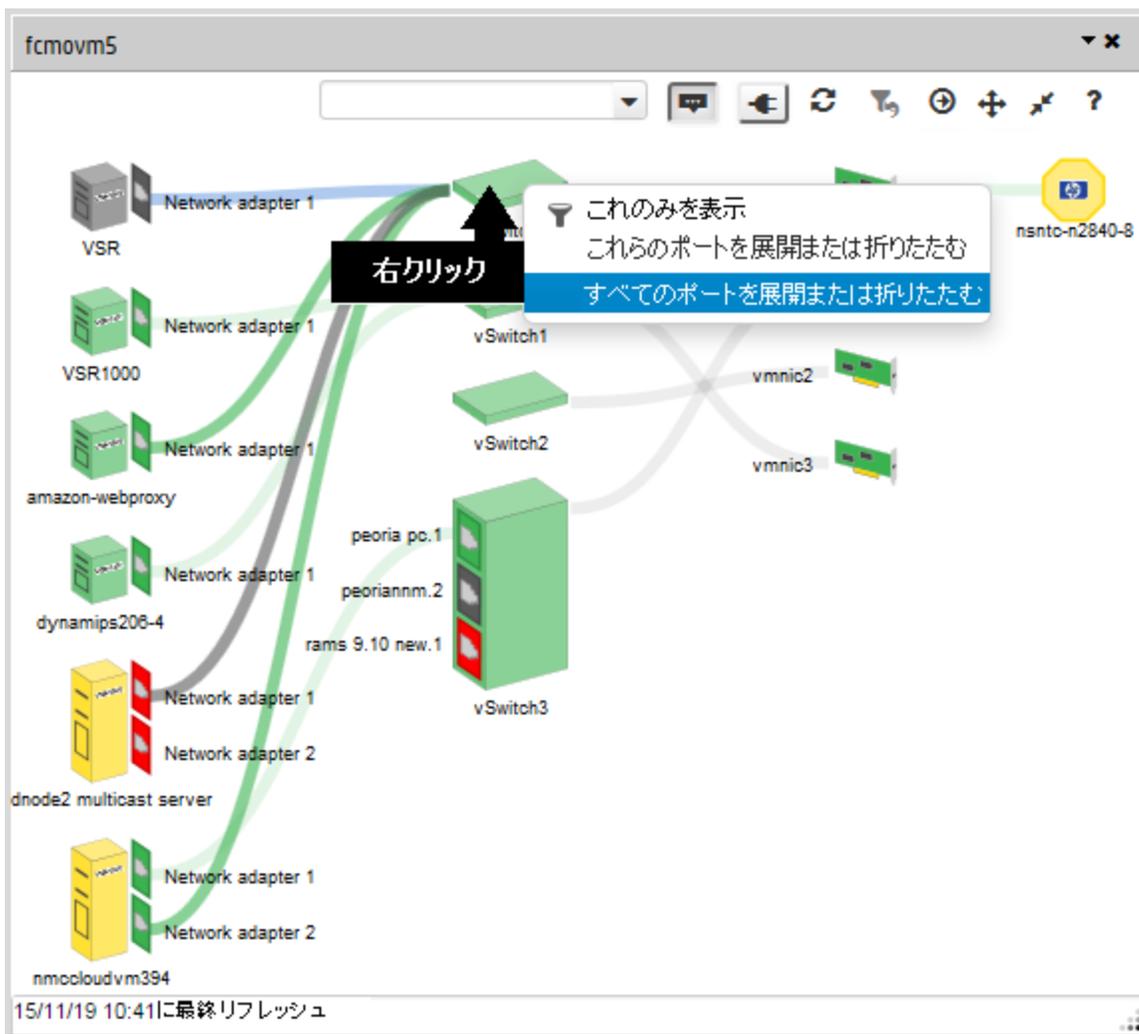
スライド4~5: 1つのデバイスのインターフェイスまたはポートを表示したり非表示にしたりするには、右クリックします:



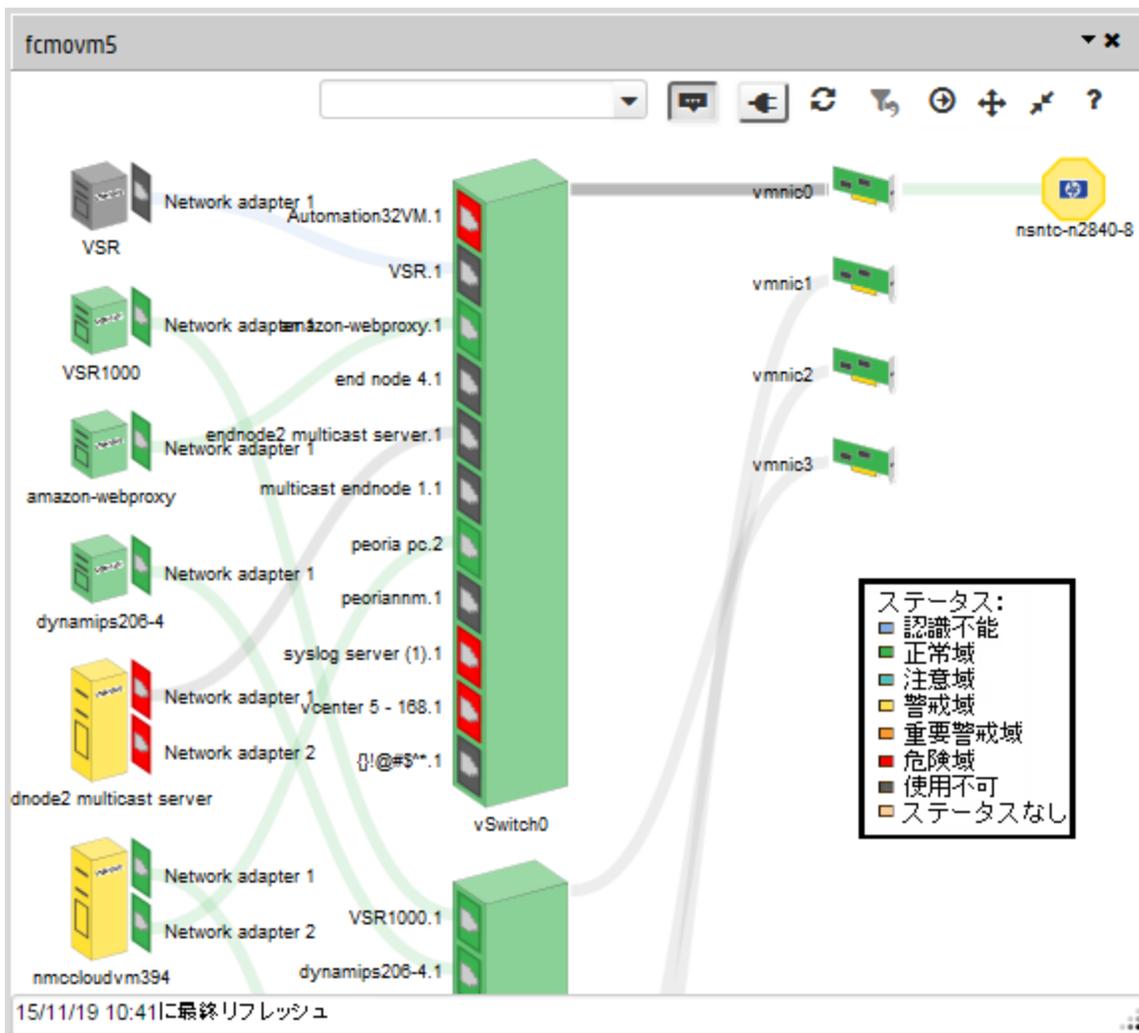
インターフェイスまたはポートはオブジェクト内に示されます。



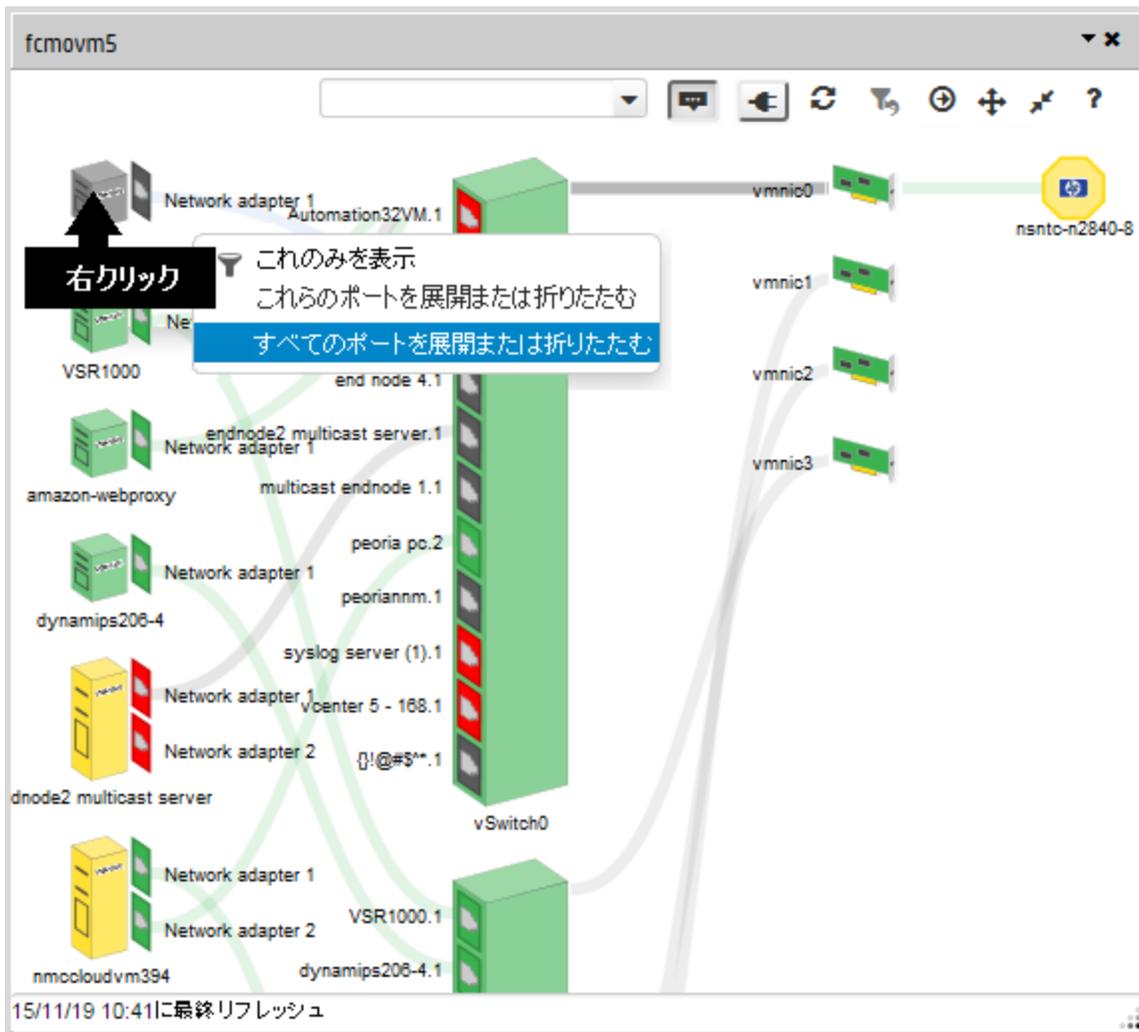
スライド6: 1つのデバイスカテゴリ内のすべてのデバイスインターフェイスまたはポートを表示するには、右クリックします:



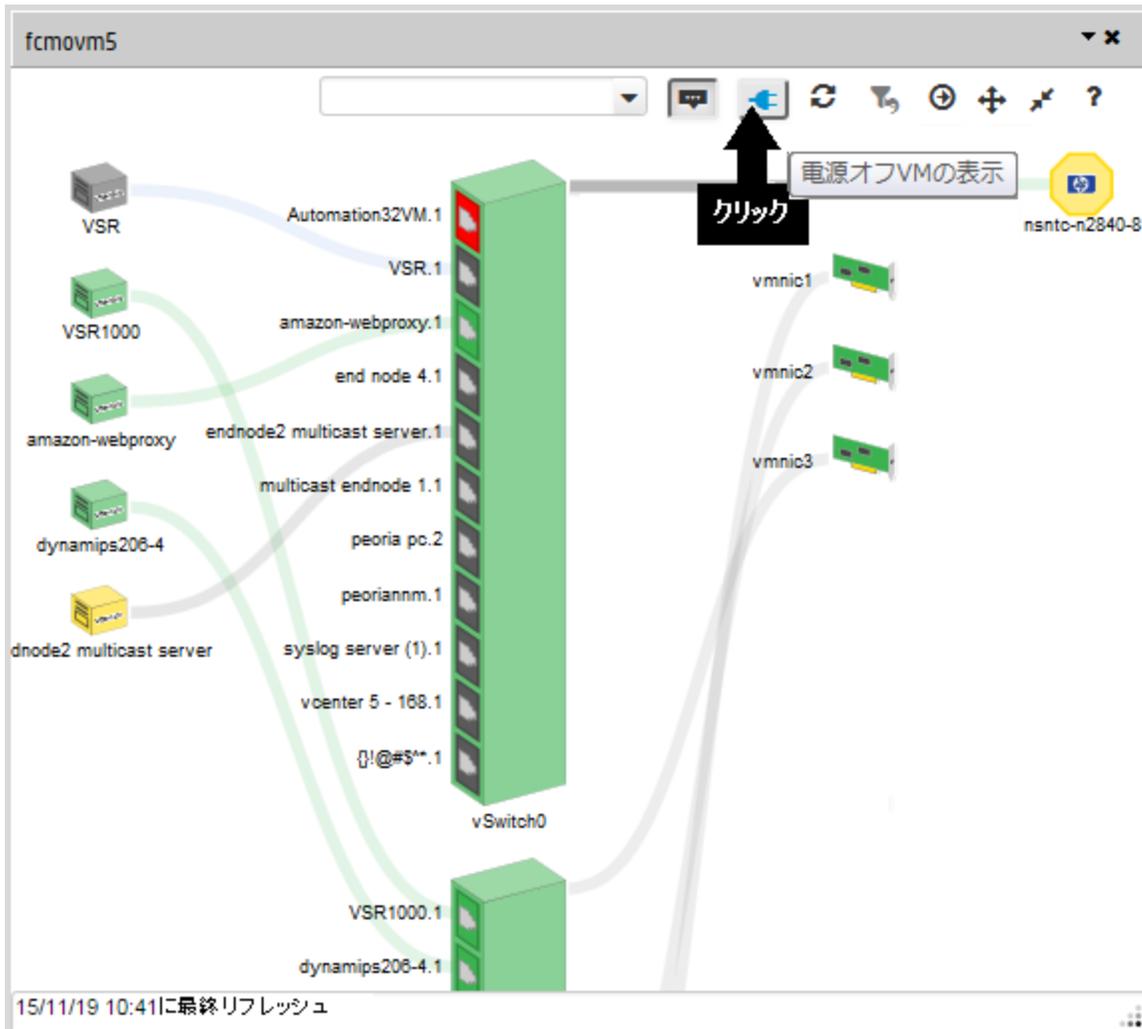
スライド7: 色は、各ノード、インターフェイス、またはポートの現在のステータスを示します:



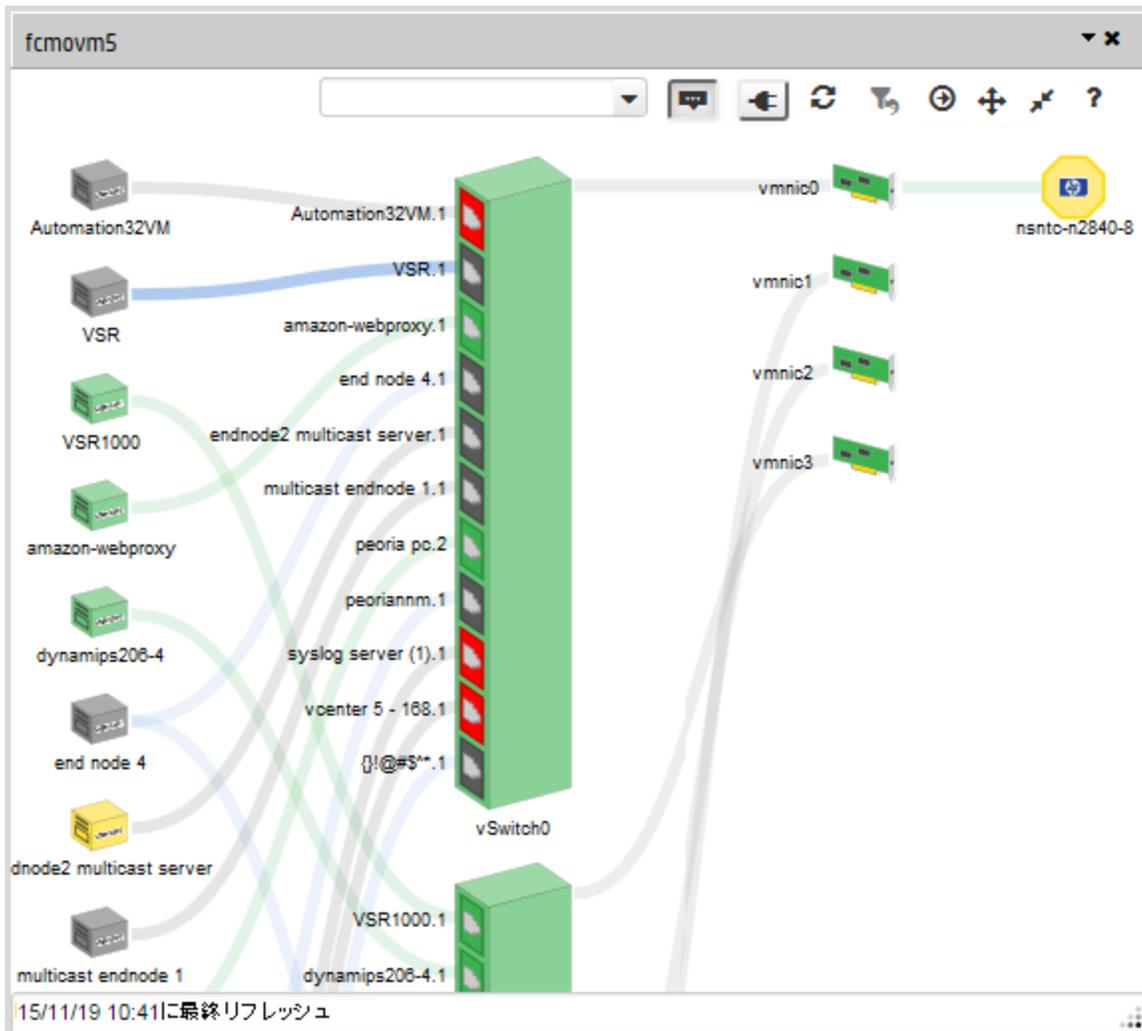
スライド8: 1つのデバイスカテゴリ内のすべてのデバイスインターフェイスまたはポートを非表示にするには、右クリックします:



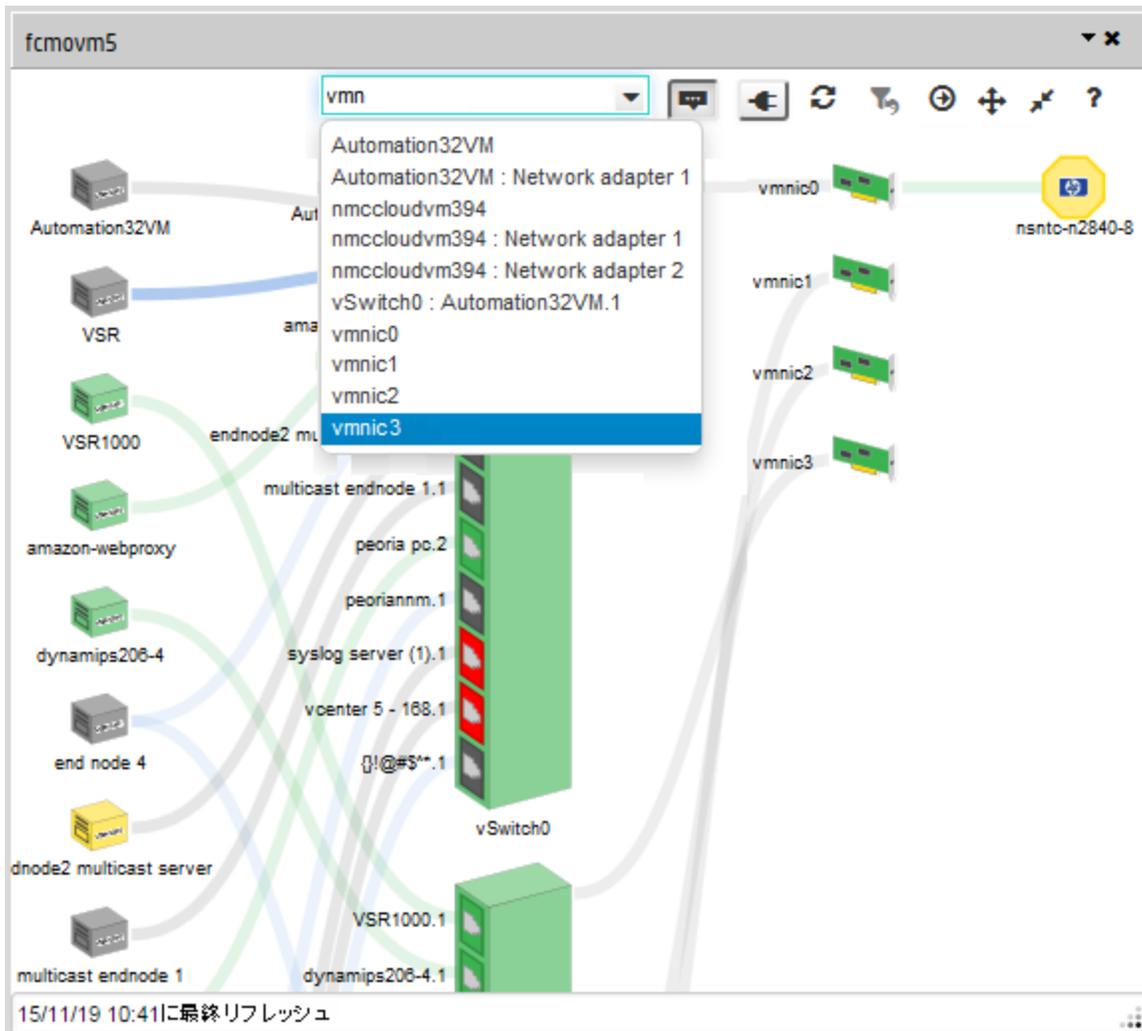
スライド9~10:  パワーオフの状態にあるリソースを表示したり非表示にしたりすることができます:



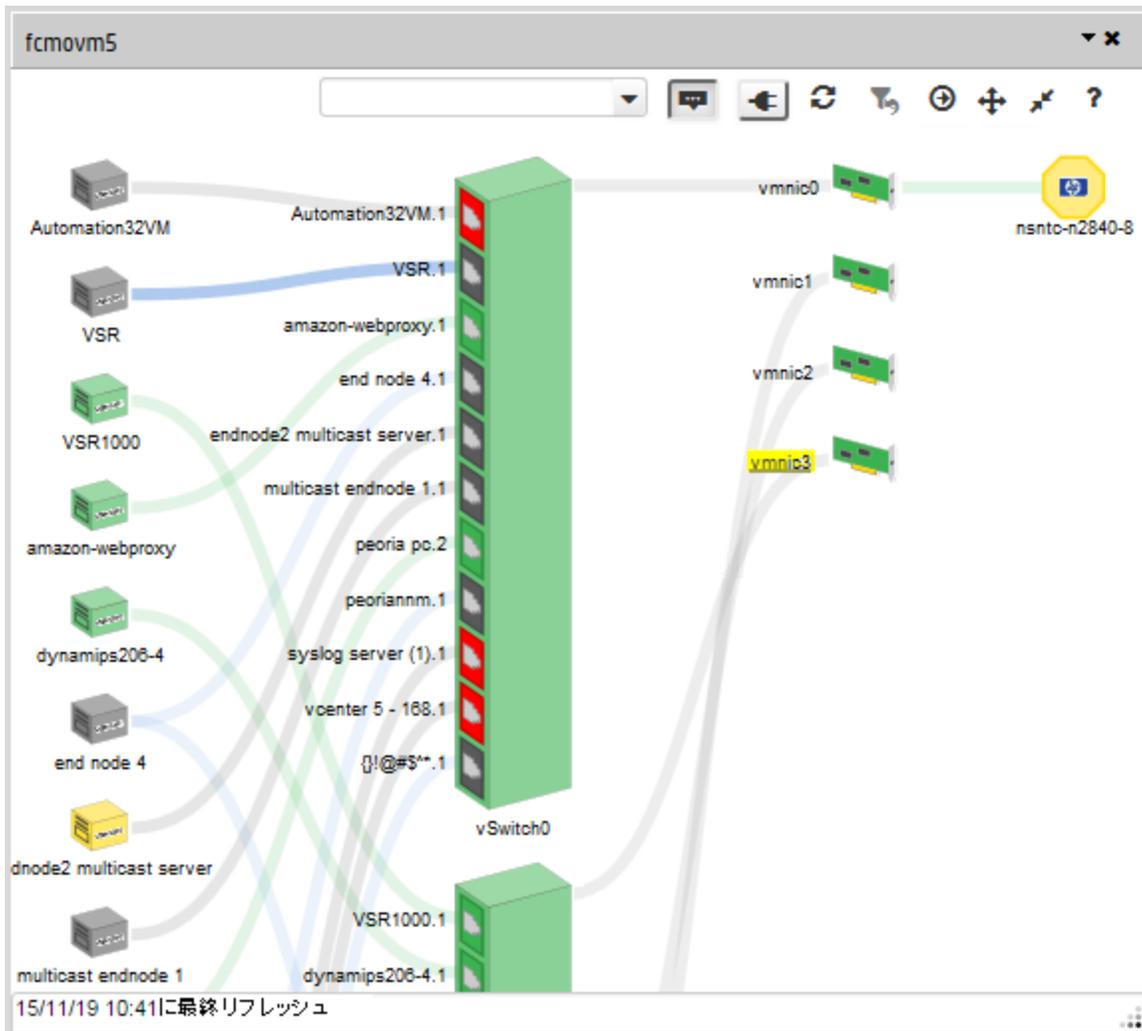
それらのステータス色は灰色です。



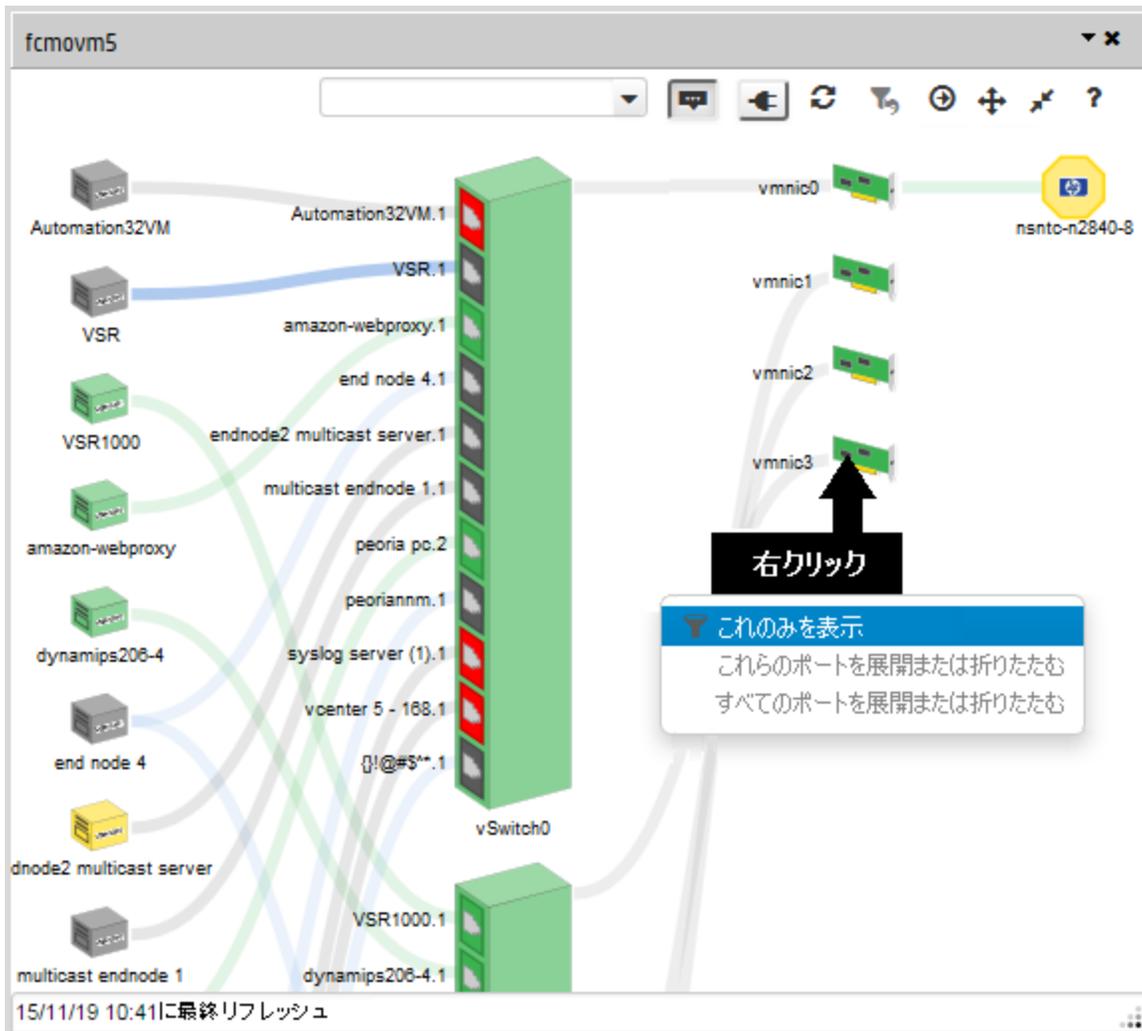
スライド11~12: 任意のノード、インターフェイス、またはポートを検索して見つけることができます:



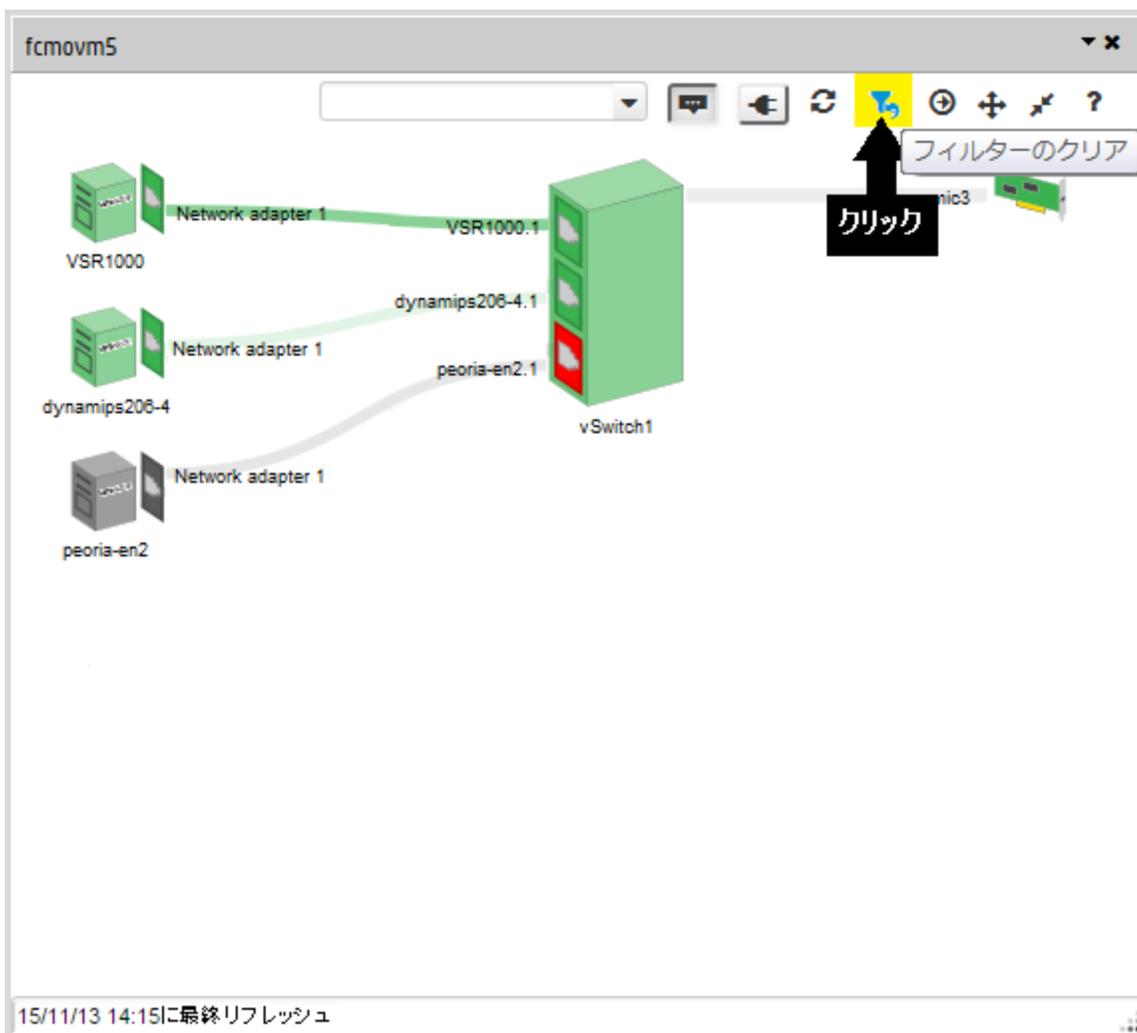
見つかったオブジェクトが強調されて表示されます。



スライド 13~ 14: 1つのデバイスの環境だけが表示されるようにLoomをフィルタリングします:



前の表示に戻ります。



Loomのサイズと場所の変更

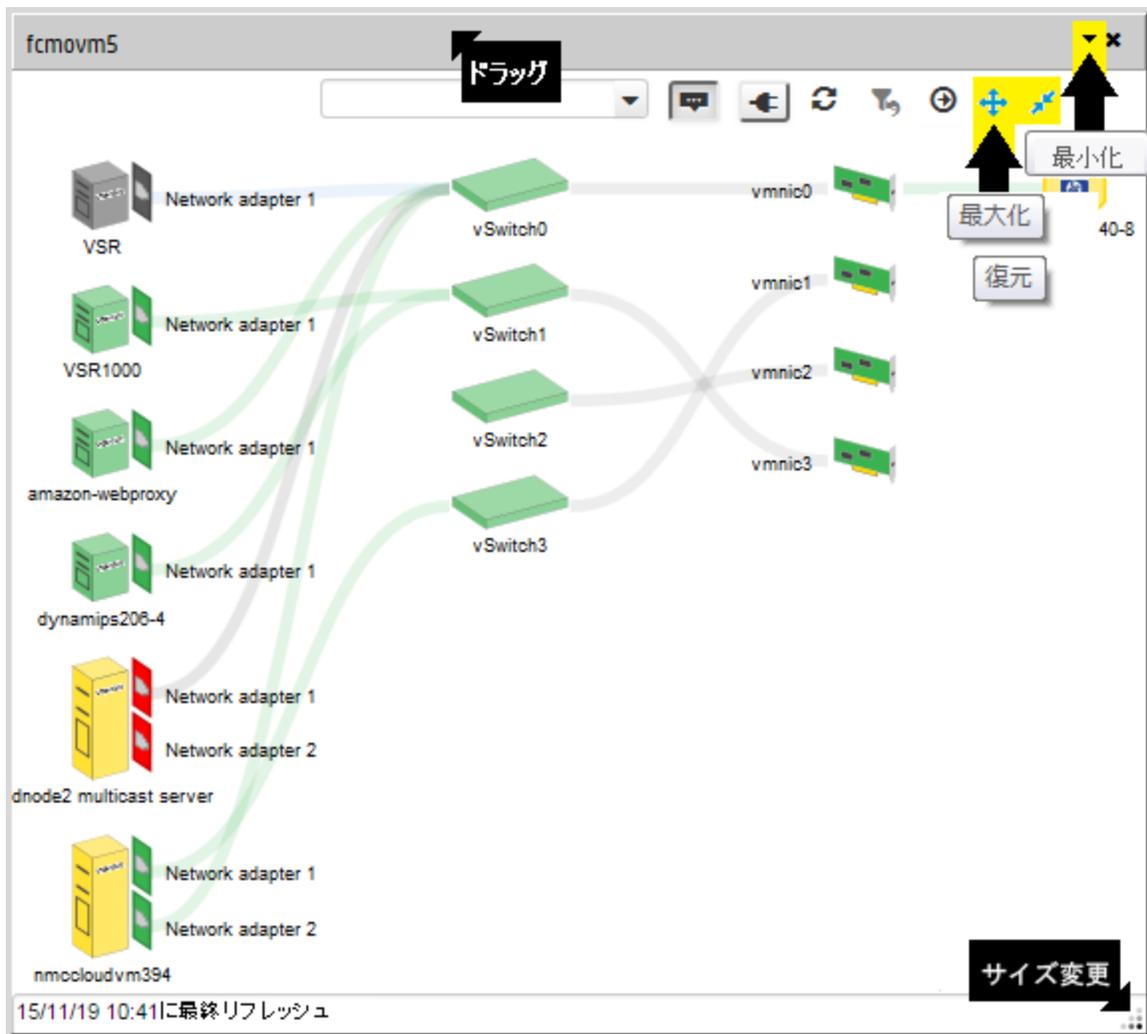
背景を左クリックしてどのポートを新しい中心にするかを決定し、マウスを使用して以下の操作を行います。

- ズームインまたはズームアウトするには、マウスホイールを回転させます。
- 図中の少し離れた新しい場所にパンするには、ドラッグします。
- 強調表示された現在の選択を保持したままパンする (たとえば、強調表示された接続ラインを図中でたどる) には、次の操作を行います。
 - Ctrlキーを押しながらマウスホイールを回転させる
 - Ctrlキーを押しながらドラッグする

ポップアップのサイズと場所も変更できます。セッションが変わってもNNMiはユーザーによる設定を保持します (ブラウザ単位)。

注: 最小化されたLoomは、次に示すように、コンソールウィンドウの下部にハイパーバイザーの名前と一緒に表示されます。

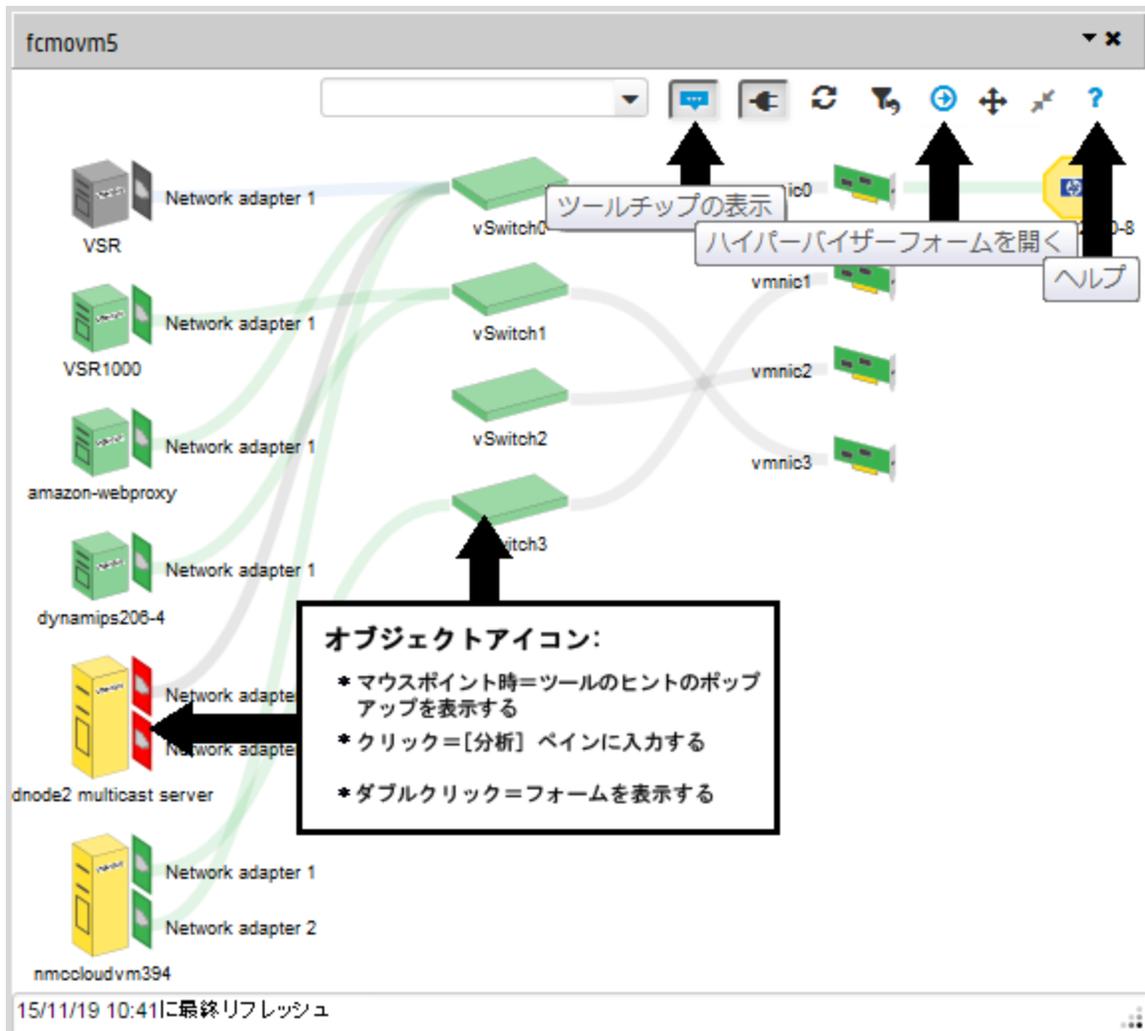
☰ ハイパーバイザー名



詳細情報の表示

- メインコンソールに[分析] ペインを表示するには、Loom内の任意のテキストをクリックします。
- メインコンソールにノードフォームまたはインターフェイスフォームを表示するには、Loom内の任意のテキストをダブルクリックします。

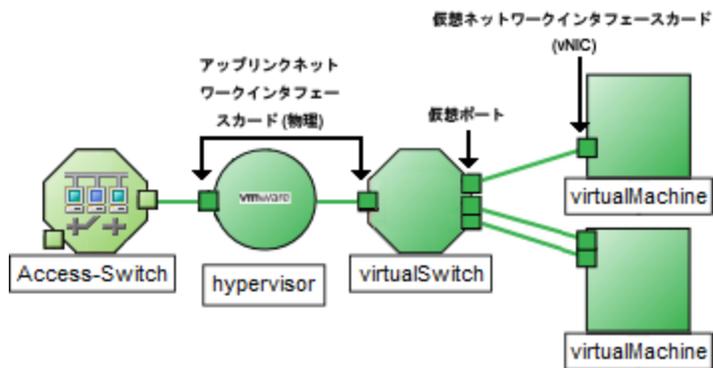
注: マップビューからLoomダイアログを呼び出した場合、オブジェクトをクリックすると、そのオブジェクトがマップ上で自動的に強調表示されます。「[ハイパーバイザーのダイアグラムとダイアログの使用](#)」(117ページ)も参照してください。



Loom域を越えて接続されているデバイスの表示

1. Loomダイアログツールバーで、**+** [ハイパーバイザーフォームを開く] をクリックし、メインコンソールに [ノード] フォームを表示します。
2. [アクション] > [マップ] > [レイヤー2の近隣接続ビュー] を使用します。

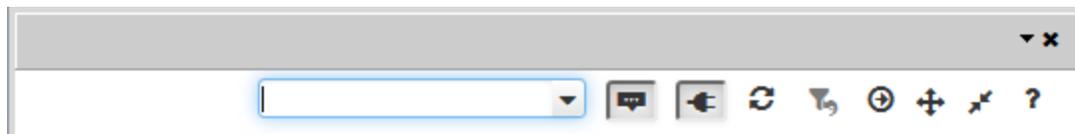
ヒント: 以下の項目 以外に、アクセススイッチに接続されている項目 がすべて示されます。



3. 範囲を広げて接続を確認するには、マップツールバーで [ホップ数] の設定を増やします。

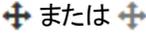
ツールバーアクション

ツールバーアイコンは、Loomダイアログの最上部にあります。



アイコン	説明
	[ドック]。Loomダイアログを最小化し、コンソールのワークスペースの右下に表示される小さな四角形のリンクに変えます。 ハイパーバイザー名
	[閉じる]。Loomダイアログを閉じます。
検索	仮想マシン名、VSwitch名、インターフェイス名、管理アドレス、またはIPアドレスで項目を選択できる、オートコンプリート機能が付いたプルダウン。 <input type="text"/> 選択したオブジェクトを図中で強調表示するには、以下のいずれかの操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> リスト項目をクリックする Enterキーを押す <p>注: 選択した項目が現在表示されていない場合には、NNMiによって以下のような妥当な処理が自動的に実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 親オブジェクトを拡大することによって選択された項目を表示する。 パワーオフの状態にある項目をすべて表示することによって選択された項目を表示する。
または	[ツールチップの表示]。オブジェクトにマウスポインターを重ねたときに詳細情報を表示するポップアップを有効にするか () または無効にする () 切り替えボタン。

アイコン	説明						
	<ul style="list-style-type: none"> • [仮想マシン] ポップアップには、名前、管理アドレス、電源の状態、システムの説明が表示されます。 • [仮想スイッチ] ポップアップと[仮想インターフェイス] ポップアップには、ifName、ifAlias、ifType、およびすべての現行IPアドレスが表示されます。 						
 または 	<p>[パワーオフ状態のVM]。現在のパワー状態がPowered Offであるすべての仮想マシンを表示するか () または非表示にする () 切り替えボタン。「[ノード (すべての属性)] ビュー」を参照してください。</p>						
	<p>[リフレッシュ]。各オブジェクトの最新の仮想設定とステータスが表示されるように、現在の図を更新します。</p>						
 または 	<p> このアイコンは、現在のLoomがハイパーバイザーとそのハイパーバイザーによって提供されているすべての仮想オブジェクトを表している場合、灰色です。</p> <p> このアイコンは、現在のLoomがハイパーバイザーのリソースのサブセット (仮想スイッチ、仮想インターフェイス、または物理インターフェイス) を表している場合、黒色です。</p> <div data-bbox="428 877 834 1031" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> これのみを表示</p> <p>これらのポートを展開または折りたたむ</p> <p>すべてのポートを展開または折りたたむ</p> </div> <table border="1" data-bbox="428 1066 1409 1675"> <tbody> <tr> <td data-bbox="428 1066 704 1171">これのみを表示</td> <td data-bbox="704 1066 1409 1171">選択したオブジェクトと直接やりとりがない項目をすべて非表示にすることにより、Loom図を簡略化します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="428 1171 704 1423">このオブジェクトを展開するかまたは折りたたむ</td> <td data-bbox="704 1171 1409 1423"> 選択した親オブジェクト内で以下のいずれか一方の操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を非表示にすることにより、Loomダイアログを簡略化する。 • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を表示することにより、Loomダイアログを詳細表示する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="428 1423 704 1675">列内のすべてを展開するか折りたたむ</td> <td data-bbox="704 1423 1409 1675"> 列内のすべてのオブジェクト内で以下のいずれか一方の操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を非表示にすることにより、Loomダイアログを簡略化する。 • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を表示することにより、Loomダイアログを詳細表示する。 </td> </tr> </tbody> </table>	これのみを表示	選択したオブジェクトと直接やりとりがない項目をすべて非表示にすることにより、Loom図を簡略化します。	このオブジェクトを展開するかまたは折りたたむ	選択した親オブジェクト内で以下のいずれか一方の操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を非表示にすることにより、Loomダイアログを簡略化する。 • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を表示することにより、Loomダイアログを詳細表示する。 	列内のすべてを展開するか折りたたむ	列内のすべてのオブジェクト内で以下のいずれか一方の操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を非表示にすることにより、Loomダイアログを簡略化する。 • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を表示することにより、Loomダイアログを詳細表示する。
これのみを表示	選択したオブジェクトと直接やりとりがない項目をすべて非表示にすることにより、Loom図を簡略化します。						
このオブジェクトを展開するかまたは折りたたむ	選択した親オブジェクト内で以下のいずれか一方の操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を非表示にすることにより、Loomダイアログを簡略化する。 • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を表示することにより、Loomダイアログを詳細表示する。 						
列内のすべてを展開するか折りたたむ	列内のすべてのオブジェクト内で以下のいずれか一方の操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を非表示にすることにより、Loomダイアログを簡略化する。 • すべての子オブジェクト (仮想ポートまたはインターフェイス) を表示することにより、Loomダイアログを詳細表示する。 						
	<p>[ハイパーバイザーフォームを開く]。ハイパーバイザーのリソースのどのサブセットが現在Loomに表示されているかどうかにかかわらず、ハイパーバイザーのフォームを表示します。</p> <div data-bbox="428 1787 1409 1850" style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ヒント: 任意のノードラベルまたはインターフェイスラベルをダブルクリックしてそのオブ</p> </div>						

アイコン	説明
	<p>ジェクトのフォームを表示します。</p>
	<p>[最大化]。</p> <p> このアイコンは、クリックすることによってLoomダイアログが可能な限り最大化され、NNMiコンソールウィンドウで利用できる領域全体を覆うときは黒色です。</p> <p> このアイコンは、Loomがすでに最大化されているときは灰色です。 [復元](下記)を参照してください。</p>
	<p>[復元]。 [最大化] をクリックする前のサイズと設定にダイアログを戻します。</p>
	<p>[ヘルプ]。Loomダイアログのヘルプにアクセスする場合にこのアイコンをクリックします。</p>
	<p>[サイズ変更]</p> <ol style="list-style-type: none"> Loomダイアログのタイトルバーをクリックし、ダイアログをコンソール内の任意の場所に移動します。 右下隅  をドラッグし、ダイアログが適切なサイズになるように変更します。 <p>注: NNMiは、サイズと場所についてのユーザーの設定 (ブラウザー設定に保存された項目) を記憶します。</p>

第8章: [分析] ペインについて

[分析] ペインには、選択したオブジェクトに関連する詳細が表示されます。NNMiは選択したオブジェクトについて適切な分析を実行し、表示する最も重要な情報を決定します。[分析] ペイン内のハイパーリンクには、選択した詳細に関するさらなる情報が表示されます。

たとえば、インシデントを選択すると、[分析] ペインには、そのインシデントのソースノードやソースオブジェクトに関する重要な詳細が含まれることがあります。ノードを選択すると、[分析] ペインにはそのノードのインターフェイスとIPアドレスに関する重要な情報が表示されます。

1. テーブルビューから [分析] ペインにアクセスするには、以下の手順を実行します。

- i. 目的のワークスペースを選択します (たとえば、 インベントリ)。
- ii. 目的のオブジェクトを含むビューを選択します (たとえば、[ノード] ビュー)。
- iii. 目的のオブジェクトを含む行を選択します。
- iv. NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。

• マップビューから [分析] ペインにアクセスするには、以下の手順を実行します。

- i. 目的のワークスペースを選択します (たとえば、 [トポロジマップ])。
- ii. マップビューを選択します (たとえば、ルーター)。

注: マップで開く前に開始ノードが必要な場合、使用する開始ノードの名前またはIPアドレスを入力します。

- iii. 目的のマップオブジェクトを選択します。
- iv. NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。

• フォームの [分析] ペインにアクセスするには、以下の手順を実行します。

- フォームのツールバーの  [分析の表示] を選択すると、現在のフォームのトップレベルのオブジェクト情報が [分析] ペインに表示されます。

注:  [分析の表示] を選択すると、常にトップレベルのオブジェクトの情報が表示されます。

- フォームのタブのテーブルの行をクリックすると、選択したオブジェクトの詳細情報が [分析] ペインに表示されます。

NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。フォームについての詳細については、「[オブジェクトの使用](#)」を参照してください。

2. 必要に応じて、[分析ペイン] バナーバーの 展開ボタンをクリックして、[分析] ペインを開きます。

▼ 分析		= 開始
▲ 分析	- <選択したオブジェクト> 要約 : <オブジェクト名>	= 終了

ビューを変更すると、NNMiは[分析]ペインの内容をクリアします。オブジェクトが選択されていない場合、[分析]ペインは空白のままです。

複数のオブジェクトを選択すると、[分析]ペインには最初に選択したオブジェクトのデータが表示されます。

3. [分析]ペインを使用して、以下のことが実行できます。

- サイズを変更するには、タイトルバーの上にマウスカーソルを置くと表示される↑記号をドラッグしてサイズを調整します。
- [分析]ペインの情報のサブセットをリフレッシュするには、表示されている🔄 [リフレッシュ] アイコンをクリックします。
[分析]ペインのすべてのデータをリフレッシュするには、オブジェクトのフォームを開いて🔄 [リフレッシュ] または💾 [保存] をクリックします。
- 選択したメトリックスのSNMP線グラフを開始するには、各ゲージの下に表示されたアイコンをクリックします。
- ツールのヒントを選択し、コピーするには、ゲージをダブルクリックします。ツールのヒントを選択し、コピーできるテキストウィンドウが開きます。
- 「ゲージ」タブには、ステートポーラーとカスタムポーラーSNMPのデータを表示するためのリアルタイムのSNMPゲージが表示されます。
 - これらのゲージはノード、インターフェイス、カスタムノード収集、およびノードセンサーのタイプ (CPU、メモリ、バッファ) と物理センサーのタイプ (バックプレーン) の情報を表示します。
 - NNMiは、ノードまたはインターフェイスでサポートする重要な各MIBオブジェクト識別子 (OID) のゲージを最大で24個 (デフォルト) 表示します。

ヒント: NNMi管理者は、nms-ui.propertiesファイルを使用したこのデフォルトの変更について、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiコンソール」の章を参照してください。これは、次の場所で入手可能です:
<http://softwaresupport.hpe.com>。

- 各ゲージは、デフォルトのリフレッシュレート (15秒) を使用して現在のOID値を表示します

ヒント: NNMi管理者は、nms-ui.propertiesファイルを使用したこのデフォルトの変更について、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiコンソール」の章を参照してください。これは、次の場所で入手可能です:
<http://softwaresupport.hpe.com>。

- 表示される値の範囲は、NNMiで発生したOIDの最大値と最小値を示します。
- パーcentage値を追跡するゲージの場合、NNMiは赤い線を使用してOID値が100パーセント近くになっている場所を示します。
- モニタリングしきい値を分析するために使用されるOIDと[分析]ペインに表示されるOIDは1対1で対応していません。たとえば、[分析]ペインに表示されるCiscoメモリアルのOID値と、監視対象属性のメモリ使用率のしきい値に達しているまたはこのしきい値を超えているかどうかを計算するための値は一致しません。これは、一部のしきい値メトリックスでは1つのOIDで許容される計算よりも複雑な計算を要するためです。

ゲージのラベルの値が重複して見える場合、そのラベルにマウスを重ねて、より完全なヒント名を表示できます

ヒント: NNMi管理者として、ゲージのタイトルをたとえばSNMP MIB変数名に変更する場合、『HPE Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。これは、次の場所で入手可能です: <http://softwaresupport.hpe.com>。

ヒント: ビューによってはコンソールの [アクション] メニューからもアクセスできるものもあります。詳細については、「[アクションを使用したタスクの実行](#)」(176ページ)を参照してください。テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション] メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

表示される情報のタイプの詳細については、「[\[分析\] ペインを使用する](#)」を参照してください。

関連トピック

[「テーブルビューを使用する」](#)(63ページ)

[「マップビューを使用する」](#)(84ページ)

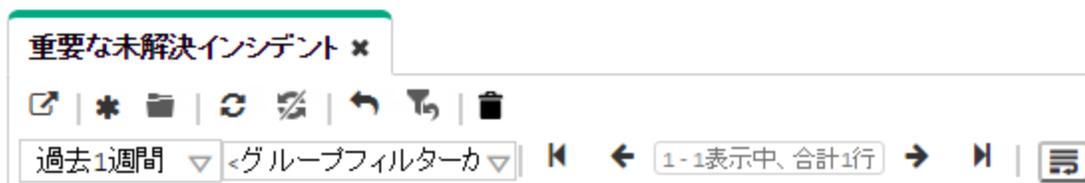
第9章: ビューツールバーの使用

NNMiには、以下のタイプのビューにツールバーが用意されています。

- テーブルビューツールバー
- ノードグループマップおよびクイックアクセスツールバー
- 近隣接続ビューツールバー
- パスビューツールバー
- [ネットワークの概要] ツールバー

テーブルビューツールバー

これは、テーブルビュー表示パネルのツールバーです。

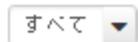
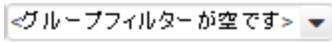
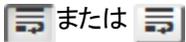


テーブルビューツールバーを使用して、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

テーブルビューツールバーのアイコン

アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[新規作成]。NNMi管理者のみ。新しいオブジェクトインスタンスを作成するためにフォームを開きます。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 オブジェクト情報にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン) (11ページ)を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「 ビューをリフレッシュする 」(58ページ)を参照してください。定期的なリフレッシュが無効になっている場合は再開します。
	[X周期のリフレッシュを停止]。ビューの定期的なリフレッシュを一時無効にします。詳細については、「 ビューの定期的なリフレッシュを停止する 」(66ページ)を参照してください。
	[デフォルト設定の復元]。テーブル列のサイズ変更、ソート選択、およびフィルターを含むデフォルト設定をリセットします。非表示にした列はビューに復元されます。詳細については、「 列を非表示にする 」(64ページ)を参照してください。
	[デフォルトフィルターの復元]。現在適用されているフィルターをクリアします。詳細については、「 テーブルビューをフィルタリングする 」(67ページ)

テーブルビューツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明
	を参照してください。
	<p>[削除]。ロールで許可される場合は、選択したオブジェクトインスタンス、および、そのオブジェクトに含まれるオブジェクトを削除します。たとえば、ノードを削除すると、そのノードに関連するインターフェイスおよびアドレスのインスタンス、およびそれらのオブジェクトの履歴も削除されます。</p>
	<p>期間フィルターを選択します。このフィルターはインシデントビューでのみ表示されます。</p>
<p> 利用可能なノードグループまたはインターフェイスグループフィルターを選択します。</p>	
<p>  </p> <p>ページコントロールは、テーブルを表示する場合にのみ表示されます。このコントロールは、テーブル行の情報を1ページずつ表示します。</p> <p>1ページ前に戻るには、 [前] またはPAGE UPを使用します。</p> <p>1ページ先に進むには、 [次] またはPAGE DOWNを使用します。</p> <p>テーブルの先頭に移動するには、 [最初] またはHomeを使用します。</p> <p>テーブルの末尾に移動するには、 [最後] またはEndを使用します。</p> <p>ヒント: キーボードのキーを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [↑] 上矢印キー: 1行上にスクロールします。 • [↓] 下矢印キー: 1行下にスクロールします。 • [Page Up] および [Page Down] キー: 現在のテーブル内の行の合計数分スクロールします。 	
<p>注: テーブルステータスバー内: [合計] 値には現在のテーブル内の行の数が示されます。テーブルの行数がNNMiによって指定されている最大のテーブルサイズを超えると、[合計] 値の後にテーブルに設定されている上限が表示されます。上限を超えると次のように処理されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テーブルビューをリフレッシュするかテーブルフィルターを更新するたびに、NNMiによってテーブル内の実際の行数が計算されます。 • ユーザーがテーブルをスクロールして最後の行に到達すると、NNMiはダイアログを表示して、テーブルが指定した制限値よりも大きいことと、テーブルビューのフィルタリングを推奨することを示します。テーブルビューをフィルタリングする方法は、「テーブルビューをフィルタリングする」(67ページ)を参照してください。 	
	<p>テキストの折り返し:</p> <ul style="list-style-type: none"> •  オフ = 各行の高さはテキストライン1つ分です。列幅を超える

テーブルビューツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明
	<p>テキストはすべて見えなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none">  オン = 各行は、テキスト文字列全体が表示できる高さ (必要数を満たすだけのテキスト行) になります。
 (ビュー名 タブ)	[閉じる]。現在のビューを閉じます。

ノードグループマップおよびクイックアクセスツールバー

これは、ノードグループマップとクイックアクセス表示パネルツールバーです。



ノードグループマップとクイックアクセスツールバーでは、表示されたマップ内で以下のタスクを実行できます。

ノードグループマップおよびクイックアクセスツールバーのアイコン

アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。(メインコンソールからのみ利用可能です。)現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび[分析] ペイン) 」(11ページ)を参照してください。
	<p>[ノードグループマップを開く]。選択した子ノードグループのノードグループマップを開きます。子ノードグループマップは、現在のマップを、子ノードグループ内の各ノードの表示で置き換えます。</p> <p>注:  ノードグループシンボルをダブルクリックして、子ノードグループマップを開くこともできます。</p> <p>ノードグループの詳細については、「ノードグループおよびインターフェイスグループについて」(70ページ)を参照してください。</p>
	<p>[マップを保存]。現在のノードグループマップ上の各ノードの現在の位置を保存します。</p> <p>注: このオプションを使用するたびに、前の位置情報は削除されます。</p>
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「 ビューをリフレッシュする 」(58ページ)を参照してください。
	[ステータスのリフレッシュ]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細については、「 マップのノードステータスをリフレッシュする 」(113ページ)を参照してください。

ノードグループマップおよびクイックアクセスツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明
	[コンテンツを合わせる (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[実際のサイズ (1)]。現在のズーム設定をキャンセルします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[VLANメンバーの強調表示]。レイヤー2接続を使用するVLANが表示された一覧からVLANを選択します。詳細については、「 レイヤー2マップでのVLANメンバーの強調表示 」(112ページ)を参照してください。
	[VLAN強調表示オプション]。マップ内のVLANメンバーを強調表示するための複数の選択肢がポップアップダイアログに表示されます。詳細については、「 VLANメンバーの強調表示オプションの選択 」を参照してください。
または	[検索]。現在のマップで識別されたノードの強調表示のオン、オフを切り替え、確実にマップの表示エリア内にノードが表示されるようにします。詳細については、「 マップ内でノードを検索する 」(112ページ)を参照してください。
または	[重要なインシデントを示す]。 重要なインシデント ¹ が関連付けられているマップシンボルをNNMiで表示したり非表示にしたりします。詳細については、「 ノードグループマップオブジェクト 」(98ページ)を参照してください。
または	[ツールチップ]。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報のオン、オフを切り替えます。詳細については、「 マップのツールのヒント情報を制御する 」(113ページ)を参照してください。
または	[概要の表示場所]。[概要] ペインの配置に関する選択肢がポップアップダイアログに表示されます(マップをパン表示するために使用されます)。「 マップをパン表示する 」(110ページ)を参照してください。

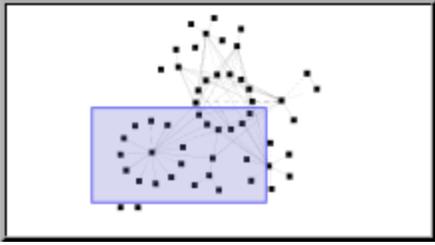
マップ概要の表示場所を選択します。

- 非表示
- 右上
- 左上
- 右下
- 左下

詳細については、「[\[概要\] ペインの位置を設定する](#)」(111ページ)を参照してください。

¹次の両方を満たすインシデント:(1) 重要度が正常域以外。(2) 相関特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの相関処理、レートストリームの相関処理、情報または「なし」。

ノードグループマップおよびクイックアクセスツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明
	
✕ (ビュー名タブ)	[閉じる]。現在のビューを閉じます。

近隣接続ビューツールバー

これは、近隣接続ビュー表示パネルのツールバーです。

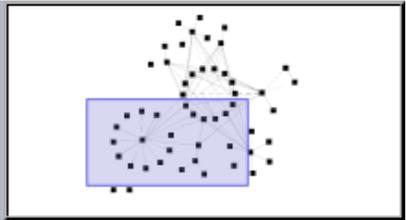


近隣接続ビューツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

近隣接続ビューツールバーアイコン

アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。(メインコンソールからのみ利用可能です。) 現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび[分析] ペイン) (11ページ)を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「 ビューをリフレッシュする 」(58ページ)を参照してください。
	[ステータスのリフレッシュ]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細については、「 マップのノードステータスをリフレッシュする 」(113ページ)を参照してください。
	[コンテンツを合わせる (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[実際のサイズ]。現在のズーム設定をすべてキャンセルします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。

近隣接続ビューツールバーアイコン (続き)

アイコン	説明
	[ズームイン (+)]. 現在のサイズを25%ズームインします。詳細については、 「ズームの倍率を調整する」(109ページ) を参照してください。
	隣接するノードをマップする開始ノードを指定します。ノードの名前属性の現在値またはノードのIPアドレスのうちの1つをこのフィールドに入力します。 注: 入力時には、基準に一致する現在の有効なエントリのすべてを表示する選択リストが提供されます。推奨値の中の1つを使用する必要があります。
ホップ数: 	マップビュー内に表示されるホップ数を選択します。ホップとは、ワークステーション、ゲートウェイ、またはスイッチなど、中間にノードを持たないリンクで接続されたネットワークデバイスを表すノードのことです。
	[VLANメンバーの強調表示]。すべてのノードについてNNMiが検出したVLANの一覧からVLANを選択します。詳細については、 「レイヤー2マップでのVLANメンバーの強調表示」(112ページ) を参照してください。
	[VLAN強調表示オプション]。マップ内のVLANメンバーを強調表示するための複数の選択肢がポップアップダイアログに表示されます。詳細については、 「VLANメンバーの強調表示オプションの選択」 を参照してください。
 または 	[検索]。現在のマップで識別されたノードの強調表示のオン、オフを切り替え、確実にマップの表示エリア内にノードが表示されるようにします。詳細については、 「マップ内でノードを検索する」(112ページ) を参照してください。
 または 	[ツールチップ]。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報のオン、オフを切り替えます。詳細については、 「マップのツールのヒント情報を制御する」(113ページ) を参照してください。
 または 	[概要の表示場所]。[概要]ペインの配置に関する選択肢がポップアップダイアログに表示されます (マップをパン表示するために使用されます)。 「マップをパン表示する」(110ページ) を参照してください。  マップ概要の表示場所を選択します。 <input type="radio"/> 非表示 <input type="radio"/> 右上 <input type="radio"/> 左上 <input type="radio"/> 右下 <input type="radio"/> 左下 詳細については、 「[概要]ペインの位置を設定する」(111ページ) を参照してください。
 (ビュー名タブ)	[閉じる]。現在のビューを閉じます。

パスビューツールバー

これは、パスビュー表示パネルのツールバーです。

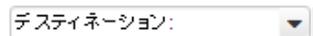
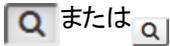
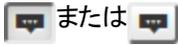
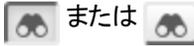


パスビューツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

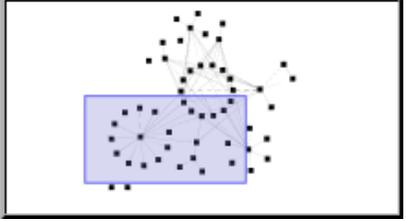
パスビューツールバーのアイコン

アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。(メインコンソールからのみ利用可能です。)現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび[分析] ペイン) 」(11ページ)を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「 ビューをリフレッシュする 」(58ページ)を参照してください。
	[ステータスのリフレッシュ]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細については、「 マップのノードステータスをリフレッシュする 」(113ページ)を参照してください。
	[コンテンツを合わせる (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[実際のサイズ]。現在のズーム設定をすべてキャンセルします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	<p>パスビューで使用されるソースノードを指定します。</p> <p>注意: ノードとしてスイッチは指定しないでください。</p> <p>ノードのホスト名属性 (大文字と小文字を区別する) の現在値またはノードのIPv4アドレスのうちの1つをこのフィールドに入力します。これらは、[ノード] フォームの値です。</p> <p>注: 入力を始めると、自動補完機能によって可能性のある一致のリストが表示されます。リストから任意の項目を選択してください。</p> <p>(NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。</p>

パズビューツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明
	IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パズビューマップに表示できません。
	<p>[ノードのスワップ]。パズビューの中でソースノードとデスティネーションノードをスワップします。</p>
	<p>パズビューのデスティネーションノードを指定します。</p> <p>注意: ノードとしてスイッチは指定しないでください。</p> <p>ノードのホスト名属性 (大文字と小文字を区別する) の現在値またはノードのIPv4アドレスのうちの1つをこのフィールドに入力します。これらは、[ノード] フォームの値です。</p> <p>注: 入力を始めると、自動補完機能によって可能性のある一致のリストが表示されます。リストから任意の項目を選択してください。</p> <p>(NNMi Advanced) パズビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パズビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パズビューマップに表示できません。</p>
	<p>[パズの計算]。パズビューを計算します。</p> <p>注: パズビューを再計算する場合にも、このアイコンを使用します。</p>
	<p>[検索]。現在のマップで識別されたノードの強調表示のオン、オフを切り替え、確実にマップの表示エリア内にノードが表示されるようにします。詳細については、「マップ内でノードを検索する」(112ページ)を参照してください。</p>
	<p>[ツールチップ]。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報のオン、オフを切り替えます。詳細については、「マップのツールのヒント情報を制御する」(113ページ)を参照してください。</p>
	<p>[概要の表示場所]。[概要] ペインの配置に関する選択肢がポップアップダイアログに表示されます (マップをパン表示するために使用されます)。「マップをパン表示する」(110ページ)を参照してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>マップ概要の表示場所を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 非表示 <input type="radio"/> 右上 <input type="radio"/> 左上 <input type="radio"/> 右下 <input type="radio"/> 左下 <p>詳細については、「[概要] ペインの位置を設定する」(111ページ)を参照してください。</p> </div>

パズビューツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明
	
✕ (ビュー名タブ)	[閉じる]。現在のビューを閉じます。

[ネットワークの概要] ツールバー

これは、[ネットワークの概要] 表示パネルのツールバーです。

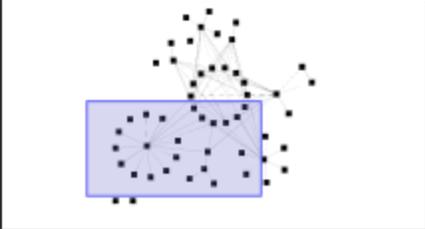


[ネットワークの概要] ツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

[ネットワークの概要] ツールバーアイコン

アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。(メインコンソールからのみ利用可能です。)現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび[分析] ペイン) 」(11ページ)を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「 ビューをリフレッシュする 」(58ページ)を参照してください。
	[ステータスのリフレッシュ]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細については、「 マップのノードステータスをリフレッシュする 」(113ページ)を参照してください。
	[コンテンツを合わせる (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[実際のサイズ]。現在のズーム設定をすべてキャンセルします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。
	[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細については、「 ズームの倍率を調整する 」(109ページ)を参照してください。

[ネットワークの概要] ツールバーアイコン (続き)

アイコン	説明
	<p>[VLANメンバーの強調表示]。すべてのノードについてNNMiが検出したVLANの一覧からVLANを選択します。詳細については、「レイヤー2マップでのVLANメンバーの強調表示」(112ページ)を参照してください。</p>
	<p>[VLAN強調表示オプション]。マップ内のVLANメンバーを強調表示するための複数の選択肢がポップアップダイアログに表示されます。詳細については、「VLANメンバーの強調表示オプションの選択」を参照してください。</p>
 または 	<p>[検索]。現在のマップで識別されたノードの強調表示のオン、オフを切り替え、確実にマップの表示エリア内にノードが表示されるようにします。詳細については、「マップ内でノードを検索する」(112ページ)を参照してください。</p>
 または 	<p>[ツールチップ]。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報のオン、オフを切り替えます。詳細については、「マップのツールのヒント情報を制御する」(113ページ)を参照してください。</p>
 または 	<p>[概要の表示場所]。[概要] ペインの配置に関する選択肢がポップアップダイアログに表示されます (マップをパン表示するために使用されます)。「マップをパン表示する」(110ページ)を参照してください。</p> <div data-bbox="435 936 870 1178" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div>
 (ビュー名 タブ)	<p>[閉じる]。現在のビューを閉じます。</p>

第 10章: フォームツールバーの使用

これはフォームツールバーです。



ロールが許容する場合は、ツールバーを使用してフォーム内で以下のタスクを実行できます。利用可能なアクションのグループは、フォームごとに変ります。

ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、**[アクション]** メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

フォームツールバーアイコンアクション

アイコン	アクション
	「新しいウィンドウでフォームを表示」。現在のフォームを新しいウィンドウで表示します。 注: NNMiは、現在のフォームを閉じてから、新しいウィンドウでそのフォームを表示します。
	[分析の表示]。現在のフォームの[分析] ペイン情報を表示します。詳細については、 「[分析] ペインについて」(157ページ) を参照してください。
	[保存]。現在のフォームを保存します。
	[保存して新規作成]。現在のフォームを保存し、新規のオブジェクトインスタンスを作成できる空のフォームを新たに開きます。
	[保存して閉じる]。現在のフォームを保存して閉じます。
	[リフレッシュ]。現在のフォームのデータを更新します。
	[削除]。選択したオブジェクトインスタンス、および、そのオブジェクトに含まれるオブジェクトを削除します。たとえば、ノードを削除すると、そのノードに関連するインターフェイスおよびアドレスのインスタンス、およびそれらのオブジェクトの履歴も削除されます。 注: ノードグループやインターフェイスグループのようなフィルターを使用して作成したオブジェクトインスタンスを削除しても、NNMiによって削除されるのは、ノードグループフィルターとインターフェイスグループフィルターのみです。NNMiは、選択したグループに属するノードまたはインターフェイスは削除しません。
	[閉じる]。現在のフォームを閉じます。

関連トピック

[「オブジェクト情報にアクセスする \(フォームおよび \[分析\] ペイン\)」\(11ページ\)](#)

第11章: オブジェクトの使用

オブジェクトには環境およびその中で発生するイベントに関する情報のデータベースレコードです。オブジェクトタイプは、それぞれ特定の種類の情報を表しています。たとえば、インシデントオブジェクトは、環境内で発生した状況またはイベントを表します。

オブジェクトは、その属性で定義されます。たとえば、インシデントオブジェクトには、(さまざまな情報が含まれる中で) ステータス属性およびソースノードが含まれます。オブジェクトのタイプが異なれば、属性の量およびタイプも異なります。属性の値のなかには、数やテキスト文字列などの単純なものがあります。その他の属性値には、関連オブジェクトへの参照など、より複雑なものもあります。たとえば、SNMPエージェント属性が[ノード]フォームの中に表示された場合、これは選択したノードに関連するSNMPエージェントを表します。

特定のタイプのオブジェクトが、選択したオブジェクトに複数関連する場合 (たとえば、あるノードに複数のインシデントが関連する場合) は、フォームには、関連オブジェクト全体のリストを示す表を表示するタブが含まれます。

ビューとは、テーブルまたはマップとしてグラフを使用して描かれた、関連するオブジェクトの集まりです。フォームは、選択したオブジェクトに関するすべての保存された属性を提供します。フォーム上に示される属性は、選択したオブジェクトまたは関連オブジェクトの属性です。

オブジェクトに対して実行できる操作は、アクションと呼ばれます。アクションとは単に、単純または複雑なタスクへのショートカットです。あるアクションは、特定のオブジェクトタイプに関連付けることができます。たとえば、ノードテーブルビューを表示する場合、そのノードの隣接するレイヤー2のノードすべてを表示するマップを開くなどのアクションです。

ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション] メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

テーブルビューからオブジェクトのフォームにアクセスするには、次の操作を行います。

オブジェクトを表す行をダブルクリックします。

NNMiでは選択したオブジェクトのフォームが表示されます。

マップビューからオブジェクトのフォームにアクセスするには、

以下のいずれかを行います。

- 該当するノードを選択して、 [開く] アイコンをクリックします。
- 多くの場合で、目的のオブジェクトをダブルクリックします。

注: マップオブジェクトが子ノードグループである場合、子ノードグループのオブジェクトをダブルクリックすると、現在のマップが子ノードグループのノードのマップで置換されます。子ノードグループのフォームにアクセスするには、子ノードグループのオブジェクトを選択し、 [開く] アイコンをクリックします。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

NNMiでは選択したオブジェクトのフォームが表示されます。

フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。オブジェクトフォームからは、以下のことを実行できます。

[「オブジェクト属性値の変更」\(174ページ\)](#)

[「関連オブジェクトに関するすべての情報にアクセスする」\(173ページ\)](#)

[「関連オブジェクトに関する利用可能な情報のサブセットにアクセスする」\(173ページ\)](#)

関連オブジェクトに関する利用可能な情報のサブセットにアクセスする

(オブジェクトのフォーム内部で)オブジェクトに備わっている情報を調べると、オブジェクト自体の属性を表す情報や、関連オブジェクトの属性を表す情報があります。関連オブジェクトは、 検索アイコンで示されます。たとえば、インターフェイスオブジェクトの情報を表示する場合、そのインターフェイスが存在するノードに関する情報にアクセスできます。

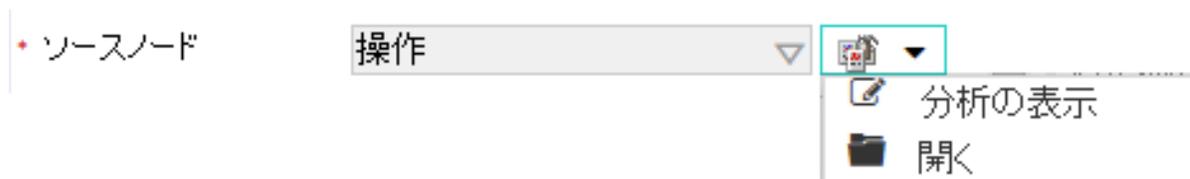
フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

以下は、検索フィールドの例です。

• セキュリティグループ 

フォーム内部から関連オブジェクトの情報のサブセットを表示するには、次の操作を行います。

1. 詳細を表示する関連オブジェクトのフィールドに移動します。
2.  [検索] アイコンをクリックして、ドロップダウンメニューから  [分析の表示] を選択します。



3. [分析] ペインが表示され、関連オブジェクトの情報が表示されます。詳細については、[「\[分析\] ペインについて」\(157ページ\)](#)を参照してください。

注: NNMiには、NNMiセキュリティ設定でアクセスが許可されている情報のみが表示されます。詳細については、「管理者用のヘルプ」の[「割り当てるNNMiロールを決定する」](#)を参照してください。

4.  [リフレッシュ] アイコンにマウスを重ね、詳細の最終更新時刻を確認します。
 [リフレッシュ] アイコンをクリックし、最新データを収集します。

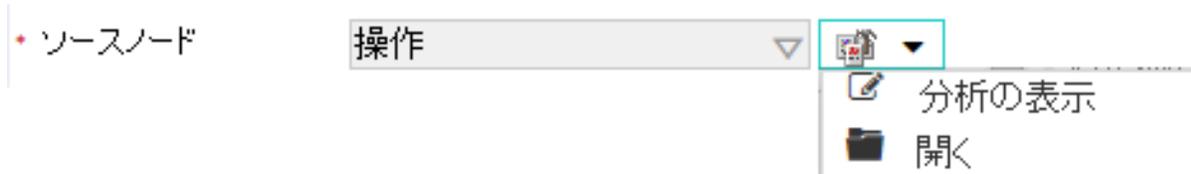
関連オブジェクトに関するすべての情報にアクセスする

フォームを使用してひとつのオブジェクトの詳細を調べる際には、関連する別のオブジェクトの情報にアクセスすることができます。たとえば、ノードについて保存されているすべての情報を表示する際に、そのノードのインターフェイスに関して用意されているすべての情報にアクセスしてインターフェイスのステータスを判断できます。

フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

表示中のフォームに含まれる任意のオブジェクトに関する別のフォームを、そのフォームの中から開くことができます。そのようなオブジェクトは、 検索アイコンを使用して示されます。

以下は、検索フィールドの例です。



フォームの中から別のフォームを開くには、次の操作を行います。

1. 詳細を表示するオブジェクトのフィールドに移動します。
2.  [検索フィールド] アイコン [検索] アイコンをクリックし、ドロップダウンメニューから  [開く] を選択します。

そのオブジェクトのすべての属性を示す新しいフォームが表示されます。そのオブジェクト向けに指定されたデフォルト値は、すべてフォームの中にあらかじめ入力されています。

オブジェクト属性値の変更

ノード、サブネット、インターフェイスなどオブジェクトの詳細を表示した際には、そのオブジェクトの属性値を変更することができます。たとえば、特定のインシデントにノートを追加して、問題解決のためにこれまでに行った手順を説明することができます。問題が解決するまで、回避策に関する情報を入力することができます。最後に、解決策を決定した後は、問題の解決方法を記述した情報を追加できます。

注: ゲストユーザーロールの場合は、属性を変更できません。

属性を修正できるフィールドには2種類あります。

フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

テキストボックス内の情報を修正するには、次の操作を行います。

1. カーソルを対象となる変更可能なフィールドに移動します。
2. 新しい値を入力します。たとえば、[注] 属性は変更可能なフィールドです。

ヒント: 属性が変更可能なフィールドのように見えても、テキストを入力できない場合、それは注記フィールドです。

▼ 注

注

ヒント: 属性ラベルをクリックし、テキストを表示および編集できるダイアログボックスにアクセスします。この機能を使用すると、さらに多くのテキストを挿入する、または元の表示エリアよりも長いテキストフィールドを表示できます。

3. 編集が終了したら、以下のことを実行します。
 -  [保存] をクリックして変更を保存します。
 -  [保存して閉じる] をクリックして変更を保存し、フォームを閉じます。

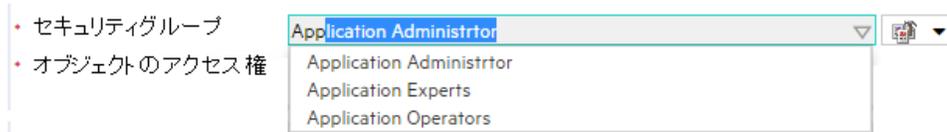
 [検索] フィールドの情報を修正するには、以下の手順を実行します。

1. テキストボックスの右側にある、このアイコン  を探します。例:

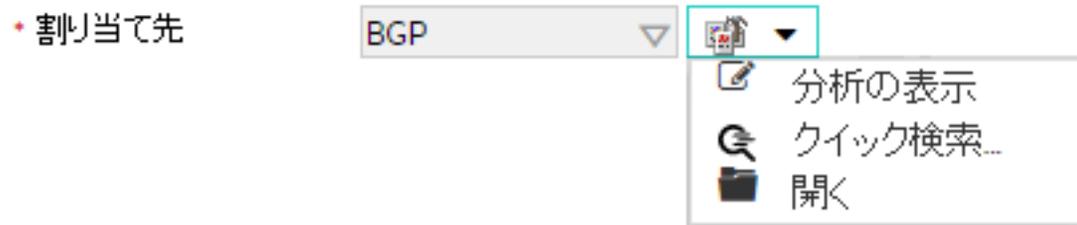
• セキュリティグループ

2. 以下のいずれかを行います。

- テキストボックスへの入力を開始します。NNMiには有効な選択肢のすべてがリストされます。リストの中から設定値を選択できます。



-  [検索] アイコンをクリックし、 [クイック検索] を選択して、有効な選択肢のリストを表示します。



3. 編集が終了したら、以下のことを実行します。
 -  [保存] をクリックして変更を保存します。
 -  [保存して閉じる] をクリックして変更を保存し、フォームを閉じます。

第12章: アクションを使用したタスクの実行

アクションを使用すると、選択したアイテムに対して操作を実行できます。使用できるアクションは、NNMiユーザーロールによって決まります。管理者はオペレーターよりも多くのアクションを選択できます。環境内にSPIをインストールしている場合は、アクションリストが増えている可能性があります。一部のアクションは、オブジェクトの属性値を変更したり、ノードへのログオンアクセスを必要とします (telnetなど)。

考えられるアクションの説明については、「[NNMiアクション](#)」の表を参照してください。

説明したアクションのいずれかを実行するには、[\[アクション\]](#)メニューからアクションを選択します。[\[アクション\]](#)メニューは、NNMiコンソールのメインメニューバー、および新規のウィンドウに開かれた任意のビューまたはフォームのメニューバーからアクセスできます。アクションへのアクセス方法の詳細は、「[アクションを起動する](#)」(11ページ)を参照してください。

NNMiアクション

アクション	説明
レイヤー2の近隣接続ビュー	<p>[マップ] > [レイヤー2の近隣接続ビュー]</p> <p>レイヤー2ネットワークのマップを表示します。レイヤー2マップは、スイッチの接続性の理解を深めるのに役立ちます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。</p>
レイヤー3の近隣接続ビュー	<p>[マップ] > [レイヤー3の近隣接続ビュー]</p> <p>レイヤー3ネットワークのマップを表示します。レイヤー3ネットワークマップは、ルーターの接続性の理解を深めるのに役立ちます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。</p>
パスビュー	<p>[マップ] > [パスビュー]</p> <p>指定された2つのノード間のルートを示すマップを表示します。ソースノードとデスティネーションノードはスイッチ以外である必要があります。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>注: (NNMi Advanced) パスビューで使用できるのは、IPv4アドレスのみです。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。</p></div>
MPLS WANクラウドマップ	<p>(NNMi Advanced、およびHPE Route Analytics Management System (RAMS) for MPLS WAN) MPLS WANクラウド全体のレイヤー3接続のマップが表示されます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。</p> <p>NNMi管理者は、RAMSの設定について「HPE RAMS MPLS WAN設定 (NNMi Advanced)」を参照してください。</p>

インシデントに固有のNNMiアクション

アクション	説明
インターフェイスアクション	<p>ソースオブジェクトがインターフェイスのインシデントに対してのみ使用できます。</p> <p>インターフェイスで利用可能なすべてのアクションへのアクセスを提供します。インターフェイスで利用可能なアクションの詳細については、「ノード、インターフェイス、およびIPアドレスに固有のアクション」を参照してください。</p>
IPアドレスアクション	<p>ソースオブジェクトがIPアドレスのインシデントに対してのみ使用できます。</p> <p>IPアドレスで利用可能なすべてのアクションへのアクセスを提供します。IPアドレスで利用可能なアクションの詳細については、「ノード、インターフェイス、およびIPアドレスに固有のアクション」を参照してください。</p>
ノードアクション	<p>ノードで利用可能なアクションのすべてにアクセスできます。ノードで利用可能なアクションの詳細については、「ノード、インターフェイス、およびIPアドレスに固有のアクション」を参照してください。</p> <p>アクションは、インシデントのソースノードに適用されます。</p>
ノードグループメンバー	<p>Islandノードグループインシデントのみ。選択したインシデントのソースオブジェクトがIslandノードグループのメンバーであるノード表を表示します。</p> <p>アイランドグループとは、NNMiが検出する完全接続ノードのグループです。NNMiは、このグループは残りのトポロジとは接続していないと判断します。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注: インシデントのソースオブジェクトがIslandノードグループの場合、インシデントメッセージにはリモートサイトが含まれます。</p> </div>
ノードグループマップ	<p>[マップ] > [ノードグループマップ]</p> <p>ソースノードが属する先の最下位のノードグループマップが表示されます。たとえば、ノードが子ノードグループに属する場合、子ノードグループが表示されます。</p> <p>ソースノードが最下位にある複数のノードグループのメンバーである場合、NNMiでは表示するノードグループマップを選択するよう求められます。</p> <p>インシデントのソースオブジェクトがIslandノードグループの場合、NNMiはIslandノードグループマップを表示します。</p> <p>アイランドグループとは、NNMiが検出する完全接続ノードのグループです。NNMiは、このグループは残りのトポロジとは接続していないと判断します。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注: インシデントのソースオブジェクトがIslandノードグループの場合、インシデントメッセージにはリモートサイトが含まれます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。</p> </div> <p>選択したソースノードがどのノードグループのメンバーでもない場合、[ノードグループマップ]アクションを選択すると、NNMiでは情報メッセージが表示されます。</p>
ソースノード	<p>現在のインシデントのソースノードについてノードフォームを開きます。</p>
ソースオブジェクト	<p>現在のインシデントについてソースオブジェクトフォームを開きます。たとえば、ソースオブ</p>

インシデントに固有のNNMiアクション (続き)

アクション	説明
	ジェクトがレイヤー2の接続である場合、NNMiではレイヤー2接続フォームを開きます。
カスタムポーラー結果のグラフ化	選択したインシデントのソースノードに関連付けられているカスタムポーラー収集それぞれからのすべてのMIB式をグラフ化します。

ノード、インターフェイス、およびIPアドレスに固有のアクション

アクション	説明
ノードグループマップ	<p>[マップ] > [ノードグループマップ]</p> <p>このアクションでは、ソースノード、またはノードで選択されているインターフェイス/IPアドレスが属する先の、最下位のノードグループマップが表示されます。たとえば、ノードが子ノードグループに属する場合、子ノードグループが表示されます。</p> <p>ソースノード、あるいはノード上の選択したインターフェイスまたはIPアドレスが、同じレベルにおける複数のノードグループのメンバーである場合、NNMiでは、表示するノードグループマップを選択するよう求められます。</p> <p>選択したソースノード、インターフェイス、またはIPアドレスがどのノードグループのメンバーでもない場合、[ノードグループマップ] アクションを選択すると、NNMiでは情報メッセージが表示されます。</p>
グラフ	<p>選択したノードまたはインターフェイスに対して表示するように設定されたSNMPデータをリアルタイムでグラフに表示します。グラフ名には、グラフ内のデータタイプがわかるような名前を設定します。</p> <p>NNMiには線グラフのセットが備わっています。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。NNMi管理者またはHPE Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)は、[アクション] メニューリストに表示される、追加の線グラフを設定する場合があります。</p>

ノードグループに用意されているアクション

アクション	説明
ノードグループマップ	<p>[マップ] > [ノードグループマップ]</p> <p>選択したノードグループに属するすべてのノードの現在のマップを表示します。</p>
メンバーのプレビュー	<p>[ノードグループの詳細] > [メンバーのプレビュー (現在のグループのみ)]:</p> <p>選択したノードグループに属するすべてのノードのリストを表示します。</p>
メンバーの表示	<p>[ノードグループの詳細] > [メンバーの表示 (子グループを含む)]:</p> <p>選択したノードグループに加え、そのすべての子ノードグループに属しているすべてのノードのリストを表示します。</p>
すべてのインシデントの表示	<p>[ノードグループの詳細] > [すべてのインシデントの表示]</p> <p>選択したノードグループに関連付けられているインシデントをチェックします。</p>

ノードグループに用意されているアクション (続き)

アクション	説明
すべての未解決インシデントの表示	[ノードグループの詳細] > [すべての未解決インシデントの表示] 選択したノードグループに関連付けられている未解決のインシデントをチェックします。
ステータスの詳細	[ノードグループの詳細] > [ステータスの詳細] 選択したノードグループのすべてのメンバーのステータスについてのレポートが表示されます。

ノードグループマップに用意されているアクション

アクション	説明
ノードグループマップを開く	選択されたノードグループマップを表示します。
ノードグループマップの設定を開く	選択されたノードグループマップの[ノードグループマップの設定]フォームを開きます。詳細については、「 ノードグループマップの設定を定義する 」を参照してください。

インターフェイスグループに用意されているアクション

アクション	説明
メンバーの表示	[ノードグループの詳細] > [メンバーの表示] 選択したインターフェイスグループに属するすべてのノードのリストを表示します。

カスタムポーリングインスタンスに固有のアクション

アクション	説明
ポーリングインスタンスのグラフ化	選択したカスタムポーリングインスタンスのカスタムポーリング結果を線グラフで表示します。

VLANに用意されているアクション

アクション	説明
VLANメンバービュー	[マップ] > [VLANメンバービュー] 選択したVLANのメンバーである、すべてのノードのマップを表示します。

NNM iSPI Performance for Metricsのアクション

HPE Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance

Server (NPS) をインストールします。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

[アクション] メニューには、NNM iSPI Performance for Metrics レポートメニューを表示する追加の選択項目があります。レポートメニューの文脈は現在選択されているオブジェクト (ノード、ノードグループ、インターフェイスまたはインターフェイスグループ) によって変わります。2つ以上のオブジェクトを選択すると、複数のNNM iSPI Performance for Metrics レポートが開きます (各オブジェクトにつき1つで、最大5つ)。

NNMiコンソールのどの場所でも、[アクション] メニューには以下のオプションが表示されます。

[アクション] > [HPE NNM iSPI Performance] > [レポート - レポートメニュー]

パスビューでは、[アクション] メニューに以下の追加のオプションが表示されます。

[アクション] > [HPE NNM iSPI Performance] > [レポート - パスヘルス]

NNMi管理者は、NNMiとNNM iSPI Performance for Metrics間におけるインターフェイスグループおよびノードグループの情報をデフォルトの時間よりもすばやく同期するようNNMiを強制できます。この追加オプションは、[アクション] メニュー下にも表示されます。

[アクション] > [HPE NNM iSPI Performance] > [インターフェイスグループとノードグループの同期]

NNMi管理者である場合、詳細については「[ノードまたはインターフェイスのグループを作成する](#)」を参照してください。

パフォーマンスのトラブルシューティングを起動して、NNM iSPI Performance for Metricsで収集されたメトリックスのグラフを表示できます。このオプションは、ノードまたはインターフェイスを選択した後、[アクション] メニューに表示されます。

[アクション] > [HPE NNM iSPI Performance] > [Performanceのトラブルシューティング]

第13章: NNMiに関する情報の表示

2つのメニュー項目に、インストール済みのNNMiに関する現在の情報が含まれています。

- [ヘルプ] > [システム情報]

[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[システム情報] ポップアップ内で、ヘルプにアクセスする  アイコンをクリックします。

- [ヘルプ] > [HPE Network Node Manager i Software(について)]

システム情報: [製品] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[製品] タブ: NNMiに関する情報を表示します。

- HPE Network Node Managerの製品名、バージョン番号、およびインストールされた日時。
- 現在のNNMiセッションに関する次のロケール情報 (言語):
 - クライアントのロケール
 - サーバーのロケール
 - SNMP文字列のエンコーディング
 - Webブラウザー
- NNMiシステムヘルスによって、現在のNNMiヘルス状態のステータスが示されます。

- ステータス
- 最後の更新日時
- 現在のNNMiユーザーに関するユーザー情報:
 - NNMiへのログイン時に使用したユーザー名。
 - 現在割り当てられているNNMiロール¹。
 - 現在属しているユーザーグループ。
- 現在インストールされているNNMi製品の名前。
 - Network Node Manager i Community
 - Network Node Manager i
 - Network Node Manager i Advanced
 - Network Node Manager i Premium
 - Network Node Manager i Ultimate
- [Type] は、次のいずれかになります。

Instant-On	NNMiは、インストール時に、60日間、250ノードのライセンスを自動的に供与します。
Community	NNMiの無料お試しバージョンがインストールされます。
Capacity	NNMiがインストールされます。
Capacity(Adv)	NNMi Advancedがインストールされます。
Premium	NNMi Premiumがインストールされます。
Ultimate	NNMi Ultimateがインストールされます。

システム情報: [ヘルス] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

¹4つの特別なNNMiユーザーグループのうちのいずれかのメンバーシップによって決まります (NNMi管理者、NNMiレベル2オペレーター、NNMiレベル1オペレーター、またはNNMiゲストユーザー)。このメンバーシップによって、NNMiコンソール内に表示される項目と、コンソール内で実行できる操作が決まります。

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[ヘルス] タブ: NNMiサーバーの現在のヘルスに関する情報を表示します。

NNMi稼働状態のサマリーレベルの情報 (NNMiの総合的なステータスと、以下の項目に関連する情報および問題を含む) を表示します。

- メモリ
- NNMiデータベース
- システムリソース
- ディスク使用率
- SNMPの要求とキュー
- グローバルネットワーク管理 (NNMi Advanced)

注: NNMi管理者は、[ヘルス] タブの [詳細ヘルスレポートの表示] ボタンをクリックして詳細を表示できません。

NNMiでは、ステータス値によってNNMiの総合的なヘルスステータスを示します。

NNMiの総合的なヘルスステータス

ステータス	説明
正常域	NNMiに問題が発生していないことを示します。
注意域	NNMiに重大な影響は与えていないパフォーマンス問題があることを示します。
警戒域	データを無効にする可能性がある問題があることを示します。たとえば、ステートポラーのようなNNMiコンポーネントが予定の範囲外で動作して、同期しなくなります。
重要警戒域	NNMi管理サーバーの運用に重大な影響は与えるけれども、危険域には至っていない問題があることを示します。重要警戒域ステータスは、通常、何らかのアクションが必要なことを意味します。たとえば、トラップのしきい値に到達した場合です。
危険域	NNMiが機能していないことを示します。たとえば、NNMiのメモリが枯渇した場合、すべてのデータベース接続が失われた場合、あるいは主要なNNMiコンポーネントが故障した場合です。

システム情報: [サーバー] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[サーバー] タブ: NNMi管理サーバーに関する情報を表示します。

- ホスト名
- IPアドレス
- IPv6アドレス (NNMi Advanced)

ヒント: (NNMi Advanced) [使用不可] に設定する場合は、以下の点を考慮してください。

- (IPv6対応のために必要な) NNMi Advancedを使用していますか?
- NNMi管理者がNNMi AdvancedのIPv6機能を無効化しましたか?
http://softwaresupport.hpe.com で入手可能な『HPE Network Node Manager i Software デプロイメントリファレンス』の「NNMi AdvancedでIPv6を設定する」の章を参照してください。

- IPv6管理 (NNMi Advanced)
- IPv6通信 (NNMi Advanced)
- 正式な完全修飾ドメイン名 (FQDN)
- ユーザーアカウントおよびユーザーグループ情報 (NNMiデータベースまたはLDAPを使用したディレクトリサービスから取得)
- シングルサインオン (設定ファイル名および機能が有効化されているかどうか)
- オペレーティングシステム
- インストールディレクトリ
- データディレクトリ
- 使用可能なプロセッサ
- NNMiの空き/割り当て済みメモリ (%空き)
- NNMiの最大試行可能メモリ

注: (NNMi Advanced) グローバルネットワーク管理機能を使用している場合、このタブには2つのNNMiサーバーに関する情報が表示されます。

- 使用しているNNMi管理サーバーがグローバルマネージャーの場合、表示される情報の見出しは、**グローバル管理サーバー**です。
- 使用しているNNMi管理サーバーがリージョナルマネージャーの場合、このタブで表示される情報の見出しは、**管理サーバー**です。

システム情報:[グローバルネットワーク管理] タブ

[グローバルネットワーク管理] タブ: (NNMi Advanced) グローバルネットワーク管理機能を有効にしている場合に
関連情報を一覧表示します。

- 使用しているNNMi管理サーバーがグローバルマネージャーの場合、表示される情報の見出しは、このグローバルマネージャーにレポートしているリージョナルマネージャーです。
- 使用しているNNMi管理サーバーがリージョナルマネージャーの場合、このタブで表示される情報の見出しは、グローバルマネージャーにレポート中です。

一覧表示される管理サーバーごとに、次の情報が表示されます。

- 名前
- 接続状態
- ノードカウント

システム情報:[データベース] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、
NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[データベース] タブ: NNMiデータベースに保存されているオブジェクトの各タイプの一覧表示します。

使用できるオブジェクトは次のとおりです。

- ノード
- SNMPエージェント
- インターフェイス
- IPアドレス
- レイヤー2の接続
- インシデント
- IPサブネット
- VLAN
- ノードセンサー
- シャーシ
- カード
- 物理センサー
- ポート

- カード冗長グループ
- ルーター冗長グループ (NNMi Advanced)

システム情報: [ステートポラー] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[ステートポラー] タブ: NNMi State Pollerの現在のヘルスに関する統計情報を一覧表示します。

- ステータス
- 要求された収集
- 完了した収集
- 処理中の収集
- スキップ、古い収集、または例外のエラーインスタンス
- キューの長さ

拡張

このセクションには、他のNNM iSPIプログラムが環境内にインストールされた状態でのステートポラーの相互作用のヘルス状態に関する情報が表示されます。

監視対象オブジェクト

このセクションには、NNMiによってモニタリングされているネットワークオブジェクトに関する (オブジェクトタイプの数や現在のモニタリングレートなどの) 詳細が表示されます。

ノード

このセクションには、現在障害をレポートしているノードの数と、各NNM iSPIおよびNNMiによってポーリングされているノードの合計数が表示されます。

システム情報: [カスタムポラー] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[カスタムポーラー] タブ: NNMiカスタムポーラーの現在のヘルスに関する統計情報を一覧表示します。

- ステータス
- 検出が要求されました
- ノード検出を待機中
- ノード検出を処理中
- SNMP応答キューサイズ
- 検出が完了しました
- 過去5分以内の古いノード
- 古いノードの合計

拡張

このセクションには、他のNNMiSPIプログラムが環境内にインストールされた状態でのカスタムポーラーの相互作用的ヘルス状態に関する情報が表示されます。

監視対象オブジェクト

このセクションには、NNMiによってモニタリングされているネットワークオブジェクトに関する (オブジェクトタイプの数や現在のモニタリングレートなどの) 詳細が表示されます。

システム情報: [コーザルエンジン] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[コーザルエンジン] タブ: NNMi Causal Engineの現在のヘルスに関する統計情報を一覧表示します。

ヒント: NNMiのCausal Engineは、各オブジェクトのステータス値を計算するためのデータを収集します。このデータとともに、ステートポーラーにより収集された状態の情報を使用して、Causal Engineは各ノード、インターフェイス、およびSNMPエージェントのステータスを計算します。

状態 = NNMi State Pollerによって提供され、各オブジェクトに関して常に最新の状態となる値。

ステータス= 下にある入力処理の遅延に一覧表示されている時間だけ遅れて実行される値。

[コーザルエンジン] タブでは、以下の情報を入手できます。

- 入力処理の遅延
- 条件に対するデータのプリロードのエラー
- 条件バッチに対するデータのプリロードの平均時間
- 条件の処理の平均時間
- 進行中のすべてのNNMiコンポーネントの再同期 (trueまたはfalse)

システム情報: [拡張] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[拡張] タブ: NNMi管理サーバーに導入されているNNMi拡張機能を一覧表示します (詳細については、[ここをクリックしてください](#))。

• 製品拡張情報

NNMiは、このリスト内の項目と通信できるように設定されています。

Network Performance Server (NPS): HPE Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Softwareに用意されている (有効または無効)

診断サーバー: HPE Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset Softwareに用意されている

• HPE NNM iSPI Softwareが配備されました

このセクションには、現在インストールされているHPE Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のリストが表示されます。右端の列には、NNM iSPIソフトウェアとデバイス拡張機能がインストールされたサーバーのホスト名が表示されます。

• その他

(NNM iSPIとは別に) NNMi機能を拡張するその他の拡張機能。

システム情報: [統合] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[統合] タブ: NNMi管理サーバーに導入されNNMiと統合される他のソフトウェア製品の一覧表。この表には、以下の情報を示す列が含まれます。

- 統合の名前
- IDテキスト文字列
- バージョン番号
- 選択した統合で現在使用されている実際の設定ファイルを表示するリンク。

システム情報: [デバイス] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[デバイス] タブ: 現在使用可能なデバイス拡張情報の一覧表。この表には、以下の情報を示す列が含まれます。

- デバイス拡張の名前
- IDテキスト文字列
- バージョン番号
- 選択したデバイス拡張で現在使用されている実際の設定ファイルを表示するリンク。

システム情報: [コンポーネントバージョン] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[コンポーネントバージョン] タブ: NNMiソフトウェア内の各NNMiコンポーネントを、名前およびバージョン番号別に一覧表示します。各コンポーネントは、NNMiソフトウェアを構成するコードのサブセットです。

第 14章: NNMiのバージョンおよびライセンス情報の表示

[ヘルプ] > [HPE Network Node Manager i Softwareについて] を選択すると、次の情報が表示されます。

- 現在インストールされているNNMi製品の名前。
 - Network Node Manager i
- NNMiの現在のバージョン番号
- [Type] は、次のいずれかになります。

Instant-On	NNMiは、インストール時に、60日間、250ノードのライセンスを自動的に供与します。
Community	NNMiの無料お試しバージョンがインストールされます。
Capacity	NNMiがインストールされます。
Capacity(Adv)	NNMi Advancedがインストールされます。
Premium	NNMi Premiumがインストールされます。
Ultimate	NNMi Ultimateがインストールされます。

ヒント: [ヘルプ] > [システム情報] の「システム情報: [製品] タブ」(181ページ)および「システム情報: [拡張] タブ」(188ページ)も参照してください。

用語集

A

AES

Advanced Encryption Standard

Anycast Rendezvous Point IPアドレス

Rendezvous Pointアドレスは、マルチキャストネットワーク構成でルーターに使用されるルーブリックアドレスです。

B

BGP

ボーダーゲートウェイプロトコル

C

Causal Engine

NNMi Causal Engineはネットワーク運用の健全性を分析し、継続的に各デバイスの運用ステータスを提供します。Causal Engineはさらに、問題を詳細に至るまで評価し、根本原因を可能な限り特定し、インシデントの送信を通じて問題をユーザーに通知します。Causal Engine管理イベントから生成されたインシデントの場合、インシデントビューには発生元としてNNMiが表示されます。

CBC

暗号ブロック連鎖

CE

Customer Edge (CE) ルーターです。ネットワークに設置されたルーターです。データの最終送信先のパスにあるインターネットサービスプロバイダーのルーター (Provider Edge) にデータを送信します。

CRC

巡回冗長検査

D

DES

データ暗号化標準

E

EIGRP

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol

EVPN

Ethernet仮想プライベートネットワークです。

H

HMAC

ハッシュベースのメッセージ認証コード

HSRP

Hot Standby Router Protocol

I

IPv6リンクローカルアドレス

同一リンク上の別のノードとの通信 (LANまたはVLAN) でのみ使用する、ルーティングできないIPv6ユニキャストアドレスです。リンクローカルアドレスは、ルーターを通じて転送する必要のある通信には使用できません。IPv6自動設定により、システムのIPv6が有効な各インターフェイスに対し、fe80::/10アドレス空間のユニークリンクローカルアドレスが自動的に割り当てられます。

ISIS

Intermediate System to Intermediate Systemプロトコル

J

Jython

Jythonは(JPythonの後継的な)プログラム言語で、Pythonモジュールの代わりにJavaクラスを使用します。

M

MACアドレス

工場出荷時にネットワークアダプターまたは内蔵ネットワークカードを装備したデバイスに焼き付けられるMAC (Media Access Control) アドレス(ハードウェアまたは物理的アドレス)。MACアドレスには、6組の16進数値があり、それぞれコロンのまたはダッシュで区切られています。例 02:1F:33:16:BC:55

MD5

メッセージダイジェストアルゴリズム5

MIBファイル

Management Information BaseファイルはSNMP通信プロトコルの基本的なビルディングブロックです。SNMPエージェントは、サポートされるMIBファイルのグループによって定義された要求に応答するよう設定されます。

MPLS

マルチプロトコルラベルスイッチング

N

NAT

ネットワークアドレス変換。NNMiでは以下のプロトコルをサポートします。静的ネットワークアドレス変換 (NAT)、動的ネットワークアドレス変換 (NAT)、動的ポートアドレス変換。

NIC

ネットワークインターフェイスコントローラー

NNMiユーザーグループ

NNMiユーザーグループはNNMiで提供されているユーザーグループです。ユーザーは、そのユーザーアカウントが以下のNNMiユーザーグループの少なくとも1つにマップされるまで、NNMiコンソールにアクセスできません。NNMi管理者、NNMiレベル2オペレーター、NNMiレベル1オペレーター(レベル2オペレーターよりアクセス権限が低い)、およびNNMiゲストユーザー

NNMiロール

4つの特別なNNMiユーザーグループのうちの一つのメンバーシップによって決まります(NNMi管理者、NNMiレベル2オペレーター、NNMiレベル1オペレーター、またはNNMiゲストユーザー)。このメンバーシップによって、NNMiコンソール内に表示される項目と、コンソール内で実行できる操作が決まります。

O

OSPF

Open Shortest Path Firstプロトコル

P

PE

Provider Edgeルーターです。データを受信するデータの最終送信先のパスにあるインターネットサービスプロバイダーのルーター(Provider Edge)です。ネットワークのCustomer Edge(CE)ルーターがこのPEに接続します。

R

RAMS

HPルーター分析管理システム

S

SHA

セキュアハッシュアルゴリズム

SNMP

簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)

SNMPエージェント

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、IPネットワーク上のデバイスの管理に使用されるインターネット標準のプロトコルです。SNMPエージェントは、このプロトコルを使用して、指定された管理プログラムに対して情報を報告します。

SOAP

Simple Object Access Protocolの略。

U

USM

User-based Security Model (ユーザーベースのセキュリティモデル) の略。

UUID

UUID (Universally Unique Object Identifier)。すべてのデータベース内で一意です。

V

VMware

VMware ESXおよびVMware ESXiソフトウェアは、SOAPプロトコルを使用してベアメタルハイパーバイザーを実装します。

VRRP

Virtual Router Redundancy Protocol

W

WANクラウド

現在使用しているネットワークとMPLSネットワークとの間のレイヤー3接続。

Webエージェント

Webエージェントは、デバイス上で実行される管理サービスを意味します。Webエージェント

には、NNMiがデバイスとの通信に使用する設定値が含まれます。

カ

カスタムノード収集

カスタムノード収集は、少なくとも1つの関連付けられたカスタムポーラーポリシーがあるトポロジノードを識別します。トポロジノードは複数のポリシーに関連付けることができるため、複数のカスタムノード収集で同じトポロジノードが表示されることがあります。

カスタムポーリングインスタンス

カスタムポーリングインスタンスは、ノードに対して評価されたMIB変数の結果を表します。検出情報を使用してMIB変数を初めて検証すると、[モニタリング] ワークスペースの [カスタムポーリングインスタンス] ビューに結果が表示されます。状態が変化すると、その状態の変化を引き起こした最新のポーリング値が含まれてカスタムポーリングインスタンスが更新されます。これらの結果は、関連付けられているカスタムノード収集のステータスを決定するために使用されます。

カスタムユーザーグループ

カスタムユーザーグループは、ユーザーが作成するユーザーグループのことです。これらのユーザーグループはNNMiで提供されているユーザーグループの追加グループです。

グ

グローバルユニキャストアドレス

(2000:: ~ 3fff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff) インターネットのあらゆる場所でのノード間の通信に使用する、パブリックにルーティング可能なIPv6ユニキャストアドレスです。アドレスの最初の部分は、インターネットサービスプロバイダーによって割り当てられたユーザーの組織の2000::/3アドレス空間のグローバルルーティングプレフィックスです。完全ホストアドレスは、手動で設定することも、IPv6自動設定と隣接

検出を使用して自動的に割り当てることもできます。

ノ

ノード

NNMiによって実用的にまとめて関連付けられる、物理または仮想のネットワークインターフェイスの収集です。

ハ

ハイパーバイザー

仮想デバイスになるリソースのプールのさまざまな局面における委任処理を行う仮想マシンマネージャー。委任は、製造元の実装に応じて、静的であることも動的であることもあります。生成される仮想マシンのタイプは、製造元の実装によって異なります。

プ

プライベートIPアドレス

自宅またはオフィスのローカルエリアネットワーク (LAN) で再利用できるIPv4アドレスです。RFC 1918およびRFC 4193 (10.*.*、169.254.*.*、172.16-31.*.*、および192.168.*.*)により設定された標準に準拠します。

ホ

ホップ

ホップとは、ワークステーション、ゲートウェイ、またはスイッチなど、中間にノードを持たないリンクで接続されたネットワークデバイスを表すノードのことです。

マ

マルチキャストアドレス

グループに加わったホストグループの識別に使用します。IPv4マルチキャストアドレスは224.0.0.0 ~ 239.255.255.255の範囲で、IPv6マルチキャストアドレスのプレフィックスはff00::/8です。

マルチ接続

複数接続は、マップビューにある2つの[ノード]アイコン、2つの[ノードグループ]アイコン、または[ノード]アイコンと[ノードグループ]アイコン間の太線です(太線のいずれかの終端に[インターフェイス]アイコンまたは[IPアドレス]アイコンがありません)。この太線は、マップのスペース確保と簡素化のために結合された複数の接続のセットを表します。NNMi管理者は、NNMiが各接続を複数接続の線にまとめる最低単位となる接続数を指定します([ユーザーインターフェイスの設定]の[複数接続しきい値]属性)。太線をダブルクリックすると、元の一連の接続に変換され、[インターフェイス]アイコンまたは[IPアドレス]アイコンが線のいずれかの終端に表示されます。

ユ

ユニークローカルアドレス

(fd00:: ~ fdff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff) ユーザーの組織内のノード間の通信にのみ使用する、プライベートネットワーク内でのみルーティング可能なIPv6ユニキャストアドレスです。ユニークローカルアドレスは、パブリックなインターネットにはルーティングできません。このアドレスは、fd00:/8アドレス空間のルーティングプレフィックスによって構成され、ユーザーの組織によってローカルに割り当てられます。完全ホストアドレスは、手動で設定することも、IPv6自動設定と隣接検出を使用して自動的に割り当てることができます。

リ

リンクアグリゲーション

複数のインターフェイス (アグリゲーションメンバーインターフェイス) が1つのインターフェイス (アグリゲーターインターフェイス) として機能するように設定するためにスイッチで使用されるプロトコル。2つのアグリゲーターインターフェイスで接続を確立する場合、この接続はアグリゲーターレイヤー2接続になります。アグリゲーターレイヤー2接続はレイヤー2の近隣接続ビューマップに太線で表示されます。また、各終端 (アグリゲーターインターフェイス) には [インターフェイス] アイコンが表示されます。

リンクアグリゲーションの分割

3つ以上の終端があるリンクアグリゲーションです。ベンダーによっては、マルチシャーシリンクアグリゲーション (MLAG)、SLAG、MLAG、MC-LAGとも呼ばれます。

ル

ルーティングプレフィックス

パケットのグループ全体に対してプレフィックスを宣言することで、各パケットに含まれる必須のルーティング情報を短縮またはフィルターするために使用されるネットワークプロトコルです。このプレフィックスには、アドレスのビット数も示されています。

ループバックアドレス

ループバックインターフェイスに関連付けられたアドレス。ループバックインターフェイスは、内部通信の経路になるデバイスの仮想インターフェイスです。多くのベンダーは、特に管理用に設定したループバックを用意しています。ループバックインターフェイスの設定は、ベンダーとモデルごとにさまざまです。詳細については、各デバイスのドキュメントを参照してください。NNMiでは、ifType 24番、IANA ifType-MIBのsoftwareloopbackを使用してループバックアドレスを特定します。

レ

レイヤー2

マルチレイヤーの通信モデルであるOSI (Open Systems Interconnection) のデータリンク層を指します。データリンク層は、ネットワーク内の物理リンク間でデータを転送します。スイッチとスイッチルーターは、レイヤー2レベルでデータメッセージをリダイレクトするデバイスです。この場合、メッセージの送信先を調べるには、あて先のMAC (Media Access Control) アドレスを使います。

レイヤー3

マルチレイヤーの通信モデルであるOSI (Open Systems Interconnection) のネットワーク層を指します。ネットワーク層は、ネットワーク内の隣接ノードアドレスの認識、ルートとサービス品質の選択、ローカルホストドメインへの受信メッセージの認識と転送を処理します。ルーターとスイッチルーターは、データメッセージをレイヤー3レベルでリダイレクトするデバイスです。サブネットの接続はすべてレイヤー3 (IP) レベルで行われます。

仮

仮想マシン

複数の物理デバイスのコンポーネントを利用するデバイス。製造元の実装に応じて、仮想マシンは静的であることも動的であることもあります。

管

管理対象外

管理モードが「非管理対象」または「サービス停止中」であることを意味します。

自

自律システム

自律システム (AS) は、接続されたインターネットプロトコル (IP) ルーティングプレフィックスの集合で、公式に登録された自律システム番号 (ASN) を持つことによって、明確に定義された共通のボーダーゲートウェイプロトコル (BGP) ルーティングポリシーをインターネットに提示します。

重

重要なインシデント

次の両方を満たすインシデント:(1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

ドキュメントに関するご意見のお願い

このドキュメントについてコメントがある場合は、電子メールでドキュメントチームにご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されている場合は、上にあるリンクをクリックすると、表題の行に以下の情報が付いた状態で電子メールウィンドウが開きます。

オンラインヘルプ:コンソールの使用 (Network Node Manager i Software 10.30) に関するフィードバック

電子メールにお客様のフィードバックをご記入の上、[送信]をクリックしてください。

使用可能な電子メールクライアントがない場合は、上記の情報をWebメールクライアントの新規メッセージにコピーして、network-management-doc-feedback@hpe.com にフィードバックとして送信してください。

フィードバックをお待ちしております。